講義科目名称: 医療保健学概論 授業コード: 10101

英文科目名称: Introduction to Medical and Health Sciences

・歯科衛生士の業務内容を説明できる。・歯科技工士の活動の場について説明できる。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
小正 裕、都賀谷 紀宏、神 光一郎、荒井 昌海				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関			科目に関連する実務経験
10101	1 ○ 4 ◎		1 ○ 4 ◎	

科目ナンハリンク		山腔保健字科の関連DP	山腔上字科の関連DP	科目に関連する実務経験
10101		1 0 4 0	1 0 4 0	
授業の概要と方法	歯科医療従 社会におけ 必要である	事者の一員として自身が目指	旨すべき方向性について、最新の情 引か、また生涯を通じた口腔ならて	習の心構えについて理解する。また、 情報や知識を習得するとともに、高齢 がに全身の健康を実践するために何が
授業計画	1	歯科医療の目的と歯科領	衛生士、歯科技工士 (荒井昌海	先生)【講義】
	2	新たな歯科医療の展開		D連携(チーム医療)
		2) 今後の新たな歯科医療3) 歯科専門職に求められ		
	3		見状 (小正 裕 先生)【講義】 ・変遷の概説 こついての概説	
	4		(小正 裕 先生)【講義】 客について 客について	
	5		社会環境とその影響 (神 光一 良 こっているのか らす影響	ß)【講義】
	6	歯科保健医療の動向(1)歯科医療機関数、歯科 2)歯科疾患罹患状況の3 3)高齢者の口腔内の現状 4)国民の口腔内有訴状)	学生,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	
	7	1)資格の種類と業務独占 2)医療関連職種資格の法		· 先生)【講義】
	8			
授業の到達目標	・高齢社会	医療の変遷を説明できる。 における歯科保健医療の役割 士の活動の場について説明で		

	・歯科技工士の業務内容を説明できる。 ・将来の歯科衛生士、歯科技工士像について概説できる。 ・歯科保健医療に影響を与える社会環境要因について説明できる。 ・口腔状況と全身の健康との関連について説明できる。
成績評価の方法	学習の形成的実施方法として、講義中に口頭試問あるいはディスカッション等を行う。(講義形式や講義内での態度評価は担当教員によりなる。) なお、総合評価は講義範囲から出題した課題に対するレポート等により行うこととし、評価基準は、レポート 100%とする。
授業外で行うべき 学修	事前学習は特に必要としないが、4名の教員により提示された課題や問題意識、メッセージ等について、講義時間中に自身で理解するように努め、自己の考えや意見にしっかりと反映できるよう、十分に事後学習をしておくこと。
使用テキスト	テキストは特に指定せず、必要に応じて配付資料あるいは板書、動画等により授業を行う。
参考資料	参考資料は特に指定せず、配付資料あるいは板書、動画等により授業を行う。
受講生への要望等	本授業は、これからの4年間の学習の心構えを理解し、歯科保健医療専門職として必要な知識や技能を学ぶための、最初の授業となります。 4名の経験豊富な教員がオムニバス形式で講義しますので、各先生が学生の皆さんに伝えたい内容やメッセージを聞き逃さずしっかりと理解し、歯科衛生士、歯科技工士としての第一歩を踏み出してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS「melly」で行う。

講義科目名称: 早期臨床体験学習 授業コード: 10102

英文科目名称: Early Clinical Exposure

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		第1学年	1	必修(両学科)		
担当教員						
和唐、元根、橋本、神	伸、頭山、山 5				1	
科目ナンバリング		口腔保健学科の関	₹ ▼ ▼ T T T T T T T T T T T T T	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
10102		2 O H1 ©		2 O E4 ©	歯科医師	
授業の概要と方法	か、そのた。 安、心身の う。そして	入学早期に医療現場を体験して、歯科医療とはどのようなものか、将来自分がどのように医療に携わっていくか、そのために何を学べばよいかについて、学生が病院見学を通して理解する。また、患者や家族の訴えや不安、心身の痛みを患者の立場になって理解するよう努め、建学の精神である「博愛」と「公益」の精神を養う。そして、将来歯科医療従事者としての姿勢で患者や家族に臨むかについて自身の意見を述べられるようになることを目指す。				
授業計画	1-4	早期臨床体駅	検学習の概要説			
	5-8	2.科	科衛生士および歯	学を行う。 連絡要望を伝える。 歯科技工士さんによる臨床講義を実	ぼ施する。	
				O、臨床現場での必要な知識や留意 こ分かれて臨床体験学習を行い,身		
	9-12	早期臨床体馴				
	13-15	【午後】附属 出する。 早期臨床体 【午前】班ご	病院の臨床各科に 検学習 とに分かれてグル	つ、臨床現場での必要な知識や留意 こ分かれて臨床体験学習を行い、身 レープワークを行う。とめ・討議を行い、終了後にレポー	ミ習終了後にレポートを記載・提	
授業の到達目標	・言葉遣い ・医療人と ・実習の目	 ・挨拶ができる。 ・言葉遣いを適切に行うことができる。 ・医療人としての身だしなみを理解し実践できる。 ・実習の目的を理解し遵守することができる。 ・担当医の指示を理解し従うことができる。 				
成績評価の方法	1. 学習・接遇態度(診療担当教員による評価) 2. 体験学習レポート(実習で行ったこと、臨床現場を体験して感じたこと) 3. グループ討論・プレゼンテーション 上記1~3についてそれぞれA~Eの5段階で評価する。評価割合はすべての項目で100%とし、その総合評価を行う。					
授業外で行うべき 学修						
使用テキスト	早期臨床体	験学習の手引きを	ミオリエンテーシ	ョン時に配布する。		
参考資料	「人は見た目が9割」 佐藤綾子 新潮社 「心のふれあう患者接遇」 石井良子、石井美奈子 医学書院 「外来でのコミュニケーション技法」 飯島克己 日本醫事新報社					
受講生への要望等	本学習は、患者さんがおられる診療科で行います。以下の点について留意し学習に臨んでください。 ・時間を厳守すること。 ・診療時に知り得た患者さんの個人情報については守秘義務を厳守すること。 ・診療を妨げないように常に周りの状況判断をすること。 その他、守るべき留意点については、オリエンテーション時に伝達します。					
授業の質問対応、 連絡先				聞いてください。 習で使用する手引きに記載します	0	

講義科目名称: 医療倫理学 授業コード: 10103

英文科目名称: Medical Ethics

授業の質問対応、

連絡先

オフィスアワー:各回の授業後。

	rearear Ear					
開講期間	配当年 単位数 科目必選区分					
前期		第1学年	1	必修 (両学科)		
担当教員						
樫 則章						
科目ナンバリング		口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	·	4目に関連する実務経験
10103		2 ©		2 ©		
授業の概要と方法	現代医療を担う医療従事者の一員として身につけるべき倫理規範の正しい理解及び修得を授業世紀半ば以降、伝統的な医の倫理に代わる新しい医の倫理が求められるようになった背景にて後、歯科衛生士としての職業倫理、患者の権利の尊重と感情面への配慮による患者本位の医療関わる倫理的問題、先端医療に関わる倫理的問題について講義し、医療の倫理的問題についてができるようにする。				った背景について概説した 者本位の医療実践、生と死に	
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	日 ま る の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	深 以降、伝統の にいる原の についてントン 油理 にかます。 では、 神理 にかます。 では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あり方について講義する。 する。 トの歴史、定義、実際につ 講義する。 達控え 治療の拒否と、患者以外の	かて講義する。	められるようになった背景、今
授業の到達目標	1. 20世紀半ば以降、伝統的な医の倫理に代わる新しい医の倫理が求められるようになった背景を説明できる。 2. 現代において求められている医療のあり方について説明できる。 3. 患者の権利について概説できる。 4. 医学研究の倫理原則について概説できる。 5. 生と死の倫理的問題について概説できる。 *各回ごとの到達目標は授業プリントの冒頭に明記。					
成績評価の方法	科目試験の成績100%で評価する。					
授業外で行うべき 学修	各回ごとに詳細な到達目標と5択問題を提示しているので、授業後、必ずそれらについて毎回20分~30分かけて復習すること。					
使用テキスト	各回ごとに	授業プリントを	配付する。			
参考資料		伏木信次・樫 則章・霜田 求編著『生命倫理と医療倫理』 改訂第4版 金芳堂 2020年. 全国歯科衛生士教育協議会監修 樫 則章ほか『歯科医療倫理』 第2版 医歯薬出版 2014年.				
受講生への要望等	日ごろから	新聞やネットで	医療に関わる	6様々な問題についてチェック	ックしておくこ	۲Ł。

講義科目名称: 文章表現 授業コード: 12101

英文科目名称: Composition

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1,2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
石黒 義昭				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10201	1 ○ 2 ○ 5 ◎		1 0 2 0 5 0	

授業の概要と方法

一般論として、大学は、基礎学力をもつ学生が、自分の興味関心を核に、様々な知識を得ながら、物事を深く考える場であり、その結果として学士号が授与されていました。しかし、最近は、少子化にともない、とにかく検定試験に合格させたり、なにか資格をえさせるための職業訓練所になりつつある大学がふえています。

医療系の分野では、最低限、文章の読解が必要です。しかし、簡単な文章も読めない人がふえているのは事実です。小・中・高の12年間、授業以外でほとんど文字を目にしなかった人と、新聞や雑誌、本に馴染んできた学生との間には、恐ろしい差があります。しかも、文章の読解力と思考力はほぼ比例します。

この授業では、文章を読んだり、書いたりする練習をしながら、思考力の訓練をします。また、医療従事者にもとめられるレヴェルの文章が書けるよう、表現力の練習もしていきます。

授業計画

1-4 ガイダンスと読解力の向上 4月13 - 5月11日 月曜

- 1) ガイダンス
- 2) 課題文を読んで、何が書いてあるのか、しっかり理解できる
- 3) 課題文からえたことを、自分の文章でまとめられる
- 4) 課題文の内容に疑問をもつことができる
- 5) 自分の意見をもつことができ、その根拠を明示することができる
- 6) 大学におけるレポートの書式や参考文献の探し方などを身につける

注意 1) 授業中の作文のほか、何度かレポートを課します。レポートは、とにかく、早めに、書きはじめてください。レポートを書くコツはとにかく書きはじめることです。三行も書けば、自分の知らないことや、読むべき本がわかってくるはずです。

注意 2)

読めない漢字や知らない慣用句が出てきても、知らないことは恥ではありません。授業後しらべて、自分のものしてください。

5-8 人文学史 5月18日 - 6月15日 月曜

- 1) 人文学の基礎知識を説明できる。
- 2) 現在の自然科学の諸分野にとって、人文学がどのような意味をもちうるのか考えることができる
- 3) 人間をその全体性において捉えるとともに、個々の人間存在を尊重できる

注意)8回目と同日4限の補講は、映像資料を見ます。

補講 まとめ 6月15日 月曜

- 1) この授業でなにをえたか反省できる
- 2) 自分になにが足りないか反省できる
- 3) これからどうすればよいか考えられる

注意1)まえの時間からひきつづいて、映像資料を見ます。

注意 2) 別の箇所にも書いたように、この種の授業では本来学生ひとり一人に時間を割いて、その学生の具体的な問題を解決していく必要があります。ただ、多人数の参加する「講義」ですので、なかなかフォローができません。質問にかんしても、最終回に質問のある学生が行列をつくる傾向にあります。「時間切れで質問できなかった」といったことがないよう、疑問があれば、最終回まで待たず、できるだけ、その都度訊いてください。

	本試験 科目試験 6月29日 月曜						
	試験の形式については、参加者の様子を見たり、参加者から意見を訊いたりしたうえで、決定で						
	る。決定した時点ですみやかに公表する。						
	補講 再試験対象者補講 9月7日 月曜						
	補講は基本的に授業とおなじ曜日・時限におこなう。						
	1) 試験で問われたことが説明できる						
	2) 再試験の対策を理解できる 						
	 再試験						
	本試験とちがう設問とする。						
 授業の到達目標							
	1) 日本語の一般的な本(新書、文庫等)を読んで理解できること						
	2) わかりやすく、他人に誤解されない(過誤の原因にならない)日本語の文章が書けること						
	3) 簡単なレポート(報告書)を書くことができること						
	4) 「医療人にとって大事なことはなにか」問い、文献を渉猟し、読むようになること						
成績評価の方法	1) 授業時に書いてもらう作文 (20%)						
	2) 簡単なレポート (30%)						
	3) 試験(50%)						
	【注意】 時間割の都合上学期末試験は返却できません。解答例は配布資料などによって確認してください。						
授業外で行うべき	1) 授業の復習として 1 時間を目安に授業内容を見直すこと						
学修	2) 積極的に本を読むこと。自分が他の学生より12年間遅れていると自覚できた学生は、とくに積極的に積極的 にまた読むこと。12年間の美を締みるのは窓見むことではよりません。						
	に本を読むこと(12年間の差を縮めるのは容易なことではありません) 3) 想像力を育てるために、造形芸術や音楽、文学などに親しむこと。また、作品の美しさについて考えてみた						
	り、美しさと善さの関係を考えてみたりすること(芸術と学問は同根といってよいですし、美しさにかんする						
	ことは、学問、技術 ars / art と切り離すことができません)						
	4) この種の授業では、ひとり一人に具体的なアドヴァイスをし、個別の課題を課したりして、学生が自分で成						
	長していくのを見守っていく必要があります。しかし、本人が納得する成果が現われるまでに最低一年間はか						
	かります。後期以降は自修につとめてください						
	これまで例外なく、文章の書けない学生は、文章を読む習慣がありませんでした。そうした学生の多くは、他						
使用テキスト	なし。プリントを配布します。 						
	 文化、歴史、思想、法律、政治、経済、国際関係など、様々なことを知り、考える習慣を身につけてくださ						
	大石、歴史、心心、四年、政治、柱海、国际国际など、塚々なことを知り、ちんる自僚を対につけてください。						
参考資料	* `						
多为具件	野口裕二『物語としてのケア』、医学書院、2002。						
	まれる このにのファッ、医子音院、2002。 ミルトン・メイヤロフ『ケアの本質』、ゆみる出版、2006。						
	上野他編『ケア その思想と実践』(全6巻)、岩波書店、2008。						
	孫大輔『対話する医療』、さくら舎、2018。						
	小林美希『ルポ 看護の質』、岩波新書、2016。						
	増田れい子『看護』、岩波新書、1996。						
	村上紀美子『納得の老後』、岩波新書、2014。						
	結城康博『介護』、岩波新書、2008。						
	山口育子『賢い患者』、岩波新書、2018。						
	桐野高明『医療の選択』、岩波新書、2014。						
	坂井律子『〈いのち〉とがん』、岩波新書、2019。 柳澤桂子『癒されて生きる』、岩波現代文庫、2004。						
	柳澤住于『懇されて生きる』、右波現代文庫、2004。 西村ユミ『語りかける身体』、講談社学術文庫、2018。						

	河合隼雄『〈心理療法〉コレクション1~6』河合俊雄編、岩波現代文庫、2010。
	中井久夫『中井久夫コレクション 1~4』、ちくま学芸文庫、2011。
	池谷裕二『単純な脳、複雑な「私」』、講談社ブルーバックス、2013。
	ゲアリー・マーカス『心を生みだす遺伝子』大隅典子訳、岩波現代文庫、2010
受講生への要望等	1) 良識 bon sens や常識 common sense を意識し、矜持をもってください 2) 一般的な漢字が読めなかったり、書けなかったりしても、講義では個別に対応することはできません。危機感をいだいた場合は、自分で、実力に応じた問題集などでフォローしてください。もし恥ずかしければ、誰にもいわず、自宅でやればよいだけです。問題を放置するのは、治療を先延ばしするのとおなじです。必要があれば、早めに相談してください 3) 医療従事者には、とくに「自己形成 Bildung」(教養と訳されることが多い)が必要です。様々な分野に興味をもって、人文学や社会科学から幅広く学んでください
授業の質問対応、 連絡先	1) 質問や意見などは、授業終了後なるべく早く申しでてください。授業の進め方などに意見がある場合、それがネガティヴなことであっても、いってくれたほうがありがたいです(意見や助言を成績と関係させることはありえません。) 2) なにか連絡が必要なときは、教務担当の窓口を通してください

講義科目名称: 統計学 授業コード: 12102

英文科目名称: Statistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1,2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
山下 哲平				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10202	1 © 5 ○		1 © 5 ○	

10202		1 0 5 0 1 0 5 0
授業の概要と方法	序盤では統訂	十学の考え方を学び、後半では実例を用いた統計計算の手法の習得を行います。
授業計画	第1回	統計学とは・記述統計学①
		統計学の概念と、なぜ利用されるのかなどを講義します。統計学の2つの主な分野のうち「記述統計学」について説明します。
	第2回	記述統計学②・正規分布の特性
		記述統計学の計算手法に基づいて演習を交えて説明します。統計学の基礎となる正規分布の特性と、z 変換について説明と演習を行います。
	第3回	推計学・母平均の検定
		統計学の2つの主な分野のうち「推計学」の概念について説明します。また、検定手法の基礎と なる母平均の検定について説明と演習を行います。
	第4回	1標本t検定
		関連する2群の差を検定する、パラメトリック手法である1標本 t 検定について説明と演習を行います。
	第5回	1標本Wilcoxon検定
		関連する2群の差を検定する、ノンパラメトリック手法の一つである1標本Wilcoxon検定について説明と演習を行います。
	第6回	2標本t検定•F検定
		独立する2群の差を検定する、パラメトリック手法である2標本 t 検定と、F検定について説明と 演習を行います。
	第7回	Mann−Whitney U検定
		独立する2群の差を検定する、ノンパラメトリック手法の一つであるMann-Whitney U検定について説明と演習を行います。
	第8回	2×2分割表の検定
		2つの要因間の独立性を検定する、2×2分割表の検定について説明と演習を行います。
授業の到達目標		D数理から理解する。 計算手法や検定手法を使用できる。
成績評価の方法		これを100%として評価します。 巨と、配布した資料・書籍・ノートなど紙資料の持ち込みが可能です。
授業外で行うべき	1回目以降の	
学修	この資料をあ	5らかじめ読んでおいてください。(10分程度)
	また、講義で	では演習問題を行いますが、授業後に独力で解けるか確認を行ってください。(15分程度)
使用テキスト	説明資料を西	己付します
参考資料		D基礎 第2版, 市原 清志, 佐藤 正一, 山下 哲平 Rセンター ISBN:489026180X
受講生への要望等		草を使用します。平方根(ルート)が計算でき、表示桁が10桁以上の電卓を用意してください。ま 2付した資料は、その講義以降も使用するため、必ず持参してください。
	統計学は確認さい。	容論を発展させたもので、高校数学A程度の理解力が必要です。講義前までに復習をしておいてくだ
授業の質問対応、 連絡先	t-yamashita	a@ghsj.ac.jp

講義科目名称: 心理学 [授業コード: 12103

英文科目名称: Psychology 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1,2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
梶原 佳子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10203	1 0 2 0		1 0 2 0	

授業の概要と方法

心理学の扱う分野は多岐にわたり、教育・発達から組織・産業など各年代・職場ごとに特有の心理的問題点が存在する。しかし多様な分野において、共通して人々の関心を集め問題となる事項に、人間関係の心理がある。心理学 I では、人間関係をテーマとした心理学の理論と知見について、友人関係や家族関係、性格や自己概念と人間関係との関連、自己開示、人間関係の文化的特徴、リーダーシップや説得的コミュニケーション、集団心理などを学ぶことで、人間理解、特に自己理解を深める。授業では講義およびグループワークによって、心理学の理論と知見を理解するとともに、実践的で体験的な学びを行う。

授業計画

1回目 人間関係はどのようにつくられるか

人間関係がつくられる際に起こりやすい初期の対人認知である印象形成と、きっかけとなりやすい要因としての対人魅力について理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. 印象形成について理解する。
- 2. 対人認知について理解する。
- 3. 対人魅力について理解する。

2回目 人間関係とコミュニケーション

人間関係に欠かすことのできないコミュニケーションについて理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. コミュニケーションとコミュニケーションチャネルについて理解する。
- 2. 言語的・非言語的コミュニケーションについて理解する。
- 3. 自己開示とは何かについて理解する。
- 4. 傾聴のグループワークを行なう。

3回目 人間関係と自己概念

人間関係の中で形成される自己概念および文化的な自己について理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. 人間関係の中で形成される自己概念について理解する。
- 2. 人間関係と自己についての諸理論について理解する。
- 3. 人間関係に影響を与える文化的要因と日本的自己について理解する。

4回目 人間関係と性格

人間関係と性格の関連について理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. 人間関係と性格の関連について理解する。
- 2. 人間関係にかかわる性格の問題について理解する。
- 3. 人間関係にあらわれる性格の特徴についてエゴグラムについて理解する。

5回目 友人関係と恋愛関係

身近で関心の高い人間関係である友人関係と恋愛関係について心理学的な理論と知見の観点から 考え理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. ハイダーのバランス理論からみた人間関係について理解する。
- 2. 友人選択の要因と葛藤について理解する。
- 3. 恋愛関係の進展と嫉妬について理解する。

6回目 家族関係

人間関係の基礎となる家族関係について理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. 親子関係と子どもの性格について理解する。
- 2. 家族の機能と子育てストレスについて理解する。
- 3. 家族システム論からみた家族の人間関係について理解する。

7回目 向社会行動と説得的コミュニケーション

人間関係を進展させる援助的な行動のひとつである向社会的行動と、その対極的な行動である攻撃行動の形成メカニズムについて理解する。また他者の態度を変容させることを目的とした説得

	的コミュニケーションについて理解する。学習目標は以下のとおりである。 向社会的行動と攻撃的行動について理解する。 態度と態度変容について理解する。 説得的コミュニケーションの技法について理解する。 集団での人間関係 集団での人間関係における心理と行動、およびリーダーシップについて理解する。学習目標は以下のとおりである。 リーダーシップのタイプと機能について理解する。 社会的勢力について理解する。 					
	3. 集団が個人に与える影響について理解する。					
授業の到達目標	人間関係の心理学の理論と知見について理解し説明できる。 心理学の研究方法について理解し説明できる。					
成績評価の方法	科目試験80%、授業態度20%の割合で評価を行なう。					
授業外で行うべき 学修	授業中に行なわれる小テスト(自己採点)を復習(30分)して、学習内容の定着をはかる。					
使用テキスト	「ライブラリ 心の世界を学ぶ-6 はじめてふれる人間関係の心理学」榎本博明著 サイエンス社 2018 ISBN-10: 4781914160 ISBN-13: 978-4781914169					
参考資料	授業中に指示する。					
受講生への要望等	私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中入退室は慎むこと。					
授業の質問対応、 連絡先	本科目については、Mellyでの受け付けは行わない。なお、授業内容に関する質問については、授業あるいは補 講の時間内に直接行うこと					

講義科目名称: 運動生理学 授業コード: 10104

英文科目名称: Exercise and Sports Physiology

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		第1学年					
担当教員		71523	1-	202 (173 17)			
清水 正輝							
科目ナンバリング		口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
10204		1 O H2 O		1 O H2 O	鍼灸師 スポーツトレーナー		
授業の概要と方法	運動生理学では生理学や解剖学を基礎として、機能あるいは構造学的変化について体系的に講運動時の筋・神経・呼吸・循環系の生理学的な運動にかかわるヒトの機能やスポーツ・運動に生活の中で役立てることができるようになるこ			に講義を行う。 的な機能及び働きあるいは構 動による身体の変化について	造学的変化について学ぶ。		
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	演習1 運動を実践し 運動と神経 神経のの実 運動を ・ 呼動を ・ 呼動を ・ で 運動を ・ で 運動を ・ で 運動を ・ で で 運動を ・ で で 運動を ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	、身体の適応を神経細胞の構造 神経細胞の構造 、身体の適応を が 循環 か仕組み、呼吸・ の は は は は は は は は は は は は は	き、運動指令の伝達の仕組み、 主理解する。 ・循環の調節、運動による呼吸 主理解する。 レギー供給の仕組み、運動に。	ついて学習する。 神経による筋支配について学習する。 及・循環の適応について学習する。 よるエネルギー代謝の適応について学習		
授業の到達目標	2) 神経と通 3) 呼吸・循 4) エネルキ 5) 運動・ス	かによる適応につ 動による適応に 5環と運動による ニー代謝と運動に スポーツ活動が健	いて説明できる ついて説明でき 適応について訪 よる適応につい まな適応につい ほに及ぼす影響	る。 €る。 兌明できる。	ができる。		
成績評価の方法		び演習活動から終 は、筆記試験0.5					
授業外で行うべき 学修	授業で学習	した内容につい ⁻	て毎回60分間復	習すること。			
使用テキスト	講義時に適	宜、資料を配布	する。				
参考資料	「運動生理	 学:生理学の基例		 まで」 三共出版			
受講生への要望等	演習では、	演習では、運動に適した服装と体育館シューズを持参すること。適切でない服装の場合、演習への出席を認め					
授業の質問対応、 連絡先	講義前後		-				
	sanryous	shi@yahoo.co.j	h				

講義科目名称: 物理学 授業コード: 1S101

英文科目名称: Physics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
前期	第1学年	1	選択必修(両学科)			
担当教員						
辻林 徹						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
10205	1 ©		1 ©			

授業の概要と方法

物理学の中でも、将来、歯科医療に従事する上で必要な、力学、波動、電磁気学の基本的な内容を、講義形式で学修する。基幹となる資料は電子ファイルで見ることができる。高等学校での物理の履修の有無に関わらず、数学が得意であったなら、講義内容を充分、理解することができる。

授業計画

カ学(1)「カとつり合い」

力学は物理学の全ての分野の基本である。本講では、力学の基礎となる力の概念とその表し方について学んだあと、力のつり合い、力の合成と分解について学習する。また、有限の大きさと形をもった物体における力のつり合いを考える際に必要なのが力のモーメントの概念である。その概念について学んだあと、力のモーメントのつり合いの条件について理解する。

- (1) 力とその表し方
- (2) 力のつり合い
- (3) 力の分解・合成
- (4) カのモーメントとそのつり合い

2 カ学(2)「質点の運動」

本講では、大きさと形を無視できる質点の運動について学習する。まず位置・変位、速さ・速度、加速度の概念について学んだあと、力と加速度を結びつける運動方程式(ニュートン力学の第2法則)について学ぶ。さらに、具体的な質点の運動を学ぶ。

- (1) 位置・変位
- (2) 速さ・速度
- (3) 加速度
- (4) 運動方程式・慣性力
- (5) 質点の運動

3 力学(3)「仕事と力学的エネルギー」

エネルギーは物理学において基本的な概念の一つであり、力によって物体を動かす、すなわち「仕事」をする能力のことをいう。力学的エネルギーである位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギーについて学んだあと、重力以外の外力が働かない系では内部にある物体の力学的エネルギーの総量は変わらないという、力学的エネルギー保存則について理解する。

- (1) 仕事
- (2) 位置エネルギー
- (3) 運動エネルギー
- (4) 弾性エネルギー
- (5) 力学的エネルギー保存則

4 力学(4)「運動量と衝突」

自然界は無数の物体が互いに作用しあって、多彩な物理現象を示す。複数の物体間の作用を考える際に、最も基本となるのは2体の衝突である。本講では、衝突を考える際に必要な、運動量の概念を学び、衝突の前後で関係する物体の運動量の総和が不変であるという運動量保存則について学ぶ。また、衝突の前後で力学的エネルギーが保存される場合と、されない場合があることを学び、それが反発係数の値と関係があることを理解する。

(1) 運動量

- (2) 力積
- (3) 衝突と撃力
- (4) 運動量保存則
- (5) 反発係数

5 波動(1)「波の定義と数学的表現」

波とは、物体(粒子)そのものが移動することなく、媒質中を力やエネルギーが伝播するのことをいう。波の概念は、音、光、地震などの、自然界における身近な現象を考えるうえで有用であるばかりでなく、私たちの体の外から内部の様子を調べる医療診断技術に応用されており、その原理を理解するために必要不可欠の概念である。本講では、波の定義と種類について学んだあと、単振動から発する正弦波と、その数学的記述の方法について学習する。

- (1) 波とその種類
- (2) 単振動と波
- (3) 正弦波とその数学的記述

6 波動(2)「波の性質」

波の特性を駆使してあらゆる用途に波を利用している。本講では、その中でも最も基本的な、波の干渉、反射・屈折、回折の現象について学習する。

- (1)波の干渉
- (2) 波の反射・屈折
- (3) 波の回折

7 電磁気学(1)「静電気と電界、電流」

我々は今日の暮らしの中で、照明(光源)、熱源、動力源などとして、様々な形で電気を利用している。また、生体内における神経の伝達は電気現象であり、医療の分野でも、各種の検査装置の原理を理解するうえで、電気に関する知識は必要不可欠である。本講では、まず電気の源である電荷の概念について学び、その運動としての電流、電荷が作る空間の性質としての電場、電場における位置エネルギーとしての電位の概念を、力学における重力場のアナロジーを使って理解する。さらに、電磁気学における運動の法則として、ローレンツ力を力学における運動方程式のアナロジーを使って理解する。

- (1) 電荷
- (2) 電流
- (3) 電場
- (4) 電位
- (5) ローレンツカ

8 電磁気学(2)「電流と磁界、電磁誘導、電磁波」

MRIに代表されるように、磁場を利用した素子や装置は医療の分野でも広く用いられている。本講では、まず磁場の概念を、電場や重力場のアナロジーを使って理解する。次に、電流が磁場を作り(アンペールの法則)、磁場の変化が起電力をもたらす(ファラデーの電磁誘導の法則)というように、電場と磁場が密接に関わっていることを学び、磁石のもとが電子による円電流(スピン)であることを理解する。最後に、電波・光・エックス線などが同じ「電磁波」に属するものであることを知り、その周波数ごとの分類、発生・検出方法や特徴について理解する。

- (1) 磁場
- (2) 電流が作る磁場(アンペールの法則)
- (3) 電磁誘導(ファラデーの法則)
- (4) 電磁波

技業の到達日標	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	液:
	1 224	Set :

ちゃっさい

カ学、波動、電磁気学の基礎的な内容を理解できる。 カ学、波動、電磁気学の基本的な演習問題が解ける。

成績評価の方法 期末試験

期末試験 60%

	小テスト・レポート・受講態度 40%
授業外で行うべき 学修	予習:事前に指定した資料をダウンロードし、読む(30分)。 復習:初めて接した物理学上の用語があれば、自分なりの解説を作る(30分、下記「要望」参照)。
使用テキスト	講義資料を配布する。
参考資料	クイズで学ぶ大学の物理 飽本一裕、講談社ブルーバックス 物理学の基礎 [1]力学、D. ハリディ 他著 大学の物理、木下紀正、裳華房 医歯系の物理学、赤野松太郎・鮎川武二・藤城敏幸・村田浩、東京教学社
受講生への要望等	ノートを用意し、初めて接する物理学上の用語があれば、自分なりの解説を作って下さい。資料等にある例題 の解説(単なる解答ではない。問題の背景も含めたもの。)を作るとこにしてもよい。
授業の質問対応、 連絡先	講義の時間内か終了直後にして下さい。その場で回答が終了しなかったときは、A-portalの「melly」を利用することがあります。

講義科目名称: 化学 授業コード: 1S102

英文科目名称: Chemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
前期	第1学年	1	選択必修(両学科)			
担当教員						
藤原 眞一						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	J連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
10206	1 ©		1 0			

授業の概要と方法

近年の歯科の治療技術あるいは材料の進歩は、化学の発達に伴っている。化学は物質の成り立ちと構造、性質 および変化について原子や分子に着目して調べるとともに、物質を暮らしに安全かつ有意義に役立てることを 目指す学問である。この科目では、人間が元素、原子、分子などの存在を知り、理論・法則を確立していくに は、どのような観察・実験が行われたのか、その経緯を学ぶ。さらに、歯科医療人として必要な糖質・脂質・タンパク質等の生体関連物質の構造や機能などの基礎知識を学習する。

授業計画

1 物質の構造(講義)

- ・原子の構造
- ・混合物と純物質

2 周期表と電子配置(講義)

- ・周期表
- ・電子配置
- ・イオン化エネルギー・電子親和力

3 物質量と化学結合(講義)

- ・原子量と分子量
- ・溶液の濃度
- ・イオン結合,配位結合,金属結合

4 共有結合と有機化合物の構造(講義)

- ・共有結合
- ・混成軌道
- ・有機化合物の構造

5 物質の三態(講義)

・固体,液体,気体の性質

6 腐食と防食(講義)

- ・腐食の原理
- ・防食法

7 生体構成物質(糖質・脂質)(講義)

- ・糖質の構造と機能
- ・脂質の構造と機能

8 生体構成物質(タンパク質・核酸)(講義)

- ・タンパク質 (アミノ酸) の構造と機能
- ・核酸の構造と機能

授業の到達目標

- 1) 原子の構造と電子配置を説明できる。
- 2) 濃度の表し方が説明でき、溶液の濃度が計算できる。
- 3) 化学結合を説明できる。
- 4) 防食法を列挙できる。
- 5) 生体構成物質の構造と機能を説明できる。

成績評価の方法	小テスト 30%、科目試験 60%、授業態度 10%の割合で評価を行う。 毎回講義の最後に小テストを実施する。 小テストの解説は次回の講義の最初に行う。
授業外で行うべき 学修	講義中に、次の講義までに行うべき予習・復習を指示する。 各回予習1時間、復習1時間を目安とします。
使用テキスト	テキストは使用せず、毎回資料を配布する。
参考資料	「最新歯科衛生士教本 化学」 医歯薬出版
受講生への要望等	講義開始時または初期の段階で高校の化学の教科書を読み返しておくと講義が理解しやすくなります。
授業の質問対応、 連絡先	メールアドレス: fujiwara@cc.osaka-dent.ac.jp また、「melly」でも質問等を受け付けます。

講義科目名称: 生物学 授業コード: 1S103

英文科目名称: Biology

開講期間 配当年 単位数 科目必選区分									
前期	第1学年								
旦当教員									
岡村 英幸									
4目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験				
.0207		1 ©		1 ©					
 受業の概要と方法	生会科学公	開かす明性が	ラン東田其礎科		 うに、生物学・生命科学の基本知識を				
又未り似安とガム									
	理解・習得することを目標とし、主に「細胞の構造と機能」、「人体の成り立ち」、「遺伝子の働き」などを中心に学習する。合わせて二週目の講義以降実施される小テストで理解度を確認する。								
₩=1 =					<u> </u>				
受業計画	1		本を構成する物質	貝					
		(講義)	-55 - ++	nt-con					
		•	7質の基本構造と	1符(数)					
		•	基本構造と特徴 まの甚ま様は 15時	E-444-					
		3)リン脂質	の基本構造と特	子 倒					
		「無羊1吉 ・	大細いの様件し	 					
	2,3		核細胞の構造と	10度月已					
		(講義)		III - III - I					
		•		7イルスの共通点・相違点					
		•)構造と機能 3の主要も細胞は						
		•		引小器官の特徴と機能					
		4)細胞内吗	F-VX						
	/ 『業業】細胞八列し配用フルボ								
	4 【講義】細胞分裂と配偶子形成								
	1)真核細胞の体細胞分裂の過程								
	2)減数分裂の過程と配偶子形成の特徴 3)細胞周期								
		3 /中国の区/可来が	J						
	5,6	【藩義】清4	にと遺伝子						
	3,0								
		(講義) 1)遺伝子とはなにかを概説							
			こはなにがで悩む 5則と遺伝子	ī.					
		3)セントラ							
		•	/ルトン < 長患のメカニズ <i>L</i>	\					
		1)21212/2		•					
	7	【讃義】咎	惟動物の発生						
	,	(講義)							
)胚発生過程						
		•	組織・器官						
		3)発生と再							
		0)/022	3						
	8	【講義】環境	境への応答と恒常	常性					
		(講義)							
			とはなにかを概説	.					
		2)内分泌系		=					
		3)神経系							
		4)免疫系							
		,							

	多数の細胞から構成される動物の体の構造の特徴と発生過程が概説できる。 遺伝子および染色体の構造上の特徴と発現機構が説明できる。 遺伝現象の仕組みが概説できる。
成績評価の方法	科目試験、小テスト、授業態度等をふまえ総合的に評価する。評価の比率は科目試験80%、小テスト・受講態度等を合わせた平常点20%とする。なお小テストは授業最終回もしくは定期試験前の適切な時期に返却し、補講時に内容の解説を行います。
授業外で行うべき 学修	翌週実施される小テストへの準備も兼ねて講義毎の復習を30分~1時間程度行うこと。講義内容で理解できない部分は担当教員に質問をしてください。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本「生物学」 医歯薬出版
参考資料	サイエンスビュー生物総合資料 実教出版 他
受講生への要望等	復習により講義内容の理解を万全の物とすること。内容の理解に困難を覚える場合は休憩時間、放課後等に担 当教員に質問し、定期試験までに解らない点を必ず解消すること。
授業の質問対応、 連絡先	講義担当者メールアドレス: okamura@cc.osaka-dent.ac.jpへのメール、あるいは授業用SNS「melly」への投稿。 模葉学舎1号館5階、生物学教室まで直接訪問も可(ただし上記メール・SNSにて事前にアポイントを取って下さい)

講義科目名称: 造形美術学概論 授業コード: 1K101

英文科目名称: Introduction to Formative Arts

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
前期		第1学年	1	必修 (工学)				
担当教員				,				
井上 よう子								
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
10208				1 © E1 O	画家・芸術修士			
授業の概要と方法	る。したが は、造形美 成する。ま	って、口腔内 術の概念、対 た、主に顔貌	装置の製作には 象の把握、形状 と歯を対象とし	造形美術の概念が重要であり、 なと色彩およびそれらを統合した	美性の改善は主要な目的の一つであ 製作技法の基本となる。この科目で 把握と表現を学習して、美的感覚を養 純な基本形態のスケッチやカービング			
授業計画	1-2	基本形態	の捉え方、描き	方を学ぶ				
		, ,		本となる、立方体・円柱・円錐・ 態を鉛筆デッサンにて描き起こす	・球のとらえ方を講義と図解説明。 す。			
	3-4	基本形態	のとらえ方描きブ	ちを応用し、歯型模型をデッサン				
		, ,		形態の組合さった物としてとらえ 明度」を考察し、立体感を描き出				
	 5-6 色の三属性(明度・色相・彩度)を学び、認識した上で、顔を立体描写(カービング)							
	1 (講義) 色の三属性の知識と、それを生かす造形について考える。 2 (演習) 顔の立体描写 – カービング (骨格を考えて形を捉える。その上に施す色についても同時に考察していく)							
	7-8 色の三属性の知識を生かし彩色 1 (演習) 明度・彩度・色相を考えての色づくり。 2 (演習) 人体の色を作り出し彩色。顔の立体描写を完成させる。							
授業の到達目標	1. 自然界と人工的な美しさについて、基本的形態の概念から説明できる。 2. 歯の形態を把握し、明度・立体感、組織構造を説明できる。 3. 歯の形態・顎顔面の形態を描写できる。 4. 色の三属性と歯の色彩との関係を説明できる。							
成績評価の方法	1回の授業	 ごとの提出物	(2コマ×4回					
	 (1回の授業ごとの提出物(2コマ×4回の授業) 1. 基本形態のデッサン(形の把握の仕方が理解できているか) 2. 歯型模型のデッサン(明度を考慮できたか) 3. 顔の立体描写 – カービング(骨格を考えて作れたか) 4. 顔の描写への着彩(色の三属性を理解し色を作れたか) それぞれを評価した上での総合評価とする。(4課題の割合は各25%) 							
					明示学出ナルナノフ			
授業外で行うべき 学修				√・立体造形・着彩は、授業外時 ○中でも行う。(1日1時間以上)				
使用テキスト	なし。基本	形態の描き方	や、色彩の三属	性の基本・ポイントなど、適宜:	プリント配布。			
参考資料	「歯科技工	士教本 造形	美術概論」	医歯薬出版				
受講生への要望等		は2コマ×4回なので、時間の足りない分は補うようにして(課題以外にもデッサン・クロッキー 習得した事を深め身に付ける努力を。						
授業の質問対応、 連絡先	授業内に質問は対応するが、授業時間外に質問や連絡事項があblue.yoko.ocean@gmail.com				、下記へメール。			

講義科目名称: 情報科学 I 授業コード: 10106

英文科目名称: Information Science 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	2	必修(両学科)	
担当教員				
飯田 慈子、野村 孝久				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10301	1 0 4 0 5 0		1 0 4 0 5 0	

授業の概要と方法

大学での学修にコンピュータの利用は不可欠である。この科目では、今日のネットワーク社会の特徴を利用者の立場から捉えた後、コンピュータを使った説得力のある文書作成やプレゼンの技法を講義と演習を通じて修得する。

演習には各人専用のパソコンを使用する。

授業計画

1 情報倫理とファイル操作

授業の形態:演習形式

1 キーボードからの入力は業務上必須であるため、速やかに入力ができるようになるようタッチタイプの練習を毎回行う。

2 社会人として、医療人として、適切な情報倫理感を醸成する。 3 レポートなどのファイルを利用してファイル操作を習得する。

2 **ネットワーク**

授業の形態:演習形式

1 タッチタイプ

2 Internet、LANといったネットワーク上の住所がIPアドレスまたはURLであり、ネットワーク上にある情報を閲覧するソフトがbrowserである。これを用いた情報検索の方法に習熟する。

3 メールと他の情報伝達ツールによる文書作法

授業の形態:演習形式

1 タッチタイプ

2 人間同士のコミュニケーションに通常使用されるのが自然言語である。それは、使われる環境によって文体や作法を変化させなければならないことを認識する。

4 **ビジネス文書の作法**

授業の形態:演習形式

1 タッチタイプと罫線処理

2 業務上の情報伝達用文書の約束事を知り、自ら作成できるようになる。前回の演習内容と合わせ、読む人を思い浮かべ、文体などに注意しながら書くことができる。

5 文書構造の組み立て

授業の形態:演習形式

1 タッチタイプと図形描画

2 レポートに必要な文書構造の組み立てについて学ぶ。

6 プレゼンテーション

授業の形態:演習形式

1 タッチタイプ

2 プレゼンテーションツールの基本操作を習得する。

7 伝わる発表の技法

授業の形態:演習形式

1 タッチタイプ

2 プレゼンテーションの対象をふまえたプレゼンテーションの作成

	8 総合演習
	授業の形態: 演習形式
	1 タッチタイプ
	2 タッチタイプトレーニング報告書の作成
授業の到達目標	医療人として必要な情報倫理感を持つ。
	情報機器がつながるネットワークの概要を理解できる。
	情報機器を利用して説得力のあるレポートの作成やプレゼンができる。
	インターネット上の情報を収集し、適切な基準による取捨選択ができる。
成績評価の方法	単位試験を受験した者に以下の割合で評価する。
	演習時の提出課題(80%)(欠席したときの課題だけの提出は原則として認めない。)
	単位試験(20%)
授業外で行うべき	予習:予習:Merryで案内された内容を確認の上、テキストの該当箇所を確認すること(5分程度)。
学修	復習:演習時間中に終了しなかった課題は、その日のうちに必ず電子提出すること(各自の技量に応じた時間)。
使用テキスト	「Office2016 & 情報モラル」 noa出版
参考資料	「情報とネットワーク社会」 オーム社
受講生への要望等	パソコンは大学から貸与の物を持参すること。
	パソコンの充電を済ませておくこと。
	必要に応じて紙のテキストを持参すること。
授業の質問対応、	Merryで受け付けます。担当大学が複数あるので、お返事が遅れることや見落とすことがあります。よって、で
連絡先	きるだけ質問や要望などは対面で申し出てください。

講義科目名称:情報科学Ⅱ 授業コード: 10201

英文科目名称: Information Science 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	2	必修(両学科)	
担当教員				
飯田 慈子、野村 孝久				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10302	1 0 4 0 5 0)	1 0 4 0 5 0	

授業の概要と方法 大学での学修にコンピュータの利用は不可欠である。この科目では、コンピュータを使った数値や文字からな るデータの処理の基本を講義と演習を通じて修得する。 演習には各人専用のパソコンを使用する。 1 数式の扱いと数値の可視化 授業計画 授業の形態:演習形式 1 数式の利用(相対参照と絶対参照) 2 グラフの種類と作成 3 独習課題 関数を利用したデータ処理(1) 2 授業の形態:演習形式 1 関数の利用 合計、平均、最大最小、順位 関数を利用したデータ処理(2) 3 授業の形態:演習形式 1 関数の利用 判定を行う、データの件数を数える 2 独習課題 関数を利用したデータ処理(3) 授業の形態:演習形式 1 関数の利用 数値の加工、日付時刻の扱い、複雑な判定を行う 2 アルゴリズムについて 3 独習課題 基礎統計量の算出 5 授業の形態:演習形式 1 関数の利用 データベース関数、統計用関数 2 グラフ機能を利用した分析 散布図と単回帰分析 データベースを扱う 6 授業の形態:演習形式 1 データベース機能の利用 オートフィルタ、条件の設定

2 ピボットテーブルの操作

Excel上の検定 7

授業の形態:演習形式

1 検定用ツールを利用し傾向をつかむ

1-1 朝食摂取状況についての大まかな傾向をつかむ

	1-2 年齢によって朝食を抜く回数に傾向があるのか
	1-3 若い人ほど朝食を抜く傾向があるのは本当か
	1-4 性別の違いによって朝食を抜く回数に差はあるのか
	8 総合演習
	授業の形態: 演習形式
	1 検定用ツールを利用し傾向をつかむ(前回の残り)
	1-1 朝食摂取状況についての大まかな傾向をつかむ
	1-2 年齢によって朝食を抜く回数に傾向があるのか
	1-3 若い人ほど朝食を抜く傾向があるのは本当か
	1-4 性別の違いによって朝食を抜く回数に差はあるのか
	2 処理結果を考察し、レポートを作成する
授業の到達目標	表計算ソフトを使って、数値データの分析ができる。
	一連の操作手順を図示化(フローチャートの利用)することができる。
成績評価の方法	単位試験を受験した者に以下の割合で評価する。
	講義・演習時の提出課題(80%)(欠席したときの課題だけの提出は原則として認めない)
	試験(20%)
授業外で行うべき	予習: Merryで案内された内容を確認の上、テキストの該当箇所を確認すること(5分程度)。
学修	・ 復習:独習課題の案内にしたがって、演習を行い提出すること(各自の義領に応じた時間)。
使用テキスト	「30時間アカデミック 情報活用 Excel2016/2013 」 実教出版
参考資料	「手順通りに操作するだけ! Excel基本&時短ワザ[完全版] 仕事を一瞬で終わらせる 基本から応用まで 176のワ
	ザ」 SBクリエイティブ
受講生への要望等	パソコンは大学から貸与の物を持参すること。
	パソコンの充電を済ませておくこと。
	主にエクセルの操作になるので、できるだけマウスを準備すること。
授業の質問対応、	Merryで受け付けます。担当大学が複数あるので、お返事が遅れることや見落とすことがあります。よって、で
連絡先	きるだけ質問や要望などは対面で申し出てください。

講義科目名称: **英語** 授業コード: 1S301

英文科目名称: English

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
前期・後期	第1学年	2	選択必修 (両学科)				
担当教員							
藤田 淳一、岡 隼人							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
10401	1 ○ 5 ◎		1 ○ 5 ◎				

10401		1 0 5 0 1 0 5 0
	テキスト	
	す。	
	1	Session 1
		★ Introduction and treatment procedures
	2	Session 2
		★ General Terms
		★ Calling, guiding, and some small talk
	3	Session 3
		★ Parts of the Mouth
	4	Session 4
		★ Interview
	5	Session 5
		★ Interview 2
		★ Basic procedures
	6	Sesson 6
		★ Examination
		★ Oral care interview
	7	Session 7
		(1) FIS参加
	8	Session 8
		Review
	9	Examination(中間試験)
		Examination (中間試験)
	10	Session 9
		★ Diagnosis
		★ Stain Removal
	11	Session10
		★ Treatment Procedures 2
	1.0	★ Fluoride application
	12	Session 11
		★ Treating cavities★ Brushing instructions
	13	Session 12
	13	★ Prosthetics
		★ Prostrictics ★ Post tooth extraction
	14	Session 13
	- '	★ Gum trouble / gum disease
		★ chair-side (subject to schedule changes)
	15	Session 14
		★ Oral Care Habits
		★ chair-side (subject to schedule changes)
	16	Session 15

	★ Giving Advice ★ chair-side (subject to schedule changes) 17 Session 16 Review 18 Examination (期末試験)			
	Examination (期末試験)			
授業の到達目標	外国人患者への対応に必要な英語を身につけることができる。			
成績評価の方法	考査得点70%、受講態度30%			
授業外で行うべき 学修	テキスト中の動画を見て予習と復習を行うこと。これを毎回30分程度行うこと。			
使用テキスト	Basic Dental Vocabulary For Use(改訂版) 藤田 淳一 他著 金芳堂 ロールプレイでわかる歯科英語:17シーンで鍛える表現力 岡 隼人他著 浪速社			
参考資料	The First Step for Studying Abroad 佐野仁志 他著 英宝社			
受講生への要望等	ペアワークをよく行うため積極的な授業態度を期待する。			
授業の質問対応、 連絡先	出校日以外はメールにて対応。 fujita-j@cc.osaka-dent.ac.jp oka-h@cc.osaka-dent.ac.jp			

講義科目名称: 中国語 授業コード: 1S303

英文科目名称: Chinese

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
前期・後期	第1学年	2	選択必修(両学科)				
担当教員	担当教員						
張 麗静							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
10402	1 0 5 0		1 0 5 0	博士号取得(文学)			

授業の概要と方法 学生がピンイン符号による発音を練習する。 学生が中国語の基礎的な会話力・詩解力を身につけるため、教科書を使い、

学生が中国語の基礎的な会話力・読解力を身につけるため、教科書を使い、中国語の発音や基礎文法について説明し、学生に多読、文法学習、挨拶練習をさせる。

この授業は単なる語学力の養成だけではなく、学生が中国文化を理解する上での土台作りも目的としており、 将来、社会生活や職場などにおいても役に立つこととなるはずである。

- ①中国語の声調とピンインについて説明する。
- ②学生がピンイン符号による母音の発音と書く練習をする。

2 講義:中国語概説・発音編(四声・母音・子音)②

- ①学生がピンイン符号による子音の発音と書く練習をする。
- ②学生が簡単な挨拶の言葉の発音を練習する。

3 講義:第1課 校門で

- ①文法(人称代名詞/動詞"是"を使った文/一般疑問文)について説明し、本文を解読する。
- ②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。

4 講義:第2課 廊下で

- ①文法(動詞述語文/疑問疑問文/省略疑問文)について説明し、本文を解読する。
- ②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。

5 講義:第3課 キャンバスで

- ①文法(指示代名詞/形容詞述語文/"~的"/語気助詞)について説明し、本文を解読する。
- ②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。

6 講義:第4課 携帯を見なから

- ①文法(所有を表わす"有"/反復疑問文/数詞)について説明し、本文を解読する。
- ②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。

7 講義:復習1 自己紹介

- ①第1課から第4課までの文法の総合復習。
- ②学生が本文を朗読してから、各自で自己紹介を練習する。

8 講義:第5課 学生食堂で

①文法(場所を表わす代名詞/存在を表わす"有"/副詞"也"と"都"/二重目的語文)について説明し、本文を解読する。

②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。

前期試験

9 講義:第6課 王先生の研究室で

①文法(動詞"在"/動詞の重ね型/時を表わす語の位置)について説明し、本文を解読する。 ②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。

	10	講義:第7課 コンピにで
		①文法(量詞/実現・完了を表わす"了"/助動詞"想")について説明し、本文を解読する。
		②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。
	11	講義:第8課 バス停で
		①文法(連動文/前置詞"在"/時刻の言い方/"是"の省略)について説明し、本文を解読する。
		②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。
	12	講義:復習2 鈴木君の一日
	12	①第5課から第8課までの文法の総合復習。
		②学生が本文を朗読する。
		=# +# Ar-\== 1L== 44
	13	講義:第9課 放課後
		①文法(助動詞"会"・"能"・"可以"/前置詞/主述述語文)について説明し、本文を解読する。 ②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。
	14	講義:第10課 卓球の中継を見ながら
		①文法(様態補語/経験を表わす文/比較を表わす"比")について説明し、本文を解読する。
		②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。
	15	講義:第11課 ディズニーランドで待ち合わせ
		①文法(進行を表わす"在"/方向補語/選択疑問文)について説明し、本文を解読する。
		②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。
	16	講義:第12課 カフェテラスで
		①文法("是~的"の文/結果補語/時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置)について説明
		し、本文を解読する。
		②学生が本文の会話を朗読してから、練習問題を完成する。
		後期試験
授業の到達目標 	*	国語の正確な発音を習得し、既習単語のピンインと中国語簡体字が書ける。 整文法を正しく理解し、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話のやりとりができる。
		主文法を正して達解し、挟みで自己相力なこの簡単な古帯芸品のでうこうができる。 国文化に接する基本姿勢を身につける。
成績評価の方法	期末テスト50)%、小テストや提出物など20%、出席や授業態度など30%。
授業外で行うべき 学修	毎回、授業内	容の予習・復習、課題に積極的に取り組むこと。学習時間:30分~1時間
使用テキスト	『はじめまし 978-4-560-0	て!中国語』 喜多山 幸子、鄭 幸枝 白水社著 2009年3月10日第1刷 ISBN: 06921-9
参考資料	Why?に答え	る はじめての中国語の文法書 新定版 相原 茂 石田知子 戸沼市子 同学社
受講生への要望等	中国語の発音	は「体」で覚える必要があるので、口を大きく動かして発音を練習することを心がけよう。
授業の質問対応、	放課後、授業	に関する質問があれば、私のアドレス:lijingzhang@hotmail.co.jpまでご連絡ください。

連絡先

講義科目名称: 英語コミュニケーション 授業コード: 20101

英文科目名称: Communication in English

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
前期	第2学年	1	必修(両学科)				
担当教員							
藤田 淳一、岡 隼人							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
10403	1 ○ 5 ◎		1 ○ 5 ◎				

Introduction and How to	ます。授業ではペアやグループで練習をします。
4 1	
1. Lesson 0 (講義)	
英語的な論旨の進め方につい	
_	ne station to the dental clinic (演習)
Process Writing (手順の説明 セイを書く。	引)について学び、「駅から歯科医院までの道順」について英語エッ
How to	
	rush your teeth (演習) 。「歯の磨き方」について英語でプレゼンテーションを行う。
Cause and effect	
	l breath (講義・演習) び、「口臭の原因」について英語エッセイを書く。
Cause and Effect	
1. プレゼン練習:The cause	es of tooth stains (演習)
	習する。「着色の原因」について英語でプレゼンテーションを行
Definitions	
1. 作文: Definition of a bea	autiful smile (講義・演習)
定義づけによる説明の仕方を	学び、「美しい笑顔とは」について英語エッセイを書く。
Comparison and contrast	
	etween dental schools of Japan and Australia(講義・演習) 、「日本とオーストラリアの歯学部の違い」について英語エッセイ
Comparison and contrast	
比較による説明を口頭で練習	rences between metal crowns and ceramic crowns (演習) する。「メタルクラウンとセラミッククラウンの違い」について英 う。
Classification	
1. 作文: Classification of c	linical departments (講義・演習)
分類による説明の仕方を学び	、「臨床科の分類」について英語エッセイを書く。
語で簡単なプレゼンテーションができる。	
查得点70% 受講態度30%	
キストのQRコードで動画見て30分程度の	予習及び復習をすること。
	える表現力」 浪速社 2019 (ISBN978-4-88854-521-1)
ロールプレイングでわかる歯科英語 – 10:	シーンで鍛える表現力」 浪速社 2019
·	への対応をロールプレイングで練習します。2年次から初めて英語 学生は昨年度使用したテキストを持参してください。
U	
15 F T T T T T T T T T	2. 作文: How to go from the Process writing (手順の説明 セイを書く。 How to 1. プレゼン練習: How to br 手順の説明を口頭で練習する Cause and effect 1. 作文: The causes of back 原因と結果の説明の仕方を学 Cause and Effect 1. プレゼン練習: The cause 原因と結果の説明を口頭で練 う。 Definitions 1. 作文: Definition of a beck 定義づけによる説明の仕方を Comparison and contrast 1. 作文: The differences be 比較による説明の仕方を学びを書く。 Comparison and contrast 1. プレゼン練習: The differences be 比較による説明を口頭で練習 語でプレゼンテーションを行 Classification 1. 作文: Classification of c 分類による説明の仕方を学び 交話で簡単なプレゼンテーションができる。 で 高音信用の 受講態度30% 中キストのQRコードで動画見て30分程度の 「動画でわかる歯科英語ー16レッスンで鍛: 英語による患者への説明を学びます。

受講生への要望等	積極性が大事です。
授業の質問対応、	歯学部英語教室まで。
連絡先	

講義科目名称: 歯学英語 授業コード: 20201

英文科目名称: Dental English

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
後期	第2学年	1	必修(両学科)				
担当教員	担当教員						
本田 義知							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
10404	1 🛛 5 🔾		1 💿 5 🔾	歯科医師、再生医療認定医			

授業の概要と方法 本授業では、歯科関係の基本的な英単語の習得を基本とする。更に、教科書、動画、相互実習を通じて、簡単 な英語表現を覚え、臨床で役立つ実践的な英語力の基礎を身につける。 歯学英語の基礎① 授業計画 1 歯科英単語の学習 (講義・実習) 英文法の学習 ヒアリング学習 動画を用いた相互実習 歯学英語の基礎② 2 歯科英単語の学習 (講義・実習) 英文法の学習 ヒアリング学習 動画を用いた相互実習 歯学英語の基礎③ 3 歯科英単語の学習 (講義・実習) 英文法の学習 ヒアリング学習 動画を用いた相互実習 歯学英語の基礎(4) 4 歯科英単語の学習 (講義・実習) 英文法の学習 ヒアリング学習 動画を用いたディクテーション・相互実習 歯学英語の基礎⑤ 5 歯科英単語の学習 (講義・実習) 英文法の学習 ヒアリング学習 動画を用いたディクテーション・相互実習 6 歯学英語の基礎⑥ 歯科英単語の学習 (講義・実習) 英文法の学習 ヒアリング学習 動画を用いたディクテーション・相互実習 歯学英語の基礎⑦ 7 歯科英単語の学習 (講義・実習) 英文法の学習 ヒアリング学習 動画を用いたディクテーション・相互実習

	W#=7 &###</th></tr><tr><td></td><td> 8 歯学英語の基礎®</td></tr><tr><td></td><td>歯科英単語の学習</td></tr><tr><td></td><td>(講義・実習)</td></tr><tr><td></td><td>英文法の学習</td></tr><tr><td></td><td>ヒアリング学習</td></tr><tr><td></td><td>動画を用いたディクテーション・相互実習</td></tr><tr><td></td><td>9 補講</td></tr><tr><td></td><td>復習</td></tr><tr><td>授業の到達目標</td><td>基礎的な歯科単語を使用出来る。</td></tr><tr><td></td><td>基礎的な歯科関連表現を使用出来る。</td></tr><tr><td>成績評価の方法</td><td>試験と、授業での習得度、授業態度を総合的に判断する。</td></tr><tr><td></td><td>評価の比率は、単位試験 80%、授業態度20%とする。</td></tr><tr><td>授業外で行うべき</td><td>後で単語を復習。(目安時間:15分~30分)</td></tr><tr><td>学修</td><td>英単語学習や、映画DVDの視聴など英語に触れる。</td></tr><tr><td></td><td>(目安時間:15分~1時間)</td></tr><tr><td>使用テキスト</td><td>・まずはこれから歯科英単語99</td></tr><tr><td></td><td>著者名:益野一哉・本田義知・藤田淳一</td></tr><tr><td></td><td>シエン社</td></tr><tr><td></td><td>出版年:2018</td></tr><tr><td></td><td>ISBN: 978-4-8160-1346-1</td></tr><tr><td></td><td>単語を繰り返し学習</td></tr><tr><td></td><td> ・動画でわかる歯科英語</td></tr><tr><td></td><td> 藤田淳一、岡隼人、安東大器、岡村友玄、吉川美弘</td></tr><tr><td></td><td>浪速社</td></tr><tr><td></td><td>出版年: 2019</td></tr><tr><td></td><td>ISBN: 978-4-88854-521-1</td></tr><tr><td></td><td>ヒアリングに使用。</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td> 基本教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。</td></tr><tr><td></td><td>他:必要に応じて配布資料を用いて授業を行う。</td></tr><tr><td>参考資料</td><td> 歯科用英語ハンドブックー即戦力のトレーニングー(医学情報社)</td></tr><tr><td></td><td>監修 下野正基</td></tr><tr><td></td><td>著者名: 佐野さつき 他</td></tr><tr><td>受講生への要望等</td><td>歯学英語の基本的な授業なので気楽に受けてください。</td></tr><tr><td>授業の質問対応、</td><td>質問は、授業後に受け付けます。</td></tr><tr><td>連絡先</td><td></td></tr><tr><td></td><td>·</td></tr></tbody></table>
--	--

講義科目名称: 解剖組織学 授業コード: 10107

英文科目名称: Anatomy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	2	必修 (両学科)	
担当教員				
戸田 伊紀、上村 守、川島 渉				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20501	1 © H1 O		1 © E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

概要:人体解剖学は医学の全ての学問の最も基礎となる学問で、身体の構造を学ぶ学問である。その対象はヒトである。解剖学には臨床の場と同じように生身の身体を対象とする「肉眼解剖学」と、より細かなところの構造を顕微鏡を用いて観察する「顕微解剖学=組織学」とがあり、一般に解剖学と言えば前者をさす。口腔を含む顎顔面部は独立して存在するのではなく、全身の一部であり、全身と深く関わりをもっている。歯科領域に現れる疾患の多くも同様に全身状態と関わっている。解剖学と組織学の両者について学修する解剖組織学においては、歯を除く顎顔面部を主体にヒトの「からだ」の構造とその微細構造について学ぶ。

授業計画

1,2 人体解剖学総論ならびに発生学総論

人体解剖学総論(講義)

学問的位置づけ: 医学における解剖・組織学の位置づけが理解できる。

生命科学としての解剖・組織学の位置づけが理解できる。

人体解剖学用語:身体の位置用語と方向用語を理解できる。

人体発生学総論 (講義)

二胚葉性層盤:受精から着床までを説明できる。

三胚葉性層盤:外胚葉・中胚葉・内胚葉由来の組織が判別できる。 鰓弓と鰓弓由来の器官:鰓弓由来の組織・器官が説明できる。

3,4 組織学

組織学総論 (講義)

四大組織について特徴を説明できる。

組織学各論(講義)

上皮組織:上皮組織の特徴について説明できる。 支持組織:支持組織の特徴について説明できる。 筋組織:筋組織の特徴について説明できる。 神経組織:神経組織の特徴について説明できる。

5,6 **骨格系(その1)**

骨学総論 (講義)

骨の分類、構造、連結について説明できる。

骨学各論 (講義)

体幹の骨:体幹を構成する骨名と個数がわかる。 脳頭蓋:脳頭蓋を構成する骨名と外形を説明できる。 蝶形骨、側頭骨の各部位名と外形を説明できる。

内・外頭蓋底にみられる骨の裂孔名について説明できる。

7,8 骨格系(その2)

骨学各論 (講義)

顔面頭蓋:顔面頭蓋について骨名と外形を説明できる。

下顎骨、上顎骨の各部位名と形状を説明できる。

顎関節や骨口蓋の構成について説明できる。

胴骨:脊柱、椎骨について説明できる。

体肢の骨:上肢の骨、下肢の骨の名称がわかる。

9,10 筋系

筋学総論 (講義)

筋の一般性状、分類、補助装置について説明できる。

筋学各論 (講義)

体幹の筋:頭部の筋:表情筋について特徴を説明できる。

咀嚼筋について特徴を説明できる。

頸部の筋:前頸筋について特徴を説明できる。

体肢の筋:胸部・腹部の筋の名称がわかる。

背部・骨盤・体肢の筋の名称がわかる。

11,12 内臓系 (その1)

内臓系総論 (講義)

中腔性臓器、実質性臓器の説明ができる。

消化器系 (講義)

消化管管壁ならびに口腔粘膜の一般構造が説明できる。

口腔・舌・口蓋・口底の口腔各部の構造が説明できる。

唾液腺について説明できる。

口峡、咽頭の説明ができる。

食道、胃、小腸、大腸について説明ができる。

肝臓、膵臓の構造が説明できる。

13,14 内臓系 (その2)

呼吸器系 (講義)

鼻腔、喉頭、気管、気管支、肺の構造が説明できる。

泌尿器系、生殖器系、内分泌腺、その他(講義)

泌尿器系、生殖器系、内分泌腺について説明できる。

15,16 骨学実習(楠葉学舎第1実習室で行う)

骨学実習(実習)

ヒトの頭蓋を用い、頭蓋各部を観察し、レポートを作成する。

17,18 人体解剖学実習(見学実習)(楠葉学舎第1実習室で行う)

人体解剖学(遺体)実習(実習)

講義で身につけた人体についての知識を、実物の人体を用いて再確認する。

19,20 脈管系

脈管系総論 (講義)

動脈、静脈、毛細血管について説明できる。

脈管系各論 (講義)

心臓:心臓について説明できる。

動脈系:全身ならびに頭頸部の動脈の分布について説明できる。

静脈系:全身ならびに頭頸部の静脈の分布について説明できる。

リンパ系:全身ならびに頭頸部のリンパ節、リンパ系について説明できる。

21,22 組織学(顕微鏡)実習(楠葉学舎第4実習室で行う)

組織学(顕微鏡)実習(実習)

人体各部の組織切片標本を光学顕微鏡を用いて観察し、レポートを作成する。

23,24 神経系

神経系総論 (講義)

神経系の定義について説明できる。

神経系各論 (講義)

中枢神経系:脳と脊髄について説明できる。

25,26 神経系各論 末梢神経系(脳神経)

末梢神経系 (講義)

脳神経をすべて列挙できる。

三叉神経、顔面神経、舌咽神経、舌下神経について分枝と作用を説明できる。

27,28 神経系各論 末梢神経系(脊髄神経)

末梢神経系 (講義)

脊髄神経について説明できる。

自律神経について説明できる。

29,30 感覚器系

感覚器系 (講義)

視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、その他について説明できる。

授業の到達目標

医学の基礎となる解剖学、組織学について理解する。

- 1)医学における解剖学、組織学の位置づけを理解できる。
- 2)四大組織の特徴を理解できる。

	3)頭頸部および全身の骨について理解できる。			
	4)頭頸部および全身の筋について理解できる。			
	5)消化器系の構造および機能が理解できる。			
	6)呼吸器系の構造および機能が理解できる。			
	7)泌尿器系、生殖器系、内分泌系の構造および機能が理解できる。			
	8)頭頸部および全身の脈管について理解できる。			
	9)頭頸部および全身の神経について理解できる。			
成績評価の方法	随時 小テストを行う。			
	骨レポート 10点			
	組織レポート 10点			
	小テスト 20点			
	本試験 60点			
授業外で行うべき 学修	講義以外に、骨学実習および組織学(顕微鏡)実習を2コマずつ行います。実習では課題を与え、レポートの提出を求めるため、実習前にそれぞれ1時間程度復習をしてから実習に臨んでください。 人体解剖学(遺体)実習については、実際に人体の構造を観察できる貴重な機会ですので、事前に講義の総復習を十分行っておいてください。			
使用テキスト	学生のための解剖・組織・発生学 医歯薬出版			
参考資料	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版 最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 医歯薬出版 分担解剖学:1、2、3巻 金原出版 解剖学カラーアトラス 医学書院			
受講生への要望等	骨実習、組織学(顕微鏡)実習、人体解剖学(遺体)実習については、楠葉学舎での実習室の都合から、随時、講義と入れ替えて行うので、時間割の変更について、掲示板に注意するよう要望する。			
授業の質問対応、 連絡先	質問などの連絡は、講義用SNS『melly』でお願いします。 在室時にも対応します。			

講義科目名称: 口腔組織・発生学 授業コード: 10202

英文科目名称: Oral Histology / Embryology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第1学年	1	必修(両学科)		
担当教員					
中塚 美智子、和唐 雅博					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20502	1 © H1 O		1 © E1 O	歯科医師	

授業の概要と方法

口腔組織・発生学では、正常な歯系組織の微細構造について理解するため、ヒトの歯や歯周組織の構造、発生 過程などについて学びます。また近年歯の再生、インプラントを中心として歯科界では様々な研究が進んでお り、治療の幅が拡大しつつあります。これら最新の研究および治療にも対応することができる人材の育成を目 指し、従来の基礎知識中心の講義のみならず、最近の歯科分野の研究と関連した内容についても折に触れて学 習します。

ICTを活用した双方向型授業や自主学習支援を行うとともに、講義および演習によって学びます。

授業計画

1-2 歯の組織概説、エナメル質の構造および特徴、機能

講義(ICT:画像投影)

歯の組織について簡単に説明できる。

エナメル質の性質、組織構造について説明できる。 予習:教科書「エナメル質」の項を読む(約30分)

復習:「エナメル質」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間)

3-4 象牙質歯髄複合体の構造および特徴、機能

講義(ICT:画像投影)

象牙質歯髄複合体の性質、組織構造について説明できる。 予習:教科書「象牙質歯髄複合体」の項を読む(約30分)

復習:「象牙質歯髄複合体」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間)

5 セメント質の構造および特徴、機能

講義(ICT:画像投影)

セメント質の機能、組織学的構造について説明できる。

予習: 教科書「セメント質」の項を読む(約30分)

復習:「セメント質」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間)

6 歯槽骨の構造および特徴、機能

講義(ICT:画像投影)

歯槽骨の機能、組織学的構造について説明できる。

予習: 教科書「歯槽骨」の項を読む(約30分)

復習:「歯槽骨」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間)

7 歯根膜の構造および特徴、機能

講義(ICT:画像投影)

歯根膜の組織学的構造について説明できる。 歯根膜の特徴および機能について説明できる。

8 口腔粘膜の構造および特徴、機能

講義(ICT:画像投影)

口腔粘膜の組織学的構造について説明できる。

口腔粘膜の特徴および機能について説明できる。

予習: 教科書「口腔粘膜」の項を読む(約30分)

復習:「口腔粘膜」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間)

9-10 歯肉の構造および特徴、機能

講義(ICT:画像投影)

歯肉の組織学的構造について説明できる。

歯肉の特徴および機能について説明できる。

予習: 教科書「歯肉」の項を読む(約30分)

復習:「歯肉」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間)

11 口腔軟組織の構造および特徴、機能

	講義 (ICT:画像投影) 口腔軟組織の組織学的構造について説明できる。 口腔軟組織の特徴および機能について説明できる。 予習:教科書「口腔軟組織」の項を読む(約30分) 復習:「口腔軟組織」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間) 12-13 口腔顎顔面の発生 講義 (ICT:画像投影) 口腔内諸器官の発生を順序だてて説明できる。 歯の発生を順序だてて説明できる。 歯の発生を順序だてて説明できる。 予習:教科書「歯の発生」の項を読む(約30分) 復習:「歯の発生」について講義内容を中心に重要項目をまとめる(約1時間) 14-15 歯系組織の微細構造の観察 講義および演習 (ICT:標本画像を各自のパソコンで観察) 歯と歯周組織、口腔内諸組織の構造について図を描いて説明できる。 描いた組織図に組織学的名称を正しく記入することができる 予習:歯系組織の微細構造について、教科書の該当の項をそれぞれ読む(約30分) 復習:「歯と歯周組織、口腔内諸組織」について講義内容を中心に重要項目を図を描いてまとめる(約1時間30分)			
授業の到達目標	1. 顎顔面領域の発生と組織構造、骨化の過程が説明できる。 2. 歯の硬組織、歯髄、歯周組織の発生過程が説明できる。 3. 歯の硬組織、歯髄、歯周組織の組織構造、成分組成および機能が説明できる。 4. 歯および歯周組織にみられる加齢変化の様相が説明できる。			
成績評価の方法	科目試験70%、小テスト(複数回)20%、課題(スケッチ、振り返り(復習))など10%で評価し、100点満点で60点以上を合格とします。 小テストの解説は必要時に講義で行い、提出物については返却時にコメントします。 なお、受講態度、提出物等本講義に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。			
授業外で行うべき 学修	・毎講義後に、講義内容を忘れないよう各自振り返り(復習)を行い(概ね1時間)、Mellyにて提出してもらいます(ICT)。 ・口腔組織像を観察し、スケッチを提出してもらいます。 *上記のうち1回でも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。 *提出、またその内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。			
使用テキスト	(口腔保健学科) 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能―口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (医歯薬出版) 2011年、ISBN978-4-263-42812-2 C3347 (口腔工学科) 最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学(医歯薬出版)2016年、ISBN978-4-263-43161-0 C3347			
参考資料	なし			
受講生への要望等	毎講義開始約10分間を用いて、その前の講義内容に関する小テストを実施します。内容の振り返りに大いに役立ちます。			
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS (Melly) で予約した上で、面談形式で行います。			

講義科目名称: 口腔解剖学 授業コード: 10108

英文科目名称: Oral Anatomy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	2	必修(両学科)	
担当教員				
中塚 美智子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20503	1 ◎ H1 ○		1 @ E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

口腔解剖学では、ヒトの乳歯・永久歯の解剖学的名称、一般的な形態ならびにその特徴、異常形態や咬合の基礎について学びます。また患者さんの手術に伴う入院中の口腔ケアや、話したり飲み込んだりする機能を回復するために使用する装置の作製など、医療現場で歯科衛生士ならびに歯科技工士が重要な役割を果たす機会が多くなっていることから、歯列の発育・成長、加齢変化などについても学習を進めていきます。

ICTを活用した双方向型授業や自主学習支援を行うとともに、講義および演習によって学びます。

授業計画

1-2 歯の定義、歯式、外形、方向用語についての説明

講義(ICT:画像投影)

歯の種類、数、機能などがいえる。

歯の構造について簡単に説明できる。

方向用語について説明できる。

歯の記号を用いて歯の位置を表すことができる。

歯冠ならびに歯根、歯髄腔各部の名称がいえる。

各歯種の概略が説明できる。

左右の鑑別に用いられる、歯に共通する特徴について説明できる。

(予習) 歯の定義、歯式、外形、方向用語について教科書を読む(目安時間:約30分)

(復習) 歯の定義、歯式、外形、方向用語についてレポートをまとめる(目安時間:約60分)

3-4 上下顎切歯の形態

講義(ICT:画像投影)

上下顎中切歯、側切歯の形態的特徴について説明できる。

(予習)上下顎切歯の形態について教科書を読む(目安時間:約30分)

(復習)上下顎切歯の形態についてレポートをまとめる(目安時間:約60分)

5 上下顎犬歯の形態

講義 (ICT:画像投影)

上下顎犬歯の形態的特徴について説明できる。

(予習)上下顎犬歯の形態について教科書を読む(目安時間:約30分)

(復習)上下顎犬歯の形態についてレポートをまとめる(目安時間:約60分)

6-7 上下顎小臼歯の形態

講義(ICT:画像投影)

上顎小臼歯の形態的特徴について説明できる。

下顎小臼歯の形態的特徴について説明できる。

(予習)上下顎小臼歯の形態について教科書を読む(目安時間:約30分)

(復習)上下顎小臼歯の形態についてレポートをまとめる(目安時間:約60分)

8 上顎大臼歯の形態

講義(ICT:画像投影)

上顎大臼歯の形態的特徴について説明できる。

上顎大臼歯の形態推移について説明できる。

(予習)上顎大臼歯の形態について教科書を読む(目安時間:約30分)

(復習)上顎大臼歯の形態についてレポートをまとめる(目安時間:約60分)

9 下顎大臼歯の形態

講義(ICT:画像投影)

下顎大臼歯の形態的特徴について説明できる。

下顎大臼歯の形態推移について説明できる。

(予習)下顎大臼歯の形態について教科書を読む(目安時間:約30分)

(復習) 下顎大臼歯の形態についてレポートをまとめる(目安時間:約60分)

10-11 乳歯の形態、乳歯と永久歯の形態の違い 講義(ICT:画像投影) 各乳歯の形態的特徴について説明できる。 乳歯と永久歯の形態的差異が説明できる。 (予習)上下顎乳歯の形態について教科書を読む(目安時間:約30分) (復習)上下顎乳歯の形態についてレポートをまとめる(目安時間:約60分) 歯の異常、歯の加齢変化 講義(ICT:画像投影) 歯の異常について説明できる。 歯の加齢変化について説明できる。 (予習)歯の異常、歯の加齢変化について教科書を読む(目安時間:約30分) (復習)歯の異常、歯の加齢変化について大ポートをまとめる(目安時間:約60分) 歯列弓の正常および異常形態、咬合 講義(ICT:画像投影) 歯列弓の正常および異常形態について説明できる。
歯列弓の発育および成長について説明できる。 咬合の種類について説明できる。 咬合、歯の萌出について説明できる。 (予習)歯列弓の正常および異常形態、咬合について教科書を読む(目安時間:約30分) (復習)歯列弓の正常および異常形態、咬合についてレポートをまとめる(目安時間:約60分) 総まとめ 講義 口腔解剖学で習得した知識を用いて、歯の形態や機能について説明できる。 (予習)これまで学修した内容について教科書を読む(目安時間:約30分) (復習)これまで学修した内容についてポイントを示してまとめる(目安時間:約60分)
1.永久歯と乳歯個々の歯の形態および機能的意義、異常形態について説明できる。2.歯種の鑑別について説明できる。3.歯列の発育・成長、咬合の基礎について説明できる。4.歯および歯列の加齢変化について説明できる。
科目試験60%、課題(スケッチおよび彫刻作品)40%で評価し、100点満点で60点以上を合格とします。 彫刻に関する解説は必要時に行い、提出物については随時コメントします。 なお、受講態度、提出物等本講義に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。
・毎講義後に、講義内容を忘れないよう各自振り返りを行い(概ね1時間)、Mellyにて提出してもらいます(ICT)。 ・夏休みにスケッチ課題をやってもらいます。 *上記2件とも、1回でも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。 *提出、またその内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。 ・シラバスで次回の講義の内容を確認し、教科書の該当箇所を読んで予習しておきましょう。
(口腔保健学科)最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能―口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)2019年、ISBN978-4-263-42812-2 C3347 (口腔工学科)最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学(医歯薬出版)2019年、ISBN978-4-263-43161-0 C3347
・歯の解剖学 第22版(金原出版)1997年、ISBN4-307-45007-8
各自計画的に実習を進めてください。
質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS (Melly) で予約した上で、面談形式で行います。

講義科目名称: 生理学 授業コード: 10109

英文科目名称: Physiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
合田 征司、井上 博				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20504	1 © H1 O		1 © E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

生命を維持するための機能(植物性機能)として、呼吸、消化、排泄、循環や、それらを調節する内分泌や自立神経系の機能がある。また、外界の変化に素早く反応する機能(動物性機能)には、情報を入力するための感覚機能、筋収縮による運動機能、思考や記憶を行なう中枢神経機能がある。これらの機能を行なう諸器官の正常な構造および機能を講義・実習を通して学ぶ。

本授業では、パワーポイントおよび板書を用いた教育を行う。

また、タブレット端末などICT技術を活用した双方向型授業も適宜行う。

実習においては、循環および皮膚感覚に関して相互実習を行う。

授業計画

1,2 【講義】: 生理学の意義・細胞・体液(教科書 p2~p18)

- 1 牛理学の意義
 - 1) 生理学を学ぶ意義と生命現象の特徴について概説する。
 - 2) ホメオスタシス(生体恒常性)について説明する。
- 2 細胞
 - 1)細胞の基本構造と細胞内小器官の機能について説明する。
- 2)細胞の基本的な機能(受動輸送、能動輸送ならびに興奮および電気現象)について説明する。
- 3 体液
 - 1) 体液の組成について概説する。
 - 2) 血液の組成について説明する。
 - 3) 血球の種類と機能について説明する。
 - 4) 血液凝固の機序について説明する。
 - 5)血液型(ABO式、Rh式)の分類方法について説明する。
 - 6) リンパ液および脳脊髄液の機能について説明する。

3,4 【講義】: 体液の循環・呼吸(教科書 p20~p34)

- 1 体液の循環
 - 1)血液循環について説明する。
 - 2) 心筋の特性について説明する。
 - 3) 心拍数、心拍出量、脈波、心音について説明する。
 - 4) 心臓の電気現象(心室筋細胞の活動電位、心電図の基本波形)について説明する。
 - 5) 血圧について説明する。
 - 6) 血液循環の調節機構について説明する。
 - 7) リンパ系の機能および循環について概説する。
- 2 呼吸
 - 1) 外呼吸と内呼吸について概説する。
 - 2) 肺気量の内訳について説明する。
 - 3) 胸式呼吸と腹式呼吸について説明する。
 - 4) ガス交換の仕組みについて説明する。
 - 5) 血液の酸素解離曲線について説明する。
 - 6) 呼吸運動の調節機構について説明する。

5,6 【講義】: 消化および吸収・尿の生成および排出・代謝(教科書 p36~p52)

- 1 消化および吸収
 - 1)消化の意義について概説する。
 - 2) 消化管各部での消化運動および消化酵素とその働きについて説明する。
 - 3) 消化運動と消化液の分泌機構について説明する。
 - 4) 各栄養素の吸収過程について説明する。
 - 5) 肝臓の機能について概説する。

2 尿の生成および排出

- 1) 腎ネフロンの構造と機能について説明する。
- 2) 尿の一般性状について説明する。
- 3) 尿の生成機序について説明する。
- 4) 体液平衡の機能調節について概説する。
- 5)排尿機構について概説する。
- 3 代謝
 - 1) 栄養素のエネルギー量について概説する。

7,8 【講義】:体温·内分泌·生殖(教科書 p54~p75)

- 1 体温
 - 1)体温の変動とその原因について説明する。
 - 2) 温の産生機構と放散の機序について説明する。
 - 3) 汗腺の種類と発汗の機序について説明する。
 - 4) 体温の恒常性維持機構について説明する。
- 2 内分泌
 - 1) 内分泌器官の構造と機能について説明する。
 - 2) 各種ホルモンの調節作用について説明する。
 - 3) 各種ホルモンの作用および機能異常について説明する。
- 3 生殖
 - 1) 女性の性周期の変化と性ホルモンの関係について説明する。
 - 2)妊娠・分娩と性ホルモンの関係について説明する。

9,10 【講義】:筋・神経(その1)(教科書 p76~p90)

- 1 筋
 - 1)筋の種類について概説する。
 - 2) 骨格筋収縮の種類とその過程について説明する。
 - 3) 骨格筋の収縮の機序について説明する。
 - 4)筋電図について概説する。
 - 5)神経筋単位について説明する。
 - 6)筋の種類とその特性について説明する。
- 2 神経(その1)
 - 1)神経線維の基本構造と分類について説明する。
 - 2) 興奮伝導の原則について説明する。
 - 3)シナプスにおける興奮伝達について説明する。
 - 4)神経伝達物質について説明する。
 - 5)神経系の分類について概説する。
 - 6) 自律神経機構について説明する。

|_{11,12} 【講義】:神経(その2)・感覚(教科書 p91~p111)

- 1 神経(その2)
 - 1) 脊髄反射について説明する。
 - 2) 脳幹(中脳、橋、延髄)の機能について説明する。
 - 3) 視床下部の機能について説明する。
 - 4) 大脳の構造と機能について概説する。
 - 5) 大脳皮質の構造と機能について概説する。
- 2 感覚
 - 1) 感覚の分類および内容について説明する。
 - 2) 感覚の一般的特性について説明する。
 - 3)特殊感覚(味覚以外)について説明する。

13,14,15 【実習】:生理学実習(循環および皮膚感覚に関する実習)

- 1 循環
 - 1)脈拍数の測定について相互実習を行う。
 - 2) 血圧の測定(触診法、聴診法)について相互実習を行う。
- 2 皮膚感覚
 - 1)皮膚表面における2点弁別閾を、身体各部位と顔面領域で相互実習にて計測する。

授業の到達目標

- 1.生体のホメオスタシス維持について説明できる。
- 2.体液の分類およびその産生と機能について説明できる。

	3.呼吸器・循環器・消化器・生殖器の機能と制御機構について説明できる。
	4.内分泌系の作用機序と生体制御機構について説明できる。
	5.生体の運動機能・感覚機能・自律神経機能について説明できる。
成績評価の方法	単位試験および実習レポートにより総合的に評価する。
	単位試験 : 90%
	実習レポート: 10%
授業外で行うべき	予定された講義については教科書の該当項目を読んで予習すること。
学修	受講当日に受講内容を教科書・参考図書と照らし合わせて復習することにより、知識の整理をすること。
	(各回の総時間目安は予習と復習共に1時間程度)
 使用テキスト	(両学科共通) 歯科衛生士テキスト・生理学 学研書院
	教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。
	講義資料を適宜配布する。
参考資料	(両学科共通) 歯科衛生士教本 人体の構造と機能 医歯薬出版
受講生への要望等	事前学習により各回の気になる項目を列挙し、講義中や事後学習で整理するようにして下さい。
	定期試験、今後の臨床科目講義や歯科衛生士国家試験のためにしっかりとノート作りをして下さい。
	質疑対応はメール(inoue-hi@cc.osaka-dent.ac.jp)にて行います。
連絡先	また、授業の前後など在室時にも対応します。

講義科目名称: 口腔生理学 授業コード: 10110

英文科目名称: Oral Physiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
合田 征司、井上 博				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20505	1 © H1 O		1 © E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

食べること(咬む、咀嚼)、しゃべること、味わうこと、顔貌を形成すること、表情をつくることなどの機能を口腔が担う。口腔は脳を含めて全身機能に影響を及ぼす極めて重要な器官であり、口腔が正常か異常かというのは全身疾患との関係からも無視できない。口腔生理学は医科生理学の一分野であるとともに、口腔は器官生理学または臓器生理学という分類領域における一部門でもある。歯科医学では口腔諸器官のことをとくに咀嚼系器官と呼び、いわゆる消化器系から独立した立場をとっている。この咀嚼系器官の正常な構造と機能を講義・実習を通して学ぶ。

本授業では、パワーポイントおよび板書を用いた教育を行う。

タブレット端末などICT技術を活用した双方向型授業を適宜行う。

実習においては、咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関して行う。

授業計画

1,2 【講義】: 歯および歯の歯周組織の生理・咬合および顎運動(教科書 p112~p126)

- 1 歯および歯周組織の生理
 - 1) 歯の硬組織の構造と物理化学的な性状について説明する。
 - 2) 歯髄の構造と機能について説明する。
 - 3) 歯周組織の構造について説明する。
- 2 咬合および顎運動
 - 1) 各種下顎位について説明する。
 - 2) 矢状面における切歯点の運動について説明する。
 - 3) 水平面における切歯点の運動について概説する。
- 3,4 【講義】:咀嚼(その1)(教科書 p128~p132)
 - 1 咀嚼 (その1)
 - 1) 咀嚼の意義と目的について概説する。
 - 2) 咀嚼周期について説明する。
 - 3) 咀嚼能率について説明する。
 - 4) 咀嚼筋の構造と機能について説明する。
 - 5) 下顎反射について説明する。

5,6 【講義】: 咀嚼(その2)・吸啜・嚥下・嘔吐(教科書 p132~p139)

- 1 咀嚼(その2)
 - 1) 咬合力と咀嚼力について説明する。
 - 2) 口唇, 舌の働きについて概説する。
- 2 吸啜
 - 1) 吸啜反射について説明する。
- 3 嚥下
 - 1) 咽頭・喉頭の構造について説明する。
 - 2) 嚥下反射について説明する。
 - 3)無歯顎者における嚥下について概説する。
 - 4) 異常嚥下について概説する。
- 4 嘔吐
 - 1) 嘔吐反射について説明する。

7.8 【講義】: 唾液腺および唾液(教科書 p140~p148)

- 1 唾液腺および唾液
 - 1) 唾液腺の構造について説明する。
 - 2) 唾液の生成機構について説明する。
 - 3) 唾液分泌の神経機構について説明する。
 - 4) 唾液の性状と組成について説明する。
 - 5) 唾液の働きについて説明する。

	6) 唾液と歯科臨床の関連性について説明する。 9,10 【講義】: 口腔感覚(教科書 p150~p157)
	1 口腔感覚
	1) 口腔粘膜の感覚点と感覚受容について説明する。
	2) 歯根膜の感覚について説明する。
	3) 咬合・歯の部位感覚の意義について説明する。
	4) 口腔の深部感覚について概説する。
	5) 口腔の痛覚の意義と特徴について説明する。
	11,12 【講義】:味覚·発声および発音(教科書 p157~p170)
	1 味覚
	1) 味覚受容器の構造と機能について説明する。
	2)基本味の特性について説明する。
	3) 味覚閾値について説明する。
	4)味盲について説明する。
	5) 味覚の神経機構について説明する。
	2 発声および発音
	1)発声器官の構造について説明する。
	2)発声の機構について概説する。
	3)音声の性状について説明する。
	4)音声の種類について概説する。
	5) 言語音の形成について説明する。
	6) 感覚性および運動性の言語中枢について概説する。
	7) 歯科臨床と発音障害について説明する。
	13,14,15 【実習】:口腔生理学実習(咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関する実習)
	3,5 7,25
	1 咀嚼能率
	1) Manly らの方法にて咀嚼能率の測定を行う。
	2 歯の位置感覚
	1) 歯の位置感覚について相互実習を行う。
	3 咬合力
	1) それぞれの歯種の最大咬合力ついて、オクルーザルフォースメーター GM10を用いて相互
	実習を行う。
	4 味盲
	1)味盲試験(PTC溶液に対する感受性を測定)を行う。
授業の到達目標	1.歯および歯周組織の機能について説明できる。
	2.下顎位と下顎運動の制御機構について説明できる。
	3.咀嚼機能と下顎反射の神経機能について説明できる。
	4.嚥下と嘔吐の特徴と機序について説明できる。
	5.唾液および唾液腺の機能について説明できる。
	6.味覚を含む口腔諸器官の感覚について説明できる。
	7.発声・構音および言語の機能について説明できる。
成績評価の方法	単位試験および実習レポートにより総合的に評価する。
13X11X11 IM 27737A	単位試験 :90%
	実習レポート: 10%
	 実習レポートについては返却時にコメントする。
₩₩₩₩₩₩	
授業外で行うべき	予定された講義については教科書の該当項目を読んで予習すること。
学修	受講当日に受講内容を教科書・参考図書と照らし合わせて復習することにより、知識の整理をすること。
	(各回の総時間目安は予習と復習共に1時間程度)
使用テキスト	(両学科共通)歯科衛生士テキスト・生理学 学研書院
	教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。
	講義資料を適宜配布する。
参考資料	(両学科共通) 歯科衛生士教本 歯と口腔の構造と機能 医歯薬出版
受講生への要望等	事前学習により各回の気になる項目を列挙し、講義中や事後学習で整理するようにして下さい。
•	定期試験、今後の臨床科目講義や歯科衛生士国家試験のためにしっかりとノート作りをして下さい。

授業の質問対応、 質疑対応はメール (inoue-hi@cc.osaka-dent.ac.jp) にて行います。 また授業の前後など在室時にも対応します。

講義科目名称: 生化学・栄養学 授業コード: 1H101

英文科目名称: nutrition science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	1	必修 (保健)	
担当教員				
池尾 隆				
科目ナンバリング	口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20506	1 0 5 0 H:	1 🔘		歯科医師(教員歴37年)

授業の概要と方法

【授業内容】

健康を支える三つの柱が栄養、運動および休養であることを踏まえ、人々のwellnessに広く貢献する歯科衛生士としての職責を自覚し、生涯にわたり貢献する姿勢を身につけることを目的に進行する。

【授業方法】

1

ポートフォリオを活用したプロジェクト学修をベースとして、講義(7回)と演習(8回)で進行する。演習は反転授業形式のグループワーク(TBL)、プレゼンテーションとなるので、オンデマンド教材による事前学習が必須である。

◆プロジェクト学修◆

授業内外で行うべき学修を自ら立案することが特徴である。すなわち、成人学習理論に基づく自己主導型学修を実行することが求められる。

Plan 自身のビジョン達成のためのこの科目の位置づけを予め明確に「見える化」し(ミッション)、具体的なアクションプランを作成する。

Do 作成したアクションプランに沿って、自身の学修を進める。

Check 毎回の授業を授業俯瞰シートにて振り返り、自身の学修状況を分析し自己評価を行う。

Act 自己評価結果をもとに改善点を考え、アクションプランを修正する。

最終的に以上の全過程を凝縮ポートフォリオにまとめる

授業計画

【生化学・栄養学の概要】 II編 栄養の基礎 1章 栄養の基礎知識(p116~p127)

【講義】

生化学・栄養学の一般目標を述べることができる。

生化学・栄養学の学修方略を述べることができる。

生化学・栄養学の評価法を述べることができる。

プロジェクト学習とポートフォリオの内容を述べることができる。

健康の概念を説明できる。

栄養とはどのようなことかを説明できる。

QOLの向上について説明できる。

五大栄養素の生体内での機能を説明できる。

国民健康・栄養調査の概要を説明できる。

日本人の栄養摂取状況を説明できる。

=========

2 Ⅲ編 栄養の基礎 1章 栄養の基礎知識(p116~p127) 2章 食事摂取基準(p128~p139)

【講義】

消化の方法を説明できる。

栄養素の消化の概要を説明できる。

栄養素の体内への吸収の概要を説明できる。

日本人の食事摂取基準(2015)の策定意義を説明できる。

日本人の食事摂取基準(2015)の設定指標を説明できる。

主要なミネラルの食事摂取基準を説明できる。

主要なビタミンの食事摂取基準を説明できる。

=========

3 **皿編 栄養の基礎 2章 食事摂取基準(p128~p139)**

【講義】

エネルギーの供給と消費の概念を説明できる。

体格指数 (body mass index, BMI) を算出できる。

基礎代謝の概念を説明できる。

基礎代謝に影響を及ぼす要因を列挙できる。

基礎代謝基準値の加齢変化を説明できる。

身体活動レベルの内容を説明できる。

推定エネルギー必要量の算出方法を説明できる。

Atwaterの係数を用いて食品のエネルギー量を算出できる。

適切な三大栄養素の摂取バランスを説明できる。

=========

4 Ⅲ編 栄養の基礎 1章 栄養の基礎知識(p116~p127) 2章 食事摂取基準(p128~p139)

【演習】 TBL① (team-based learning)

: 個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習

五大栄養素の生体内での機能を説明できる。

日本人の栄養摂取状況を説明できる。

栄養素の消化の概要を説明できる。

日本人の食事摂取基準 (2015) の設定指標を説明できる。

エネルギーの供給と消費の概念を説明できる。

体格指数 (body mass index, BMI) を算出できる。

基礎代謝の概念を説明できる。

基礎代謝に影響を及ぼす要因を列挙できる。

身体活動レベルの内容を説明できる。

推定エネルギー必要量の算出方法を説明できる。

Atwaterの係数を用いて食品のエネルギー量を算出できる。

適切な三大栄養素の摂取バランスを説明できる。

グループ・ダイナミクス効果を体感する。

=========

5 **Ⅲ編 栄養の基礎 3章 栄養素の働き(p140~p156)**

【講義】

糖質を分類できる。

糖質の栄養的意味(働き)を説明できる。

アミノ酸の構造を説明できる。

必須アミノ酸を列挙できる。

アミノ酸スコアを算出できる。

主なタンパク質を分類できる。

タンパク質の栄養的意味(働き)を説明できる。

脂質を分類できる。

脂肪酸の構造を説明できる。

不可欠脂肪酸を列挙できる。

脂質の栄養的意味(働き)を説明できる。

コレステロールの働きを説明できる。

=========

6 **皿編 栄養の基礎 3章 栄養素の働き(p157~p175)**

【講義】

ビタミンを分類(水溶性、脂溶性)できる。

酵素に対して、補酵素の働きを説明できる。

各ビタミンの栄養的意味(働き)を説明できる。

各ビタミンの欠乏症を説明できる。

各ビタミンを多く含む食品を列挙できる。

主要ミネラルを列挙できる。

各ミネラルを多く含む食品を列挙できる。 水代謝の概要を説明できる。 食物繊維の栄養的意味(働き)を説明できる。 食物繊維を多く含む食品を列挙できる。 ______ ========== IV編 食生活と食品 1章 食生活と健康(p178~p202) 【講義】 日本人の食生活の変遷を説明できる。 国民栄養の現状を説明できる。 国民栄養の課題を説明できる。 健康日本21 (第2次) の活動を説明できる。 食事バランスガイドの概要を説明できる。 特別用途食品の概念を説明できる。 保健機能食品制度の仕組みを説明できる。 食育基本法の基本理念を説明できる。 食生活指針の内容を説明できる。 Ⅲ編 栄養の基礎 3章 栄養素の働き(p140~p175) 【演習】 TBL② (team-based learning) : 個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習 糖質の栄養的意味(働き)を説明できる。 必須アミノ酸を列挙できる。 アミノ酸スコアを算出できる。 タンパク質の栄養的意味(働き)を説明できる。 不可欠脂肪酸を列挙できる。 脂質の栄養的意味(働き)を説明できる。 各ビタミンの栄養的意味(働き)を説明できる。 各ビタミンを多く含む食品を列挙できる。 各ミネラルの働きを説明できる。 各ミネラルを多く含む食品を列挙できる。 食物繊維の栄養的意味(働き)を説明できる。 グループ・ダイナミクス効果を体感する。 ______ IV編 食生活と食品 1章 食生活と健康(p178~p202) 2章 食べ物と健康(p203~p210) 【講義】 食品の機能(一次、二次、三次)を説明できる。 日本食品標準成分表2015年版の概要を説明できる。 食品成分表を活用できる。 三色食品群の利用法を説明できる。 六つの基礎食品群分類を説明できる。 5つの基本味を説明できる。 味の相互作用を説明できる。 食品の物性・テクスチャーを説明できる。 ______ 10 IV編 食生活と食品 1章 食生活と健康(p178~p202) 2章 食べ物と健康(p203~p210) TBL3 (team-based learning) : 個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習

主要ミネラルの働きを説明できる。 微量ミネラルの働きを説明できる。 国民栄養の現状を説明できる。

食事バランスガイドの概要を説明できる。

特別用途食品の概念を説明できる。

保健機能食品制度の仕組みを説明できる。

食生活指針の内容を説明できる。

食品の機能(一次、二次、三次)を説明できる。

日本食品標準成分表2015年版の概要を説明できる。

食品群分類を説明できる。

5つの基本味を説明できる。

グループ・ダイナミクス効果を体感する。

Peer評価を実施する。

==========

11 食生活と健康 食品栄養(1)

【演習】 3分間プレゼンテーション(1)

【課題】 9回目の授業時に提示

身近にある食品に興味をもつ。

言語的・非言語的コミュニケーションを説明できる。

上手なプレゼンテーションのポイントを説明できる。

決められた時間内でプレゼンテーションする。

ルーブリックの重要性を体感する。

【参考】

ライフステージを区分できる。

ライフステージ別栄養の重要性を説明できる。

母性栄養の注意点を説明できる。

小児栄養の注意点を説明できる。

乳児期の栄養的特徴を説明できる。

成人期の栄養の注意点を説明できる。

高齢期の栄養の注意点を説明できる。

=========

12 食生活と健康 食品栄養(2)

【演習】 3分間プレゼンテーション(2)

【課題】 9回目の授業時に提示

身近にある食品に興味をもつ。

言語的・非言語的コミュニケーションを説明できる。

上手なプレゼンテーションのポイントを説明できる。

決められた時間内でプレゼンテーションできる。

ルーブリックの重要性を体感する。

予め作成したルーブリックに基づきpeer評価を実施する。

【参考】

ライフステージを区分できる。

ライフステージ別栄養の重要性を説明できる。

母性栄養の注意点を説明できる。

小児栄養の注意点を説明できる。

乳児期の栄養的特徴を説明できる。

成人期の栄養の注意点を説明できる。

高齢期の栄養の注意点を説明できる。

=========

13 食生活と健康 成人期の栄養と生活習慣病(1)

【演習】 KJ法・二次元展開法

```
【課題】 当日提示(生活習慣病と栄養に関する課題)
      KJ法の進行を説明できる。
      KJ法を用いて要点を整理できる。
      二次元展開法の進行を説明できる。
      二次元展開法を用いて課題解決の優先度を決定できる。
      グループ・ダイナミクス効果を体感する。
      ______
      ==========
      食生活と健康 成人期の栄養と生活習慣病(2)
14
       【演習】 ワールド・カフェ(1)
      【課題】 当日提示(生活習慣病と栄養に関する課題)
      ホール・システム・アプローチの概念を説明できる。
      ワールド・カフェの進行を説明できる。
      対話(ダイアログ)の重要性を説明できる。
      ワールド・カフェによるグループ内でのダイアログを実践できる。
      グループ・ダイナミクス効果を体感する。
      ______
      =========
      食生活と健康 成人期の栄養と生活習慣病(3)
15
      【演習】
          ワールド・カフェ(2)
      【課題】 当日提示(生活習慣病と栄養に関する課題)
      ホール・システム・アプローチの重要性を説明できる。
      ワールド・カフェの進行を説明できる。
      ワールド・カフェによるグループ内での(ダイアログ)を実践できる。
      言語的・非言語的コミュニケーションを説明できる。
      上手なプレゼンテーションのポイントを説明できる。
      決められた時間内でプレゼンテーションできる。
      ルーブリックの重要性を体感する。
      予め作成したルーブリックに基づきpeer評価を実施する。
      グループ・ダイナミクス効果を体感する。
      ==========
試験
      四肢択一問題(MCO)30問を出題
      【試験範囲】
      Ⅲ編 栄養の基礎
        1章 栄養の基礎知識 (p116~p127)
        2章 食事摂取基準 (p128~p139)
        3章 栄養素の働き (p140~p175)
      IV編 食生活と食品
        1章 食生活と健康(p178~p202)
        2章 食べ物と健康(p203~p210)
      【持ち込み許可】
      筆記用具のみ
      【試験終了時の提出物】
      科目試験終了時に、ポートフォリオを提出
      ______
       --------
      Ⅲ編 栄養の基礎 3章 栄養素の働き(p140~p175)
16 (補講)
```

【対象者】 生化学・栄養学 不合格者 【演習】 糖質の栄養的意味(働き)を説明できる。 必須アミノ酸を列挙できる。 アミノ酸スコアを算出できる。 タンパク質の栄養的意味(働き)を説明できる。 不可欠脂肪酸を列挙できる。 脂質の栄養的意味(働き)を説明できる。 各ビタミンの栄養的意味(働き)を説明できる。 各ビタミンを多く含む食品を列挙できる。 各ミネラルの働きを説明できる。 各ミネラルを多く含む食品を列挙できる。 食物繊維の栄養的意味(働き)を説明できる。 グループ・ダイナミクス効果を体感する。 ______ 再試験 記述問題(語句説明)50問を出題し、60%以上正解したものを合格とする。 【試験範囲】 Ⅲ編 栄養の基礎 IV編 食生活と食品 【持ち込み許可】 筆記用具のみ 【注】グループ学習やポートフォリオの点数は含まれない。 授業の到達目標 1. 各栄養素の機能を説明できる。 2. ライフステージに応じた栄養のあり方を説明できる。 3. 食生活のあり方を説明できる。 4. 繰り返しPDCAサイクルを回し改善する能力を身につける。 5. 歯科栄養に関して得た知識を適切に提示できる。 成績評価の方法 下記1~3の合計で評価する。 1. グループ演習(50点) TBL (30点) 各回10点(個人5点、グループ5点)とし、①~③の3回で合計30点 ・3分間プレゼンテーション (10点) 基本内容・プレゼン評価6点、ピア評価4点 ・KJ法・二次元展開法・ワールド・カフェ (10点) 基本内容・プレゼン評価6点、ピア評価4点 2. ポートフォリオ(20点) ルーブリックにもとづき評価 ・ビジョン・ミッション・アクションシート (適切な流れ、具体的なアクションが記載されているかについて評価) ・授業俯瞰シート (主に振り返りが十分かについて評価) ・凝縮ポートフォリオ (根拠をもってPDCAサイクルが回っているかについて評価) (自学自習した資料などが整理され、まめられているかについて評価) ・その他の記録 3. 科目試験(30点) ・MCQ30問を出題(1問1点) 【フィードバック】 毎回提出する授業俯瞰シートと最終提出するポートフォリオに、コメントをつけて返却する。 授業外で行うべき 1. 自ら立案したアクション・プランの実行 学修 2. ポートフォリオの整理整頓(毎回60分程度) 3. TBL前には、オンデマンド教材などを活用した事前学習(90分程度)が必要である。 4. その他の演習前には、プレゼン資料作成などの事前準備(120分程度)が必要である。

	◆Team-based learning (TBL) ◆ グループでの学修方略の1つで、効果が高いことが世界的に認められている方法である。進行は下記の①~⑥ に示すとおりで、個人の準備(予習)が必須である。 ①個人準備確認テスト ②グループ準備確認テスト ③フィード・バック ④グループ応用演習 ⑤フィード・バックとチーム・アピール ⑥ピア評価
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 2 栄養と代謝 全国歯科衛生士協議会監修 医歯薬出版株式会社 歯科衛生士書き込み式学習ノート① 専門基礎科目編 医歯薬出版株式会社(第2版) 新食品成分表FOODS 新食品成分表編集委員会編 東京法令出版
参考資料	第3版 イラストでわかる歯科医学の基礎 渕端 孟ほか監修 永末書店 スタンダード生化学・口腔生化学 第3版 池尾 隆ほか編集 学建書院
受講生への要望等	「知識を詰め込むこと」が学修ではない。 「とりあえず覚えておこう」は全く意味がない。 大切なことは、①取り込んだ知識を自身で解釈し、整理する能力、②整理した内容を発信する能力 である。 すなわち、 ***** 複数の知識を関連付け、目前に迫った問題を解決するために活用できる能力 ***** ===============================
	説明することが求められている。
授業の質問対応、 連絡先	メール対応 → ikeo@cc.osaka-dent.ac.jp 面 談 → メールにてアポイント(原則として金曜午後、楠葉にて面談)

講義科目名称: 口腔生化学 授業コード: 1H102

英文科目名称: Oral Biochemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	1	必修(保健)	
担当教員				
池尾 隆				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20507	1 O 5 O H1 ©			歯科医師(教員歴37年)

授業の概要と方法

【概要】

口腔環境は、歯や歯周組織などの諸組織、および唾液などの分泌物で構成されている。口腔組織の主たる部分がいずれも結合組織に属することから、まず結合組織についての一般的特徴を、細胞外マトリックスの概念とともに説明する。次に、硬組織に焦点を絞り、無機・有機成分の特徴、さらに石灰化機構について説明するとともに、硬組織の代謝に関連の深いカルシウムについても概説する。さらに、唾液の口腔内環境にもたらす作用や影響を、唾液成分と関連付けて説明する。これらの基本的事項を踏まえたうえで、口腔二大疾患の1つであるう蝕をテーマに、その発症機序を中心に解説する。予防に重点が置かれている現在の医療現場では、とくに病因について理解することが重要である。

【授業方法】

ポートフォリオを活用したプロジェクト学修をベースとして、講義(10回)と演習(5回)で進行する。演習は反転授業(Flipped classroom)の形式となるので、オンデマンド教材による事前学習が必須である。

授業計画

【口腔生化学概論】

【講義】

口腔生化学の目標を述べることができる。

口腔生化学の学修方略を述べることができる。

口腔生化学の評価法を述べることができる。

プロジェクト学習とポートフォリオの内容を述べることができる。

========

2 I 編 生命活動の概要 2~5章 糖質、脂質、タンパク質・アミノ酸の代謝 生体における恒常性 の維持(p29~p47)

【講義】

ヘモグロビンの構造と機能を説明できる。

酵素の役割を説明できる。

アデノシン三リン酸の働きを説明できる。

エネルギー代謝の全体像を述べる。

ミトコンドリアの役割を説明できる。

酸素の供給が不十分なときのエネルギー産生を説明できる。

酸素の供給が十分なときのエネルギー産生の仕組みを説明できる。

タンパク質の合成過程を説明できる。

セントラルドグマの概要を説明できる。

血液の緩衝能を説明できる。

食後の糖代謝の概要を説明できる。

空腹時、飢餓時の糖代謝の概要を説明できる。

========

3 I 編 生命活動の概要 2~5章 糖質、脂質、タンパク質・アミノ酸の代謝 生体における恒常性の維持(p29~p47)

【演習】TBL①:個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習

ヘモグロビンの構造と機能を説明できる。

酵素の役割を説明できる。

アデノシン三リン酸の働きを説明できる。

エネルギー代謝の全体像を述べる。

ミトコンドリアの役割を説明できる。

酸素の供給が不十分なときのエネルギー産生を説明できる。 酸素の供給が十分なときのエネルギー産生の仕組みを説明できる。 タンパク質の合成過程を説明できる。 セントラルドグマの概要を説明できる。 血液の緩衝能を説明できる。 食後の糖代謝の概要を説明できる。 空腹時、飢餓時の糖代謝の概要を説明できる。 グループ・ダイナミクス効果を体感する。 ______ ========= Ⅱ編 歯と口の生化学 1章 歯と歯周組織の生化学 (p50~p64) 【講義】 結合(支持)組織の特徴を説明できる。 細胞外マトリックスの概念を概説できる。 コラーゲンの構造と機能を説明できる。 プロテオグリカンの構造と機能を説明できる。 グリコサミノグリカンの構造を説明できる。 細胞外マトリックス成分の代謝の概要を説明できる。 ______ ======== Ⅱ編 歯と口の生化学 1章 歯と歯周組織の生化学 (p50~p64) 5 【講義】 硬組織(歯・骨)の組成を比較できる。 ヒドロキシアパタイトの構造を説明できる。 硬組織に含まれる有機成分を説明できる。 硬組織特有の有機成分の特徴を説明できる。 エナメル質の微量成分を説明できる。 ______ Ⅱ編 歯と口の生化学 1章 歯と歯周組織の生化学 (p50~p64) 6 【演習】TBL②:個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習 結合(支持)組織の特徴を説明できる。 細胞外マトリックスの概念を概説できる。 コラーゲンの構造と機能を説明できる。 プロテオグリカンの構造と機能を説明できる。 グリコサミノグリカンの構造を説明できる。 細胞外マトリックス成分の代謝の概要を説明できる。 硬組織(歯・骨)の組成を比較できる。 ヒドロキシアパタイトの構造を説明できる。 硬組織に含まれる有機成分を説明できる。 硬組織特有の有機成分の特徴を説明できる。 エナメル質の微量成分を説明できる。 グループ・ダイナミクス効果を体感する。 ______ ======== Ⅱ編 歯と口の生化学 2章 硬組織の生化学 (p65~p80) 【講義】 カルシウムの生体内機能を説明できる。 カルシウムの吸収を説明できる。 カルシウムの恒常性維持の仕組みを説明できる。

副甲状腺ホルモンの働きを説明できる。

ビタミンDの活性化の仕組みを説明できる。

カルシトニンの働きを説明できる。

Ⅱ編 歯と口の生化学 2章 硬組織の生化学 (p65~p80) 8 【講義】 石灰化の仕組みの概要を説明できる。 基質小胞によるコラーゲン性石灰化の概要を説明できる。 骨改造現象(骨のリモデリング)を説明できる。 骨芽細胞の働きを説明できる。 破骨細胞の働きを説明できる。 _____ ========= Ⅱ編 歯と口の生化学 2章 硬組織の生化学 (p65~p80) 9 【演習】TBL③:個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習 カルシウムの生体内機能を説明できる。 カルシウムの吸収を説明できる。 カルシウムの恒常性維持の仕組みを説明できる。 副甲状腺ホルモンの働きを説明できる。 ビタミンDの活性化の仕組みを説明できる。 カルシトニンの働きを説明できる。 石灰化の仕組みの概要を説明できる。 基質小胞によるコラーゲン性石灰化の概要を説明できる。 骨改造現象(骨のリモデリング)を説明できる。 骨芽細胞の働きを説明できる。 破骨細胞の働きを説明できる。 グループ・ダイナミクス効果を体感する。 ______ ========= Ⅱ編 歯と口の生化学 2章 硬組織の生化学 (p65~p80) 10 【講義】 代謝性骨疾患(特に骨粗鬆症)の概要を説明できる。 エナメル質の形成過程を説明できる。 象牙質の形成過程を説明できる。 ______ Ⅱ編 歯と口の生化学 3章 唾液の生化学 (p81~p89) 11 【講義】 唾液の作用を説明できる。 唾液中の主なタンパク質の機能を説明できる。 唾液中の主な無機成分の機能を説明できる。 唾液の消化作用に関与する成分を列挙できる。 唾液の抗菌作用に関与する成分を列挙できる。 唾液の緩衝作用に関与する成分を列挙できる。 唾液の石灰化促進・抗脱灰作用の関与する成分を列挙できる。 唾液の潤滑作用に関与する成分を列挙できる。 唾液のカルシウム結合性タンパク質の性状を説明できる。

ペリクル(獲得被膜)の形成過程を説明できる。

=========

12 II編 歯と口の生化学 3章 唾液の生化学 (p81~p89)

【演習】TBL④:個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習

唾液の作用を説明できる。

唾液中の主なタンパク質の機能を説明できる。

唾液中の主な無機成分の機能を説明できる。

唾液の消化作用に関与する成分を列挙できる。

```
唾液の抗菌作用に関与する成分を列挙できる。
      唾液の緩衝作用に関与する成分を列挙できる。
      唾液の石灰化促進・抗脱灰作用の関与する成分を列挙できる。
      唾液の潤滑作用に関与する成分を列挙できる。
      唾液のカルシウム結合性タンパク質の性状を説明できる。
      ペリクル(獲得被膜)の形成過程を説明できる。
      グループ・ダイナミクス効果を体感する。
      ______
      Ⅱ編 歯と口の生化学 4章 プラークの生化学 (p90~p113)
13
      バイオフィルムの概念を説明できる。
      菌体外多糖の種類を列挙できる。
      菌体外多糖の合成過程を説明できる。
      菌体外多糖の分解酵素を列挙できる。
      プラーク細菌による酸産生過程を説明できる。
      酸とアパタイトの反応を説明できる。
      ステファン曲線が示す内容を説明できる。
      う蝕の発症機序を説明できる。
      エナメル質表面の再石灰化を説明できる。
      ______
      Ⅱ編 歯と口の生化学 4章 プラークの生化学 (p90~p113)
14
      【演習】TBL⑤:個人準備確認テスト、グループ準備確認テスト、グループ応用演習
      バイオフィルムの概念を説明できる。
      菌体外多糖の種類を列挙できる。
      菌体外多糖の合成過程を説明できる。
      菌体外多糖の分解酵素を列挙できる。
      プラーク細菌による酸産生過程を説明できる。
      酸とアパタイトの反応を説明できる。
      ステファン曲線が示す内容を説明できる。
      う蝕の発症機序を説明できる。
      エナメル質表面の再石灰化を説明できる。
      グループ・ダイナミクス効果を体感する。
      ______
      ========
      Ⅱ編 歯と口の生化学 4章 プラークの生化学 (p90~p113)
15
      【講義】
      う蝕予防に関するフッ素の働きを説明できる。
      代用甘味料の種類を列挙できる。
      う蝕予防に関連する代用甘味料の働きを説明できる。
      ========
試験
      四肢択一問題(MCQ)30問を出題
      【試験範囲】
      I編 生命活動の概要
        2~5章 糖質、脂質、タンパク質・アミノ酸の代謝 生体における恒常性の維持(p29~
      p47)
      Ⅱ編 歯と口の生化学
        1章 歯と歯周組織の生化学 (p50~p64)
        2章 硬組織の生化学 (p65~p80)
        3章 唾液の生化学 (p81~p89)
```

4章 プラークの生化学 (p90~p113) 【持ち込み許可】 筆記用具のみ 【試験終了時の提出物】 科目試験終了時に、ポートフォリオを提出 ______ -----------Ⅱ編 歯と口の生化学 補習 【対象者】 口腔生化学 不合格者 【演習】 細胞外マトリックス成分の代謝の概要を説明できる。 硬組織(歯・骨)の組成を比較できる。 ヒドロキシアパタイトの構造を説明できる。 硬組織に含まれる有機成分を説明できる。 カルシウムの生体内機能を説明できる。 カルシウムの恒常性維持の仕組みを説明できる。 石灰化の仕組みの概要を説明できる。 骨改造現象(骨のリモデリング)を説明できる。 唾液の作用とそれに関連する成分を説明できる。 ペリクル(獲得被膜)の形成過程を説明できる。 菌体外多糖の合成過程を説明できる。 ステファン曲線が示す内容を説明できる。 う蝕の発症機序を説明できる。 う蝕予防に関するフッ素の働きを説明できる。 代用甘味料の種類を列挙できる。 ______ ======== 再試験 記述問題(語句説明)50問を出題し、60%以上正解したものを合格とする。 【試験範囲】 I編 生命活動の概要 2~5章 糖質、脂質、タンパク質・アミノ酸の代謝 生体における恒常性の維持 (p29~ p47) Ⅱ編 歯と口の生化学 1章 歯と歯周組織の生化学 (p50~p64) 2章 硬組織の生化学 (p65~p80) 3章 唾液の生化学 (p81~p89) 4章 プラークの生化学 (p90~p113) 【持ち込み許可】 筆記用具のみ 【注】グループ学習やポートフォリオの点数は含まれない。 授業の到達目標 分子レベルで進歩する歯科医学を生涯にわたり自己研鑚し、歯科衛生士業務をとおして歯科医療に応用する ために、以下の目標を設定する。

- 1. 生命現象を連続した化学反応として捉える(生化学的思考)意識をもつ。
- 2. 生化学的思考を生涯にわたり持ち続ける意欲を身につける。
- 3. 口腔諸組織や唾液の成分を説明できる。
- 4. 口腔の二大疾患の1つであるう蝕の病因を説明できる。
- 5. 繰り返しPDCAサイクルを回し改善する能力を身につける。

成績評価の方法

下記1~3の合計(100点満点)で評価する。

	T
	1. グループ演習(50点) ・TBL (各回10点(個人5点、グループ5点)とし、①~⑤の5回で合計50点) 2. ポートフォリオ(20点) ルーブリックにもとづき評価 ・ビジョン・ミッション・アクションシート
	毎回提出する授業俯瞰シートと最終提出するポートフォリオには、コメントをつけて返却する。
授業外で行うべき 学修	プロジェクト学習では、授業内・授業外で行うべき学修を自ら立案(ビジョン、ミッション、アクション)することが特徴である。すなわち、成人学習理論に基づく自己主導型学修を実行することが求められている。
	少なくとも授業外で行うべき学修は 1. 自ら立案したアクション・プランの実行 2. ポートフォリオの整理整頓(毎回60分程度) 3. TBL前には、オンデマンド教材などを活用した事前学習(90分程度)が必要である。 4. TBL後には、出題された問題(準備確認テストや応用問題)の理解(90分程度)が必要である。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 2 栄養と代謝 全国歯科衛生士協議会監修 医歯薬出版株式会社 歯科衛生士書き込み式学習ノート① 専門基礎科目編 医歯薬出版株式会社(第2版)
参考資料	第3版 イラストでわかる歯科医学の基礎 渕端 孟ほか監修 永末書店 スタンダード生化学・口腔生化学 第3版 池尾 隆ほか編集 学建書院
受講生への要望等	「知識を詰め込むこと」が学修ではない。 「とりあえず覚えておこう」は全く意味がない。 大切なことは、①取り込んだ知識を自身で解釈し、整理する能力、②整理した内容を発信する能力 である。 すなわち、 ***** 複数の知識を関連付け、目前に迫った問題を解決するために活用できる能力 ***** 以下の質問に答えてみよう。 Q1:「なぜ、むし歯になるの?」 Q2:「うちの子供は一所懸命歯磨きしてるのにむし歯ができた。隣の子供は歯磨きをしていないのにむし歯なし。なぜ?」 ===================================
哲学の毎明社内	
授業の質問対応、 連絡先	メール対応 → ikeo@cc.osaka-dent.ac.jp 面 談 → メールにてアポイント(原則として金曜午後、楠葉にて面談)

講義科目名称: 病理学・口腔病理学 授業コード: 1H201

英文科目名称: Pathology / Oral Pathology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	2	必修(保健)	
担当教員				
和唐 雅博				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20508	1 © H1 © H3 O			

授業の概要と方法

歯科学は、健康を維持するために非常に重要な学問であり、口腔領域のみならず全身とも深くかかわりあっている。病理学・口腔病理学は、病気の理論を明らかにする学問であり、病因、発症機序、転帰ならびに予後について系統的に学ぶ。まず疾病の原因と病態に関する基礎的知識を体系的に修得するため、それぞれの臓器組織に現れる同じ種類の病変群を一括して病理学総論として学ぶ。そして、顎・顔面・口腔の疾患を理解するため、口腔病理学で口腔領域に生ずる各種疾患について習得する。

授業計画

1-2 病因論(講義)、先天異常(口腔領域の奇形)(講義)

病因論:病気の原因を病因といい、大きく内因と外因に分けられる内因は、生体の内部に存在するもので素因、遺伝、免疫、内分泌異常などがある。外因は、体外に存在するもので物理的因子、化学的因子、生物学的因子、栄養障害がある。これらの項目について学ぶ。

先天異常:生まれつきみられる身体的異常や機能異常で、遺伝的要因と環境要因で起こる。まず、遺伝子、染色体遺伝の基本様式を学び、遺伝子異常ならびに染色体の異常による疾患ならびに口腔領域の奇形について学ぶ。

(予習)教科書 第1章「病理学概論」、第2章「病因論」p14-25を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

3-4 循環障害(講義)

循環障害は、血管系とリンパ管系分けられ、そこには種々の病気が発生する。全身の循環障害、局所の循環障害、傍側循環、水腫について学ぶ。

(予習)教科書 第4章「循環障害」、p26-34を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

5-6 代謝障害(講義)

代謝障害は、種々の原因で代謝異常を起こした場合細胞や組織の機能は低下する。とくに形態的変化がみられる状態を退行性病変といい、変性・萎縮・壊死に分類される。

(予習)教科書 第4章「循環障害」、第5章「代謝障害」、p35-43を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

7-8 増殖と修復(講義)

増殖と修復は、生体に加わって種々の刺激に対する生体の反応の修復過程であり生体が適応する 現象である。これらの肥大と増生、再生、化生、肉芽組織、創傷の治癒、基質化、異物の処理に ついて学ぶ。

(予習)教科書6章「増殖と修復」p44-51を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

9-10 炎症(講義)、免疫と免疫異常(講義)

生体が傷害性の刺激を受けた場合、局所ならびに全身的に生じる防御反応である。炎症の原因、 炎症細胞、急性・慢性炎症、組織学的変化、炎症の分類について学ぶ。

免疫とは自己か非自己かを認識して、非自己の場合、特異的に排除する働きである。アレルギーは免疫反応が生体を傷害し、病的状態を引き起こすことである。自己免疫異常は自分自身の細胞に対して免疫反応が働き障害を起こす事である。移植と免疫では、移植の種類など、これらについて学ぶ。

(予習)教科書 第7章「炎症」、第8章「免疫と免疫異常」、p52-73を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

11-12 腫瘍(講義) I

身体を構成する細胞が非合目的、不可逆的、自律性、過剰ないし無制限に増殖するものである。 腫瘍の形態、原因、発生、分類などを学ぶ。

(予習) 教科書 第9章「腫瘍」、p74-83を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

13-14 腫瘍(講義)Ⅱ

身体を構成する細胞が非合目的、不可逆的、自律性、過剰ないし無制限に増殖するものである。 腫瘍の形態、原因、発生、分類などを学ぶ。

(予習)教科書 第9章「腫瘍」、p74-83を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

15-16 歯の異常(講義)

歯の異常は、歯の形成・萌出過程に種々の刺激が加わると歯に異常がみられ、歯の大きさの異常、数の異常、構造の異常、色の異常位置の異常、萌出の異常、咬合の異常について学ぶ。

(予習) 教科書 第1章「歯の異常」、p86-93を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある復習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

17-18 歯の機械的損傷、歯の化学的損傷・歯の沈着物(講義)

歯の機械的損傷は、歯に外部からの物理的な力によって歯が、欠損や損傷を起こすことであり、、咬耗、摩耗、アブフラクション、破折などがある。

歯の化学的損傷は、化学的物質が歯に作用して歯質の白濁や欠損を生じることであり、酸蝕症がある。

歯の沈着物には、プラークや歯石があり、着色には内因性と外来性のものとがある。これらのことについて学ぶ。

(予習)教科書 第2章「歯の機械的損傷」、第3章「歯の化学的損傷」、第4章「歯の沈着物と着色」、p93-103を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある習使用の問題を解く(目安時間 訳10分)

19-20 う蝕(講義)

う蝕は、口腔内細菌の作用により歯質が崩壊する疾患を齲蝕という。う蝕の病因、進行による特徴、病理組織学的特徴などについて学ぶ。

(予習)教科書 第5章「う蝕」、p104-111を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)

21-22 象牙質・セメント質の増生, 歯髄の病変(講義)

歯が完成した後に、象牙質やセメント質が増生や肥大を起こし、第二、第三象牙質の形成、象牙 粒、セメント質粒について学ぶ。

歯髄には、退行性病変や炎症が発生し変性や萎縮が生じる。

歯髄炎は、歯髄に生じる炎症性病変で、その分類と臨床・病理組織学的特徴について学ぶ。

(予習)教科書 第6章「象牙質・セメント質の増生」、第7章「歯髄の病変」、p112-120を読む(目安時間20分)

(復習)章の最後にある習使用の問題を解く(目安時間 訳10分)

23-24 歯周組織の病変(根尖部歯周組織・辺縁部歯周組織の病変)(講義)

歯周組織の病変には、根尖部歯周組織の病変と辺縁部歯周組織の病変がある。根尖部に生じる病変は根尖性歯周炎といわれ、歯根膜に生じる急性漿液根尖性歯肉炎から歯根嚢胞まで種々に分類される。辺縁性歯周炎は、歯周病ともいわれ辺縁部歯肉から発症する。

咬合性外傷は、歯根膜や歯槽骨に生じる外傷性変化である。これらの病変について学ぶ。

(予習)教科書 第8根尖部歯周組織の病変」第9章「歯周組織の病変」、p121-139を読む(目 安時間20分)

(復習)章の最後にある習使用の問題を解く(目安時間 訳10分)

25-26 口腔の創傷治癒、口腔粘膜の病変、エプーリス、口腔領域の奇形、顎骨の病変(講義)

口腔の創傷治癒: 抜歯創の治癒と抜歯後の偶発症を学ぶ。

	口腔粘膜には、種々の原因により粘膜に多くの病変が発生する。 歯肉に生じる反応性の腫瘤をエプーリスという。これらの病変について学ぶ。 (予習)教科書 第10章「口腔の創傷治癒」、第11章「口腔粘膜疾患」、第12章「エプーリス」、第13章「口腔領域の奇形」、第14章「顎骨の病変」、p140-156を読む(目安時間20分) (復習)章の最後にある習使用の問題を解く(目安時間 訳10分) 27-28 口腔領域の嚢胞、歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、唾液腺の疾患(講義) 口腔領域には、病的空洞を有する嚢胞が多数発生する。		
	歯原性腫瘍は、歯を形成する組織に由来する腫瘍のことをいう。また、歯の形成に関連しない組織から発生する非歯原性腫瘍がある。 唾液腺には、炎症性疾患や腫瘍発生する。これらのことについて学ぶ。 これらのことについて学ぶ。 (予習)教科書 第15章「口腔領域の嚢胞」、第16章「歯原性腫瘍」、第17章「非歯原性腫瘍」、第18章「唾液腺の疾患」、p157-181を読む(目安時間10分) (復習)章の最後にある習使用の問題を解く(目安時間 訳5分)		
	29-30 口腔病理学・う蝕・辺縁性歯周炎(実習) 歯科 2 大疾患であるう蝕と歯周炎の病理組織像を理解するためにそれぞれの病理組織像(画像)の特徴を理解する。		
授業の到達目標	 病気の原因について説明できる。 6大病変を説明できる。 炎症と腫瘍の相違について説明できる。 歯の異常、損傷について列挙し説明できる。 齲蝕から根尖性歯周炎および辺縁性歯周炎について説明できる。 口腔粘膜疾患を説明できる。 口腔領域に発生する嚢胞、歯原性腫瘍を列挙できる。 		
成績評価の方法	科目試験100%		
授業外で行うべき 学修	予習は、授業計画の各章について教科書を読む。 復習は、各章の最後の「復習しよう」の問題を解く。		
使用テキスト	書籍タイトル:新・歯科衛生士教育マニュアル. 編集:田中昭男、谷口邦久、長谷川博雅、前田初彦 出版社:クインテッセンス出版株式会社 出版年:2017年 ISBN978-7812-0182-5 C3047 教科書に沿って講義を行う。		
参考資料	書籍タイトル:病理学総論にもとづく口腔病理学編集:井上 孝、田中昭男、長谷川博雅 出版社:永末書店 出版年:2018年 ISBN 9784816013362		
受講生への要望等	病理学・口腔病理学では、基礎と臨床に関連した科目で実際の患者さんの病変を学ぶ学問である。		
授業の質問対応、 連絡先	オフィスアワーは、前期開始後に提示します。授業用SNS「melly」で対応します。		

講義科目名称: 免疫・微生物学 授業コード: 1H202

英文科目名称: Immunology / Microbiology

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	2	必修(保健)	
担当教員				
山中 武志、真下 千穂、南部 隆之、				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20509	1 O H1 O			歯科医師

授業の概要と方法

ヒトに病気を起こす微生物に焦点をあて、その種類や特性をはじめ、引き起こされる感染症の発症メカニズムと予防、治療についての基本事項を講義により修得する。また微生物感染に対する生体防御機構である免疫系の働きについても理解する。さらに、口腔に常在する細菌の種類と特徴を知り、う蝕や歯周疾患などの口腔感染症の発生機序についても詳しく学習する。実習では、実際に微生物を取り扱うことで、臨床の場に欠かすことのできない滅菌・消毒法、無菌操作ならびに清潔・不潔の区別について体得する。口腔の二大感染症であるう蝕と歯周病についても、実習を通して病原細菌と疾病の成り立ちについて理解を深める。授業は講義と実習の形式で行い、授業内容についての小テストを毎時間行うことで知識の確認をする。授業内容の重要項目や実習で行った実験結果のディスカッションをグループワークで進め、必要に応じてグループごとにプレゼンテーションし、各自レポートにまとめる。

授業計画

- 微生物学・免疫学概論(講義)
 - 1) 私たちを取り巻く環境や私たち自身の体に定着して生息する微生物についての概説
 - 2) 私たちの体に備わっている免疫システムについての概説
 - 3) 微生物学、免疫学の発展に関わる歴史
- 2 微生物の分類とそれぞれの特徴(講義)
 - 1) 真核生物ドメイン、細菌ドメイン、古細菌ドメインについての概説
 - 2) 微生物の分類・命名についての概説
 - 3) それぞれの微生物の特徴
- 3 病原性原虫(講義)
 - 1) 歯科において重要な原虫感染症
 - 2) 口腔に生息する原虫
- 4 病原性真菌(講義)
 - 1) 歯科において重要な真菌感染症
 - 2) 口腔の真菌症とその治療薬
- 5 細菌の基本構造と増殖(講義)
 - 1) 細菌の基本構造と代謝、増殖
 - 2) 細菌のグラム染色性と分類
 - 3) 細菌の培養と観察法
- 6 病原性細菌(1)(講義)

グラム陽性菌

- 7 病原性細菌(2)(講義)
 - 1) グラム陰性菌
 - 2) 特殊な細菌
- 8 ウイルスとタンパク性病原体(講義)
 - 1) ウイルスの基本構造と増殖についての概説
 - 2) タンパク性病原体(プリオン)についての概説
- 9 ウイルス感染症(講義)
 - 1) DNAウイルス
 - 2) RNAウイルス
 - 3) レトロウイルス
- 10 免疫学総論(講義)
 - 1) 免疫システムの成り立ちと働き
 - 2) 免疫学的自己についての概説
- 11 免疫学各論(1)(講義)

	1) 自然免疫系の成り立ちについての概説
4.2	2) 自然免疫系の役割免疫学各論(2)(講義)
12	1) 獲得免疫系の成り立ちについての概説
	2) 体液性免疫の成り立ちと働き
13	免疫学各論(3)(講義)
	1) 細胞性免疫の成り立ちについての概説
	2) 細胞性免疫の役割
14	免疫学各論(4)(講義)
	1) 免疫寛容と破綻についての概説
	2) アレルギーとアレルギー性疾患
15	免疫学各論(5)(講義)
	1) 自己免疫と自己免疫性疾患
16	免疫学各論(6)(講義)
	1) 粘膜免疫の成り立ちについての概説 2) Filte の を に
	2) 口腔の免疫系についての概説3) 唾液抗菌因子の重要性
17	口腔微生物学(1)(講義)
1,	1) 口腔常在微生物についての概説
	2) 口腔細菌の多様性と病原性
18	口腔微生物学(2)(講義)
	1) 口腔微生物のバイオフィルム形成能についての概説
	2) 歯垢(プラーク) 形成メカニズム
19	口腔微生物学(3)(講義)
	1) う蝕発症メカニズム
20	口腔微生物学(4)(講義)
	1) 口腔の偏性嫌気性菌の病原性
21	2) 歯周疾患発症メカニズム ロ腔微生物学(5)(講義)
21	1) 歯科領域におけるウイルス感染症
	2) 口腔の真菌症
22	口腔微生物学(6)(講義)
	1) 歯科診療上注意を要する感染症
	2) 歯科における感染予防対策
23	滅菌・消毒(講義)
	1) 歯科臨床における滅菌・消毒の重要性についての概説
	2) 主な滅菌法3) 主な消毒法
	4) 消毒薬
24	化学療法(講義)
	1) 化学療法による原因微生物排除についての概説
	2) 抗菌薬
	3) 抗真菌薬
	4) 抗ウイルス薬 (************************************
25	微生物学実習(1)(実習)
	1) 滅菌・消毒の基本 2) 微生物培養のための準備
26	微生物学実習(2)(実習)
	1) 培地の作成と滅菌
27	微生物学実習(3)(実習)
	1) 細菌のグラム染色

	1				
	2) 細菌の顕微鏡観察				
	28 微生物学実習(4)(実習)				
	1) 人工歯垢形成試験				
	2) 口腔微生物の化学療法薬感受性				
	3) 唾液細菌数の測定				
	4) う蝕活動性テスト				
	5) 歯垢の位相差顕微鏡観察				
	29 微生物学実習(5)(実習)				
	1) 人工歯垢形成試験(結果判定)				
	2) 口腔微生物の化学療法薬感受性(結果判定)				
	3)う蝕活動性テスト(結果判定)				
	30				
	1) 実験結果のまとめと考察				
	2)レポート作成と提出				
授業の到達目標	歯科衛生士に必要な、感染症の原因である微生物についての基本知識を修得できる。 臨床で必要とされる感染症の成り立ち、治療法、予防、感染防止についての基本事項が理解できる。				
	微生物感染に対する生体防御機構である免疫系の役割を理解できる。				
	歯科臨床上重要な滅菌・消毒について理解し実践できる。				
	歯科診療における清潔・不潔が区別できる。				
成績評価の方法	科目試験70%、小テスト20%、提出物・レポート10%で評価する。小テストの解説は随時講義で行う。 レポートならびに提出物については返却時にコメントする。				
授業外で行うべき	講義内容の中から興味深い項目を選び、レポートにまとめる(ノート提出前に2時間程度)。				
学修	週ごとの講義内容について次週に小テストがあるので、必ず教科書、ノートを含め、講義内容を復習し自分な				
	りに要約しておく(1時間程度)				
使用テキスト	「微生物学(新・歯科衛生士教育マニュアル)」上西秀則, 井上博雅, 山中武志 クインテッセンス出版 2019				
	ISBN978-4-7812-0241-9				
	「改訂版 これからは免疫学」 山中武志 永末書店 2013 ISBN978-4-8160-1260-0 講義に沿ってテキストを使用する。小テスト、レポート課題を教科書から出題する。				
	講義に沿つ(ナキストを使用する。小ナスト、レボート課題を教科書から出題する。 				
参考資料	必要な場合は資料を適宜配布する。				
受講生への要望等	復習を必ず行うこと。				
授業の質問対応、 連絡先	在室時に随時対応します。時間を決めて質問に来たい場合は授業用 SNS 「melly」にて連絡をしてください。				

講義科目名称: 薬理学 授業コード: 10203

英文科目名称: Pharmacology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
福田 伊津子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20510	1 H1		1 @ E1 O	

授業の概要と方法

薬理学は、薬物を生体に与えた場合に生体が現す反応を研究する科学である。薬理学の背景には解剖学、生理学、生化学、微生物学、病理学などがあり、これらの科目を包括した総合的な専門基礎科目であり、その習得は重要である。本授業では、薬物の作用、薬物動態、薬物の取り扱い等の薬理学の基本的知識を修得する。また、各論として、末梢神経系、中枢神経系、循環器系、腎臓、呼吸器系、消化器系、血液に作用する薬物を理解する。授業は講義形式により行う。

授業計画

1 薬物の作用

【講義】

薬物とは、薬理学とは

薬物療法の種類

薬理作用の様式、基本形式、分類

用量反応関係と薬用量

薬理作用の機序

(予習) テキストI編1章を読む(目安時間:約20分)

(復習)薬物の作用についてまとめる。(目安時間:約30分)

2 薬物動態、薬物の適用方法の種類と特徴

【講義】

薬物動態

適用方法の種類

生物学的利用能

(予習) テキストI編2、3章を読む(目安時間:約20分)

(復習)薬物動態、薬物の適用方法の種類と特徴についてまとめる。(目安時間:約30分)

3 **薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、有害作用、医薬品を適用する際の注意**

【講義】

薬効に影響する因子・生体の感受性

薬物の連用、併用、相互作用

薬物の副作用、有害作用

医薬品を適用する際の注意

(予習) テキストI編4、5、6章を読む(目安時間:約20分)

(復習)薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、有害作用、医薬品を適用する際の注意 についてまとめる。(目安時間:約30分)

4 薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品

【講義】

薬物の取り扱い

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

日本薬局方

薬物の表示と保存、取締法

(予習) テキストI編7、8章を読む(目安時間:約20分)

(復習)薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品についてまとめる。(目安時間:約30分)

5 末梢神経系に作用する薬物

【講義】

自律神経作動薬、遮断薬

(予習) テキストII編1章を読む(目安時間:約20分)

(復習)末梢神経系に作用する薬物についてまとめる。(目安時間:約30分)

6 中枢神経系に作用する薬物

	【講義】 中枢神経に作用する薬物 全身麻酔薬 GABA受容体作動薬、遮断薬 中枢神経興奮薬 (予習) テキストII編3章を読む(目安時間:約20分) (復習) 中枢神経系に作用する薬物についてまとめる。(目安時間:約30分) 循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物 【講義】 循環器系に作用する薬物 腎臓の機能と生理 利尿薬 (予習) テキストII編4、5章を読む(目安時間:約20分) (復習) 循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物についてまとめる。(目安時間:約30分) (復習) 循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物についてまとめる。(目安時間:約30分) 8 消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物 【講義】 消化器系に作用する薬物 (連貫) 消化器系に作用する薬物 (上の機構、血液に関連する薬物 (予習) テキストII編7、8章を読む(目安時間:約20分) (復習) 消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物についてまとめる。(目安時間:約30分)					
	【講義】					
	これまで講義内容を振り返り、総復習します。					
授業の到達目標	医療に係わる専門職としての基本的な知識力および口腔保健に関する知識として、薬理学の基本的知識を習得できる。					
成績評価の方法	科目試験(70%)および授業中に実施する小テスト(30%)を総合的に評価する。やむを得ない理由で授業中に実施する小テストを提出できない者については、レポートを課す。 小テストの解説は、適宜講義で行う。					
授業外で行うべき 学修	授業計画に記載の予習・復習を行う。					
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学第2版 鈴木邦明ほか 医歯薬出版株式会社 2019年 ISBN 978-4-263-42860-3					
参考資料	なし					
受講生への要望等	なし					
授業の質問対応、 連絡先	神戸大学大学院農学研究科 メールアドレス itsuko@silver.kobe-u.ac.jp					

講義科目名称: 歯科薬理学 授業コード: 2H101

英文科目名称: Dental Pharacology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第2学年	1	必修(保健)	
担当教員				
中塚 隆介				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20511	1 ○ H1 ◎			

20511	1 ○ H1 ◎
授業の概要と方法	歯科薬理学では薬理学の基本的知識を踏まえ、歯・口腔の予防と治療のための薬物について、その専門的知識を修得する。具体的には、局所麻酔薬などの末梢神経系作用薬、抗炎症薬、鎮痛薬、抗感染症薬、消毒薬、歯内治療薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬、洗口薬、顎・口腔疾患に用いる薬物について取り扱う。さらに歯科薬物療法の具体的事例を用いた演習を行い、理解を深める。
授業計画	1 【講義】歯科における消毒薬
	消毒薬について理解する
	2 【講義】歯科における麻酔薬
	局所麻酔薬について理解する
	3 【講義】歯科における鎮痛薬
	鎮痛薬について理解する
	4 【講義】歯科における抗炎症薬
	抗炎症薬について理解する
	5 【講義】歯科における抗感染症薬
	抗感染症薬について理解する
	6 【講義】歯・歯髄疾患に用いる薬物
	歯・歯髄疾患の基礎と治療薬物について理解する
	7 【講義】顎・口腔疾患に用いる薬物(顎関節、顎骨、口腔粘膜)
	顎・口腔疾患の基礎と治療薬物について理解する
	具体的症例を取り上げ、その治療薬物について演習を行う
授業の到達目標	薬理学の知識を踏まえ、歯・口腔の疾病の予防と治療のための薬物について、基本知識を修得する
成績評価の方法	受講態度(10%)、小テスト(10%)、レポート(10%)、単位試験(70%)を総合的に評価する
授業外で行うべき 学修	歯科臨床各科目の理解に努める
使用テキスト	歯科衛生士テキスト 最新薬理学-疾病の成り立ち及び回復過程の促進- 学建書院
参考資料	
受講生への要望等	臨床に沿った講義となるので、臨床科目と関連付けて取り組んでほしい
授業の質問対応、	メールにて対応する
連絡先	nakatsur@hirakata.kmu.ac.jp

講義科目名称: 歯科材料学 授業コード: 1H203

英文科目名称: Dental Materials

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
党期 第1		第1学年	21学年 1 必修(保健)				
担当教員							
橋本 正則							
科目ナンバリング		口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
20512		1 O H1 ©			歯科医師		
授業の概要と方法	になる。こ に、歯科材 授業は、板	の授業では、歯 料の臨床での取 書を中心とした 。毎回の授業の 。	科衛生士が取り り扱いが重要で 講義形式で行う 最初に「授業 <i>の</i>)扱う主な歯科材料についての である。 う。「歯科材料」(医歯薬出版)	こは、様々な歯科材料を取り扱うこと 基本的な知識の習得を目的とする。特 を教科書として、教科書を中心に持 トを配布する。それを授業の復習に行		
受業計画	2	1) 口腔診療 2) 臨床で使 【 講義】歯科 1) 臨床で歯	用される歯科材 衛生士にかかれ 科衛生士が多く	国科材料とその基礎知識についる 対料を有機、無機、金属およびを 2る材料 (かかわる歯科材料について説明 製溝填塞材(シーラント)につい	复合材料に分類して説明する。 明する。		
	3	2) 寒天、ア	 における印象拐	発得の重要性と印象材の所要性質 にびラバー系印象材を中心に説明			
	5	1) 石膏の模 【講義】合着	型材料としての ・接着材	の所要性質と特性について説明で 組成および特性について説明で			
	6	【講義】成形	歯冠修復材	くントおよび接着性レジン系セン			
	7	【講義】仮封	材、暫間修復	材	ノマーセメントについて説明する。		
	8	【講義】金属 1) 金属およ	、セラミックス、 そ びセラミックス	がについて説明する。 そ の他の歯科材料 ス材料について概説する。 こホワイトニング材およびインご	プラントについて説明する。		
授業の到達目標	 生物 生物 生物 中象材 石膏模型 合着材, 成形歯部 	の種類と所要性質 型の所要性質お。 接着剤の所要性 団修復材の種類な	つる材料につい 質および取り扱 よび取り扱いの 生質および取り および取り扱い	きる。(講義) て説明できる.(講義) いを説明できる.(講義) 注意点を説明できる.(講義) 扱いを説明できる.(講義) の注意点を説明できる.(講義 科材料の種類と特徴を説明でき			
成績評価の方法	全授業の中	で2回小テスト	(記述式および	%程度)定期テスト(70%程度 国家試験形式)を行います。 ごに行います。また、解答用紙(度) にて成績評価を行う は採点して次回の授業時に返却しま		
授業外で行うべき 学修	各授業で、 を取ってい	「授業のポイン	ト」というプリ るようになって		复習しておくこと。 されている質問は授業を聞いてノー こより授業の復習に役立てること。		

使用テキスト	最新歯科衛生士教本 「歯科材料」全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)
	教科書の内容に沿って授業を進めますので、予習・復習に役立ててください。
参考資料	イラストと写真でわかる 「歯科材料の基礎」著:竹澤保政(末永書店)
受講生への要望等	歯科診療補助は歯科衛生士の重要な業務の一つです。その際には、様々な歯科材料を取り扱いますが、その取扱いが、歯科治療の成否を分けることもあるということを認識して、この授業に取り組んでください。
授業の質問対応、 連絡先	質問等をしたい場合は在室時にはいつでも可能ですが、「melly」で事前に連絡してくれれば便利かと思います。

講義科目名称: 口腔解剖学実習 授業コード: 1K201

英文科目名称: Oral Anatomy Practice

, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	3	必修(工学)	
担当教員				
中塚 美智子、藤田 暁、隈部 俊二				
科目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20513		1 ○ E1 ◎ 歯科医師、歯科技工士		
授業の概要と方法 口腔解剖学実習では、口腔解剖学講義で学んだヒトの歯の形態を、実際に図や石膏ブロックにて表現していき				

20513		1 ○ E1 © 歯科医師	中、 密科技上士
授業の概要と方法	ます。永久園面(唇・頬側石膏ブロック ICTを活用し	実習では、口腔解剖学講義で学んだヒトの歯の形態を、実際に図や石膏ブロ歯の形態を把握し、それを立体的に表現するために、歯のスケッチを行い、側、舌側、近・遠心、切縁または咬合面)から観察した際の形態的特徴につクを製作し、歯の形態を立体的に表現するための手技を体得する。 した双方向型授業(動画による実習説明)や自主学習支援も行いつつ、配付にいて実習を進め、手技を体得する。	歯種別の形態の差や、5 いて学ぶ。並行して、
授業計画	1-2	実習 についての説明 実習	
		本実習の目的と実習内容について理解する。 実習で使用する石膏ブロックを製作することができる。 歯のスケッチの仕方を説明することができる。	
	3-4	上顎中切歯彫刻(1)説明、ブロック点検、スケッチ	
		実習(ICT:動画) 上顎中切歯の彫刻の仕方を説明することができる。 上顎中切歯のスケッチを行うことができる。	
	5-6	上顎中切歯彫刻(2)輪郭形成、上顎側切歯説明、スケッチ	
		実習(ICT:動画) 上顎中切歯の概形を彫刻することができる。 上顎側切歯のスケッチを行うことができる。	
	7-8	上顎中切歯彫刻(3) 歯冠形成	
	9-10	実習(ICT:動画) 上顎中切歯の歯冠を形成することができる。 上顎中切歯彫刻(4)、歯根形成、下顎中切歯説明、スケッチ	
		実習(ICT:動画) 上顎中切歯の歯根を形成することができる。 下顎中切歯のスケッチを行うことができる。	
	11-12	上顎中切歯彫刻(5)点検、形態修正 、下顎側切歯説明、スケッチ	
		実習(ICT:動画) 上顎中切歯の彫刻を完成させる。 下顎側切歯のスケッチを行うことができる。	
	13-14	上顎犬歯彫刻(1)説明、スケッチ	
		実習(ICT:動画) 上顎犬歯の彫刻の仕方を説明することができる。 上顎犬歯のスケッチを行うことができる。	
	15-16	上顎犬歯彫刻(2) 歯冠形成、下顎犬歯説明、スケッチ 実習(ICT:動画) 上顎犬歯の歯冠を形成することができる。 下顎犬歯のスケッチを行うことができる。	
	17-18	上顎犬歯彫刻(3) 歯根形成、点検、形態修正 実習(ICT:動画) 上顎犬歯の彫刻を完成させる。	
	19-20	上顎角圏の彫刻で元成させる。 上顎第一小臼歯彫刻(1)説明、スケッチ	
	1 2 2 3		

実習(ICT:動画)

上顎第一小臼歯の彫刻の仕方を説明することができる。 上顎第一小臼歯のスケッチを行うことができる。 上顎第一小臼歯彫刻(2)歯冠形成、上顎第二小臼歯説明、スケッチ 21-22 実習(ICT:動画) 上顎第一小臼歯の歯冠を形成することができる。 上顎第二小臼歯のスケッチを行うことができる。 上顎第一小臼歯彫刻(3) 歯根形成、点検、形態修正 23-24 実習 (ICT:動画) 上顎第一小臼歯の彫刻を完成させる。 下顎小臼歯彫刻(1)説明、下顎第一小臼歯スケッチ 25-26 実習(ICT:動画) 下顎第一小臼歯の彫刻の仕方を説明することができる。 下顎第一小臼歯のスケッチを行うことができる。 下顎小臼歯彫刻(2)歯冠形成、下顎第二小臼歯スケッチ 27-28 実習(ICT:動画) 下顎第一小臼歯の歯冠を形成することができる。 下顎第二小臼歯のスケッチを行うことができる。 下顎小臼歯彫刻(3)歯根形成、点検、形態修正 29-30 実習 (ICT:動画) 下顎第一小臼歯の歯根を形成することができる。 下顎第一小臼歯の彫刻を完成させる。 上顎大臼歯彫刻(1)説明、上顎第一大臼歯スケッチ 31-32 実習(ICT:動画) 上顎第一大臼歯の彫刻の仕方を説明することができる。 上顎第一大臼歯のスケッチを行うことができる。 33-34 上顎大臼歯彫刻(2)歯冠形成、上顎第二大臼歯スケッチ 実習 (ICT:動画) 上顎第一大臼歯の歯冠を形成することができる。 上顎第二大臼歯のスケッチを行うことができる。 上顎大臼歯彫刻(3)歯根形成、点検、形態修正 35-36 実習(ICT:動画) 上顎第一大臼歯の歯根を形成することができる。 上顎第一大臼歯の彫刻を完成させる。 下顎大臼歯彫刻(1)説明、下顎第一大臼歯スケッチ 37-38 実習(ICT:動画) 下顎第一大臼歯の彫刻の仕方を説明することができる。 下顎第一大臼歯のスケッチを行うことができる。 下顎大臼歯彫刻(2)歯冠形成、下顎第二大臼歯スケッチ 39-40 実習 (ICT:動画) 下顎第一大臼歯の歯冠の形成を行うことができる。 下顎第二大臼歯の形態のスケッチを行うことができる。 下顎大臼歯彫刻(3)歯根形成 41-42 実習(ICT:動画) 下顎第一大臼歯の歯根の形成を行うことができる。 下顎大臼歯彫刻(4)点検、形態修正 43-44 実習(ICT:動画) 下顎第一大臼歯の彫刻を完成させる。 実習作品仕上げ 45 実習(ICT:動画) 実習中に与えられた課題の仕上げを行う。 授業の到達目標 1.ヒトの歯について歯種の鑑別ができる。 2.永久歯28本について、5面(唇・頬側、舌側、近・遠心、切縁または咬合面)から観察した形態を描くことが

	できる。
成績評価の方法	3.永久歯各歯の形態的特徴を説明することができ、またそれらを彫刻により表現することができる。 実習課題は(1)上顎右側中切歯、上顎右側犬歯、上下顎右側第一小臼歯、上下顎右側第一大臼歯の彫刻(2倍大、石膏ブロック6本)、(2)上顎右側側切歯、下顎右側中切歯、下顎右側側切歯、下顎右側側切歯、下顎右側側切歯、下顎右側側切歯、下顎右側の彫刻(1.5cm角、石膏棒8本)、(3)歯の展開図スケッチ(第三大臼歯を除く右側永久歯14本)です。 このうち(1)については実習で説明を行いつつ進めていきます。 実習課題 70%、実習試験 30%(歯型彫刻、鑑別)により評価し、100点満点で60点以上を合格とします。 提出物については合格するまで随時コメントします。 *実習作品(彫刻、スケッチ、チェックリスト)について、提出期限に1つでも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。 *受講態度、提出物等本実習に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。
授業外で行うべき 学修	・毎実習前に彫刻する歯の形態について予習し、自分でどのような点に気を付けて歯の彫刻を行うかについて自主的に記録します(約30分)。 ・毎実習後に、実習前に気を付けようと思った点に対する自分なりの工夫や、今後の課題について振り返り、自主的に記録します。また、振り返った内容を実習作品に反映させます(約30分)。 *提出、また実習課題の内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。
使用テキスト	歯科技工学実習トレーニング 歯の解剖 歯のデッサンと歯型彫刻(医歯薬出版)2015年、 ISBN978-4-263-43345-4 口腔解剖学実習帳(予定)
参考資料	歯の解剖学 第22版(金原出版)1997年、ISBN4-307-45007-8
受講生への要望等	みなさんが将来携わる仕事は、歯が欠けたり抜けたりして食事ができず困っている人々や、歯の形や口元が気になって人前に出ることをためらう人々に元気や自信を取り戻してもらうことができる素晴らしいものです。口腔解剖学実習はその仕事に携わるための最初の一歩だという意識を持って臨んでほしいです。また、ヒトの歯の形態、歯の彫刻は歯科技工士国家試験で必ず出題されます。実習中のみならず、空いている時間を使って自主的に歯の彫刻の練習をしましょう。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS (Melly) で予約した上で、面談形式で行います。

講義科目名称: 顎口腔機能学 授業コード: 1K202

英文科目名称: Stomatognathic Functions

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	1	必修(工学)	
担当教員				
三宅 晃子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20514			1 © E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

顎口腔系の機能は、咀嚼、嚥下、発音であり、歯、歯周組織、上下顎歯列による咬合、上顎骨、下顎骨、舌骨、顎関節とこれらに付着する筋、口唇、頬などの軟組織および神経系の機能によって営まれる。これらのいずれかに障害が生じれば顎口腔系に異常が発現する。顎口腔系に異常がある場合にはその形態、機能を回復させる必要がある。

この科目では、講義によって歯科医療人として必要な顎口腔系の基礎と臨床の知識を習得する。

授業計画

【講義】顎口腔系の形態

- 1) 歯列と咬合の関係を説明できる。
- 2) 顎口腔系の筋の名称と特徴を説明できる。
- 3) 顎関節の構造と機能を説明できる。
- 4) 顎口腔系の神経支配について説明できる。

2 【講義】顎口腔系の機能

- 1) 下顎運動の分析に必要な基準点と基準平面を説明できる。
- 2) 咬合に関する平面について説明できる。

3 【講義】下顎位

- 1) 咬頭嵌合位を説明できる。
- 2) 中心位を説明できる。
- 3) 下顎安静位を説明できる。
- 4) 偏心咬合位を説明できる。

4 【講義】下顎運動

- 1) 下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。
- 2) 下顎の機能運動の種類と特徴を説明できる。
- 3) 下顎の限界運動と下顎の機能運動を説明できる。

5 【講義】歯の接触様式

- 1)機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。
- 2) 咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触の種類と特徴を説明できる。

6 【講義】咬合器の使用目的と分類及び使用方法

- 1) 咬合器の種類、機構および使用目的を説明できる。
- 2) フェイスボウの使用方法について説明できる。

7 【講義】咬合検査の目的と方法

- 1) 咬合検査の目的を説明できる。
- 2) 咬合紙検査法を説明できる。
- 3) 咬合接触圧検査法を説明できる。

8 【講義】顎機能障害の症状及び対応

- 1) 顎機能障害の主要症状を説明できる。
- 2) スプリントの種類と特徴を説明できる。

授業の到達目標	1) 顎口腔系の形態を説明できる。
	2) 顎口腔系の機能を説明できる。
	3) 下顎位を説明できる。
	4) 下顎運動を説明できる。
	5) 咬合様式を説明できる。
	6) 咬合器を説明できる。
	7) 咬合検査を説明できる。
	8) 顎機能障害を説明できる。
成績評価の方法	成績は科目試験、小テスト等を行い、総合的に評価する。
	前回の講義内容に関する小テストを行う。小テストの解説は随時講義で行う。
	評価の比率は、科目試験80%、小テスト20%とする。
授業外で行うべき 学修	予習約30分、講義修了後、講義ノートと教科書を約1時間程度復習して、歯科技工士として生体と調和した補 綴装置が作製できるよう努めて下さい。また、歯科技工士国家試験の勉強に慣れるため、過去問を解く習慣を 身に付けて下さい。
使用テキスト	新歯科技工士教本 顎口腔機能学 医歯薬出版
参考資料	無歯顎補綴治療の基本 財団法人 口腔保健協会
	スタンダード部分床義歯学補綴学 学建書院
受講生への要望等	補綴装置を製作する際に必要な科目です。顎口腔機能を十分に理解し、生体に調和した補綴装置を作製できるように学習して下さい。
授業の質問対応、 連絡先	質問があれば、mellyにて連絡して下さい。約束した時間に、医療保健学部の自室におります。

講義科目名称: 顎凵腔機能字演習				授業コード:	2K201	
英文科目名称: Stomatognathic Functions Seminar						
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		第2学年	1	必修(工学)		
担当教員						
小正 裕、西崎 宏、錦	織 良、三宅:	晃子				
科目ナンバリング		口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20515				1 O E1 ©	歯科医師	
授業の概要と方法	態、機能、合器を用いな技術と基準	下顎位、下顎運動 ながら歯科技工操 本的な知識を習得 いる。各自の咀嚼	、歯の接触様式 操作における顎口 ける。咬合検査	る生体の動きと模型の動きを理解、 顆路測定等をフェイスボウトラデ 控機能と形態の回復・修復に寄与で 方法や顎機能障害の理解にコンピーとに調節性咬合器を用いて技工物で	ンスファー、タイプの異なる咬 させるための装置の作製に必要 ューターを用いたシミュレー	
授業計画	1 プロアーチ咬合器の使用法の説明(講義)、上下顎の印象採得(実習)					
	・半調節性咬合器(プロアーチ咬合器)の使用法の概略説明 ・アルジネート印象					

- 2 上下顎の模型製作(実習)
 - ・硬石膏で模型製作
 - ・スプリットキャスト(上顎模型)
- 3 フェイスポウトランスファー、上顎模型の咬合器装着(実習)
 - ・上顎三角の測定(フェイスボウトランスファー)
 - 上顎模型の咬合器装着
- 4 咬頭嵌合位、偏心位のチェックバイトの採得(実習)
 - ・咬頭嵌合位のチェックバイトの採得
 - ・偏心位のチェックバイトの採得
- 5 下顎模型の咬合器装着(実習)
 - 下顎模型の咬合器装着
- 6 矢状顆路角、側方顆路角、切歯路角の調整(実習)
 - ・矢状顆路角調整
 - ・矢側方顆路角の調整
 - ・矢切歯路角の調整
- 7 スプリントの製作(実習)
 - ・光重合レジンでスプリントの製作
- 8 スプリントの調整(実習)
 - ・スプリントの咬合調整
- 9 デンタータス咬合器の使用法の説明(講義)
 - ・デンタータス咬合器の使用法の概略説明
- 10 フェースポウトランスファー、上顎模型の装着(実習)
 - ・上顎三角の測定(フェイスボウトランスファー)
 - ・上顎模型の咬合器装着
- 11 下顎模型の咬合器装着(実習)
 - ・下顎模型の咬合器装着
- 12 矢状顆路角、側方顆路角、切歯路角の調整(実習)
 - ・矢状顆路角調整
 - ・矢側方顆路角の調整
 - ・矢切歯路角の調整
- 13 その他の咬合器を用いた演習(実習)
 - ・その他の咬合器の使用法
- 14 その他の咬合器を用いた演習、・咀嚼機能検査(実習)

	W
	・その他の咬合器の使用法・グミを用いた咀嚼機能検査
	・各自の咀嚼機能についてのレポートを作成
	15 調節性咬合器を用いて技工物を製作する必要性についてグループ討論(グループディスカッション)
	・各自の咀嚼機能についてのレポートをもとに調節性咬合器を用いて技工物を製作する必要性についてグループ討論する
授業の到達目標	 印象採得の手順が説明できる。 作業用模型を作製できる。 咬頭嵌合位と偏心位の咬合採得ができる。 フェイスボウを使用することができる。 フェイスボウを利用しての咬合器装着ができる。 矢状顆路角、側方顆路角、切歯路角の測定方法が説明できる。 光重合レジンを用いたスプリントが作製できる。 スプリントの調整ができる。 各種咬合器の調節および使用方法が説明できる。 明嚼機能の評価ができる。
	11) 調節性咬合器を用いて技工物を製作する必要性についてグループ討論ができる。
成績評価の方法	実習作品,実習試験及びレポートとグループ討論の結果を総合的に評価する。 評価の比率は,実習作品60%,実習試験20%,レポートとグループ討論20%とする。 提出物については、返却時にコメントする。
授業外で行うべき 学修	実習前に実習内容について20分程度、予習を行い、実習で用いる器材の性質や使用方法について理解しておいてください。
使用テキスト	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 (全国歯科技工士教育協議会)(医歯薬出版) 2016年 ISBN 978-4263431634
参考資料	新編 咬合学事典(保母 須弥也ほか)クインテッセンス出版 1998年 ISBN 9784874175804 顎関節症治療のためのスプリントの作り方・使い方(鱒見進一ほか)(ヒョウロン)2011年 ISBN 9784864320009 歯学生のパーシャルデンチャー(三谷春保ほか)(医歯薬出版)2018年 ISBN 9784263458174 クラウンブリッジテクニック(三浦宏之ほか)(医歯薬出版)2018年 ISBN 9784263458167 咬合器の臨床テクニック(榎本一彦ほか)(日本歯科評論) 2009年 ISBN 9784930881526
受講生への要望等	顎口腔機能の理解は補綴装置を作製する上で重要な事柄である。各種咬合器の違いを理解し、下顎運動についての理解を深めてください。実習の進捗状況により、授業計画は変更する可能性があります。
授業の質問対応、 連絡先	mell y を用いて質問や連絡してください。

講義科目名称: 歯科理工学 I 授業コード: 1K301

英文科目名称: Dental Materials 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第1学年	4	必修(工学)	
担当教員				
都賀谷 紀宏				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20516			1 ○ E1 ○ E3 ◎	

科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
20516			1 O E1 O E3 ©				
授業の概要と方法	た、それら うえでは必 識の習得を	の製作に当っても様々な材料が 頃のものである。本講義では、	それぞれの特性を活かして適材適が用いられる。これらの材料につい 主として歯科技工において取り扱	ての基本的知識は、材料を取り扱			
₩₩計画		は、デキストのよび恢音中心の調義形式で行う。 歯科技工と歯科理工学					
授業計画	1		学の位置づけについて概説する。				
	1	圏科技工にありる圏科理工・ 各種材料の特徴と歯科材料					
	2		ャッカル おいて取り扱う各種材料の特徴と月	12について説明する			
	2.4	歯科 おおり と		日述について武明りる。			
	3,4			ロナフ			
			価方法としての試験法について説明 物理的性質 化学的性質 生物学				
	5,0	5,6 歯科材料の一般的性質2(物理的性質, 化学的性質, 生物学的性質) 歯科材料の物理的性質, 化学的性質, 生物学的性質について説明する。					
		断性的性の物理的性質, 16- 印象材	子的注具,生物子的注具に ノいしむ	で り つ。			
	7	ロ象材の種類、組成および	は州について説明せて				
		では、他のでは、他ののよびでは、他ののよびでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他の	付任にプいて就明する。				
	8		出明士マ				
		石膏の種類と特性について 歯科用金属の種類と所要性					
	9						
	10	歯科用金属の種類と所要性	金属の所要性質について説明する。 + 質(鯔イナナナm)				
	10						
	11.12	鑞付け用金属の所要性質に 歯科用金合金の性質と添加					
	11,12		2	□ → ¬			
	12	圏科用金高金の種類と性質 陶材焼付用金属の成分と	および添加成分の役割について説明 5 亜州 毎	19 බං			
	13						
	1.4	陶材焼付用金属の種類と所 歯科用銀合金の性質と添加					
	14			□ → ¬			
	4.5	圏科用銀口並の種類と注意の 歯科用非貴金属合金	および添加成分の役割について説明	19 බං			
	15		ᄵᄱᅷᆉᅛᅜᅂᄖᆂᆘᄮᄺᆨᇬᇧᅎᄛᄊᄜᅷᄀ	7			
	16	圏科用非貝並周ロ並の種類, 合金の状態図の読み方	, 組成および特性について説明する	D o			
	16	日並 の状態図の読み方 につい	ハナ説明オス				
	17	歯科用合金の熱処理	ハに就明9つ。				
	17		メカニズムについて説明する。				
	10	MARIE MARI	ヘル <u>ー</u> ヘムに ノいし武明 9 る。				
	18		しのメカニズムについて説明する。				
	10	金属の腐食	しのメガニスムについて説明する。				
	19		z				
	20	金属の腐食について説明する	ଚ ,				
	20	乗 れ 鑞材の種類、 組成および特	洲について説明する				
	21		エに ノい に 明 9 る。				
	21		タボー性性について部ロオス				
		埋液が砂川安性質と種類、	組成、特性について説明する。				

	22	原型材料(ワックス)					
	22	歯科鋳造などに用いる原型材料(ワックス) の所要性質と種類、組成ついて説明する。					
	23	義歯床用レジン 義歯床用レジンの種類、組成および特性について説明する。					
	24						
		歯冠用レジンおよびマウスガード用レジンの種類、組成および特性について説明する。					
	25	金属焼付用陶材					
		歯科用陶材の種類および金属焼付用陶材の組成および特性について説明する。					
	26	歯科用セラミックス材(オールセラミックス用)					
		歯科用セラミックス材の種類、組成および特性について説明する。					
	27	研磨材					
	28	研磨材の種類、組成および特性について説明する。 合着材・接着材					
		合着材・接着材の種類、組成および特性について説明する。					
	29	成形修復材					
		歯冠成形修復よ材の種類、組成および特性について説明する。					
	30	補綴物,修復物の安全性					
		歯科補綴物および修復物の安全性について説明する。					
授業の到達目標		こおける歯科理工学の意義について説明できる。					
)一般的性質を説明できる。 阻成と特徴を説明できる。					
		類と特徴を説明できる。					
		最の種類と所要性質を説明できる。					
	6. 歯科用合金	会の成分と添加金属の役割を説明できる。					
	7. 歯科用金属	『の加工と加工硬化について説明できる。					
		会の硬化熱処理について説明できる。					
		の腐食について説明できる。					
		材の種類と特徴について説明できる。 ************************************					
		ジンの種類と成分について説明できる。 用陶材の成分と性質について説明できる。					
	1	ラミックスの種類と特徴について説明できる。					
		種類と成分について説明できる。					
	15. 補綴物の	安全性について説明できる。					
成績評価の方法		、並びに授業中の小テスト、受講態度から総合的に成績評価する。 期末テスト80%、小テスト・受講態度20%。					
授業外で行うべき 学修	世凹復首で 9	ること(約1時間)。予習(約30分)については、必要に応じてその都度指示します。					
使用テキスト		士教本「歯科理工学」(医歯薬出版)					
		載されている各章の到達目標を確認し、概ねテキストの記載順に説明する。テキストで不十分とは、補足的資料としてプリント配布する。					
参考資料		「歯科理工学」(学建書院)					
		·入門」(学建書院)					
		科理工学」(医歯薬出版)					
		択・操作のハテナに答える「臨床技工材料の本」(医歯薬出版) of Dental Material Science(ライブ歯科理工学)(学建書院)					
		科材料学 上・中・下(医歯薬出版)					
受講生への要望等		葉や材料が多く出てくると思いますが、慣れることが第一です。できるだけ早く慣れるように心					
		い。そのためには、日常から身の回りにある材料にも目を向けたり、インターネットなどを活用					
	して、埋解し ださい。	難い言葉を調べたり、どこにどんな材料が使用されているのか探すなど、積極的に取り組んでく 					
		授業用SNS(Melly)で連絡のうえ、医療保健学部の教員室に来てもらうか、授業用					
連絡先	見回対応は、 SNS(Melly)	·					
~_14/5	J. 1.5 (1 1011y)						

講義科目名称: 歯科理工学 II 授業コード: 1K203

英文科目名称: Dental Materials 2

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
後期		第1学年	1	必修(工学)	
担当教員			·		
都賀谷 紀宏					
科目ナンバリング		口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20517				1 ○ E1 ○ E3 ◎	
授業の概要と方法	歯科補綴物、充填物、矯正装置などに用いられる材料は多岐にわたっており、また、その成形加工方法も様々な方法が採用されている。本講義では、金属、レジン、セラミックスそれぞれの成形加工方法について学習し、各成形加工法の基本的知識や適切な加工条件の設定方法などの習得を目的とする。 講義は、テキストおよび板書中心の講義形式で行う。				
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 歩 金 歯 重 歯 陶 陶 オ	ま込み不足) 寿込み不足」の発生 寿巣1:収縮孔) 収縮孔」の発生原原 寿巣2:ブローホー川 びローホー川」、 (鑞付け、レーザー) 間いられる金属接色 熱成形法 いの重合方法及び熱 での製作法とオーリ がでにオールセラミ		る。 取と防止対策について説明する。
授業の到達目標	 3. 適切な鑞 4. レーザー 5. 陶材焼付 6. オールセ 	付け条件につい 溶接時の適切な 冠製作工程おけ ラミックスの各	こついて説明できる いて説明できる。 :溶接条件の設定法 ける適切な焼成条件	について説明できる。 -について説明できる。 かについて説明できる。	
成績評価の方法		.,		および学期末テストで総合的(講態度20%程度。	こ成績評価を行う。
授業外で行うべき 学修		I においてすで 持間)をしておく		料については復習しておき、	講義に臨んでください。また、毎回
使用テキスト	最新歯科技工士教本「歯科理工学」(医歯薬出版) テキストに記載されている各章の到達目標を確認し、概ねテキストの記載順に説明する。テキストで不十分と 思われる個所は、補足的資料としてプリントを配布する。				
参考資料	「歯科鋳造(「歯科技工	・補綴パラダイ デンティストリ	- テッセンス出版) ムシフト レーザ	ー溶接入門」(医歯薬出版) 014」(クインテッセンス出版 :歯薬出版)	()
受講生への要望等		レビやインター			られているものがほとんどです。 ので、積極的に関連の情報を得るよ

授業の質問対応、 質問対応は、授業用SNS(Melly)で連絡のうえ、医療保健学部の教員室に来てもらうか,授業用 連絡先 SNS(Melly)上で行う. 講義科目名称: 歯科理工学演習 授業コード: 2K101

英文科目名称: Dental Materials Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
前期	第2学年	2	必修(工学)				
担当教員	担当教員						
都賀谷 紀宏、橋本 正則、中塚 美智子、藤田 暁							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
20518			1 ○ E1 ○ E3 ◎				

授業の概要と方法 この教科では、各材料を用いた試料作製から物性値測定、データ整理までの一連の実習を通じて、すでに公表 されているデータの見方や学術論文の実験結果を見る際の基本的考察力をつけ、さらに科学的論拠により討論 できる能力を養うことを目的としている。授業の進め方としては、班分けによって、各課題の実習をおこな い、各グループ内で測定結果をまとめ、考察し、プレゼンテーションすることによって全員で討論を行う。 ガイダンス 授業計画 1-2 本演習の目的を説明し、進め方ならびに実習時の注意点、レポートの書き方について概説する。 印象材と石膏の物性測定(実習) 3-8 【印象材】弾性ひずみおよび永久ひずみの測定 【石膏】硬化膨張, 硬化時間に及ぼす影響因子について 【印象材と石膏の組み合わせ】印象精度,表面性状(表面粗さ)の測定 9-10 まとめ①【印象材と石膏】 得られたデータを整理し、印象材及び石膏の取り扱い時の注意点について考察する。 レジンとワックスの物性測定(実習) 11-16 【ワックス】応力緩和と応力解放に影響する因子について調べる。 【レジン】重合条件による適合性の違いを調べる。 まとめ②【ワックス&レジン】 17-18 得られたデータを整理し、ワックスの特性ならびにレジンの取り扱い時の留意点について考察す る。 金属の成形加工(鋳造, 鑞付け, 溶接) 19-24 【鋳造】埋没材の硬化膨張と熱膨張におよぼす影響因子を調べ、鋳造体作製によりクラウンの適 合性を調べる。 【鑞付け・レーザー溶接】鑞付け法ならびにレーザー溶接法により得られた接合体の接合強度を 測定する。 25-26 まとめ③【金属の成形加工】 1) 埋没材の膨張測定により、膨張率に及ぼす影響因子を整理し、鋳造体の適合性に及ぼす因子 について考察する。 2) 鑞付け法の作業注意点ならびにレーザー溶接法におけるパラメータの影響について考察す る。 工場見学 27-30 歯科材料機械・材料メーカーを見学し、歯科材料・機械の製造工程等について知識・見聞を広め る。

授業の到達目標

- 1. 実験で得られたデータをレポートとしてまとめることができる。
- 2. 材料物性の測定についての基本的な知識を説明できる。
- 3. 実験データをもとに科学的論拠により討論できる。
- 4. 学術論文を批判的に読むことができる。

成績評価の方法	実験およびに工場見学によるレポートならびに実験への積極的参加態度80%、学術論文紹介のプレゼンテーション20%の比率で、総合的評価を行う。 定期試験は行わず、プレゼンテーションを試験の代わりとする。
授業外で行うべき 学修	1. 各課題の材料や成形加工技術について、1年次に習ったことをしっかり復習しておき、測定方法については、予めその要点を調べておくこと。(1時間) 2. 各材料関連文献を調査すること。(1時間) 3. 実習終了後には、忘れないうちに実験方法を含めデータの整理しておくこと。(1時間)
使用テキスト	プリントを配布
参考資料	最新歯科技工士教本「歯科理工学」(医歯薬出版) スタンダード「歯科理工学」(学建書院) The Lecture of Dental Material Science(ライブ歯科理工学)(学建書院)
受講生への要望等	実験を行った際に、必ず忘れないうちにレポートをまとめること。また、関連する文献を調査し、自分たちの 実験で得られたデータとの比較や各材料の取り扱い時の注意事項などをまとめておき、討論に積極的に参加で きるよう準備しておくこと。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、授業用SNS(Melly)で連絡のうえ、医療保健学部の教員室に来てもらうか、授業用 SNS(Melly)上で行う。

講義科目名称: 衛生学・公衆衛生学 授業コード: 1H204

英文科目名称: Hygiene and Public Health

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	2	必修(保健)	
担当教員				
神 光一郎				
科目ナンバリング	口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20601	1 ○ 2 ◎ H1	. O H3 O		歯科医師

授業の概要と方法

わが国の衛生・公衆衛生は、社会環境の変化や国民の生活習慣の多様化などを背景とし、国民の疾病予防、健康の保持増進に対する意識の変化も伴って、従来行われてきた感染症の予防対策および第二次予防(疾病の早期発見・治療)から、生活習慣の改善および第一次予防(健康増進)へとシフトしてきている。

本講義では,医療従事者として必要となる健康の保持増進に関する知識の習得・理解だけに止まらず,生活環境対策や人口問題,さらには国民の生活の場である地域における取組みや貢献等について幅広く理解を深める。

授業では媒体として可能な限り視覚素材を頻用し、また授業形態は一方向の受け身授業ではなく学生参加型の形態で行う。具体的には、あらかじめ予習課題を与え、授業ではその内容について適宜学生に試問し、あるいは質疑応答、スモールグループディスカッション、プレゼンテーションを行うことにより、当該内容に対する興味関心を高めるとともに個々人の理解度を深める。

授業計画

衛生学・公衆衛生学とは【講義・ディスカッション】

- 1) 衛生学・公衆衛生学序論についての概説
- 2) 公衆衛生と地域保健
- 3) 社会環境と疾病構造の変化

2 健康の概念、プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション【講義・ディスカッション】

- 1) 健康の概念についての概説
- 2) 生活習慣病と健康との関連
- 3) 健康日本21についての概説

3 予防医学の概念、疫学の定義と疫学研究の方法【講義・ディスカッション】

- 1) 疾病の要因
- 2) Leavell & Clarkの予防概念
- 3) 疫学とは
- 4) 疫学の概念
- 5) 疫学研究の方法
- 6) 記述疫学と分析疫学
- 7) 介入研究

4 わが国と世界の人口の動向、人口構造の変化と高齢化【講義・ディスカッション】

- 1)世界の人口
- 2) わが国の人口
- 3) 人口統計の種類
- 4) 人口動態統計の現況
- 5) 平均余命と平均寿命

5 健康と環境との関連(1)【講義・ディスカッション】

- 1) 環境の概念
- 2) 空気と健康
- 3) 空気の異常成分
- 4) 温熱環境と影響因子

6 健康と環境との関連(2) 【講義・ディスカッション】

- 1) 水と健康
- 2) 上水と下水

3) 放射線と健康 4) 住居・衣服と健康 地球環境の変化と健康への影響、公害問題とその原因物質【講義・ディスカッション】 1) 地球温暖化 2)酸性雨 3) オゾン層の破壊、その他 4) 公害問題とその原因物質 廃棄物処理【講義・ティスカッション】 1) 一般廃棄物 2) 産業廃棄物 3) 感染性廃棄物 感染症の概念と感染症の予防対策【講義・ディスカッション】 9 1) 感染症の成り立ち 2) 感染症の予防 感染症の分類、主な感染症の動向【講義・ディスカッション】 10 1) 一類感染症 2) 二類感染症 3) 三類感染症 4) 四類感染症 5) 五類感染症 食中毒と食品保健【講義・ディスカッション】 11 1) 食中毒とその分類 2) 食中毒の動向と対策 3) 特別用途食品、保健機能食品 4) 食品の安全性 食生活・栄養と健康【講義・ディスカッション】 12 1) 国民栄養の現状 2) 食生活指針と食育 3) 日本人の食事摂取基準 地域保健の新たな概念【講義・ディスカッション】 13 1) ソーシャルキャピタル 2) ノーマライゼーションと生活機能 3) 地域包括ケアシステム 母子保健、学校保健【講義・ディスカッション】 14 1) 母子保健の意義と概要 2) 母子保健の取組み・事業 3) 母子保健における口腔保健 4) 歯科健康診査(妊産婦・1歳6か月・3歳児) 5) 学校保健の領域 6) 歯科健康診断と事後処置 7) 歯科衛生士の役割 産業保健、成人・高齢者保健、スモールグループディスカッション、まとめ 15 1) 産業保健の概念 2) 職業性歯科疾患(歯の酸蝕症) 3) 産業保健活動 4) 成人・高齢者の健康管理・保健事業 5) 課題に対するスモールグループディスカッション

	6) 課題に対するアプローチ、考え方の概説 7) 講義のまとめ 16 補講 必要に応じて実施する。
授業の到達目標	1) 衛生・公衆衛生の概念を説明できる。 2) 健康の概念および健康の保持増進を説明できる。 3) わが国における人口の動態・静態等の保健医療情報について理解し、社会的背景について概説できる。 4) 疫学の概念および疫学の研究方法を説明できる。 5) わが国における環境を取り巻く状況について把握し、環境基準、環境保健対策を説明できる。 6) 感染症予防、流行防止の基本的考え方と対策を説明できる。 7) ライフステージに応じた歯科保健対策について概説できる。 8) 地域における健康づくりの取組みについて説明できる。
成績評価の方法	事前に与えた予習課題に対する口頭試問、課題に対するスモールグループディスカッションおよびプレゼンテーションの結果を授業の理解度として評価する。 形成的評価は定期試験により行う。 評価基準は、授業の理解度10%、指定課題に対するレポート10%、科目試験80%とする。 課題に対するスモールグループディスカッションおよびプレゼンテーションのフィードバックとして、課題成果物を返却し、その視点について解説する。また、衛生・公衆衛生学的意義・論点についてコメントする。また、指定課題に対するレポートは、ルーブリック評価により行う。
授業外で行うべき 学修	当該科目では、事前に予習しておく課題を与える(目安時間:約10分)。その内容について口頭試問を行う。 また、一方通行の講義形式ではなく考えてもらう講義を行うので、事前に必ず教科書等により指示された内容 について理解した上で講義に臨むこと。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第2版」 医歯薬 出版株式会社 関連資料(授業で使用した資料)は適宜配付する。
参考資料	「スタンダード衛生・公衆衛生」 学建書院
受講生への要望等	本学問は、基本的に記憶する教科ではありません。現在の衛生・公衆衛生を取り巻く環境や状況をしっかりと 理解し、医療従事者として国民の健康の保持増進をどのように推進していくべきなのかを考えることが重要で あり、本授業の求める最終到達目標です。所掌範囲が広く内容も捉えにくい科目ですが、しっかりと準備学習 して授業に臨んでください。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に直接来るか、授業用SNS「Melly」で対応する。

講義科目名称: 口腔衛生学 授業コード: 2H102

英文科目名称: Oral Hygiene

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
前期	第2学年	2	必修(保健)			
担当教員	担当教員					
神 光一郎、尾形祐己、寺島雅子、濱本愛						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
20602	1 O H1 © H3	3 ()		歯科医師		

授業の概要と方法

う蝕減少傾向が顕著となっている現状を鑑みると、個人に対する口腔疾患の予防はもちろんのこと、全身の健康の基盤となるべき口腔の健康の保持増進を達成することが、我々の大きな目標となる。本講義では、歯科疾患の治療とは異なる「口腔を健康なまま維持する」ために必要となる考え方や実践等についての知識にとどまらず、その課題・問題の考察や解決能力の養成も図ることとし、双方向性の対話(問いかけ)方式の講義および実習により理解を深める。

授業計画

口腔衛生学の意義と方向性、歯・口腔の健康とは【講義・ディスカッション】

- 1) 口腔衛生学の意義
- 2) 口腔の健康と全身の健康との関連性
- 3) 歯科疾患予防(第一次・二次・三次予防)

2 歯と口腔環境、歯・口腔の不潔【講義・ディスカッション】

- 1) 口腔の機能と唾液の作用
- 2) 歯の付着物・沈着物(プラーク、歯石)
- 3) ステファンカーブとは
- 4) ペリクルとプラーク形成
- 5) 歯石の分類(歯肉縁上歯石と縁下歯石)

3 口腔清掃の意義・方法、歯磨剤について【講義・ディスカッション】

- 1) プラークコントロールとは
- 2) 口腔清掃法について
- 3) 口腔清掃用具について
- 4) 歯磨剤の分類と効用
- 5) ブラッシングの方法について

4 **う蝕の疫学的特性【講義・ディスカッション】**

- 1) う蝕の有病状況(公的統計調査結果から)
- 2) う蝕の進行と症状
- 3) う蝕の発生要因について

5 う蝕の活動性とう蝕活動性試験【講義・ディスカッション】

- 1) う蝕の活動性とは
- 2) う蝕活動性試験の目的と所要要件
- 3) う蝕活動性試験の種類

6 フッ化物の性状と意義、フッ化物によるう蝕予防【講義・ディスカッション】

- 1) フッ化物がう蝕予防に応用されるまでの経緯
- 2) フッ化物の性状、分布
- 3) フッ化物の代謝、毒性(歯のフッ素症)
- 4) フッ化物のう蝕予防機序
- 5) フッ化物の全身的応用法について
- 6) フッ化物の局所的応用法について
- 7) フッ化物のう蝕予防効果

7 歯周病の疫学的特性と予防法【講義・ディスカッション】

1) 歯周病の疫学的特性、歯周疾患の有病状況 2) 歯周病の分類 3) 歯周病の発生要因 4) 歯周病の進行と症状 5) 歯周病と全身との関連 6) 歯周病の予防方法 その他の歯科疾患の予防【講義・ディスカッション】 8 1) 不正咬合の種類と予防法 2) 口臭の分類と原因物質 3) 口臭の検査と予防方法 4) 顎関節症の症状と疫学 5) 顎関節症の治療・予防方法 6) 口腔がんの疫学と原因、予防方法 口腔衛生学実習の説明【実習オリエンテーション】 9 1) 口腔衛生学実習に必要となる事前知識 2) 口腔衛生学実習の内容説明 10、11 口腔衛生学実習(1)フッ化物歯面塗布【実習】 1) 歯垢染色の実践 2) 歯口清掃状態の診査法と評価(PCR、OHI) 3) フッ化物歯面塗布の手法、塗布後の保健指導 口腔衛生学実習(2)う蝕活動性試験【実習】 12、13 1) う蝕活動性およびう蝕活動性試験の意義 2) 唾液流量の測定 (安静時・刺激時) 3) 唾液中微生物酸化還元能の測定 4) 唾液中ミュータンス菌量の測定 5) 唾液中乳酸桿菌量の測定 6) 歯垢の酸産生能試験の実施 7) 菌培養後の結果判定 口腔衛生学実習(3)口腔内診査とリスク評価【実習】 14、15 1) 顎顔面および口腔内診査(顔面全体・顎関節・歯・口腔粘膜など) 2) DMFの診査・チャートへの記入・評価 3) 歯周組織の診査・評価(PMAindex、CPI-m) 4) 課題解決型、形成的評価によるシミュレーション実習 5) 患者・地域住民への対応、コミュニケーション能力の修得 6) 臨床的課題に対するグループワーク 補講 16 必要に応じて実施する。 1) 歯・口腔の健康の定義を説明できる。 授業の到達目標 2) 歯・口腔の健康を保持・増進する手段について概説できる。 3) う蝕および歯周病の発生原因について説明できる。 4) う蝕および歯周病の予防方法について説明できる。 5) 口腔と全身の健康の関係について説明できる。 6) 地域保健を担う組織の仕組みと特徴を概説できる。 7) フッ化物歯面塗布の手技について実践できる。 8) 口腔内診査の手技について実践できる。 9) う蝕活動性試験の意義について理解できる。 成績評価の方法 講義開始時には前回講義内容について小テストを行い、講義中には簡単な口頭試問を行う。最終講義では教員 から提示した課題に関してディスカッションを行う。形成的評価として科目試験を実施し、口腔衛生学実習の 結果と併せて総合的に評価する。 評価比率は、実習(口頭試問およびレポート)20%、科目試験80%とする。 なお、実習では、口腔内診査、フッ化物の局所応用の他、アクティブラーニングとして与えられた課題に対

	するシミュレーション実習を班ごとに行う。
授業外で行うべき 学修	講義終了時に、次回の講義履修までに準備学修(予習)しておく内容(目安時間:約10分)について資料配布する。また、講義開始時に行った小テストの内容については、講義中に正答を導くポイントを解説し、学生自身で確認・学修する。準備学習(予習)と小テストの復習は20分程度で行うことができる内容とする。
使用テキスト	「歯科衛生士テキスト 口腔衛生学第4版」学建書院 なお、準備学習用に毎回資料を配付する。
参考資料	「歯科衛生士教本 保健生態学」医歯薬出版 また、講義中に適宜参考資料を配付する。
受講生への要望等	口腔衛生学とは、口腔疾患の予防だけではなく、口腔の健康の保持増進を達成するために、どのような課題があり解決していけばよいかを考える学問です。併せて、口腔内診査やフッ化物歯面塗布の実践などの臨床的手技を取得する科目でもあります。数ある教科の中で、このような基礎的な要素と臨床的な要素とを学ぶために幅広い視野を持って考察する学問はありません。それゆえ、様々な角度から歯科保健医療を視ることができる面白さがある反面、歯科臨床に限局しない大きなフィールドを扱う難しさもあります。普段からの準備学習をしっかりと行ってください。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS(Melly)で行う。

講義科目名称: 社会学 授業コード: 20202

英文科目名称: Sociology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	2	必修(両学科)	
担当教員				
伊東 香純				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20603	3 ◎ 5 ○ H2 ◎		3 ◎ 5 ○ E2 ◎	

授業の概要と方法 本講義では、社会学の基本的な概念や理論を学習し、社会学的視点から世界を観察、分析する力を養う。家族 や地域、病院など身近なテーマについて、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

授業計画 1 【講義】オリエンテーション、社会学の方法・視点

- ◆シカゴ学派 「社会」が生まれる過程の観察
- ◆ラベリング理論 社会秩序と逸脱者

2 【講義】社会学の方法・視点、少子高齢社会

- ◆社会を見つけるには、どこに注目したらよいのか 電車や家族の中で観察できる社会秩序
- ◆少子高齢社会 少子高齢化が大変だ、と騒ぐべきか

3 【講義】リスク社会

- ◆リスク社会論
- ◆リスクパニック 新型インフルエンザをめぐるリスク

4 【講義】家族制度

- ◆家族分析の基本概念、産業構造と家族構造の変化
- ◆性別役割分業で得しているのは誰だ 資本主義社会ではなく、男性労働者だ
- ◆介助、介護は家族が担うべきなのか 青い芝の会、府中療育センター闘争

5 【講義】階級、生活保護

- ◆格差・階層化の説明の仕方 階級論と成層論
- ◆生活保護 4つの原則、朝日訴訟

6 【講義】経済のグローバル化

- ◆グローバル化とは何か 歴史的背景、分類
- ◆なぜ世界の半分が飢えるのか 食料の生産量を増やしても解決しない問題について

◆出稼ぎ 技能実習生制度

7 【講義】グローバル・エイズ

- ◆グローバルエイズの状況 HIV感染者とエイズ患者、サブサハラ地域の状況
- ◆ウガンダの薬価の変化
- ◆米国におけるゲイ男性による社会運動 メモリアルキルト、アクトアップ
- ◆エイズ薬価を巡るグローバルな社会運動 オルターグローバリゼーション運動、「当事者」による発言

8 【講義】社会運動

- ◆クレイム申し立て 消費者主義の社会運動
- ◆社会運動の支持と参加 沖縄返還運動、大阪の中の沖縄問題、フリーライダー
- ◆資源動員、経験運動 反原発運動、首相官邸前抗議

9 【講義】近代医療、帝国医療

- ◆近代医学は唯一の医療なのか 近代医学の特徴、その理由
- ◆開発原病・帝国医療 眠り病が開発によって地方病から流行病へ

10 【講義】福祉制度

- ◆社会福祉という考え方の始まり、広まり 福祉国家の歴史、類型
- ◆日本の社会福祉制度の仕組み 社会保険方式と公費負担方式、福祉六法
- ◆重度訪問介護 制度の仕組み、就労時間中の利用、65歳問題

11 【講義】非西洋医療

- ◆どうして呪術で治療できるのかクワクワカワク族でのケサリードの試み
- ◆非西洋医療の説明枠組 残余カテゴリ、医療多元論

12 【講義】医療化

- ◆医療化とはなにか
- ◆医療化の例: ADHD

	◆脱医療化の例:同性愛
	◆医療化の明るい面と暗い面、医療化を推進するもの
	13 【講義】ジェンダー
	◆フェミニズムの社会運動
	主張の変化・対立、成果
	◆性同一性障害
	正規医療と非正規医療、診断、当事者の多様性
	14 【講義】慢性疾患、病の語り
	◆パーソンズ:病人役割
	◆ワーク、病の語り
	◆非西洋社会における病の語り
	15 【講義】自己決定?
	◆自己決定の位置
	どうして大切か、至上に大切か
	◆自己決定があればよいのか
	▼白□沃足があればよないのが 不妊手術
	◆「私が生まれないほうがよかった」は成立するかロングフルライフ訴訟
	◆自己決定の能力の足りない人?
	成年後見制度
	家族や地域、病院など身近なテーマについて、社会学の基本的な概念や理論を用いて批判的、相対的な視点か
	ら考察できる。
成績評価の方法	授業参加度(60%)、定期試験(40%)
	授業参加度は、コミュニケーションペーパーの記述にもとづいて評価する。
授業外で行うべき	参考書、及び講義内で紹介した書籍の中で関心をもったものを読む。新聞や書籍、インターネットなどから世
学修	の中の動きについての情報を取得し関心をもつ。 必要な時間: 事前学習15分、事後学修60分ほど
使用テキスト	特に指定しない。資料を配布する予定。
参考資料	長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志, 2007, 『社会学』有斐閣.
	宇都宮京子(編), 2009, 『よくわかる社会学[第2版]』ミネルヴァ書房.
	中川輝彦・黒田浩一郎(編著), 2010, 『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房.
受講生への要望等	講義内容については、進捗状況によって多少変更する場合がある。
授業の質問対応、	連絡先

連絡先

email: itokasumi24@gmail.com

講義科目名称: 社会福祉論 I 授業コード: 10111

英文科目名称: Social Welfare 1

88=##088		#7.1/ /_	774 (T-#F	THE MARKA	
開講期間	配当年 単位数		科目必選区分		
前期	第1学年 2		必修(両学科)		
担当教員					
濱島 淑恵		□腔保健学科の関	見声DD	口腕工学科の関連DD	11 ロ / - 問い声 オフ 宇 25 (又味)
科目ナンバリング 20604		山腔保健子科の 3 ◎ H2 ○	(EDP	□腔工学科の関連DP 3 © E2 ○	科目に関連する実務経験 社会福祉士
20004	I	3		3 @ L2 U	
授業の概要と方法	関わっている	るかを学ぶ。そ <i>の</i> 。特にゲストスヒ)上で、社会福祉 ピーカーの講話、	社とは何か、私たちの生命・生活制度の歴史的展開、社会福祉の理DVDを通して、福祉現場の実際と講義形式で行うが、適宜、授業内	念、現在の社会福祉制度の体系 社会福祉制度の現状と課題を学
授業計画	2-4	Life (生命・生 自分たちの生 社会福祉をと 社会福祉に深 と少子高齢化 例等を示しな 社会福祉制度 日本における	命・生活・人生の りまく状況 一家族 く関わる現代社会 、労働条件の動い がら概説する。 をの歴史的展開 社会福祉の歴史的	は何か、どのようにすれば成り立つと社会福祉がどのように関わっていま・労働・少子高齢化一会の動向について学ぶ。特に家族刑句とこれらによって生じる社会問題的展開を学ぶ。明治期の恤救規則な	いるのかを概説する。 影態の変化と家族問題、人口動態 夏、生活問題についてデータ、事 から戦後の福祉3法、6法体制の構
	9-14	築、さらに福祉見直し論の展開から社会福祉基礎構造改革を経て、近年の動向まで概説する。 社会福祉の理念 社会福祉の諸制度、ソーシャルワークは何を目指しているのか、生存権保障、ノーマライゼー ション、ソーシャルインクルージョン等の理念について概説する。 社会福祉制度の体系一生活保護・児童福祉・高齢者福祉・障がい者福祉 現代の社会福祉制度の全体像を示し、生活保護、児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉の基本的 な枠踏みとサービス、現状と課題を、データ、事例等を用いて概説する。また、ゲストスピー カーを招いて、福祉の実際を学ぶ。			
	15	社会福祉制度	度の近年の動向と	課題	
		これまでの授	業を総括し、社会	会福祉の意義と課題について概説す	する。
授業の到達目標	人々のニーズ、健康・生活問題とは何か理解できる。 社会福祉の必然性について理解する。社会福祉制度の歴史と現代的到達点を理解する。社会福祉の理念を理解 する。社会福祉の制度・政策の体系、仕組みを理解する。それを踏まえ課題を見出す。さらに今後のあり方に ついて考える力を養う。				
成績評価の方法	定期試験で評価する(90%)。また、授業中に課す感想文、小レポートも評価に加える(10%)。				に加える(10%)。
授業外で行うべき 学修	普段から、人々の健康・生活に関わる問題に関する新聞記事、ニュースに関心を持つこと(15分)。また、それらと授業で学んだ知識を結びつけるとともに、そのような問題が生じる背景、制度的課題を検討すること(15分)。授業後には、教科書の該当部分を読み返し、復習を行うこと(45分)。				
使用テキスト	山縣文治 ・岡田 忠克編『よくわかる社会福祉』ミネルヴァ書房				
参考資料	平岡公一・杉野昭博・所道彦・鎮目真人『社会福祉学』有斐閣				
受講生への要望等	私語は厳禁	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。			ر١.
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後に教室で、オフィスアワー時に研究室で受け付けます。				

講義科目名称: 口腔衛生管理学 授業コード: 3H201

英文科目名称: Oral Hygiene Management

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第3学年	1	必修(保健)	
担当教員				
神 光一郎				
科目ナンバリング	 口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20605	3 ○ H1 ○ H2 ◎			歯科医師

授業の概要と方法

我々歯科保健医療従事者が安定した歯科保健医療を国民に提供し医療貢献するためには、診療(供給)側の状況および患者(需要)側の状況をしっかりと掌握し、保健医療行動に繋げることが前提となる。また、医療従事者として順守しなければならない根拠(法律)や他職種の業務範囲・役割、および歯科医療従事者との連携・協同について理解し行動することが求められている。

本講義では、歯科医療従事者の需給状況、患者の歯科保健医療に対する満足度などについて考察するとともに、歯科保健医療に関わる職種と連携・協同体制についても学生に問う。

講義は双方向性の対話(問いかけ)方式で実施し、理解を深めることを念頭に置いた講義を行う。

授業計画

わが国の歯科の需給状況と患者の通院行動【講義・ディスカッション】

- 1) 歯科保健医療の需要量
- 2) 患者の通院行動
- 3) 歯科医療機関の状況
- 4) 歯科保健医療の供給量
- 5) 歯科医療従事者の状況

2 歯科衛生士と法律(1)歯科三法【講義・ディスカッション】

- 1) 歯科衛生士法の目的と歯科衛生士の業務範囲
- 2) 歯科医師法の概要
- 3) 歯科技工士法の概要

3 歯科衛生士と法律(2)その他の歯科関連法【講義・ディスカッション】

- 1) 歯科口腔保健の推進に関する法律の概要
- 2) 医療法とその範囲
- 3) 医療安全の確保
- 4) 医療提供体制の確保

4 医療関係職種とその業務・法律【講義・ディスカッション】

- 1) 看護師と保健師助産師看護師法の概要
- 2) 臨床検査技師、診療放射線技師の役割と法
- 3) 言語聴覚士の役割と法
- 4) 医師の役割と法
- 5) 薬剤師の役割と法
- 6)薬事に関連する法規
- 7) 保健衛生に関連する法規
- 8) その他の衛生法規

5 その他の医療・介護関係職種とその役割【講義・ディスカッション】

- 1) 理学療法士、作業療法士
- 2) 視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士
- 3) 柔道整復師
- 4) 栄養士

6 チーム歯科医療、多職種との連携・協同【講義・ディスカッション】

- 1) コ・デンタルスタッフと歯科医師
- 2) 医療機関完結型から地域完結型へのシフト、地域包括ケア
- 3) 口腔ケアの果たす役割
- 4) 周術期における歯科衛生士の役割
- 5) 全身疾患と口腔内の臨床所見

7 衛生統計の基礎【講義・ディスカッション】

1) 母集団と標本

	2)標本調査
	3) スクリーニング検査
	4) データのまとめ方・分析方法
	国家統計調査と歯科保健統計【講義・ディスカッション】
	1) 国家統計調査の種類と情報
	2) 歯科保健統計に関する情報
	9 補講
	必要に応じて補講を実施する。
授業の到達目標	1) わが国の歯科保健医療制度を概説できる。
	2) 歯科関係職種とその法規について概説できる。
	3) チーム歯科医療や多職種連携・協同について説明できる。
	4) 医療や介護の現場で活躍する職種とその役割について説明できる。
	5) 国家統計調査および歯科保健統計の概要について説明できる。
成績評価の方法	講義開始時には前回講義内容について小テストを行い、最終講義では教員から提示した課題に関してディスカッション・プレゼンテーションを行う。形成的評価として科目試験を実施し総合的に評価する。 評価比率は、小テスト10%、プレゼンテーション10%、科目試験80%とする。
授業外で行うべき 学修	講義終了時に、次回の講義履修までに準備学修(予習)しておく内容(目安時間:約10分)について資料配布する。また、講義開始時に行った小テストの内容については、講義中に正答を導くポイントを解説し、学生自身で確認・学修する。準備学習(予習)と小テストの復習は20分程度で行うことができる内容とする。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 「歯科衛生士と法律・制度 第3版」医歯薬出版 なお、準備学習(予習)用に毎回資料を配付する。
参考資料	「歯科衛生士テキスト 口腔衛生学 第4版」学建書院
	「口から支える健康長寿」株式会社キョードークリエイト
	また、講義中に適宜参考資料を配付する。
受講生への要望等	歯科衛生士の果たすべき役割は、歯科診療所で歯科疾患の予防処置や診療補助に従事することだけではありません。特に、超高齢社会に突入しているわが国では、歯科医療従事者に求められる需要は大きく様変わりしてきています。少々難しい内容を扱う授業ですが、受講生の皆さんが現在そしてこれからの歯科医療の在り方について考えるきっかけとなることが、本授業の意義です。受け身ではなく自ら考える授業として臨んでください。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS(Melly)で行う。

講義科目名称: 社会調査学 授業コード: 20102

英文科目名称: Social Research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
小山 秀之				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20606	1 ○ H2 ◎		1 ○ E2 ◎	社会福祉士、臨床心理士

授業の概要と方法

国民の実態を把握し、施策等に反映していくために社会調査は不可欠である。しかし、インターネットの普及により情報が氾濫している現在において、適切な調査方法・分析に基づく情報ばかりとは限らない。専門家自身が調査法に関する知識を熟知していない場合、患者や利用者に不利益な情報を与える可能性があるがゆえ、正しい知識の習得は専門家として不可欠である。

この科目では社会調査の目的や倫理、方法論などの基本事項を講義形式で習得するとともに、パソコン(主に EXCEL)を使用した演習形式によって調査用紙の作成やデータ整理の仕方、分析法について学習する。また研究や国家試験に必要な最低限の知識についても学習する。

授業計画

社会調査とは

【講義】

- ・社会調査とは
- ・社会調査の対象と目的
- ・社会調査の種類

2 社会調査における倫理と個人情報保護

【講義】

- ・社会調査における倫理とは
- ・個人情報保護
- ・社会調査の実施プロセス
- ・調査依頼の書き方

3 社会調査の方法とアンケート用紙の作成1

【講義】

- ・量的調査と質的調査
- ・測定尺度の種類
- ・回答法の種類

【演習】

・フェイスシートの作り方(Word)

4 社会調査の方法とアンケート用紙の作成2

【講義】

- ・横断的調査と縦断的調査
- ・質問紙法
- ・観察法
- ・面接法

【演習】

- ・分析ツールの設定(EXCEL)
- ・ピボットテーブルの使い方(EXCEL)

5 量的調査法と量的データの分析(記述統計)

【講義】

- ・代表値と散布度
- ・図と表

【演習】

・基本統計量の算出(EXCEL)

	6 量的データの分析(相関)
	【講義】
	・因果関係と相関関係の違い
	・相関係数の評価
	【演習】
	・図表の作成(EXCEL)
	7 量的データの分析(差の検定)
	【講義】
	・統計的仮説検定の手順
	・測定尺度の種類
	・パラメトリック検定とノンパラメトリック検定
	・t検定と分散分析
	【演習】 ・分析ツールを使った分析(EXCEL)
	・ ガヤロンールを使うたがや (EACEL)
	8 質的調査法
	【講義】
	・質的研究の特徴
	・質的研究法の紹介(KJ法とグラウンデッドセオリー)
	【演習】 ・KJ法の体験
	NJA07 Projek
	9 試験
授業の到達目標	社会調査を実施するための基本的事項を理解する。
	1) 社会調査を実施する上での注意事項が説明できる。 2) 各調査方法の特徴の違いが説明できる。
	2) 各調直方法の特徴の違いが説明できる。 3) 調査目的に応じた調査法を選ぶことができる。
	4) データに即した分析方法を選ぶことができる。
	5) EXCELで図表を作成することができる。
	6) EXCELでデータの分析を行うことができる。
成績評価の方法	課題レポート40%
	到達度テスト60%
	 授業中に数回レポートを実施する。
	レポートの解説は随時講義で行う。
授業外で行うべき	予習としてWord及びExcelの基本的な操作に慣れておくこと(30分)。また、前回の講義内容が次回講義と関
学修	係することが多いため、復習として配布プリントを読み返しておいてください(20分程度)。
使用テキスト	授業中の配布資料。
参考資料	新・社会福祉士養成講座5 社会調査の基礎,社会福祉士養成講座編集委員会,中央法規出版, 2009
	ソーシャルワーカーのための社会調査の基礎,米川和,北大路書房,2013
	Excelによるアンケート調査の第一歩,辻義人,ナカニシヤ出版,2014
受講生への要望等	注意:ノートパソコン(WordとExcel)とUSBメモリ等を用意しておいてください(必要な場合、適宜指示しま
	す)。 推世扇託やフラートフェンの体界は形に対けい限り林になす。 講美前に扇頂を切えやフナーエードにレアノゼー
	携帯電話やスマートフォンの使用は指示がない限り禁止です。講義前に電源を切るかマナーモードにしてくだ
	さい。 講師は社会福祉士と臨床心理士の有資格者であり、現場の経験も交えながら講義を進めていきます。
授業の質問対応、	講義に関する質問があれば、授業用SNS(melly)にて受付します。回答は次回の講義中に行います。
連絡先	

講義科目名称: 医療制度 I 授業コード: 20203

英文科目名称: Healthcare System 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
神 光一郎				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20607	1 0 3 O H1	0	1 @ 3 O E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

わが国は先進国でも類を見ない国民皆医療保険制度を維持している。この制度は、国民にとっても医療人にとっても大変意義のある、重要な役割を今日まで担ってきた。しかしながらここ数年来、財政難により医療制度の見直し論議が起こっているのが現状である。

本講義では、パワーポイント資料や配付資料等を題材にディスカッションを多用した"理解できる"授業を行い、歯科医療に携わる医療人として医療制度の仕組み・概念等についての理解を深めるとともに、将来的な当該制度への関わり方や考え方についても一緒に考えていく講義としたい。

授業計画

- 1 わが国と世界の医療制度【講義・ディスカッション】
 - 1) 世界の主要国における医療制度の概要について
 - 2) 国民皆医療保険制度とその意義について
- 2 わが国の医療制度を取り巻く現状【講義・ディスカッション】
 - 1) 人口の減少
 - 2) 少子高齢社会
 - 3) その他医療制度に影響を及ぼす要因について
- 3 社会保険の中の医療制度【講義・ディスカッション】
 - 1) 社会保険とは
 - 2) 社会保険制度の種類・概要について
- 4 医療制度の実際【講義・ディスカッション】
 - 1) 医療保険制度の概要(仕組み)について
 - 2) 医療保険制度の種類と保険者、被保険者
 - 3) 保険料の負担割合について
- 5 本学附属病院における歯科診療の実際【講義・ディスカッション】
 - 1) 診療の流れ
 - 2) 診療科と専門外来
 - 3) 地域連携室の役割
 - 4) 口腔診査における歯式
 - 5) 歯科技工指示書について
- 6 国民医療費と歯科医療費【講義・ディスカッション】
 - 1) 国民医療費とは
 - 2) 国民医療費の内訳
 - 3) 歯科医療費とは
- 7 社会保障給付費について(わが国の医療制度の課題)【ディスカッション】
 - 1) 国の財政・予算の状況
 - 2) 社会保障給付費とは
 - 3) わが国と世界主要国の比較
 - 4) 社会保障給付費で示される数値の意味とは
 - 5) わが国の医療制度の課題について
 - 6) 教員から出題されたテーマについてグループ内で討議

	8 プレゼンテーション、まとめ 1) ディスカッションの内容についてプレゼンテーションを実施
	2) プレゼンテーションに対する質疑応答を実施
	3) 講義のまとめ
	9 補講
	必要に応じて実施する。
授業の到達目標	1) わが国の社会保険制度を概説できる。
	2) わが国の医療制度について説明できる。
	3) 医療制度を圧迫する要因について説明できる。
15/	4) 今後の医療制度の課題(問題点)について自身の考えを説明できる。
成績評価の方法	・本講義はディスカッションを中心として行う。 ・前回の講義内容について毎回小テストを実施する。その答案は採点の上返却し、次回講義において解説する。
	・前回の講義内合について毎回小アストを実施する。その合業は休息の上巡却し、次回講義にあいて解説する ことにより学生にフィードバックする。
	・講義に際しては、事前に予習課題を与え、その内容について講義中に口頭試問し、その結果を授業の理解度
	として評価する。
	・形成的評価は科目試験により行う。
	・評価比率は、小テストおよびレポート10%、授業の理解度10%、科目試験80%とする。レポートはルーブリック評価により行う。
授業外で行うべき 学修	当該科目では、授業終了時に、次回の授業履修までに準備学修(予習)しておく内容(目安時間:約10分)に ついて資料配布する。その内容について口頭試問を行うので、事前に必ず自学自習しておくこと。
使用テキスト	授業中に適宜資料を配付し、テキストとして使用する。
参考資料	授業中に適宜資料を配付する。
受講生への要望等	一方通行の講義は可及的に行わず、皆さんの意見をもとにディスカッションを行い、わが国の医療制度につい ての考えを深めていきたいと考えています。講義中は、積極的にディスカッションに参加してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS(Melly)で行う。

講義科目名称: 医療制度 Ⅱ 授業コード: 40201

英文科目名称: Healthcare System 2

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第4学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
神 光一郎				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20608	1 © 3 O H1	0	1 @ 3 O E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

本科目では、学生が既に第2学年の「医療制度 I 」で学んだ医療制度に基づき、臨床の現場や歯科技工所で行われている診療の実際について理解を深めることができるよう、症例を基に解説する。

併せて、本科目の実施時期が第4学年後期であることを踏まえ、学生が医療制度 I で学んだ内容についても復習ができるよう概説する。

本授業では教員からの一方通行の知識習得のための講義ではなく、学生が主体的に課題や問題に取り組むことを主とした双方向性のディスカッションを行い、その解説を教員が短時間で行うスタイルとする。また、最終講義では、学生が医療制度に関する理解を深め医療職としての意識の向上をはかることができるよう、全体でのディスカッションを行う。

授業計画

歯科診療報酬制度について【講義】

- 1) 社会保険による算定方式
- 2) 現行の診療料の種類
- 3) 混合診療とは
- 4) 特定療養費制度について

2 歯科臨床における診療報酬の算定【講義・演習】

- 1) 社会保険診療報酬の保険点数について
- 2) 実例に基づいた診療報酬の算定方法
- 3) 小テストの実施
- 4) 小テストの解説

3 医療制度の概説(1)【講義・演習】

- 1) 医療制度の概要
- 2) 小テストの実施
- 3) 小テストの解説

4 医療制度の概説(2)【講義・演習】

- 1) 医療制度の概要
- 2) 小テストの実施
- 3) 小テストの解説

5 医療制度の概説(3)【講義・演習】

- 1) 医療制度の概要
- 2) 小テストの実施
- 3) 小テストの解説

6 医療制度の概説(4)【講義・演習】

- 1) 医療制度の概要
- 2) 小テストの実施
- 3) 小テストの解説

7 医療制度の概説(5)【講義・演習】

- 1) 医療制度の概要
- 2) 小テストの実施
- 3) 小テストの解説

8 医療制度に関する総括

- 1)総まとめテストの実施
- 2) テストの解説
- 3) 全体でのディスカッション

9 補講

必要に応じて補講を実施する。

授業の到達目標	 わが国の医療制度について概説できる。 診療報酬の仕組みについて概説できる。 診療報酬点数について理解できる。 症例に対する診療報酬の算定を実践できる。
成績評価の方法	本授業時には事前に予習課題を与える。当該授業時にはその内容に関連した課題を与え、学生が授業時間内に解答する(目安時間:60分)。授業の後半では課題に対する解説を行う(目安時間:20分)。解答は採点およびコメントを付与し返却し、学生に復習の材料としてフィードバックする。評価比率は、毎回の課題テスト70%、授業の理解度(復習度)20%、講義態度10%とし、別途科目試験は行わない。
授業外で行うべき 学修	本授業時には事前に予習課題を与え、授業中に解答した内容について採点・コメントを付与し返却する。本授業の評価は授業時の課題に対する解答によって行うので、本授業を受講する際には必ず予習(目安時間:約20分)して臨み、解答が間違った箇所・内容については復習(目安時間:約20分)を怠らず行うこと。
使用テキスト	本授業では、毎回課題を与え、その解説資料を適宜配付するため、特定の使用テキストはない。
参考資料	授業中に適宜資料を配付する。
受講生への要望等	本授業は第4学年後期に実施されるので、卒業試験や国家試験を念頭に置いた授業形式とし、学生の皆さんをサポートできるような授業内容にしたいと考えています。ただ、本授業をただ聞いているだけでは貴重な時間を無駄にしてしまう可能性が高くなりますので、指定された範囲・内容の予習と、課題問題の解答・解説後の復習を必ず行ってください。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に直接来るか、授業用SNS「Melly」で対応する。

講義科目名称: 社会保障論 I 授業コード: 10112

英文科目名称: Social Security 1

		i	i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	2	必修 (両学科)	
担当教員				
北垣 志麻				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20609	1 ○ 3 ◎ H2 ○		1 ○ 3 ◎ E2 ○	社会福祉士

20609		1 ○ 3 ◎ H2 ○	1 O 3 © E2 O	社会福祉士
授業の概要と方法				ができるように、疾病、失業、死亡、老
			iくわすであつつ向越について、f :うになるために、テキストを中心	社会の責任で解決するための制度であ 心に講義形式で授業を行う。
	1	オリエンテーション		
		授業のやり方と社会保障	 障を学ぶ意味について	
	2	現代社会における社会	保障制度の課題 ①	
		人口動態の変化と少子	高齢化について	
	3	現代社会における社会	保障制度の課題 ②	
		社会保障制度改革の動「	句について	
	4	社会保障の概念や対象	まおよびその理念①	
		社会保障とは何か-社会	会保障の概念と範囲について	
	5	社会保障の概念や対象	きおよびその理念②	
		社会保障の役割と機能に	こついて	
	6	社会保障の概念や対象	えおよびその理念③	
		社会保障の理念と対象に	こついて	
	7	社会保障の概念や対象	えおよびその理念④	
		日本における社会保障	制度の発達について	
	8	社会保障の財源と費用	11	
		社会保障の財源につい	ζ	
	9	社会保障の財源と費用	2	
		社会保障給付費と国民!	負担率について	
	10	社会保険と社会扶助(D	
		社会保険と社会扶助の	関係について	
	11	社会保険と社会扶助(2	
		社会保険と社会扶助の	祖違について	
	12	社会保険の概要①		
		年金保険について		
	13	社会保険の概要②		
		医療保険について		
	14	社会保険の概要		
		雇用保険・労災保険につ	ついて	
	15	社会保障1まとめ		
		権利としての社会保障に	こついて	
授業の到達目標	社会保障制	制度の本質、概要および課題	について理解できるようになる	
成績評価の方法	科目試験の	50%・提出物30%・受講態原	 隻10%で評価を行う。	
授業外で行うべき 学修	授業後によ	ノートを整理しておくこと。 療、介護等に関する新聞記事	(毎回30分から1時間程度)	こと。(毎回30分から1時間程度)
使用テキスト	加美嘉史,	中山徹 『社会保障 (社会福	祉士養成シリーズ)』東山書房	

参考資料	小川政涼『増補版 社会保障権 – 歩みと現代的意義—』 木村敦『社会政策と「社会保障・社会福祉」—対象課題と制度体系』 社会保障入門編集委員会編『社会保障入門2019』 伊藤周平『社会保障入門 シリーズケアを考える』 週刊社会保障編集部編『平成31年版 社会保障便利事典』 坂口正之他『よくわかる社会保障[第5版]』 結城 康博他『わかりやすい社会保障制度—はじめて福祉に携わる人へ』 井上英夫他『社会保障レボリューション: いのちの砦・社会保障裁判』など
受講生への要望等	講義内容については、受講生の理解度、進捗状況によって変更する場合がある。 積極的に疑問点を提起すること。
授業の質問対応、 連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で質問に対応する。連絡先やアポイントの取り方についてなど詳細は初回の授業で説明する。

講義科目名称: 歯科技工管理学 授業コード: 3K201

英文科目名称: Management in Dental Technology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第3学年	1	必修(工学)	
担当教員				
樋口 鎮央				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20610			3 O E1 O	歯科技工士

20610	3 〇 [1] 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图
授業の概要と方法	学生が講義を通じて衛生行政の概要や歯科医療制度を理解する。 歯科技工士として必要な関係法規を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学び、歯科医療の向上に貢献できる 業務の遂行に生かす。 グループワークおよびプレゼンテーションによりディスカッションを行なう。
授業計画	1 衛生行政の概要について把握する
	法の概念と体系、組織および活動等について学ぶ。
	2
	・法の目的と定義、免許等について学ぶ。
	3 歯科技工士試験について
	・目的、試験科目、受験資格、試験手続き等について学ぶ。 4 歯科技工業務について
	・禁止行為、偽果技工所指示書、指示書の保存義務、守秘義務等について学ぶ。 5
	5 歯科技工所開設について
	・油が山、管理者の義務、は普明や、広古の宗正寺について手が。 6 雑則、罰則、附則について
	・歯科技工に関する違反行為と罰則等について学ぶ。
	7 歯科医療関係法規について
	・医療法、歯科医師法、歯科衛生士法、医療関係者法等について学ぶ。
	8 その他の関係法規について
	・保険関係法規、労働衛生法規、社会保障関係法規等について学ぶ。
授業の到達目標	①衛生行政の概要について説明できる。 ②歯科技工士法について説明できる。 ③歯科技工士試験について説明できる。 ④歯科技工業務について説明できる。 ⑤歯科技工所開設について説明できる。 ⑥雑則、罰則、附則について説明できる。 ⑦歯科医療関係法規について説明できる。 ⑧その他の関係法規について説明できる。
成績評価の方法	筆記試験(0.7)及び小テストまたはレポート(0.3)にて評価する。 小テストの解説は随時講義にて行ない、レポートについてはコメント記入して返却する。
授業外で行うべき 学修	各授業計画日の内容毎に該当部分を熟読し、講義に臨んでください。 授業最初に小テストを行うので各回予習30分以上、特に小テストで回答出来なかったところについて復習30分以上を最低目安とします。
使用テキスト	歯科技工管理学/全国歯科技工士教育協議会:医歯薬出版2017 必要があれば、随時資料配布。
参考資料	現状、特になし。
受講生への要望等	講義の進捗によっては日程順序等の変更を行なうことがある。 国家試験科目なので予習、復習を十分行なってください。
授業の質問対応、 連絡先	Mellyにて質疑応答。 もしくは直接、研究室へ

講義科目名称: **医療事務学 I** 授業コード: 3J101

英文科目名称: Medical Office Management 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	1	自由(両学科)	
担当教員				
三上 洋子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20701	3 O H1 O		3 ○ E1 ○	医療事務講師

20701	3 ○ H1		3 O E1 O	医療事務講師		
				<u> </u>		
授業の概要と方法	, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	講義形式にて学習する	る。また歯科診療報酬点数表	仕組みや、医療機関の顔となる窓口業務 に基づき、初診料・再診料・検査・歯冠		
授業計画	①医療 ②窓口	験制度 保険制度の概要 対応 担当規則				
	2 初診料	式にて、上記①〜③ •再診料•医学管理 式にて、初診料・再		5法とルールを解説する。		
	3 画像影	断•麻酔•検査(点				
	講義形		点数算定方法とルールを解詞	光する。		
	講義形	蝕・歯髄炎(点数算) 式にて、初期う蝕・ !管(点数算定)	疋) 歯髄炎の点数算定方法とル-	-ルを解説する。		
	講義形		点数算定方法とルールを解認	対する。		
	8 欠損補	i綴 (点数算定)	点数算定方法とルールを解説			
	講 我形	式にて、火損佣級の	点数算定方法とルールを解認	だりる。		
授業の到達目標	 医療機関での窓口 歯科診療報酬の点 健康保険法、保険 	数算定ができる。	療養担当規則等の関係法令が	が理解できる。		
成績評価の方法	「診療報酬の算定方法 評価は、課題レポート		本」の理解度をはかる課題レ	ポートを行い、評価する。		
授業外で行うべき 学修	医療保険制度に興味を持って取り組んでください。毎回の講義後に診療報酬の算定ルールの復習を必ず行ってください。(目安時間:約60分)					
使用テキスト	歯科点数表の解釈(社会保険研究所) 使用するテキストは第1回の講義時に一式購入してください。					
参考資料	なし					
受講生への要望等	十分な予習・復習を行					
授業の質問対応、 連絡先			講義室にて講師が受け付けま	ं ं		
	授業用SNS「melly]に	は使用しません。				

講義科目名称: 医療事務学Ⅱ 授業コード: 3J201

英文科目名称: Medical Office Management 2

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		第3学年	1	自由(両学科)		
担当教員						
三上 洋子						
科目ナンバリング		口腔保健学科の関	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20702		3 O H1 O		3 O E1 O	医療事務講師	
授業の概要と方法	書(レセプ した知識を された内容 試験」の対策	の科目では、まず診療の流れに沿って歯周病、ブリッジ・義歯等について、診療報酬算定から診療報酬明細(レセプト)の点検方法を講義形式にて学習する。次に今までの総まとめとして、「医療事務学 I 」で学習た知識を活用し、コンピューターで作成された診療報酬明細書の点検問題に取り組む。これはカルテに記載れた内容を元に、誤って入力されたレセプトの点検問題に取り組むものである。本講義は実際の「技能審査験」の対策に役立つ講義内容であり、診療報酬請求業務や患者接遇等、医療現場のニーズを重視した内容であるため、資格取得も目指すことが可能である。				
授業計画	1 2 3	実際における 実点 明 実点	いく。 問題(レセプト点移 とレセプトの点核 いく。 問題(レセプト点移 とレセプトの点核 いく。 問題(レセプト点移	食問題に取り組む。点検後、講義形 (を)② 食問題に取り組む。点検後、講義形 (を)③ 食問題に取り組む。点検後、講義形 (を)④ 食問題に取り組む。点検後、講義形 (を)④ 食問題に取り組む。点検後、講義形	が式にて症例ごとに解説し、注意 が式にて症例ごとに解説し、注意	
	6	実際にカルテ 点を確認して 明細書点検問 実際にカルテ 点を確認して 患者対応(実 医療事務技能	とレセプトの点だいく。 引題(レセプト点を とレセプトの点だいく。 技 I)・医療保険 審査試験の受験対	食問題に取り組む。点検後、講義形 を)⑥ 食問題に取り組む。点検後、講義形 を制度と点数の知識(学科)の試験 対策として、模擬問題に取り組む。	対策	
	8	レセプト点検(実技Ⅱ)の試験対	対策		
		医療事務技能	審査試験の受験対	対策として、模擬問題に取り組む。	講義形式にて解説する。	
授業の到達目標	1) 歯科の診療報酬明細書を点検することができる。 2) 健康保険法、保険医療機関及び保険医療養担当規則等の関係法令が理解できる。					
成績評価の方法	「明細書点検問題」を用いて、点検ルールの理解度をはかる課題レポートを行い、評価する。 評価は、課題レポート60点以上とする。					
授業外で行うべき 学修	医療保険制度に十分な関心を持ってください。毎講義終了後にはしっかり復習を行い、不明点は次回の講義で質問できるようにしてください。(目安時間:約60分)					
使用テキスト	歯科点数表の解釈(社会保険研究所) 使用するテキストは第1回の講義時に一式購入してください。					
参考資料	なし					
受講生への要望等	十分な予習	・復習を行ってく	ださい。			
授業の質問対応、 連絡先	質問等に関しては、講義終了後15分まで講義室にて講師が受け付けます。 授業用SNS「melly」は使用しません。					

講義科目名称: 社会福祉論 II 授業コード: 2F201

単位数

科目必選区分

英文科目名称: Social Welfare 2

配当年

開講期間

用研究间		101 11 11 11 11 11 11 1	半位数	村日必送区力			
後期	期		2	自由(両学科)			
担当教員							
濱島 淑惠							
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
20801		3 ◎ H2 ○		3 ◎ E2 ○	社会福祉士		
授業の概要と方法	最初に社会福祉論 I の振り返りを行う。次に海外の社会福祉の歴史、人権と福祉思想、社会福祉政策の構素、政策策定過程、供給主体と供給過程、関連諸施策について学ぶ。これらの基礎知識をもとに、日本の福祉政策の課題と今後のあり方について、講義を行う。						
授業計画	1	オリエンテーショ	コン一人権と福祉				
		が守られていと社会福祉政	るか、ディスカ 策の関係性につ	ッションを行う。最後に社会 いて講義を行う。	それを踏まえて、現代社会において人権 会福祉政策の必要性、ソーシャルワーク		
	2-6	社会福祉政策	後におけるニーズ	と貸源			
		課題の事例、		ニーズと資源の問題として	既説する。その上で、社会福祉に関する 分析、考察し、理解を深める。グループ		
	8-10	福祉政策の論	点				
		社会福祉政策は「価値」の選択であり、様々な論点、選択肢が存在する。その重要なものとして、①選別主義と普遍主義、②公私分離と公私協働、③公平性の論理と再分配の論理、④市場原理、⑤地方分権について概説する。またこれらに関わる事例、DVD、新聞記事を示し、その分析、考察を通して理解を深める。グループディスカッション、発表を行う。					
	11	福祉政策の主体一国、地方公共団体 福祉政策の主体である国、地方公共団体について、その位置づけ、役割、現代的課題について概 説する。					
	12 福祉政策の手法と決定過程および政策評価、福祉供給過程と利用過程						
	12	社会福祉政策の策定方法、過程、政策の評価方法について概説する。また福祉の供給過程・利用 過程として、福祉供給主体の多様化、福祉供給の原理と方法について概説する。					
	13-14	13-14 諸外国の社会福祉政策					
			福祉歴史と社会 位置づけ、課題		党する。それを踏まえて日本における社		
	15	現代における	冨祉政策の課題	とあり方を考える			
		グループディ. す。	スカッションを	行い、現在の日本の社会福祉	止政策の分析、課題と今後のあり方を示		
授業の到達目標					な知識を修得し、政策策定方法を理解 方について検討する力が修徳できる。		
成績評価の方法	レポート課 (20%)。	題で評価する(8	0%)。授業中	こ行うグループディスカッシ	ションでの様子も評価に加える		
授業外で行うべき 学修	人々の健康・生活に関わる問題について、新聞記事、ニュース等を通して関心を持つこと(15分)。また、それらの事象が生じる背景を、授業で学んだ知識と結び付けて考えてみるようにしてほしい(15分。授業後には、ノート、教科書の該当部分を読み返し、復習を行うこと(30分)。						
使用テキスト	大橋謙策・	白澤政和編著『現	代社会と福祉』	ミネルヴァ書房			
参考資料	授業で随時	 紹介する。					
受講生への要望等	私語は厳禁	 である。知的好奇	5心、自主性、言	 E体性をもって授業に臨んで	 ほしい。		
授業の質問対応、 連絡先				T究室で受け付けます。			

講義科目名称: 社会保障論 II 授業コード: 2F202

英文科目名称: Social Security 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
岸本 貴士				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20802	1 ○ 3 ○ H2 ◎		1 ○ 3 ○ E2 ◎	社会福祉士

授業の概要と方法

社会保障論 I を踏まえた上で、社会保障の基本原理(生活問題の理解、社会保障の理念の変遷、人権と社会保障ほか)を改めて整理したうえで、各種制度(公的医療保険、高齢者福祉と介護保険、労働、年金、生活保護、子ども家庭福祉、障がい者福祉など)を概観する。日本の社会保障との比較から諸外国の社会保障についても紹介する。また社会福祉士国家試験にも求められる知識や対応力を授業を通して身についていく。

授業計画

1-2 【講義】社会保障の基本原理

社会保障論 I で学んだことの振り返りを行いながら、改めて社会保障の基本原理について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。

- 1) 生活問題について
- 2) 社会保障の考え方の変遷
- 3) 人権と社会保障
- 4) 昨今の社会保障をめぐる情勢

(到達目標)

- ◎社会保障の基本原理を理解する
- ・生活問題について説明ができる
- ・社会保障の基本原理について説明できる
- ・「人権と社会保障」について理解できる

3-4 【講義】公的医療保険制度

公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に 至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめ ぐる諸問題についても検討する。

- 1) 公的医療保険制度とは
- 2) 被用者保険と国民健康保険
- 3) 後期高齢者保健制度
- 4) 公的医療保険制度をめぐる諸問題について

(到達目標)

- ◎公的医療保険制度の種類を理解する
- ・公的医療保険制度の概略を説明できる
- ・被用者保険と国民健康保険について説明できる
- ・後期高齢者医療制度について説明できる
- ・公的医療保険制度をめぐる諸問題(財政問題等)について理解できる

5-6 【講義】高齢者福祉と介護保険制度

介護保険制度導入から高齢者福祉の変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。

- 1) 介護保険制度の概略について
- 2) 介護保険制度導入の変遷について
- 3) 介護保険制度と他の制度との関連
- 4) 高齢者福祉と介護保険の諸解題について

(到達目標)

- ◎高齢者をめぐる法制度を理解する
- ・介護保険制度の概略を説明できる
- ・介護保険制度導入の変遷について理解できる
- ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる

7-8 【講義】生活困窮者支援制度と生活保護

生活保護制度や生活困窮者支援制度の概略について考察する。公的扶助の発展過程や昨今の生活 困窮者支援制度について考えながら、「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸 問題についても検討する。

- 1) 生活保護制度とは
- 2) 公的扶助の発展過程
- 3) 生活保護の基本原理と基本原則
- 4) 生活保護をめぐる諸問題について

(到達目標)

- ・生活保護制度について説明できる
- ・公的扶助の発展過程について理解できる
- ・生活保護の基本原理と基本原則を理解できる

9-10 【講義】労働問題と労災保険・雇用保険

社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。

- 1) 労働者を守る法制度について
- 2) 労災保険とは
- 3) 雇用保険とは
- 4) 労働や雇用をめぐる諸問題について

(到達目標)

- ◎労働問題と関連する法制度を理解する
- ・労災保険について説明できる
- ・雇用保険について説明できる
- ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる

11-12 【講義】年金制度、障がい者福祉

年金制度の概略・変遷と障がい者福祉制度について考察する。昨今の老後破産や下流老人に代表される「老後生活と年金」めぐる諸問題を概観し高齢者の生活問題についての認識も深める。また障がい者福祉においては、障がい者福祉思想と法体系への理解とともに、障がい者の生活保障の視座から今日の障がい者福祉の諸問題について整理する。

- 1) 年金制度とは
- 2) 「老後生活と年金」に関する諸問題について
- 3) 障がい者福祉とは
- 4) 障がい者福祉の思想と法体系
- 5) 高齢者・障がい者の生活保障について

(到達目標)

- ◎年金制度、障がい者福祉の体系を理解する
- ・年金制度の概略を説明できる
- ・障がい者福祉の概略を説明できる
- ・高齢者・障がい者の生活保障に向けた問題等について理解できる

13-14 【講義】子ども、家庭福祉

子どもや家庭をめぐる諸制度について考察する。保育、社会的養護、子育て支援、就学援助等の 諸制度の理解とともに、子どもの貧困問題は、大人の貧困が大本にあるとのの視座について検討 する。

	1) 子ども・家庭をめぐる状況について
	2) 保育、児童相談所、社会的養護について
	3) 子育て支援・就学援助について
	4) 子どもの貧困について
	(到達目標)
	◎子ども福祉をめぐる法制度を理解する
	・子ども家庭をめぐる状況について理解できる
	・子ども家庭福祉をめぐる諸制度について説明できる
	・子どもの貧困について理解できる
	15 【講義】社会保障と社会福祉専門職
	これまでの社会保障諸制度についての振り返りを行いながら、社会福祉専門職として生活問題を
	どうとらえどう問題解決に向けた動きができるのか検討する。社会保障諸制度には「制度のはざ
	ま」問題が生じることを理解しながら、生活問題への視座について検討する。
	1) 社会保障諸制度の振り返り
	2) 生活問題の解決に向けた視座について
	3) 「制度のはざま」問題について
	4) 人権とソーシャルアクションと社会保障について
	(到達目標)
	◎社会福祉専門職として社会保障への視座を理解する
	・社会保障諸制度について説明できる
	・生活問題の解決への視座について理解できる
	・人権とソーシャルアクションの必要性について理解できる
	・ 八催こう フトルア フラヨンの必要はに JV で 生所 C ご 切
授業の到達目標	日本の社会保障制度が直面している諸課題を整理し、さらに自らの日常生活に引き付けて理解し、その解決の
	ための方法を具体的に考えることができるようになること。
成績評価の方法	科目試験80%
	授業態度10%
	課題レポート10%
	課題レポートについては学生の授業発表時にコメントを行う。
授業外で行うべき	
学修	・新聞やニュース等にある社会保障・社会福祉にかかわる記事等をまとめておくこと(毎日20分程度)
使用テキスト	・社会福祉士養成講座編集委員会編『社会保障 第6版』中央法規出版、2019年
()	毎回授業でプリント配布する。
参考資料	・芝田英昭編著『増補改訂 基礎から学ぶ社会保障』自治体研究社、2016年
	・山崎史郎『人口減少と社会保障』中公新書、2017年
	その他、授業内で随時提示する。
受講生への要望等	社会保障は社会に生きるすべての人に関係するもの。自分のこととしてどう捉えられるか、ぜひ知的好奇心を
	持って授業にのぞんでほしい。
授業の質問対応、	
連絡先	・授業用SNS「melly」で随時対応

講義科目名称: 社会福祉調査学 授業コード: 3F101

英文科目名称: Social Research in Welfare

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	1	自由(両学科)	
担当教員				
濱島 淑惠				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	J連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20803	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉士、専門社会調査士
	1		1	

20603	-	о О п∠ ⊎	[3 ○ E2 ⊌	社会領征上	、守门社云驹且上
授業の概要と方法		ンド、倫理と個人情報	。その上で、質的調査方法の 保護について学ぶ。すべて講		
授業計画	1	社会調査とは			
		社会調査の種類、特徴 返りを行う。	女、社会福祉における意義を概	既説する。社会調査論で学	んだ量的調査の振り
	2-5	質的調査方法とは			
	6		方法を概説する。実際にデー 施、分析を行い、その方法、		
		調査を実施する上で重 通して、理解を深める	重要な「リサーチマインド」(ら。	こついて概説し、グループ	゚ディスカッションを
	7-8	社会調査における倫理	型と個人情報の保護		
			いて守るべき倫理と個人情報(スカッションを通して、理解で について議論する。		
授業の到達目標			ーチマインドを理解できる。 解できる。さらに、調査時に		
成績評価の方法	最後に課すレ	ポート課題によって評	価する (100%)。		
授業外で行うべき 学修	普段より新聞、ネット等の福祉に関わるニュースを注視し、特に調査が行われていた場合はその方法、内容、 考察をよく読み、授業で学んだことと照らし合わせてみるようにすること(30分)。				
使用テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会『社会調査の基礎』中央法規				
参考資料	授業中に随時紹介する。				
受講生への要望等	私語はしないこと。双方向の授業を行うため、積極的に授業に参加すること。				
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後に	教室で、オフィスアワ·	- 時に研究室で受け付けます	•	

講義科目名称: 心理学 I 授業コード: 3F102

英文科目名称: Psychology 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	1	自由(両学科)	
担当教員				
梶原 佳子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20804	3 ◎ H2 ◎		3 ◎ E2 ◎	

授業の概要と方法

心理学理論については、福祉分野と関連の深い事項を学習し、心理的存在としての人間の理解を深める。また 心理的支援については、心理検査や心理療法などの活用を念頭に置いた具体的な実践やグループワークによる 学習を行なう。

授業計画

1 福祉分野における心理学の役割と性格の心理学

福祉分野における心理学の役割について理解する。また人間の行動を特徴づける性格について心理学的に理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. 福祉分野における心理学の役割について理解し説明できる。
- 2. 性格の理論について理解し説明できる。
- 3. 心理検査と心理的アセスメントについて理解し説明できる。
- 4. 心理検査の実際と評価について理解し説明できる。

2 感情の心理学と心理的支援の概要

感情の心理学について発達的な観点から理解し、感情にかかわる問題についての対応や対策を学ぶ。また心理的支援のの概要について理解する。学習目標は以下のとおりである。

- 1. 感情の心理学について発達的な観点から理解し説明できる。
- 2. 感情にかかわる問題についての対応や対策について理解し説明できる。
- 3. 心理的支援の概要と流れについて理解し説明できる。
- 4. 心理的支援における面接と見立てについて理解し説明できる。

3 欲求・動機づけ

欲求と動機づけのメカニズムと欲求不満や葛藤、原因帰属のスタイルなどについて学習する。学 習目標は以下のとおりである。

- 1. 欲求と欲求不満、動機づけの理論について理解し説明できる。
- 2. 原因帰属のスタイルと自己効力感について理解し説明できる。
- 3. 防衛機制について理解し説明できる。

4 **適応・ストレスと心理療法1**

ストレスについて特に心理学的な観点から学習し、心理的支援としての心理療法について学ぶ。 学習目標は以下のとおりである。

- 1. ストレスに関する心理学的理論について理解し説明できる。
- 2. ストレス反応の個人差についてについて理解し説明できる。
- 3. ストレス反応への支援についてについて理解し説明できる。
- 4. 心理的支援としての心理療法についてに理解し説明できる。

5 認知と学習のメカニズムと心理療法2

認知・学習・記憶のメカニズムについて学び、認知行動療法について学習する。学習目標は以下 のとおりである。

- 1. 認知のメカニズムについて理解し説明できる。
- 2. 学習のメカニズムについて理解し説明できる。
- 3. 記憶のメカニズムについて理解し説明できる。

	4. 認知行動療法の理論と実践について理解し説明できる。
	6 知能と思考や行動の中枢としての脳
	知能の理論と知能検査について学び、知能と思考や行動の中枢である脳の機能と高次脳機能障害について学習する。学習目標は以下のとおりである。
	 知能の理論について理解し説明できる。 知能検査の種類と実践について理解し説明できる。 思考や行動の中枢としての脳の機能について理解し説明できる。 高次脳機能障害について理解し説明できる。
	7 集団の心理とコミュニケーション
	対人関係とコミュニケーションについて学び、傾聴の実践を行なう。学習目標は以下のとおりで ある。
	 対人認知と対人魅力について理解し説明できる。 自己開示と自己呈示について理解し説明できる。 集団の心理とリーダーシップについて理解し説明できる。 コミュニケーションの理論についてについて理解し説明できる。 ロールプレイを行い傾聴のスキルを実践できる。
	8 発達の心理と障害 人の生涯発達について心理学的に理解し、発達にともなってあらわれやすい障害とそれらへの支援について学ぶ。学習目標は以下のとおりである。
	 発達段階と発達課題について理解し説明できる。 発達障害とその支援について理解し説明できる。 高齢者の心理的発達について理解し説明できる。
授業の到達目標	基礎的な心理学理論について理解し説明できる。 基本的な心理学実践について理解し説明できる。
成績評価の方法	科目試験80%、授業態度20%の割合で評価を行なう。
授業外で行うべき 学修	授業中に行なわれる小テスト(自己採点)を復習(30分)して学習内容の定着をはかる。
使用テキスト	新・社会福祉士養成講座〈2〉 心理学理論と心理的支援 第3版中央法規出版 ISBN-10: 9784805851012 ISBN-13: 978-4805851012
参考資料	授業中に適宜指示する。
受講生への要望等	私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中入退室は慎むこと。
授業の質問対応、 連絡先	本科目については、Mellyでの受け付けは行わない。なお、授業内容に関する質問については、授業あるいは補講の時間内に直接行うこと

講義科目名称: ソーシャルワーク論 I 授業コード: 1F301

英文科目名称: Social Work I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第1学年	4	自由(両学科)	
担当教員				
米澤 美保子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20805	3 ◎ H2 ○		3 ◎ E2 ○	社会福祉士

科目ナンバリンク		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	
20805		3 ◎ H2 ○	3 ◎ E2 ○	社会福祉士
授業の概要と方法	に、講義形ともに、ソ	式により理解を深めていく。 ーシャルワーカーの実践現場	また、ソーシャルワークの定義 である社会福祉行政・民間機関	性(価値、知識、技術など)を中心 や形成過程、理念について理解すると の位置づけ、ソーシャルワーカーが実 適宜取り入れつつ習得していく。
授業計画	1	【講義】オリエンテーション		
		これからの進め方について	-	
	2	【講義・プレゼンテーション】	現代社会とソーシャルワーク	
		ソーシャルワークが必要と	こされる社会状況について学ぶ	
			f聞記事を一つ選び、発表準備(s	-
			ご社会状況についてまとめる(60	•
	3		削と意義(社会福祉士の役割と意	(表)
		社会福祉士の役割と意義に		
		(予習)テキスト第1章第1章 (復習)講義を通して党 4 ま	即を読む(30分) ご内容についてまとめる(60分)	
	4	` '	」内合についてまとめる(60万) 削と意義(現代社会と地域生活)	
	4	現代社会と地域生活についる		
		(予習)テキスト第1章第2章		
		,	近内容についてまとめる(60分)	
	5	• •	構成要素(ソーシャルワークの概	念)
		ソーシャルワークの概念は	こついて学ぶ	
		(予習)テキスト第2章第1節	節を読む(30分)	
		(復習)講義を通して学んた	内容についてまとめる(60分)	
	6	【講義】相談援助の定義と	構成要素(ソーシャルワークの構	成要素)
		ソーシャルワークの構成要	要素について学ぶ	
		(予習)テキスト第2章第2節	•	
			だ内容についてまとめる(60分)	
	7	【講義・グループワーク】相記		
			カ職の実際を学び、グループワ-	- クによって相談援助職について理解を
		深める (予習)これまでまとめた請	禁事中のを禁む(20分)	
		•	病の合を読む(30万) 近内容についてまとめる(60分)	
	8		過程(ソーシャルワークの源流)	
		ソーシャルワークの源流に		
		(予習)テキスト第3章第1節		
		, ,	で内容についてまとめる(60分)	
	9	【講義】相談援助の形成過	過程(基礎確立期)	
		ソーシャルワークの基礎研	雀立期について学ぶ	
		(予習)テキスト第3章第2節		
			内容についてまとめる(60分)	
	10	【講義】相談援助の形成過	過程(発展期)	
		ソーシャルワークの発展期		
		(予習)テキスト第4章第1節	, ,	
		(復省)講義を通して字んた	ど内容についてまとめる(60分)	

【講義】相談援助の形成過程(展開期) 11 ソーシャルワークの展開期について学ぶ (予習)テキスト第4章第2節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】相談援助の形成過程(統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク) 12 ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワークについて学ぶ (予習)テキスト第4章第3節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】相談援助の理念(価値) 13 ソーシャルワーク実践と価値について学ぶ (予習)テキスト第5章第1節・第2節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】相談援助の理念(権利擁護) 14 ソーシャルワーク実践と権利擁護について学ぶ (予習)テキスト第5章第3節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】まとめ 15 前期の振り返りと重要な事柄の復習について学ぶ (予習)これまでまとめた内容を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 16 【講義】オリエンテーション 後期の進め方についての説明 (予習)前期にまとめた内容を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてふりかえる(60分) 【講義】相談援助の理念(自己決定) 17 クライエントの尊厳と自己決定について学ぶ (予習)テキスト第6章第1節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】相談援助の理念(ノーマライゼーションと社会的包摂) 18 ノーマライゼーションと社会的包摂について学ぶ (予習)テキスト第6章第2節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】専門的倫理と倫理的ジレンマ 19 倫理綱領の意義と倫理的ジレンマについて学ぶ (予習)テキスト第7章を読む(60分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】総合的かつ包括的な相談援助(地域を基盤としたソーシャルワークの基本) 20 地域を基盤としたソーシャルワークの基本を学ぶ (予習)テキスト第8章第1節・第2節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】総合的かつ包括的な相談援助(地域を基盤としたソーシャルワークの8つの機能) 21 地域を基盤としたソーシャルワークの8つの機能に学ぶ (予習)テキスト第8章第3節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】ジェネラリスト・ソーシャルワーク(基礎理論) 22 ジェネラリスト・ソーシャルワークにかかる基礎理論について学ぶ (予習)テキスト第9章第1節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分) 【講義】シェネラリスト・ソーシャルワーク(特質) 23 ジェネラリスト・ソーシャルワークの特質について学ぶ (予習)テキスト第9章第2節を読む(30分) (復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分)

	24	【講義】相談援助にかかる専門職の概念
		相談援助専門職の概念と範囲について学ぶ
		(予習)テキスト第10章を読む(60分)
		(復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分)
	25	【講義・グループワーク】総合的・包括的な相談援助の専門的機能(個と地域の一体的支援機能)
		個と地域の一体的支援について事例を通じて考える
		(予習)テキスト第11章第1節を読む(30分)
		(復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分)
	26	【講義・グループワーク】総合的・包括的な相談援助の専門的機能(予防機能)
		予防機能について事例を通じて考える
		(予習)テキスト第11章第2節を読む(30分)
		(復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分)
	27	【講義・グループワーク】総合的・包括的な相談援助の専門的機能(新しいニーズへの対応機能)
		新しいニーズへの対応機能について事例を通じて考える
		(予習)テキスト第11章第3節を読む(30分)
		(復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分)
	28	【講義・グループワーク】総合的・包括的な相談援助の専門的機能(総合的支援機能)
		新しいニーズへの対応機能について事例を通じて考える
		(予習)テキスト第11章第4節を読む(30分)
		(復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分)
	29	【講義・グループワーク】総合的・包括的な相談援助の専門的機能(多問題家族への支援)
		新しいニーズへの対応機能について事例を通じて考える
		(予習)テキスト第11章第5節を読む(30分)
		(復習)講義を通して学んだ内容についてまとめる(60分)
	30	【講義】まとめ
		1 年間のふりかえりを行う
授業の到達目標	1. ソーシ	ャルワーカーの役割・意義について理解する。
		ャルワーカーに必要な概念と理念・価値・倫理を理解する。
	1 -	ヤルワーカーの実践の場と役割について理解する。
		ヤルワーク形成の歴史について理解する。
	5. 総合的	・包括的な相談援助について理解する。
成績評価の方法		0% 授業態度、課題などの平常点40%をもって総合的に評価する。課題へのフィードバックは、コ ごを記入して返却する。
授業外で行うべき	上記「授業	詳画」に記載の通り、予習30分、復習60分を行うこと。
学修	また、社会 ただきたい	会の福祉問題について日頃から関心を持ち、新聞や書籍、文献、マスメディアなどで学びを深めてい い。
使用テキスト	社会福祉士	主養成講座編集委員会編「新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職(第3版)」中央法規
参考資料	必要に応じ	じて授業時間内に紹介する。
受講生への要望等		は講義形式で進めていくが、視聴覚教材も活用し、対話を重視し、理解を深めていく。グループワー 、れるので、積極的に参加してほしい。
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後	é、オフィスアワー時で受け付ける。前もって予約を取っていただきたい。

講義科目名称: ソーシャルワーク論 **I** 授業コード: 2F301

英文科目名称: Social Work 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第2学年	4	自由(両学科)	
担当教員		·		
米澤 美保子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20806	3 ◎ H2 ○		3 ◎ E2 ○	社会福祉士

不 样 天体丁				
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20806		3 ◎ H2 ○	3 ◎ E2 ○	社会福祉士
授業の概要と方法	助の一連	の展開過程とそれを進めるにあ		を構築するために必要な基盤、相談援 義形式により理解する。また、相談援 適宜取り入れつつ習得する。
授業計画	1	【講義】オリエンテーション		
		これからの進め方につい	ζ	
	2	【講義】相談援助とは		
		ソーシャルワークの定義	と枠組み、ソーシャルワークを構	構成する要素、ソーシャルワーカーの 働
		く職場について学ぶ		
		(予習) テキスト第1章	を読む	
			んだことをまとめる(60分)	
	3	【講義】相談援助の構造と	≤機能	
		ソーシャルワークの構造	とニーズ、機能について学ぶ	
		(予習) テキスト第2章		
			んだことをまとめる(60分)	
	4	【講義】人と環境の相互作		
			ステム理論によるソーシャルワ- * *** **	-ク論について学ぶ
		(予習) テキスト第3章 (復習) 講義を通して学	を読む んだことをまとめる(60分)	
	_		いたことでよとめる (00万) ニ環境の相互作用について(2)	
	5			
			ハて、ニュースを材料に学ぶ た田を音識してニュースを 1 つね	 索しワークシートを記入する(90
		分)	下市で忠誠して二十 人でエンジ	(ボリン・ブン・「一で記入する(すり)
			んだことをまとめる(30分)	
	6		表】人と環境の相互作用について	(3)
		人と環境の相互作用につい	ハてグループワーク、発表を通し	ぶ学丁,
		(予習)ソーシャルワー	ク、人と環境の相互作用について	これまでのまとめを読む(30分)
		(復習)講義を通して学ん	んだことをまとめる(30分)	
	7	【講義】相談援助における	援助関係(1)	
		援助関係の意義、援助関係	系プロセスに影響する要因、援助)構造と援助関係について学ぶ
		(予習) テキスト第4章	1・2・3節を読む(40分)	
			んだことをまとめる(60分)	
	8	【講義】相談援助における	援助関係(2)	
		相談援助の質とソーシャ	レワーカーに求められる自己覚知]とミクロからマクロまでの実践領域か
		援助関係に及ぼす影響に		
			4・5節を読む(30分)	
			んだことをまとめる(60分)	
	9	【講義】相談援助の展開		
			れとケース発見について学ぶ	
			1 ・ 2 節を読む(3 0 分) んだことをまとめる(6 0 分)	
	10	【講義】相談援助の展開		
	10			
			らニーズ確定について学ぶ 3 ・ 4 節を読む(3 0 分)	
		(ア白) ナイ人ト先5早	3、4即位就约(30万)	

(復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助の展開過程(3) 11 アセスメント、支援標的・目標設定について学ぶ (予習) テキスト第5章5・6節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助の展開過程(4) 12 プランニング、支援の実施について学ぶ (予習) テキスト第5章7・8節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助の展開過程(5) 13 モニタリングの目的、対象、方法、内容について学ぶ (予習) テキスト第6章1節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助の展開過程(6) 14 支援の終結と効果測定、評価、アフターケアについて学ぶ (予習) テキスト第6章2・3節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助の展開過程(7) 15 予防的対応とサービス開発について学ぶ (予習) テキスト第6章4節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】援助のためのアウトリーチの技術 16 アウトリーチの意義と目的、方法について学ぶ (予習) テキスト第7章を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助のための契約の技術 17 契約の意義、目的、契約の方法について学ぶ (予習) テキスト第8章を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助のためのアセスメントの技術(1) 18 アセスメントの特性、アセスメントにおける援助的関係について学ぶ (予習) テキスト第9章第1節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義・グループワーク】相談援助のためのアセスメントの技術(2) 19 アセスメントにおける情報の収集、アセスメントツー ル、情報の組織化について学ぶ (予習) テキスト第9章第2・3節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助のための介入の技術 20 介入の意義と目的、介入方法について学ぶ (予習) テキスト第10章を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、評価の技術(1) 21 モニタリングと再アセスメントの目的と手続きについて学ぶ (予習) テキスト第11章第1・2節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、評価の技術(2) 22 効果測定の目的と効果測定の方法、プロセス評価、アウトカム評価およびサービス開発について 学ぶ (予習) テキスト第11章第3・4節を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 【講義】相談援助のための面接の技術(1) 23 相談援助における面接の目的と展開について学ぶ (予習) テキスト第12章第1・2節を読む(30分)

	(復羽) 理美を選して学 / だっとを主とめる (60分)				
	(復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分) 24 【講義】相談援助のための面接の技術(2)				
	相談援助において用いる技術とコミュニケーションおよび面接の形態を学ぶ				
	(予習) テキスト第12章第3・4節を読む(30分)				
	(復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分)				
	25 【講義】相談援助のための記録の技術(1)				
	記録の意義と活用目的、記録の種類について学ぶ				
	(予習) テキスト第13章第1・2節を読む(30分)				
	(復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分)				
	26 【講義】相談援助のための記録の技術(2)				
	記録の方法とIT化および倫理的配慮と記録の活用例について学ぶ				
	(予習) テキスト第13章第3・4節を読む(30分)				
	(復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分)				
	27 【講義・グループワーク】相談援助のための記録の技術(3)				
	記録について視聴覚教材を題材にして学ぶ				
	(予習) 記録の技術に関するこれまでのまとめを読む(30分)				
	(復習) 講義を通して学んだことをまとめる(40分)				
	28 【講義・グループワーク・発表】相談援助のための記録の技術(4)				
	記録についてグループワークを通して学ぶ				
	(予習) 記録の技術に関するこれまでのまとめを読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことをまとめる(40分)				
	Franch William Color of the City of the				
	交渉の意義と目的、交渉の方法およびプレゼンテーション技術について学ぶ (予習)テキスト第14章を読む(30分)				
	(復習) 講義を通して学んだことをまとめる(60分)				
	30 【講義】まとめ				
	一年間の振り返り及び重要項目の復習				
	(予習) これまでのまとめを読む(40分)				
	(復習) これまでのまとめを見直す(60分)				
授業の到達目標	1. 人と環境の相互作用について理解する。				
	2. 相談援助の構造と機能について理解する。				
	3. 相談援助の展開過程を理解する。				
	4. 相談援助における知識と技術について理解する。				
	5. 相談援助における面接技術について理解する。				
	6. 相談援助における記録の技術について理解する。				
成績評価の方法	定期試験60%と授業態度、ワークシート、発表などの平常点40%をもって総合的に評価する。フィードバックについては、ワークシートにはコメントなどを記入し返却、発表には授業時にコメントする。				
授業外で行うべき	上記「授業計画」に記載の通り、予習30分、復習60分を行うこと。				
学修	また、社会の福祉問題について日頃から関心を持ち、新聞や書籍、文献、マスメディアなどで学びを深めてほしい。				
使用テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編「新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法 I (第3版)」中央法規				
参考資料	必要に応じて、授業内で紹介する。				
受講生への要望等	基本的には講義形式で進めていくが、視聴覚教材も活用し、対話を重視しながら、理解を深めていく。グループワークも取り入れて行うので、積極的に参加してほしい。				
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後、オフィスアワー時で受け付ける。できるだけ前もって予約を取ってほしい。				

講義科目名称: ソーシャルワーク論Ⅲ 授業コード: 4F301

英文科目名称: Social Work 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第4学年	4	自由(両学科)	
担当教員				
濱島 淑惠				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20807	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉士

授業の概要と方法 相談援助の対象、実践モデル、アプローチの内容、意義、目的について概説する。また、ケースマネジメント、スーパービジョン、コンサルテーション、ネットワーキング、事例検討会の方法、技術について概説する。特に相談援助の具体的な事例を示しながら理解を深める。主として講義形式で行うが、適宜、授業内にグループディスカッションを行うことがある。

授業計画 相談援助における対象の理解

- ①オリエンテーション(この講義を受けるにあたっての注意事項)
- ②ソーシャルワークの概念と定義、対象(個人、家族、集団、地域)について概説する。

2-4 ケースマネジメント

ケースマネジメントとは何か、概説する。それを基礎とした上で、事例を挙げながら、以下について概説する。

- ①ケースマネジメントの過程
- ②ケースマネジメントのアセスメント (方法、意味・目的、原則)
- ③ケアプランの作成・実施
- ③ケースマネジメントとソーシャルワークの関係

5-6 グループを活用した相談援助

- ①人にとって「グループ」とは何かを考え、グループワークの意義について概説する
- ②グループを活用した相談援助の方法について概説する。
- ②グループを活用した相談援助の例を示し、理解を深めるとともに、その特徴、意義を検討する。

7-11 コーディネーションとネットワーキング

- ①コーディネーションの内容、目的と意義について概説する。
- ②コーディネーションの方法、技術について、事例を挙げながら概説する。
- ③ネットワーキングの内容、目的と意義について概説する。
- ④ネットワーキングの方法、技術について、事例を挙げながら概説する。
- ⑤地域福祉推進とコーディネーション、ネットワーキングの重要性を議論する。

12-14 社会資源の活用・調整・開発

- ①社会資源の活用・調整・開発の内容、目的、意義を概説する。
- ②社会資源の活用・調整・開発の方法について、事例を挙げながら概説する。
- ③ソーシャルアクションの方法、意義について概説する。

15-16 様々な実践モデル

- ①実践モデルとは何か概説する。
- ②治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルの内容、特徴について、事例を挙げながら概説 する。

17-22 **様々なアプローチ**

以下のアプローチの内容、方法、特徴、課題等について、事例を挙げながら概説する。

- ①心理社会アプローチ
- ②機能的アプローチ
- ③問題解決アプローチ

		④課題中心アプローチ			
		⑤危機介入アプローチ ※にもまたウラプローチ			
		⑥行動変容アプローチ			
	23-24	その他のアプローチ			
		以下のアプローチの内容、方法、特徴、課題等について、事例を挙げながら概説する。 ①エンパワメントアプローチ ②ナラティブアプローチ ③認知アプローチ			
	25-26	スーパービジョン			
		①スーパービジョンの定義、意義と目的を概説する。			
		②スーパービジョンの方法について、事例を挙げながら概説する。			
		③コンサルテーションの定義、意義、目的、方法について概説する。			
	27	ケースカンファレンス			
		ケースカンファレンスの意義、目的、運営と展開方法について概説する。			
	28	個人情報の保護			
		ソーシャルワークにおける個人情報の保護について、法律、専門職倫理の観点から概説する。			
	29	ICTの活用			
		近年、ソーシャルワークにおいて情報通信技術ICTが重要視される背景と実際の活用について概 説する			
	30	総括			
		これまで授業で概説した相談援助の理論と方法、目的、意義について総復習をおこなう。			
 授業の到達目標	以下の内容				
		における人と環境との交互作用			
		の対象と様々な実践モデル、アプローチ			
	③ケースマ 術	ネジメント、スーパービジョン、コンサルテーション、ネットワーキング、事例検討会の方法と技			
成績評価の方法	授業内に行	う小テスト(50&)と定期テスト(50%)で評価を行う。			
授業外で行うべき 学修	次の授業で学ぶ章・節を読んでおくこと(45分)。また、他の講義、演習を受けている際には、この授業で学んだ理論と関連づけて考えるよう試みてほしい(15分)。				
使用テキスト	社会福祉士	養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法 II 』中央法規出版			
参考資料	久保紘章・ 島書店	副田あけみ編著『ソーシャルワークの実践モデル─心理社会的アプローチからナラティブまで』川			
受講生への要望等		である。これまで福祉の講義、演習で学んだことと結び付けることを心掛け、グループディスカッ 積極的に参加してほしい。			
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後	、または空き時間に研究室で受け付けます。			

講義科目名称: 地域福祉論 I 授業コード: 1F201

英文科目名称: Community Welfare 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第1学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
濱島 淑恵				
科目ナンバリング	 口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20808	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉士

授業の概要と方法

地域で暮らす人々の生活問題、地域の福祉課題、地域福祉の必然性を学ぶ。それらを踏まえた上で、国内外の地域福祉の歴史的展開、地域福祉の理論、理念について概説する。また、地域福祉の実際を事例やDVD等を用いて学び、これら地域福祉の担い手の種類、特徴について概説する。最後に地域福祉の現代的課題について議論する。基本的に講義形式で行うが、適宜、グループディスカッションを行う。

授業計画

1 地域福祉とは何か

地域福祉とは何かについて概説する。

他の福祉領域との違い、なぜ地域福祉が必要かを理解する。

2-3 **コミュニティとは**

地域福祉で重要となるコミュニティについて、グループディスカッションを通して、自分たちの考えをまとめる。それらを踏まえた上で、社会学領域におけるコミュニティの定義について概説する。

4-5 地域福祉の源流ー欧米の地域福祉の歩み欧米の地域福祉

地域福祉が誕生した欧米の歴史についてイギリス、アメリカを中心に概説する。

6-7 日本における地域福祉の歴史的展開―その到達点と課題

戦前の日本における地域福祉が欧米の影響を受けながらどのように展開したか、またそこでの日本的特徴について概説する。さらに、戦後の展開と近年の動向について概説し、現代日本の地域福祉の到達点と課題について考える。

8 地域福祉の理念

現在の地域福祉が目指すものは何か、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン等の 理念について概説する。

9 地域福祉の理論

歴史的な展開を踏まえた上で、地域福祉の「理論」を整理し、概説する。

10-13 地域福祉活動の実際とその意義、課題

地域福祉の理論を踏まえた上で、具体的な地域福祉活動の種類を紹介し、事例、、DVDなどで理解を深める。また、地域の福祉の施設、事業所を訪問、実践者による講演から地域福祉実践の実際を学ぶ。最後に、地域福祉実践の意義と課題について概説する。

14 地域福祉の主体—種類と特徴

地域福祉実践を担う主体について、その種類、特徴、長所短所について概説する。

15 ソーシャルサポートネットワーク

ソーシャルサポートネットワークについて概説する。その上で、グループでの事例分析を通して、ソーシャルサポートネットワークの意義と課題について議論し、理解を深める。

授業の到達目標

地域で暮らす人々の生命・生活・人生と地域特性との関連を理解できる。

地域福祉の理論、理念、担い手、地域福祉の実際を理解できる。

地域福祉の課題を自ら見出し、今後のあり方について検討する力を修得できる。

成績評価の方法	定期試験で評価する(90%)。また、授業中に課す感想文、小レポートも評価に加える(10%)。
授業外で行うべき 学修	普段から地域福祉に関わる新聞記事、ニュースを確認すること(15分)。また、他の授業で学ぶ福祉課題を地域の課題としてとらえ直す訓練を自ら行うこと(15分)。次回学ぶ教科書の章、節を読んでおくこと(30分)。
使用テキスト	山本美香編『地域福祉の理論と方法』弘文堂
参考資料	授業中に随時紹介する
受講生への要望等	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後に教室で、オフィスアワー時に研究室で受け付けます。

講義科目名称: 地域福祉論 Ⅱ 授業コード: 2F101

英文科目名称: Community Welfare 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第2学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
南 多恵子				
科目ナンバリング	□腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20809	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉士

授業の概要と方法

地域で暮らす人々の生活問題、地域の福祉課題、地域福祉の必然性を学ぶ。それらを踏まえた上で、国内外の地域福祉の歴史的展開、地域福祉の理論、理念について概説する。また、地域福祉の実際を事例やDVD等を用いて学び、これら地域福祉の担い手の種類、特徴について概説する。最後に地域福祉の現代的課題について議論する。基本的に講義形式で行うが、適宜、グループディスカッションを行う。なお、本授業は「地域福祉論I」との連続性をもって行うものである。

授業計画

地域福祉における専門職の役割(1)

1. 社会福祉協議会、ボランティアセンター、地域包括支援センター、社会福祉施設の専門職

=講義=

地域福祉の推進に従事する社会福祉協議会、ボランティアセンター、地域包括支援センター、社会福祉施設の専門職について概説する。

2 地域福祉における専門職の役割(2)

- 1. 保健・医療等の専門職
- 2. 保育所・児童厚生施設の専門職
- 3. その他の専門職

=講義=

地域福祉の推進に従事する保健・医療・保育所・児童厚生施設・その他の専門職について概説する。

3 **ネットワーキング(1)**

1. ネットワーキングの必要性

= 講義 =

地域福祉の推進に求められるネットワーキングの必要性を概説する。

4 ネットワーキング(2)

1. ネットワーキングの種類と範囲

=講義=

地域福祉の推進に求められるネットワーキングの種類と範囲を概説する。

5 地域における社会資源の活用・調整・改善・開発(1)

- 1. 社会資源とその必要性
- 2. 社会資源の活用・調整・改善・開発の手法

=講義=

地域福祉の推進には、フォーマル、インフォーマルの社会資源が必須である。それらの必要性と 活用・調整・改善・開発の手法を概説する。

6 地域における社会資源の活用・調整・改善・開発(2)

1. 地域福祉における人的資源の育成

=講義 =

地域福祉の主たる担い手は、地域住民である。「人」に焦点をあてて、どのように人的資源の育成が図られるのかを概説する。

7 地域における福祉ニーズの把握方法と実際

- 1. 福祉ニーズとニーズ把握システム
- 2. 質的な福祉ニーズの把握方法と実際
- 3. 量的な福祉ニーズの把握方法と実際

= 講義 =

地域福祉推進のためには、まずニーズを把握することが求められる。ニーズキャッチのあり方について概説する。

8 地域における福祉サービスの評価方法と実際

- 1. 地域における福祉サービスの評価とは
- 2. 福祉サービスの評価
- 3. 評価以外の品質管理・向上の取り組み

=講義=

地域福祉推進の評価とはどのようなものかを概説する。

9 地域包括ケアシステムの構築方法と実際―地域包括支援センター

1. 地域包括支援センターとは

=講義=

地域包括ケアシステムを牽引する地域包括支援センターの理解を深めるために、センターの機能と役割について概説する。

10 地域包括ケアシステムの構築方法と実際―障害者

- 1. 障害者ケアに関する社会資源とケアシステム
- 2. 地域ケアシステムの実際

=講義=

地域で暮らす障害者の暮らしと地域包括ケアシステムの構築方法と実際について概説する。

11 地域包括ケアシステムの構築方法と実際―児童(1)

1. 児童に関する社会資源とケアシステム

=講義・学外実習=

子ども支援の現場に赴き、どのような地域福祉推進をされているのか、そのあり方を伺う。 同時に、児童福祉領域の地域包括ケアシステムの構築方法と実際について概説する。

訪問先予定:みんなの里ぽこぽこ保育園(最寄駅:京阪樟葉駅)

12 地域包括ケアシステムの構築方法と実際―児童(2)

1. 具体的事例の分析

=講義・学外実習=

地域の子ども食堂を訪問し、子どもを核とした地域福祉の様子を体験したり、主催する地域住民や専門職からお話をお聴きし、実践的に学ぶ。

訪問先予定:みんなの里ぽこぽこ保育園の運営する子ども食堂(最寄駅:京阪樟葉駅)

13 地域包括ケアシステムの構築方法と実際―地域包括支援センターの実際

	1. 地域包括ケアシステムの事例分析
	=講義・学外実習=
	地域包括ケアシステムを牽引する地域包括支援センターを訪問し、第一線で活躍する職員(社会
	福祉士)より具体的な活動内容や事例を伺い、実践的に学ぶ。
	訪問先予定:地域包括支援センター社協こもれび(最寄駅:京阪樟葉駅)
	14 地域包括ケアシステムの構築方法と実際―高齢者
	1. 具体的事例の分析
	=講義・学外実習=
	地域で独居生活をされている高齢者を地域包括ケアシステムによってどのようにサポートしてい
	るのか、実際に「地域の居場所」を訪問し、当事者のお話を伺い、実践的に学ぶ。
	訪問予定先:地域包括支援センター社協こもれびが支援する「地域の居場所」
	(独居高齢者宅を地域の居場所として開放しているお宅)
	(最寄駅:京阪樟葉駅)。
	15 授業のまとめとテスト
	1. 授業の総まとめとテスト
	=まとめ=
	地域福祉論 II のまとめを講義するとともに、これまでの学びの成果をテストで確認する。
授業の到達目標	地域で暮らす人々の生命・生活・人生と地域特性との関連を理解できる。
	地域福祉の理論、理念、担い手、地域福祉の実際を理解できる。
15/2	地域福祉の課題を自ら見出し、今後のあり方について検討する力を養うことができる。
成績評価の方法	授業への取り組み状況15%+レポート課題15%+平常試験70% レポート課題は、施設見学での気づき、学びをまとめる。
 授業外で行うべき	世段から地域福祉に関わる新聞記事、ニュースを確認すること。
学修	また、他の授業で学ぶ福祉課題を地域の課題としてとらえ直す訓練を自ら行うこと。
	可能であれば、地域でボランティア活動にも参加し、理論と実際の両方から捉える機会を持ってほしい。
	予習・復習および問題演習に、1時間~2時間程度必要である。
使用テキスト	山本美香編『地域福祉の理論と方法[第3版]』弘文堂
	※事前に次回取り扱う章について一読し予習をしてくること。
参考資料	指定なし
受講生への要望等	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。
	学外実習(施設見学)も設ける予定である。詳細は授業内で伝達する。
授業の質問対応、	前回までの授業内容について、教科書や配布資料等を元に必ず復習し、疑問があれば、次回授業時に質問する
連絡先	こと。 連絡先:t-minami@mail.koka.ac.jp
	ш толь стинаништанкока.ac.jp

講義科目名称: 福祉行財政と福祉計画 要業コード: 3F103

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
小島 和貴				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20810	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	

授業の概要と方法 この授業では、福祉行財政と福祉計画について理解を深める。テキストを利用しながら、グループ内でテクニカルタームの理解を深めるグループワーク、その理解を確認するためのプレゼンテーションを予定する。プレゼンテーションを受けて、受講者でディスカッションを行う。

授業計画

イントロダクション

この授業のより具体的な進め方、テーマ、テキストの確認を行います。

各自テキストを概観してもらい、この授業で扱うテーマの確認を行ってもらいます。この授業で使用する用語等、すでに知っているものと初めて触れるものなど、知識を整理します。グループに分かれて、テキストの内容について、若干のディスカッションを行います。

2 福祉制度の体系

社会保障、社会福祉、「福祉六法」など、福祉行政の実務でよく出てくるタームの理解を深めます。

ここでは、社会福祉の語源的意味、日本国憲法第25条に見える、「社会福祉」、「社会保障」、「公衆衛生」の含意、社会福祉法と社会福祉法制の使い分けの意義等を論点として取り上げます。

3 福祉制度のあゆみ1

戦前の社会福祉制度について理解を深めます。

ここでは恤救規則や救護法の意義、明治後期から大正期にかけて広まる社会政策、厚生労働省が 設置される経緯などを取り上げます。学説的に「救貧政策」というタームが使用されることがか つては多くありましたが、その含意についても検討します。その際、イギリスの救貧法や新救貧 法の意義にも触れることとなります。

4 **福祉制度のあゆみ2**

戦後福祉制度の形成過程について理解を深めます。

1945年の終戦を境にして、日本国憲法が制定されました。国民には生存権や幸福追求権が認められるようになりました。この憲法の制定と同時に、当時間接統治をおこなっていたGHQは、福祉の「国家責任」を求めました。そして、生活保護法や児童福祉法、身体障害者福祉法が制定されました。この「福祉三法体制」の時代がいかに形成されたのかをここでは取り上げます。

5 福祉のあゆみ3

高度経済成長期前後の「貧困」と行政対応について理解を深めます。

1951年のサンフランシスコ講和条約を経て、GHQの日本からの撤退が決定し、日本は「戦後復興」の時代へと入ります。1950年代後半から60年代にかけて日本は、「高度経済成長」という時代を経験し、「豊かさ」を実感する場面が増えました。例えば、「三種の神器」が普及したことは、その「豊かさ」の象徴とされることもあります。しかしその一方で、高度経済成長の「豊かさ」を享受できない人たちがいることにも注目されるようになります。「新たな貧困」への注視です。ここではこの「新たな貧困」に対する行政対応を取り上げます。

6 **福祉のあゆみ4**

1973年の福祉元年宣言とは裏腹に日本の経済成長は鈍化しました。この結果、「福祉見直し」が叫ばれるようになります。ここではまず1970年代「福祉見直し」の内容を確認します。次に1980年代以降強調されるようになる「新自由主義」について、その意義について理解を深めます。

7 福祉のあゆみ5

1970年代以降、急速に高齢化が進行する中、福祉改革が行われます。介護保険法や社会福祉法の制定は、象徴的な出来事として理解できます。ここではこれら福祉改革の意義について理解を深めます。

8 福祉行政を実施する仕組み

福祉は行政の活動なくして成立しません。実際に日本では国の行政機関として厚生労働省が設置されており、地方には福祉事務所などの機関が置かれております。ここでは国と地方の役割分担の基本的な考え方や国、都道府県、市町村の主な役割について理解を深めます。

9 福祉サービスを利用するための仕組み

社会福祉基礎構造改革では「措置から契約へ」、「中央集権から地方分権へ」といったことが唱えられました。その結果、福祉サービスを利用する際に地方、とりわけ市町村の役割がそれまで以上に重要となりました。ここでは、介護保険サービスを事例にして、住民がサービスを利用するためにはどのような仕組みが用意されているのかについて理解を深めます。

10 福祉の財源と財政

行政を運営していくためには、権限と人員、そして財源が必要となります。これは福祉行政に あっても例外ではありません。ここでは福祉の財源にはどのようなものがあるのか、そして財源 を運営するための財政の機能について理解を深めます。例えば、「所得の再分配」は財政の重要 な機能ですが、この含意について議論を重ねます。

11 福祉の財源を確保するための仕組み

福祉の財源を確保するための仕組みとして、大別すると、「公費負担方式」と「社会保険方式」があります。前者は公的扶助などの財源を確保する際に利用され、後者は介護保険や医療保険といった社会保険の財源を確保する際に利用されます。ここではこれらの方式が利用される意味について理解を深めます。そして日本ではこれらの方式がどのように具体的な福祉行政に反映されているのかを確認します。

12 福祉行政の組織や団体

ここでは日本の福祉行政を支える行政組織や、各種団体について取り上げます。具体的には福祉 事務所、児童相談所、身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所、婦人相談所、社会福祉協 議会、社会福祉法人、などです。

13 福祉行政における専門職

ここでは日本の福祉行政を支える専門職について理解を深めます。具体的には、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、介護支援専門員、社会福祉主事、民生委員、などです。

14 福祉行政と人権の保障

人権は大別すると自由権と社会権に分かれます。前者は、精神の自由や経済の自由、身体の自由によって構成され、後者は生存権や労働基本権などによって構成されます。そして福祉行政とのかかわりでは特に、生存権のありかたについてこれまで議論が積み重ねられてきました。憲法が保障する生存権をどのように理解することができるのかについてここでは理解を深めます。加えて「包括的基本権」として予定される幸福追求権についても取り上げます。

15 福祉行政と福祉計画およびまとめと試験

社会福祉基礎構造改革以降、地方自治体は福祉のための「計画」を策定することが求められるようになりました。ここでは福祉行政における「計画」を策定することの意義について理解を深めます。そして本講義で取り上げてきたテーマについて再度確認し、試験を行うことを予定します。

授業の到達目標

この授業では社会福祉士にとって必要な福祉行財政と福祉計画について、基本的な事柄を説明できるようにな

	ることをめざす。具体的な項目は以下のとおりである。 ・福祉行政の実施体制 ・福祉の財源 ・福祉行政の組織 ・福祉行政における専門職の役割 ・福祉計画
成績評価の方法	成績評価は以下のとおりとする。 科目試験:60% 受講態度:20% 課題への取り組み:20%
授業外で行うべき 学修	授業を受講するにあたり以下の学修を求める。 ・テキストの概要を理解する。 ・授業で取り上げたテーマ、テクニカルターム等をテキストを利用しながら理解を深める。
使用テキスト	永田祐ほか『よくわかる福祉行財政と福祉計画』ミネルヴァ書房、2018(ISBN:978-4-623-06625-4)
参考資料	なし。
受講生への要望等	積極的な授業への参加を望みます。
授業の質問対応、 連絡先	

講義科目名称: 福祉経営論 授業コード: 4F101

英文科目名称: Management in Welfare

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第4学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
矢島 繁一				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20811	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉士

授業の概要と方法

1) いま、なぜ福祉の世界に経営なのか、福祉経営の基本的枠組み、社会福祉法の内容の理解、福祉経営の構造としての人

事・サービス・財務マネジメントについて学ぶ。また、福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメントについ

てを学ぶ。

2) 講義と講義内容に基づく演習を取り入れ、随時グループワークを実施し福祉と医療の違い、今後の動向について学ぶ。

授業計画

1.自己覚知 対人援助のコミュニケーション

「きく」「はなす」といったコミュニケーションの基本的な要素について、演習を通じで学ぶ。 自分自身のコミュニケーションのスタイルについて自己覚知する。他人からどう思われているの か、見られているのかといった自身のスタイルについて気づきを築き、自己覚知ができる。

2.症状理解 認知症等の疾患・障害へ理解

人としての尊厳を守り、たとえ認知症の症状や精神疾患等の障がいをを持ち合わせていても、人としての関わる基本を、障害特性を学ぶことで、障がいの特性を理解し適切なコミュニケーションができる。

3.福祉経営 福祉の措置から契約の流れ

措置から2000年の介護保険導入に至る、福祉の歴史を学び、なぜ、福祉に経営が必要なのかを「社会福祉法」の条文を基に学ぶことにより、社会福祉の運営と経営の仕組みを理解できる。

4.運営 **経営と運営の違いを学び、福祉の組織としての視点を理解する**

社会福祉法人の特徴とガバナンス・コンプライアンスを学び、一般企業の営利目的の組織ではない社会福祉の特徴と今後の方向性を学ぶことで、医療・福祉に置いての組織としての経営的視点を持つことができる。

5.多様化 福祉の対象者が多様な問題を抱えていることを学ぶ

高齢者の介護、障碍者の生活、自殺者の問題、生活保護等の貧困、在日外国人、登校拒否等の社会の問題の多様化の実態を学び、相談援助を今後どのように展開するかを学ぶ

6.企業事例 福祉以外の一般企業の先進的な経営・イノベーション事例を学ぶ

医療・福祉関係者は視野が狭い傾向がある。企業の経営事例を通じて、イノベーション、顧客・ 地域のマーケティングについて学び、顧客満足のサーベイの実施をし、科学的根拠に基づいた経 営戦略の考察ができる。

7.BSC **経営管理シートのツールを使う**

BSC(バランスド・スコアカード)やSWOT分析等の、企業戦略のツールを実際に使うことにより、経営の視点を様々な視点から見ることを学ぶ。特に利用者の視点は地域住民の視点となり、クライエントのニーズを把握できる。

8.地域経営 地域福祉の展開を学ぶ

地域によって、その特性に応じたサービスの展開があり、各地域の福祉経営・運営の取り組みを 学ぶ。それぞれの社会資源としての、、インフォーマルなサービスについての支援を学び、地域 のコーディネート力をつける。地域特性があり、その地域の風土に合った実践が今後の長い視野 での経営ができる。

9.SV スーパービション

リーダーシップ論について学び、そのうえで、スーパービジョンの機能、スーパーバイザーとしての視点、また、バイジーへの支援の継続の方法を学ぶ。スタッフの育成・研修等の手法を学び、組織としての人(人財)を育てることができる。

10.改革 イノベーションの方法

	11セ-フ ティ	サービスの策定、地域・組織連携を学ぶことにより、自事業所のみの狭い視野から、公的機関や関係機関と連携をすることでの、新たなサービスの展開ができるようになる。 リスクマネジメントではない、セーフティマネジメントの視点				
		危機管理ではなく、利用者・住民が安心・安全に暮らせる仕組みづくりについて学び、セーフ ティマネジメントの視点、組み立てを学ぶことで、事なかれ的な考えをなくす。リスクマネジメ ントとの違いが理解できるようになる。				
	12.リー ダー	リーダーシップについて				
		イノベーション・セーフティマネジメント等の、今まで学んだ内容もリーダーシップを発揮できなければ実現は難しい。自分自身に合ったリーダーシップの在り方を学び、演習を通じて自身に合ったリーダーシップの有り方を模索することができる。				
	13.人材育 成	スタッフの離職予防・教育プログラムを学ぶ				
	14.まとめ1	スタッフの採用から、研修、育成といった人材の定着を図るにはどうすべきか、どのような方法があるのかを学び、スタッフの離職防止につなげ、組織が継続できるようにする。 コミュニケーションからリーダーシップまで				
	11.6001	学んだコミュニケーション技術をを用いて、組織をまとめ、意見を引き出す。そして、組織として収益を上げられるように事例を基に演習をし、経営戦略を策定する。リーダーシップを発揮し、組織としてのガバナンスを意識できる。				
	15.まとめ 2	戦略策定				
	_	まとめ1同様に、今まで学んだ知識等を活用し、イノベーションの戦略を策定することができる。				
授業の到達目標		D違い、組織としてのコンプライアンス及びガバナンスの仕組みを学び、顧客満足 (CS)従業員満足されるようにする仕組みが理解できる。				
		経営のイノベーションの事例を学び、医療・福祉の分野との比較ができるようになる。 ミュニケーションを円滑にできるように、コミュニケーションの「きく」「はなす」力ができる。				
成績評価の方法		たを優先し、演習や振り返りを通じての提出物を参照とする。 シ記述式試験を実施し、評価する。				
授業外で行うべき 学修	授業後に資料を読み、内容をまとめなおす(1時間)					
使用テキスト	講義時に配布する資料を使用します。					
参考資料	特になし	特になし				
受講生への要望等	特になし					
授業の質問対応、 連絡先	メールにてき s-yajima@s	S願いします。 -koutokukai.or.j p				

講義科目名称: 高齢者福祉論 授業コード: 1F202

英文科目名称: Welfare for the Elderly

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1年次	2	自由(両学科)	
担当教員				
濱島 淑恵				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20812	3 ◎ H2 ○		3 ◎ E2 ○	社会福祉士

授業の概要と方法

高齢社会の動向、高齢者の特性、生活実態と抱える生活問題について概説する。その上で高齢者福祉の歴史的展開、現在の高齢者の生活を保障する社会保障、社会福祉の制度・政策、各種サービスを概説する。また、これらの制度・政策、サービスの実際を、施設訪問、従事者の講話、DVD等を通して学ぶ。さらに諸外国の高齢者福祉の制度・政策、サービスを参考にしながら、日本の高齢者福祉の現状と課題、今後のあり方について検討する。基本的に講義形式で行うが、適宜、グループディスカッションを用いる。

授業計画

1 オリエンテーション一私たちの考える「高齢者」像

グループディスカッションを通して、「高齢者」に対するイメージをまとめる。それを踏まえて、自分たちの有する高齢者像を整理する。

2-4 高齢者の特性と抱える生活問題

データを示しながら、高齢者の身体的、心理的、社会的等の側面からその特性を把握し、そこから生じる生活問題について概説する。適宜、グループディスカッションを入れる。

5 認知症と認知症ケア

近年、重要課題となっている認知症ケアについて詳しく学ぶ。認知症とは何か、その症状と理解、ケアのポイントついて、事例、DVD等を示しながら概説する。

6-7 高齢者福祉制度の歴史

高齢者福祉制度の歴史的展開について、戦後から近年まで概説し、その到達点と現代的課題を学ぶ。

8-9 介護保険制度の仕組み

介護保険制度の仕組み(保険者、被保険者、要介護認定、財源、苦情解決等)について概説する。

10-13 介護保険サービスとその実際

介護保険サービスの種類とその内容について概説する。さらに、DVD、事業所・施設の訪問もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。

14 老人福祉法の仕組みとサービス

老人福祉法の仕組みとサービスの概要と介護保険制度との関係性について概説する。また、老人福祉法の現代的意義について概説する。

15 高齢者福祉の課題

介護保険制度の課題、高齢者虐待、家族介護問題について概説し、高齢者福祉の今後のあり方について議論する。

授業の到達目標

高齢者の抱える生活問題と社会福祉の必要性について理解できる。 高齢者福祉の歴史的展開とその意義、課題について理解できる。

高齢者福祉の課題について自ら考え、今後のあり方について検討する力を修得できる。

成績評価の方法 | 定期試験で評価する(80%)。また、授業中に課す感想文、小レポートも評価に加える(20%)。

授業外で行うべき 学修

普段から高齢者福祉に関わる新聞記事、ニュースを確認すること(15分)。また、高齢者と触れ合う機会をなるべく設け、授業で学んだ知識と結びつけて考察することを勧める(15分)。次回の授業で学ぶ教科書の章、

	節を読んでおくこと(30分)。
使用テキスト	岡田進一・橋本正明編著『高齢者に対する支援と介護保険制度』ミネルヴァ書房
参考資料	授業で随時紹介する。
受講生への要望等	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後に教室で、オフィスアワーに研究室で受け付けます。

講義科目名称: 介護概論 授業コード: 1F101

英文科目名称: Introduction to Nursing Care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第1学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
森田 婦美子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20813	3 ◎ H2 ○		3◎ E2 ○	看護師・助産師

授業の概要と方法

日本は世界に類を見ない速さで超高齢化社会を迎え、保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きな変革の時を迎えている。歯科診療の場所も従来の診療所から在宅診療へとその必要性が求められており、歯科診療にかかわる者において在宅医療を含めた高齢者理解の学びが必携となった。そこで、本講では我が国おける介護の実情を踏まえながら、チーム医療における歯科衛生士、歯科技工士としての役割を明確にし、介護に関する制度や介護サービスについて学習するとともに、高齢者の特性と特性に応じた介護について、介護の援助方法を演習、施設見学を通して学ぶ。学習のねらいは、介護に関する知識を根拠に基づいて習得し、活用できることである。

授業計画

介護を学ぶ意義

講義

- 1) 介護とは
- 2) 高齢者の動向
- 3) 医療・福祉の連携の重要性

2 介護の歴史的変遷 介護予防に向けた取り組み

講義

- 1) 介護の保険制度とは
- 2) 介護保険の歴史
- 3) 介護保険の運用方法、サービス内容
- 4) 歯科医療に求められている介護の課題

3-4 高齢者(障がい者) 疑似体験

講義

- 1) 高齢者体験とその意義
- 2) 障がい者体験とその意義

5 高齢者の身体的特徴

講義

- 1) 老年期の発達課題
- 2) 身体の加齢性変化
- 3) 高齢者症状の現れ方
- 4) 訴え方の特徴

6 認知症の理解を通してコミュニケーション技術を学ぶ

講義

- 1) 認知症とは何か
- 2) 認知症高齢者のコミュニケーションの特徴と関わり方
- 3) 認知症の人をめぐる諸問題
- 4) 家族支援
- 5) 認知症ケアにおける倫理

7-8 生活支援技術1 環境を整える技術

演習

- 1) 環境整備
- 2) ベッドメーキング・シーツ交換・就床患者のシーツ交換

	9-10 生活支援技術2 ボディメカニクス・トランスファー 演習 1) ボディメカニクスの物理的理論 2) ベット上での体位変換の技術 3) 臥床から座位、立位への援助 4) 車椅子の取り扱い方法			
	生活支援技術 衣服の着脱 演習 1) 麻痺のある患者の衣服の着脱			
	12-14 エイジレスセンター 実習 1) 介護保険と介護用品 2) 介護用品の使用体験			
	 技術確認チェック 演習 1) 片麻痺を想定した患者に対して、車椅子からチェアー、チェアーから車椅子の介助。 2) グループで創意工夫した援助を展開する。 			
授業の到達目標	 1) 日本の高齢者の実情が理解できる。 2) 他種職との連携の必要性が理解できる。 3) 身体の状態の合わせた日常生活援助ができる。 4) 介護保険の概要が理解できる。 			
成績評価の方法	演習レポート30%、技術試験30%、科目終了試験40%			
授業外で行うべき 学修	エイジレスセンター体験実習終了後、次回授業までに体験レポートを提出。 事前に渡された資料を読む。60分 授業後、各回で配布されたワークシートの整理を行う。60分			
使用テキスト	毎回資料を配布する。			
参考資料				
受講生への要望等	・グループでの学習が多いため欠席するとメンバーに迷惑となるので、欠席しない努力を行うこと。 ・新聞、テレビ、書籍(雑誌)などあらゆるマスメディアによる、介護に関する報道、情報を収集し、理解を 深める努力をすること			
授業の質問対応、 連絡先	[melly]			

講義科目名称: 障害者福祉論 授業コード: 3F104

英文科目名称: Social Welfare for People with disabilities

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
要田 洋江				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20814	3◎ H2 ○		3 ◎ E2 ○	

授業の概要と方法

1

障害者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉の歴史について学ぶとともに、障害のある人々の暮らしと彼らを 取り巻く社会環境、そして障害のある人々の福祉ニーズについて学ぶ。近年の人権を配慮した障害者福祉パラ ダイム転換の意義を学ぶとともに、日本の現状と課題について、視聴覚教材やテキストをもとに小グループ討 議・発表などの双方向型授業も適宜行う。

授業計画

オリエンテーション

(小グループ討議)

「障害」・「障害者」の定義について考える。「障害のある人との思い出」を通して、「障害」 とは何か、「障害者」とは誰かについて意見を交換する。(小レポート提出)

2 障害者福祉に影響を与える思想と基本的人権

(講義)

現在の障害者福祉制度は、人権思想と人権思想に対立する思想のせめぎ合いから成立している。 障害者福祉に影響を与えた思想について、基本的人権の思想と、基本的人権に対立する思想(優 生思想・社会防衛思想)について理解を深める。

映像「忘れてほしゅうない」を視聴して、感想を述べる。(小レポート提出)

3 障害者福祉の理念(障害のパラダイム転換)

(講義)

「障害者」の定義は、何を障害とみるかによって変化すること、また、なぜ障害者を支えるのか について、人権思想の発達から考える。

障害の医学モデル(個人モデル)から、障害の社会モデルへの転換。

現在の障害者福祉に影響を与えた障害者運動の歴史を学ぶと共に、障害者権利条約が謳う「保護の対象」から「権利の主体・平等な市民へ」と向かう理念について学ぶ。

4 障害者福祉の歴史的展開(その1:戦前から戦後、2000年まで)

(講義)

「第二次世界大戦前」「戦後」の障害者福祉制度、高度経済成長期の障害者福祉制度、そして社 会福祉基礎想像改革に至るまでの「転換期」の障害者福祉制度の特徴について学ぶ。

5 障害者福祉の歴史的展開(その2:社会福祉基礎構造改革から現在)

(講義)

社会福祉基礎構造改革から支援費制度、そして、障害者自立支援法から障がい者制度改革、総合支援法への展開について学ぶ。

6 障害者を支える法制度の現状と課題(その1)障害者基本法と身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、児童福祉法、特別支援教育

(講義)

個別の法律の概要を学び、その現状と課題について理解を深める。

7 障害者を支える法制度の現状と課題(その2)精神保健福祉法、発達障害者支援法、医療観察 法障害者総合支援法の概要

(講義)

個別の法律の概要を学び、その現状と課題について理解を深める。

8 障害者を支える法制度の現状と課題(その3)障害者雇用法、障害者年金法、障害者虐待防止 法、パリアーフリー法

(構業) 個別の法律の概要を学び、その現状と誤屈について学ぶ。 10 障害者総合支援法の体系に障害者福祉の担い手 (議業) 陸書者総合支援法の保養と障害者福祉の担い手 (議業) 陸書者総合支援法の概要 (諸義) 阿吉古サービス支接機能の規略で実施に業務に扱わっている支援者から、阿吾者総合支援法の概要、支給沢定と認害支援区分について学ぶ。 11 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その1) (議義) 現在日本の房害者福祉サービスを展開する上での認識について、海外の例を参考に考える。 股條 [パワー・オブ・ドリームス] 「カリフォルニアからの液に寄せて」を視略して、感想を途べる。(小レボート提出) 12 相談援助とソーシャルワーク。障害者ケアネジメントの基本理念 (講義) 陸書者記せサービスにおける。相談援助とソーシャルワーク。障害者ケアネジメントについて学ぶ。 13 「降者支援とソーシャルワーク・専門から考える障害者支援の実態 (議義・適盟) 居主福祉サービスにおける。相談援助とソーシャルワーク。降害者ケアネジメントについて学ぶ。 (
(議義) 原書者総分支援法の体系である時書表総合支援法の全体体を学ぶと共に、障害者福祉サービスはの体系である時書表総合支援法の保養 (講義) 原書者総合支援法の保養 (講義) 原書者総合支援法の保養 (講義) 原書者を含支援法の保養 (講義) 原書者を含支援法の保養 で、支給決定と関書支援区分について学ぶ。 11 日本社会に対ける障害者福祉の課題と障害者権利条約(その1) (議義) 現在日本の障害者福祉の課題と関連者を使用さらていて学ぶ。 (ルレボート提出) 12 相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (構義) 原書音器協址サービスにおける、相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントについて学ぶ。 (ルレボート提出) 13 障害者支援とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (講義)・演習 原書・演習) 原書・原書・「大学・「大学・「大学・「大学・「大学・「大学・「大学・「大学・「大学・「大学		
度書書福祉サービス法の体系である陪書書総合支援法の全体像を学ぶと共に、障害書福祉サービスに関わる担い手、実施枠組み、当事者団体について学ぶ。 10 障害者総合支援法の概要 (構築) 原書者サービス支援機関の現場で実際に業務に携わっている支援者から、障害者総合支援法の概要、支給決定と障害支援区分について学ぶ。 11 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その1) (協義) 現在日本の障害者福祉サービスを展開する上での課題について、海外の例を参考に考える。映像「パワー・オブ・ドリームス」「カリフォルニアからの波に寄せて」を視聴して、原想を述べる。(小レボート活出) 12 相談援助とサーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (協義) 関害者支援とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (協義) 関害者方を提出サービスにおける、相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントについて学ぶ。 13 障害者支援とソーシャルワーク・事例から考える障害者支援の実態 (協義・海宮) 母体障害、知的障害、精神障害、発達障害)の各事例の支援について、小グループで演習的に学ぶ。 (小しボート提出) 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (協義) 廃害者百分・ビス支援機関の現場で相談支援業務に扱わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。(小レボート提出) 移権 関告者福祉の価値製、並びに日本の障害者福祉制度について、これまでの学びを振り返る。 ・ に需者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉のこれまでの歴史について、記明できる。・ に需者福祉制度の仕目かていって設明できる。・ に需者福祉制度の仕目かていって設明できる。・ に需者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・ に需者福祉側側の仕目かていて説明をきる。 ・ に需者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・ に需者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・ に帰る権権と関係と対しているが加速を必然といいで対してきる。 ・ に帰る機能と関密として、3 0 分程度、配在資料企業である。 に対しているが開めを持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害別・者の関連する新的記事やニュース書組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・ に発生所において、障害がよる新的記事やニュース書組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・ に報告事者の根点を学ぶために、NHK教育テレビ「パリバラ」を視聴とないるときに、「関盟児・者の関連する新的記事やニュース書組等でどのよっに取り上げられているかを考えること。 ・ に報告事者を表さるに、NHK教育テレビ「パリバラ」を視聴したのを考えること。 ・ に報告・本の規定を学ぶために、NHK教育テレビ「パリバラ」を視聴しているが考えること。 ・ 常規定・エルトをご覧といて、2 0 分程度・配力のように対しているからの対しませませました。 ・ 1 日本に対しているが表もよりに対しているのでは、1 日本に対しているのでは、1 日本に対しないるのでは、1 日本に対しているのでは、1 日本に対し、1 日本に対しているのでは、1 日本に対しているのでは、1 日本に対しているのでは、1 日本に対しているのでは、1 日本に対しないるのでは、1 日本に対しないるのでは、1 日本に対しないるのでは、1 日本に対しないるのでは、1 日本に対しないるので		
(講義) 阿書名サービス支援機関の環境で実際に業務に携わっている支援者から、阿書名総合支援法の概要、支給決定と除害支援区分について学ぶ。 11 日本社会にがける障害者福祉の課題と障害者権利条約(その1) (講義) 現在日本の帰害者福祉サービスを展開する上での課題について、海外の例を参考に考える。映像「パワー・オブ・ドリームス」「カリフォルニアからの波に寄せて」を視聴して、感想を述べる。(ハルボート提出) 12 相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (講義) 阿書名福祉サービスにおける、相談援助とソーシャルワーク、障害者クアマネジメントについて学ぶ。 13 障害者支援とソーシャルワーク・事例から考える障害者支援の実態 (講義・演習) 阿書を開別(身体陪害、知的陪害、精神陪害、発達陪害)の各事例の支援について、小グループで演習的に学ぶ。 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (講義) 「障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ (ハレボート提出) 15 総括 阿書名福祉の価値観、並びに日本の障害者福祉制度について、これまでの学びを振り返る。 ・		障害者福祉サービス法の体系である障害者総合支援法の全体像を学ぶと共に、障害者福祉サービ
11 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その1) (講義) 現在日本の障害者福祉サービスを展開する上での課題について、海外の例を参考に考える。 映像「パワー・オブ・ドリームス」「カリフォルニアからの波に寄せて」を視聴して、感想を述 べる。(小レポート提出) 12 相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (講義) 障害者福祉サービスにおける、相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントについて 学ぶ。 13 障害者支援とソーシャルワーク・事例から考える障害者支援の実態 (講義・漢習) 障害種別(身体障害、知的障害、精神障害、発達障害)の各事例の支援について、小グループで 演習的に学ぶ。 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (講義) 障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。(小レポート提出) 15 総括 障害者福祉の健廃動動の、日本の障害者福祉の課程業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。(小レボート提出) 15 総括 障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・ 内閣を組制度の仕組みについて説明できる。 ・ 内閣・西部・西部・西部・西部・西部・西部・西部・西部・西部・西部・西部・西部・西部・		(講義)
(議義) 現在日本の障害者福祉サービスを展開する上での課題について、海外の例を参考に考える。 映像「パワ・・オブ・ドリームス」「カリフォルニアからの波に寄せて」を視聴して、感想を述 べる。 (パレポート提出) 12 相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (議義) 障害者福祉サービスにおける、相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントについて 学ぶ。 13 障害者支援とソーシャルワーク:事例から考える障害者支援の実態 (議策・演習) 障害種別(身体障害、知的障害、精神障害、発達障害)の各事例の支援について、小グループで 演習的に学ぶ。 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (議策) 障害者サービス支援機関の規模で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。 (パレポート提出) 15 総括 障害者福祉の価値観、並びに日本の障害者福祉制度について、これまでの学びを振り返る。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・境害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・境害者福祉制度の管門職の役割について説明できる。・境害者福祉制度の管門職の役割について説明できる。・アルブルーブ討議の参加態度・映像感想(パレポート)、NHK教育テレビ『パリパラ』視聴後の感想文の提出 (著、夏2回)、そして、期末テスト50%とする。) ・野議後に復習として、30分程度、配布資料は全て目を通し、テキストの関連項目を振り返り、知識の理解を深めること。・日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、陽害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、陽害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。・障害当事の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『パリパラ』を視聴すること。学期中『パリパラ』を視聴した感想・ルード学子・尾崎剛志・岡山里子『新・基礎からの社会福祉 4 障害者福祉〈第2版〉』ミネルヴァ書房		
12 相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (講義) 障害者福祉サービスにおける、相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントについて学ぶ。 13 障害者支援とソーシャルワーク:事例から考える障害者支援の実態 (講義・演習) 障害種別(身体障害、知的障害、精神障害、発達障害)の各事例の支援について、小グループで演習的に学ぶ。 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (講義) 障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。(小レポート提出) 15 総括 障害者福祉の価値観、並びに日本の障害者福祉制度について、これまでの学びを振り返る。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・障害者福祉制度の世界的動向、日本の障害者優しいて説明できる。・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。・ に書書福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・ 環境に変し、ア・ビア・関係を関係しい、ア・ビア・関係を認定したでは、対策を定めるとと、第2回、・・レバート、NHK教育テレビ『パリバラ』 視聴後の感想文の提出 (春、夏 2回)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(講義) 現在日本の障害者福祉サービスを展開する上での課題について、海外の例を参考に考える。 映像「パワー・オブ・ドリームス」「カリフォルニアからの波に寄せて」を視聴して、感想を述
学ぶ。 13 障害者支援とソーシャルワーク: 事例から考える障害者支援の実態 (講義・演習) 障害種別(身体障害、知的障害、精神障害、発達障害)の各事例の支援について、小グループで 演習的に学ぶ。 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (講義) 障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。(ハレポート提出) 15 総括 障害者福祉の価値観、並びに日本の障害者福祉制度について、ごれまでの学びを振り返る。 ・障害者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉制度について、ごれまでの学びを振り返る。 ・ 障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・ 障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・ 障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・ 障害者福祉関連の役割について説明できる。 ・ 障害者福祉関連の役割について説明できる。 ・ に関するとして、期末テストとで総合評価する。(評価の比率は、授業への参加度・小レポート 20%。『パリパラ』を規数での専門職の役割について説明できる。) ・ 海講義後に復習として、30分程度、配布資料は全て目を通し、テキストの関連項目を振り返り、知識の理解を深めること。 ・ 日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・ 障害当事者の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『パリパラ』を視聴すること。学期中『パリパラ』を視聴した感想レポートを2回提出する。		12 相談援助とソーシャルワーク、障害者ケアマネジメントの基本理念 (講義)
(講義・演習) 障害種別 (身体障害、知的障害、精神障害、発達障害)の各事例の支援について、小グループで 演習的に学ぶ。 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (講義) 障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。 (小レボート提出) 15 総括		
演習的に学ぶ。 14 日本社会における障害者福祉の課題と障害者権利条約(その2) (講義) 障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。(小レボート提出) 15 総括 障害者福祉の価値観、並びに日本の障害者福祉制度について、これまでの学びを振り返る。 投業の到達目標 ・障害者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉のこれまでの歴史について説明できる。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・障害者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・障害者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・障害者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・ は、		(講義・演習)
(講義) 障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課題について学ぶ。(小レポート提出) 15 総括 障害者福祉の価値観、並びに日本の障害者福祉制度について、ごれまでの学びを振り返る。 投業の到達目標 ・障害者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉のごれまでの歴史について説明できる。 ・人権を配慮した障害者福祉パラダイム転換について説明できる。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・障害者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・ にゅうがして、現まテストとで総合評価する。(評価の比率は、授業への参加度・小レポート 20%、『バリバラ』感想文30%、期末テストとで総合評価する。(評価の比率は、授業への参加度・小レポート 20%、『バリバラ』感想文30%、期末テスト50%とする。) ・ 毎講義後に復習として、30分程度、配布資料は全て目を通し、テキストの関連項目を振り返り、知識の理解を深めること。 ・ 日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・ 障害当事者の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『バリバラ』を視聴すること。学期中『バリバラ』を視聴した感想レポートを2回提出する。 使用テキスト 「竹端寛・山下幸子・尾崎剛志・圓山里子『新・基礎からの社会福祉4 障害者福祉〈第2版〉』ミネルヴァ書房		
障害者福祉の価値観、並びに日本の障害者福祉制度について、これまでの学びを振り返る。 投業の到達目標 ・障害者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉のこれまでの歴史について説明できる。 ・人権を配慮した障害者福祉がラダイム転換について説明できる。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・障害者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・障害者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・がグループ討議の参加態度・映像感想(小レポート)、NHK教育テレビ『バリバラ』視聴後の感想文の提出 (春、夏 2 回)、そして、期末テストとで総合評価する。(評価の比率は、授業への参加度・小レポート 20%、『バリバラ』感想文30%、期末テスト50%とする。) 授業外で行うべき 学修 ・毎講義後に復習として、30分程度、配布資料は全て目を通し、テキストの関連項目を振り返り、知識の理解を深めること。 ・日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・障害当事者の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『バリバラ』を視聴すること。学期中『バリバラ』を視聴した感想レポートを2回提出する。 使用テキスト 竹端寛・山下幸子・尾崎剛志・圓山里子『新・基礎からの社会福祉4 障害者福祉〈第2版〉』ミネルヴァ書房		(講義) 障害者サービス支援機関の現場で相談支援業務に携わっている障害のある当事者から、現状の課
授業の到達目標 ・障害者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉のこれまでの歴史について説明できる。 ・人権を配慮した障害者福祉パラダイム転換について説明できる。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。 ・障害者福祉領域での専門職の役割について説明できる。 ・ 応養評価の方法 ・ハグループ討議の参加態度・映像感想(小レポート)、NHK教育テレビ『バリバラ』視聴後の感想文の提出 (春、夏 2 回)、そして、期末テストとで総合評価する。(評価の比率は、授業への参加度・小レポート 20%、『バリバラ』感想文30%、期末テスト50%とする。) ・毎講義後に復習として、30分程度、配布資料は全て目を通し、テキストの関連項目を振り返り、知識の理解を深めること。 ・日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・障害当事者の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『バリバラ』を視聴すること。学期中『バリバラ』を視聴した感想レポートを2回提出する。 使用テキスト 竹端寛・山下幸子・尾崎剛志・圓山里子『新・基礎からの社会福祉4 障害者福祉〈第2版〉』ミネルヴァ書房		
(春、夏2回)、そして、期末テストとで総合評価する。(評価の比率は、授業への参加度・小レポート 20%、『バリバラ』感想文30%、期末テスト50%とする。) 授業外で行うべき ・毎講義後に復習として、30分程度、配布資料は全て目を通し、テキストの関連項目を振り返り、知識の理解を深めること。 ・日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・障害当事者の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『バリバラ』を視聴すること。学期中『バリバラ』を視聴した感想レポートを2回提出する。 使用テキスト 竹端寛・山下幸子・尾崎剛志・圓山里子『新・基礎からの社会福祉4 障害者福祉〈第2版〉』ミネルヴァ書房	授業の到達目標	・障害者福祉の世界的動向、日本の障害者福祉のこれまでの歴史について説明できる。 ・人権を配慮した障害者福祉パラダイム転換について説明できる。 ・障害者福祉制度の仕組みについて説明できる。
学修 解を深めること。 ・日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・障害当事者の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『バリバラ』を視聴すること。学期中『バリバラ』を視聴した感想レポートを2回提出する。 使用テキスト 竹端寛・山下幸子・尾崎剛志・圓山里子『新・基礎からの社会福祉4 障害者福祉〈第2版〉』ミネルヴァ書房	成績評価の方法	(春、夏2回)、そして、期末テストとで総合評価する。(評価の比率は、授業への参加度・小レポート
		解を深めること。 ・日常生活において、障害児・者が地域でどのように暮らしているかに関心を持ち、自らの障害者観を振り返るとともに、障害児・者の関連する新聞記事やニュース番組等でどのように取り上げられているかを考えること。 ・障害当事者の視点を学ぶために、NHK教育テレビ『バリバラ』を視聴すること。学期中『バリバラ』を視聴
	使用テキスト	
参考資料 『新・社会福祉士養成講座14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 <第6版> 』中央法規 佐藤久夫・小澤温『障害者福祉の世界』有斐閣アルマ	参考資料	

	小澤温編『よくわかる障害者福祉 <第6版> 』ミネルヴァ書房
	尾上浩二・渡邊琢・小泉浩子ほか『障害者運動のバトンをつなぐ』生活書院
	長瀬修・東俊裕・川島聡編『障害者の権利条約と日本:概要と展望<増補改訂>』生活書院
受講生への要望等	講義内容については、進捗状況により多少変更する場合がある。小グループ討議には、積極的に参加するこ
	∠.
授業の質問対応、	質問や相談があれば、授業終了後やオフィスアワー(あらかじめメールでの連絡)にて対応する。
連絡先	メールでの連絡先: yoda@cc.osaka-dent.ac.jp

講義科目名称: 児童・家庭福祉論 授業コード: 3F105

英文科目名称: Child Welfare / Family Welfare

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
芦田 麗子				
科目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する実務経験				
20815 3 O H2 O				

20815		3 O H2 O	3 O E2 O	社会福祉士
授業の概要と方法	されること うととも(本講義で(との多くは子どもを取り こ、子どもが抱えこまされ よ上記の力を養うため、5	巻く大人の問題であることも忘れ ^っ れている問題に対し、どのように打	が必要とされる。しかし、子どもの問題と てはならない。子どもを理解する視点を養 援助するのかを思考する力が必要になる。 伏況、児童福祉法の理念や制度を学び、子 行う。
授業計画	1	オリエンテーション		
	2		ついて、子どもの命を大切するた どもと子どもを理解する視点	めに大人ができることについて講義する
		今、子どもがおかれ	ている状況および子どもを理解す	るための視点について講義する。
	3	児童福祉の理念と株	崖利保 障	
		児童福祉法の理念、 する。	児童憲章の理念、子どもの権利条	約採択までの経緯とその内容について講義
	4	世界における児童福	祉の歴史	
		イギリスおよびアメ	リカにおける児童福祉の歴史を講	義する。
	5	日本における児童福	祉の歴史	
	6	日本における児童福 児童福祉にかかわる	祉の歴史を明治期から現在までの 法律	り児童福祉の歴史を講義する
			ーロ 童福祉関係諸法の概要について講	講義する 。
	7	実施体制と財源		
	8	国・地方公共団体の 子育て支援と健全育	役割、実施機関、関連組織、財源 f成	と質用負担についく講義する。
			童健全育成施策の変遷と現状につ	いて講義する
	9	母子保健サービス		
	10	母子保健・医療・福 保育サービス	祉施策の変遷と現状について講義	する。
	11		保育所の現状と課題、保育所以外 5 る子どもと家庭の福祉	の保育サービスについて講義する。
			び虐待を受けた子どもへの援助、	そのほか養育環境に問題がある子どもへの
	12	障害児の福祉		
		障害の概念、障害児	福祉サービスの概要について講義	きする。
	13	ひとり親家庭の福祉		
		ひとり親家庭の貧困 策について講義する		としてのDV、ひとり親家庭の支援に関する施
	14	心理的困難・非行問	引題のある子どもの福祉	
		心理的困難・非行問 スについて講義する	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	5の、それらを抱える子どもへの福祉サービ
	15	児童福祉サービスの	担い手と援助の実際	
		子どもに関わる専門	職がどのように援助しているかを	講義する。

授業の到達目標

児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要(子育て、一人親 家庭、児童虐待及び家庭内暴力 (D.V) の実態を含む。)について理解できる。

	・児童・家庭福祉制度の発展過程について理解できる。
	・児童の権利について理解できる。
	・相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解でき
	వ .
成績評価の方法	・各授業終了時に出すレポート 40%
	レポートは次回の授業に添削して返却する。
	・定期試験 60%
授業外で行うべき	普段から子どもを取り巻く問題に関わる新聞記事、ニュースをよく読むこと。
学修	予習として、授業で行う教科書の範囲を読み、わからない言葉を調べておく(30分~1時間)。
	復習として、授業で行った教科書を読み返し、ノートを整理する(1時間~2時間)。
使用テキスト	千葉茂明編2019『新・エッセンシャル 子ども家庭福祉論』みらい
参考資料	芦田麗子監修2017『シングルマザーをひとりぼっちにしないために』日本機関紙出版センター
	上間陽子2017『裸足で逃げる』太田出版
	加藤彰彦『沖縄子どもの貧困白書』かもがわ出版
	杉山春2013『ルポ虐待』ちくま新書
	森田ゆり1999『子どもと暴力』岩波書店
受講生への要望等	講義形式ではあるが、利用者に寄り添った支援ができるための知識の習得を目指し、積極的に受講すること。
	授業開始の1分前にはテキストノートを広げ着席し、授業に不要なものはカバンにしまっておくこと。
授業の質問対応、	基本的には授業時間内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で対応する。アポの取り方や連絡先などの詳
連絡先	細は初回の授業で説明する。

講義科目名称: 公的扶助論 授業コード: 4F102

英文科目名称: Public Assistance

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第4学年	2	自由(両学科)		
担当教員	担当教員				
芦田 麗子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20816	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎		

授業の概要と方法

私たちが生活する日本でも、貧困な状態におかれている人は少なくありません。本講義では貧困についてまず 理解し、その上で、それに対応する公的扶助制度(特に生活保護制度)について学びます。制度に関する知識 の習得だけにとどまらず、この社会においての公的扶助制度の意味と役割について考察する力も養いうため、 講義および演習形式で授業を行います。

授業計画

貧困とは何か、健康で文化的な生活とは何か

【演習+講義】グループで現代社会における貧困問題と取り上げ、そこから貧困と健康で文化的な生活とは何かを話し合い定義して発表する。各グループの発表に加えて教員が講義し、そこから貧困と健康で文化的な生活を理解する。

2 低所得階層の生活実態と貧困

【講義】低所得者への生活保護制度を利用した事例をふまえ、ソーシャルワーカーの役割を自 覚する。また、低所得者階層が生み出される背景、所得格差の問題、低所得者の生活実態、貧困 の理論について講義する。

3 公的扶助制度の歴史(イギリス)

【講義】1600年ころからのイギリスの歴史を概観しながら、どのような公的扶助の制度が作られたか学ぶ。また、ブースやラウントリーの貧困調査がどのような意味をもたらしたか、さらに戦後のイギリス社会の保障の政策体系の基礎となるベヴァリッジ報告について講義する。

4 公的扶助制度の歴史(日本)

【講義】明治時代からの歴史を概観しながら、どのような公的扶助の制度が作られたかを学ぶ。奥に恤救規則と救護法の成立過程について、また戦後の旧生活保護法と新生活保護法の成立 経緯について講義する。

5 社会保障制度と公的扶助

【講義】社会保障制度の範囲、仕組みについて講義した上で、公的扶助の概念と範囲について講義する。また、社会手当や生活困窮者自立支援制度についても講義する。

6 生活保護の実施体制

【講義】生活保護の実施体制における国と千穂自治体の役割について講義した上で、実施機関としての福祉事務所の創設、業務、役割について講義し、保護施設の種類や設置と運営についても 講義する。

フ 生活保護制度の原理・原則

【講義】生活保護法における用語の定義について解説した上で、基本原理と原則、保護受給者の 権利と義務について、それぞれ講義する。

8 生活保護基準と要否判定

【講義】最低生活保障水準と保護基準の設定方式について講義し、その上で8種類の保護の種類とない内容について講義する。保護の要否判定と程度の決定について具体的な方法についても説明する。また就労自立給付金についても講義する。

9 生活保護の動向と財源

【講義+演習】保護受給者数および保護受給世帯数などの保護の動向、生活保護費の動向と財源について講義し。時折社会で「問題」とされる生活保護の不正受給について話し合い、ソーシャルワーカーとしての視点を養う。

10 専門職の役割と相談援助活動

【講義】生活保護直接かかわる現業員や査察指導員の役割、支援過程と現業員の業務について講義する。また相談援助活動の内容や多職種との連携ネットワーキングについても講義する。

11 自立支援プログラムによる相談援助

【講義】自立支援プログラムの位置づけと意義について、またプログラム作榮と支援過程につい

		て、プログラムによる支援の実際について講義し、自立支援プログラムの今後の課題について考察する。					
	12	ホームレスの生活と相談援助					
		【講義】ホームレスの現状と生活、ホームレス対策の動向、ホームレス対策の概要、ホームレス 支援の実際について講義し、ホームレス問題いついての理解を深める。					
	13	低所得者への社会福祉サービス					
		【講義】生活困窮者自立支援制度、生活福祉資金貸付制度、無料低額診療制度や入院所酸性度な どの医療サービス、住宅サービについて講義する。					
	14	低所得者への就労支援サービス					
		【講義】雇用・就労の動向と労働政策、就労支援サービスの実施体制、低所得者への就労支援制度について講義する。					
	15	公的扶助の意味と役割					
		【演習】今までの授業を踏まえ、保険・医療機関との連携の事例を検討した上で、公的扶助の意味と役割についてグループでまとめ、発表する。					
授業の到達目標	相談援助活	配生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解できる。 動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解できる。 プログラムの意義とその実際について理解できる。					
成績評価の方法	・レポート レポートは ・本試験6	次回の授業に添削して返却する。					
授業外で行うべき 学修	予習として事前に告知する教科書の該当ページを読み、わからない用語は調べておくこと(毎回1時間)。 復習としてやった範囲の教科書を読みなおし、ノートを整理すること(毎回2時間)。 参考書にあげた本を参考に、貧困問題に関する本を読むこと。						
使用テキスト	渋谷哲編『低所得者支援と生活保護制度』第4版 みらい						
参考資料							
		『貧困を考えよう』岩波ジュニア新書					
	生田武志他	土山武心『真凶でろんみフ』石派フェーアが自 生田武志他『当たり前の生活ってなんやねん?!』日本機関紙出版センター					
	水島宏明[『母さんが死んだ』現代教養文庫					
	井上英夫他	キ上英夫他編『なぜ母親は娘に手をかけたのか』旬報社					
	丸山里美編	里美編『貧困問題の新地平』旬報社					
		芦田麗子監修『シングルマザーをひとりぼっちにしないために』日本機関紙出版センター 小杉礼子他編『下層化する女性たち』					
受講生への要望等	予習復習を	と必ずした上で積極的に受講すること。					
 授業の質問対応、	授業内に生						
連絡先	ける。なお	3、直接質問したい場合は、メリーにてアポをとること。					

講義科目名称: 就労支援論 授業コード: 1F203

英文科目名称: Job Assistance

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第1学年	1	自由(両学科)		
担当教員	担当教員				
芦田 麗子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20817	3 O H2 O		3 ○ E2 ○	社会福祉士	

科目ナンハリンク		山腔保健字科の関連DP	山腔上字科の関連DP	科目に関連する実務経験		
20817		3 O H2 O	3 O E2 O	社会福祉士		
授業の概要と方法		が就労支援をする意味、生活 で授業を進める。	困窮者や就労困難者が置かれて	いる現状、各種の就労支援制度につい		
授業計画	1	本授業の目的と雇用・就党	労の動向			
		【趣旨説明・講義】				
			票、成績評価の方法について説明			
		就労について、働き方の種	種類や労働者の抱える問題につい	ヽて講義する。		
	2	労働に関する法律と制度				
		【講義】				
		近年の雇用就労の動向、労	労働に関する法律と制度、最低賃	賃金法と実質の賃金額について講義す		
		る。				
	3	就労支援に関する法律と制	制度			
		【講義】				
		労働に関する公的保険、京	t労支援に関する制度などにつ い	いて講義する。		
	4	低所得者への就労支援制	 度①			
		【講義】				
		低所得者の就労の現状につ	いて講義する。			
	5	低所得者への就労支援制	度②			
		【講義】				
		低所得者への自立支援プロ]グラムなどの就労支援について	に講義する。		
	6	障害者への就労支援制度				
		【講義】				
		障害者の就労の現状と就労	方支援策について講義する。			
	7	就労支援における専門職の	の役割と連携			
		【講義】				
		就労支援を担う各種専門職	ぱの役割や連携の実際について講	構義する。		
	8	就労支援における社会福	址士の役割			
		【演習】				
		1回から7回の授業内容を	踏まえ、社会福祉士の役割につ	いてグループで考え、発表する。		
 授業の到達目標	・ソーシャルワーク(相談援助活動)において必要となる就労支援制度について理解できる					
		・就労支援に関連する組織、団体及び専門職について理解できる				
	・社会福祉	士に求められる就労支援関連	分野との連携について理解でき	る。		
成績評価の方法	・各授業終	了時に出すレポート 40%				
	レポートは	次回の授業に添削して返却す	る。			
	・定期試験	60%				

授業外で行うべき 学修	普段から労働問題に関わる新聞記事、ニュースを確認すること。 予習として、授業で行う教科書の範囲を読み、わからない言葉を調べておく(30分~1時間)。 復習として、授業で行った教科書を読み返し、ノートを整理する(1時間~2時間)。
使用テキスト	新・社会福祉士養成講座 第18巻 就労支援サービス 第4版/中央法規
参考資料	『ブラックバイト-学生が危ない』 熊沢誠『能力主義と企業社会』『女性労働と企業社会』『若者が働くとき――「使い捨てられ」も「燃えつ き」もせず』『格差社会ニッポンで働くというこ―雇用と労働のゆくえをみつめて』 斎藤環ほか『ケアとしての就労支援』 結城 康博ほか『これで福祉と就労支援がわかる』 池谷 秀登 ほか『事例から考える就労支援の基礎―生活保護行政とケースワーク』
受講生への要望等	講義形式ではあるが、利用者に寄り添った支援ができるための知識の習得を目指し、積極的に受講すること。
授業の質問対応、 連絡先	基本的には授業時間内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で対応する。アポの取り方や連絡先などの詳細は初回の授業で説明する。

講義科目名称: 権利擁護と成年後見論 授業コード: 3F201

英文科目名称: Advocacy and Adult Guardian Services

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第3学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
要田 洋江				
科目ナンバリング	口腔保健学科の	 関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20818	3 ◎ H2 ○		3 ◎ E2 ○	

授業の概要と方法

1

ソーシャルワーカーの役割として、当事者の人権に配慮した(権利擁護)アプローチが求められている。権利 擁護の取り組みのひとつに成年後見制度の活用がある。社会福祉サービス提供において、人権擁護に関する国際社会の動向と合わせ、日本の現状について考える。そのために、日本国憲法の基本原理や民法、行政法などの仕組みを理解するとともに、成年後見制度の存在意義を講義形式により学ぶ。そして、社会福祉において求められる権利擁護のあり方について演習方式において考える。

授業計画

オリエンテーション(世界人権宣言と世界の潮流、ソーシャルワークと権利擁護)

(講義)国連「世界人権宣言」と「世界人権規約」について学ぶとともに、障害者福祉論での学びを振り返り、ソーシャルワークに権利擁護が求められる背景について考える。

2 日本国憲法の基本的人権と権利擁護・権利擁護の必要性

(講義) 日本国憲法と基本的人権について学ぶ。

個別の基本的人権の内容について理解すると共に、基本的人権と社会福祉との関係について学 ぶ。

3 権利擁護と民法(その1)契約

(講義) 民法の基礎知識、契約概念について学ぶ。

4 権利擁護と民法(その2)親族

(講義) 民法における親族の規定について学ぶ。

5 権利法と権利擁護(その3)親権・相続・遺言

(講義) 民法における親権・相続・遺言の規定について学ぶ。

6 行政法、社会福祉関連法と権利擁護

(講義)行政のあり方や行政救済制度等について理解を深めると共に、社会福祉法、児童虐待法、DV防止法、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法、成年後見法の意義について学ぶ。

7 成年後見制度の概要(その1:法定後見制度)

(講義) 成年後見制度の概要を学ぶ。

法定後見3類型(成年被後見人、被保佐人、被補助人)について学ぶ。

8 成年後見制度の概要(その2:任意後見制度)

(講義) 任意後見制度の現状と特徴について学ぶ。

9 日常生活自立支援事業・成年後見制度利用支援事業の概要

(講義)日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の概要、そして成年後見制度利用支援 事業の概要について学ぶ。

10 権利擁護に係るマンパワー

(講義)権利擁護に係る職種、弁護士、司法書士、社会福祉士、公証人、医師、市民後見人の仕事について学ぶ。

11 権利擁護に係る組織・団体の役割と実際

	(講義)権利擁護に係る組織である、家庭裁判所、法務局、市町村、行政関与の権利擁護センター、公証役場、消費生活センターの役割について学ぶ。 権利擁護に係るさまざまな団体の仕事と役割について学ぶ。
	12 権利擁護と相談援助活動・権利擁護活動の実際(その1) (講義・演習)権利擁護と相談援助活動について学び、権利擁護活動の実際について、演習形式 により理解を深める。
	13 権利擁護と相談援助活動・権利擁護活動の実際(その2) (講義・演習)権利擁護と相談援助活動について学び、権利擁護活動の実際について、演習形式 により理解を深める。
	14 成年後見制度の動向と課題・権利擁護制度の将来展望 (講義)成年後見制度の動向と課題について、日本の権利擁護制度のこれからについて、海外の 例を参考にして学ぶ。
	15 総括 (演習) これまで学んだことを振り返り、総括する。
授業の到達目標	・ソーシャルワーカーによる相談援助活動において権利擁護が求められる社会的背景について説明できる。 ・権利擁護において必要となる日本国憲法の基本原理、民法、行政法について説明できる。 ・成年後見制度の概要及び成年後見人・保佐人の役割、任意後見と近年の動向(市民後見人の育成等)につい て説明できる。 ・日常生活自立支援事業の目的と意義、内容、専門職の役割について説明できる。
成績評価の方法	・受講態度 (40%) ・科目試験 (60%)
授業外で行うべき 学修	・毎講義後に、30分程度、テキストの関連項目を読むことで振り返り、知識の理解を深めること。
使用テキスト	福田幸夫・森長秀編『社会福祉士シリーズ19 権利擁護と成年後見制度〈第4版〉』弘文堂
参考資料	『新・社会福祉士養成講座19:権利擁護と成年後見制度 <第4版>』中央法規 『よくわかる権利擁護と成年後見制度 <改訂版>』ミネルヴァ書房 新井誠・池田恵利子・金川洋編「MINERVA社会福祉士養成テキストブック17権利擁護と成年後見」ミネル ヴァ書房 長瀬修・東俊裕・川島聡編『障害者の権利条約と日本:概要と展望 <増補改訂>』生活書院
受講生への要望等	講義内容については、進捗状況により多少変更する場合がある。授業には、主体的に、積極的に参加すること。
授業の質問対応、 連絡先	質問や相談があれば、授業終了後やオフィスアワー(あらかじめメールでの連絡)にて対応する。メールでの連絡先: yoda@cc.osaka-dent.ac.jp

講義科目名称: 更生保護論 授業コード: 4F103

単位数

科目必選区分

英文科目名称: Offenders Rehabilitation

配当年

開講期間

用誦期间		単位釵	科日必選区分		
前期	第4学年	1	自由(両学科)		
担当教員					
宮川 成雄					
科目ナンバリング	口腔保健学科	の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20819	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉士	
授業の概要と方法		割について考え	る。第1回から第6回はパワーポ	ぶ。またその支援や連携のあり方を学 イントを使用した講義(パワーポイン	
授業計画	1 【講義】更	生保護の概要			
	非行·犯罪 予防活動(2) 【 講義】再	『の動向、福祉的 こついて、パワー 犯を防ぐための 様	-ポイントを用いて対話形式で講 を々な制度1	・る社会内処遇とは、恩赦の運用、犯罪 i義を行う i援護)について、パワーポイントを用	
	いて対話用	ジ式で講義を行う)	32.27 (0.77)	
	仮釈放、 4	犯を防ぐための検 E活環境の調整、 5形式で講義を行	更生緊急保護、刑の一部執行猶	予制度他について、パワーポイントを	
				、パワーポイントを用いて対話形式で	
	裁判所、核	係 機関・団体と 検察庁、矯正施設 引いて対話形式で	·· g、児童相談所、就労支援機関、	民間団体との連携について、パワーポ	
	生活環境訓			そとの連携、更生保護における近年の動 議義を行う	
	7 【演習】事· グループワ		⇒までの講義の振り返りを行う		
	8 【演習】事		⇒までの講義の振り返りを行う		
授業の到達目標	1. 更生保護制度の概要について理解できる。 2. 更生保護に関わる組織、団体及び専門職について理解できる。 3. 司法と福祉・医療との連携とその在り方について理解できる。				
成績評価の方法	科目試験 70% 課題、レポート 20% 授業態度 10%				
	課題、レポートについて	は最終講義の事	例研究の内容をまとめて提出する	る。(まとめ方は授業で説明する)	
授業外で行うべき 学修	(第3回) (第4回) 予 (第5回) (第6回) 予	習 テキスト第 習 テキスト第	1章第1節第3節を読む。(目安5 1章第4節第5節及び第2章を読む 3章第4章を読む。(目安時間: 義の復習をする。(目安時間:)。(目安時間:約60分) 約60分)	
使用テキスト	新社会福祉士養成講座	20 更生保護	制度 第4版 (編集)社会福祉	社士養成講座編集委員会 中央法規	
参考資料	令和元年版 犯罪白書	法務総合研究	 所		
亚== 4 . 。 == == == =	なし				
受講生への要望等	/aU				

講義科目名称: 社会福祉演習 [授業コード: 3F202

英文科目名称: Social Welfare Seminar 1

【演習】

ぶ。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第3学年	1	自由(両学科)		
担当教員					
芦田 麗子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20820	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎		

科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験
20820		3 ○ H2 ◎	3 ○ E2 ◎	
授業の概要と方法	ソーシャル ['] 式で学ぶ。	ワーカーに求められる価値と倫理、	、自己覚知、コミュニケーション	技術、面接技術について演習形
授業計画	1	オリエンテーションおよび自己開え	<u></u>	
		【講義+演習】		
		本授業の目的、進め方を講義し	,、各自で本授業における習得目標	を設定する。
		「私は〇〇です」。自分につい	いての客観的な説明を20書き出し乳	発表する
	2	価値観について知る		
		【演習】		
		事例「滅びゆく地球からの脱出	:」で自分の価値観と他者の価値観	の違いを知る
	3-4	人間の平等と尊厳、個性の尊重	重について理解を深める	
		【演習】		
		事例「伝道師と老人、少年の物 個性の尊重を学ぶ。	⑦語」を個人およびグループで検討	する中で、人間の平等と尊厳、
	5	コミュニケーションとは何か		
		【演習】 「図形伝達ゲーム」「母音トー	-ク」を通して、共有することの第	# #しさ、工夫や努力の必要性を学
		ぶ。言語、準言語、非言語コミ	ミュニケーションの役割について学	= ぶ。
	6-7	コミュニケーショントレーニング		
			n方を学ぶ。また「エア大縄跳び」 ゼントゲーム」などを行いながら.	
	8	る。 相手の立場に立った言葉		
	0			
		【演習】 利用者満足度の結果から、喜は にわかりやすく説明する方法を	ばれる言葉、嫌われる言葉の共通点 ≧考える	を探る。また専門用語を利用者
	9	相手の立場に立った考え方		
		【演習】		
			「快な)思いをした場面・言動につ 「できるだけ肯定的な言葉・考えて	
	10	アサーティブ		
		【演習】 自分の要求や意見を、相手の権 ついて学ぶ。	 利を侵害することなく、誠実に、	率直に、対等に表現する方法に
	11	アクティブリスニング		
		hearで受動的、もう1つは「耶 傾けて聴く(アクティブリスニ	川用者の言葉をきく際には2通りの 恵く」listenで能動的である。さら ニング)方法について事例をもとに	には、相手の気持ちにまで耳を
	12	面接技術として対人空間		

面接場面における「座る位置」「目の高さ」「距離」について経験しながら適切な対人空間を学

	13-14	面接技法			
	15	【演習】 「うなずきと相づち」「繰り返し」「明確化」「要約」「共感」「質問」について、それぞれひとつずつ経験しながら理解し、習得するためにペアになりトレーニングを行う。 社会福祉演習1のまとめと今後の課題 【演習】 社会福祉演習1で学んだことを振り返りながら、初回授業で設定した目標の到達点について自己 採点し、自分の得意なこと苦手なことを把握する。			
授業の到達目標	自己覚知できる 基本的なコミュニケーション技術が習得できる 基本的な面接技術が習得できる				
成績評価の方法	評価 ・授業への取組み意欲・態度・提出物 50% ・中間・期末レポート 50% 提出物やレポートにはコメントをつけて返却する。				
授業外で行うべき 学修	社会福祉施設等でボランティアするなどして、支援を必要としている人の状況を理解すること(合計10時間程度)。 社会福祉や相談援助に関する書籍を読むこと(合計10時間程度)。 毎回の授業で予習と復習の内容を指示するので、それを行ってくること(毎回1時間程度)。				
使用テキスト	テキストは使				
参考資料	『支援者が成った・自在さ」	値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』『事例と演習を通して学ぶソーシャルワーク』 長するための50の原則』(どれも中央法規)、尾崎新『対人援助の技法―「曖昧さ」から「柔軟へ』『「現場」のちから―社会福祉実践における現場とは何か』『「ゆらぐ」ことのできるカー福祉実践』(どれも誠信書房)など。その他、必要に応じて、授業で紹介する。			
受講生への要望等	演習形式であ	るので、特に積極的に参加すること。			
授業の質問対応、 連絡先		授業時間内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で対応する。アポの取り方や連絡先などの 授業で説明する。。			

講義科目名称: 社会福祉演習 II 授業コード: 3F203

英文科目名称: Social Welfare Seminar 2

10

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第3学年	2	自由(両学科)		
担当教員					
芦田 麗子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20821	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎		

授業の概要と方法 ソーシャルワーカーに求められる知識・技術・価値・倫理を習得するために、事例検討、ロールプレイなど演 習方式で学ぶ。 オリエンテーションおよび社会福祉演習 I で学んだことの整理 授業計画 ソーシャルワーカーに必要な援助技術について確認する。 社会福祉演習 I で学んだことを書き出し、グループで確認し、発表する。 そこから、社会福祉演習 Ⅱ における自分の目標を設定する。 事例を使った学び方 2 【演習】 導入事例とてして、友人に対する相談援助の方法を考える。 また、事例検討におけるポイントを理解する。 ソーシャルワークの展開過程の理解 3 2の事例を用い、友人としての援助とソーシャルワーカーとしての援助の違いについて、展開過 程を中心に検討する。 ソーシャルワークにおける面接① 4 ソーシャルワーカーとして面接する際に、気を付けるポイントを整理し、検討する。 ソーシャルワークにおける面接② 5 【演習】 ソーシャルワーカーとして面接のロールプレイを行い、自分の課題を確認する。 6 ソーシャルワークにおける面接③ 【演習】 5で得た自分の課題をもとに再度ロールプレイを行う。 障害のある人へのソーシャルワークにおけるインテーク 7 【演習】 事例を用い、中途障害者に対するインテークについて検討し、発表する。 障害のある人へのソーシャルワークにおけるアセスメント① 8 【演習】 事例を用い、中途障害者の発言や行動から、利用者理解を試みる。 9 障害のある人へのソーシャルワークにおけるアセスメント②

8から具体的にアセスメントを行い、グループで検討し、発表する。

障害のある人へのソーシャルワークにおけるプランニング

【演習】

9のアセスメントをもとにグループでプランニングを行い、発表する。

11 高齢者虐待ケースへのソーシャルワークにおけるネットワーキング①

【演習】

介護心中に関する事例を用い、心中にいたらないためには、どのような支援が必要だったかを考え、発表する。

12 高齢者虐待ケースへのソーシャルワークにおけるネットワーキング②

【渖習】

介護に悩んで虐待してしまう人たちに対して、ネットワーキングを用いて支援する方法を考え、 発表する。

13 児童虐待ケースのソーシャルワークにおけるインテーク

【演習】

父親からの虐待で緊急一時保護された子どもへのインテークについて検討し、発表する。

14 児童虐待ケースのソーシャルワークにおけるアセスメント

【演習】

13の事例について、本人および母親、父親の言葉や態度からアセスメントを行う。

15 児童虐待ケースのソーシャルワークにおけるプランニング

【演習】

14を用いてプランニングを行い、発表する。

16 児童虐待ケースのソーシャルワークにおける支援の実施

【演習】

支援の土壌に乗らない父親に対して、どのような支援が必要かを考え、発表する。

|17|| 児童虐待ケースのソーシャルワークにおけるモニタリングと効果測定

【演習】

モニタリングと効果測定の方法について、児童虐待の事例をもとに検討し、発表する。

18 児童虐待ケースのソーシャルワークにおける終結とアフターケア

【演習】

17の事例について、終結とアフターケアについて、検討し、発表する。

19 **DV**ケースへのソーシャルワークにおけるチームアプローチ①

【演習】

DVについて、どのような社会資源があるかを考え、発表する。

20 DVケースへのソーシャルワークにおけるチームアプローチ②

【演習】

DVの事例について、チームアプローチを用いして、支援の方法を考え、発表する。

21 低所得者へのソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発①

【演習】

子どもの7人に1人が貧困だと言われる中で、どのような社会資源があるか、考え発表する。

22 所得者へのソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発②

【演習】

貧困に対して、新たな社会資源を考え、発表する。

	23 ホームレスへのソーシャルワークにおけるアウトリーチ① 【演習】
	「演習」 ホームレスのドキュメンタリーを視聴し、どのようなアウトリーチの方法がとられていたかを書き出す。
	24 ホームレスへのソーシャルワークにおけるアウトリーチ②
	23をもとに、どのようなアウトリーチの方法が有効かを検討し、発表する。
	25 社会的排除の事例 (LGBT) におけるソーシャルワーク ① 【演習】
	LGBTの解説DVDを視聴し、LGBTの人が抱える問題を書き出す。
	26 社会的排除の事例(LGBT)におけるソーシャルワーク②
	25をもとに、どのような支援が考えられるか話し合い、発表する。
	27 社会的排除の事例(外国籍の人々)におけるソーシャルワーク
	文化や言葉の壁を越えて、どのように支援をするか考え、発表する。
	28 社会的排除の事例(ハンセン病)におけるソーシャルワーク① [演習]
	バンセン病問題について学び、問題点について話し合い、発表する。
	29 社会的排除の事例(ハンセン病)におけるソーシャルワーク②
	【演習】 ハンセン病回復者の声を聴き、どのような問題が現在に通じるかを考える。
	30 まとめ―すべての人の人権が尊重される社会を目指して
	【演習】 ソーシャルワーカーとして、ケースワークやグループにとどまらず、ソーシャルアクションなども利用し、すべての人の人権が尊重される社会を目指して自分ができることを考え、発表する。
授業の到達目標	社会福祉士に求められる相談援助に係る知識・技術・価値・倫理について習得できる。 専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。
成績評価の方法	・授業への取組み意欲・態度・提出物 50% ・中間・期末レポート 50% 提出物やレポートにはコメントをつけて返却する。
授業外で行うべき 学修	社会福祉施設等でボランティアするなどして、支援を必要としている人の状況を理解すること(合計20時間程度)。 社会福祉や相談援助に関する書籍を読むこと(合計20時間程度)。 毎回の授業で予習と復習の内容を指示するので、それを行ってくること(毎回1時間程度)。
使用テキスト	教員が適宜資料を作成し、配布する。
参考資料	川村隆彦『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』『事例と演習を通して学ぶソーシャルワーク』 『支援者が成長するための50の原則』(どれも中央法規)、尾崎新『対人援助の技法―「曖昧さ」から「柔軟 さ・自在さ」へ』『「現場」のちから―社会福祉実践における現場とは何か』『「ゆらぐ」ことのできるカー ゆらぎと社会福祉実践』(どれも誠信書房)など。その他、必要に応じて、授業で紹介する。
受講生への要望等	演習形式であるので、特に積極的に参加すること。
授業の質問対応、 連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で質問に対応する。連絡先やアポイントの取り方についてなど詳細は初回の授業で説明する。

講義科目名称: 社会福祉演習Ⅲ 授業コード: 4F201

英文科目名称: Social Welfare Seminar 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第4学年	2	自由(両学科)	
担当教員				
米澤 美保子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20822	3 ◎ H2 ○		3 ◎ E2 ○	社会福祉士

米達 美保子 科目ナンバリング		 口腔保健学科の関連DP	 口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
20822		3 © H2 O	3 © E2 O	社会福祉士		
授業の概要と方法			習得するために、地域を基盤と 9ロールプレイなど演習形式で			
授業計画	1	【講義】オリエンテーション				
		これからの取り組み方を	説明する			
	2	【講義•演習】社会福祉写	実習における相談援助の学びの	D整理		
		実習においての学びを振	り返り、相談援助技術や専門	職像について整理し共有する		
		(予習)実習日誌を読む	(40分)			
			んだことを整理する(60分			
	3	【講義・演習】相談援助技	支術におけるプレゼンテーション((1)		
		相談援助技術におけるプ	レゼンテーションについて学	び、次回のプレゼンテーション実施に向け		
		て準備する		(, , , ())		
			ョンに関する書籍などを読む	(
	4		んだことを整理する(60分 ₎ 支術におけるプレゼンテーション (
	4	プレゼンテーションを実				
		(予習)発表の準備(3)				
			。)		
	5	【講義・演習】社会福祉写	実習における個別体験による自	1己の発見		
		実習における利用者との関わり場面を振り返り自己覚知について整理する				
		(予習)実習日誌を読む	(40分)			
		(復習)講義を通して学	んだことを整理する(60分))		
	6	【講義•演習】社会福祉家	美習における個別体験による 対	f人援助技術(1)		
		実習における利用者との関わり場面について整理し発表する				
			ークシートを読む(30分)	,		
			んだことを整理する(60分)			
	7		と習における個別体験による対			
		美智における利用者と い、対人援助技術につい		てグループワークによりアセスメントを行		
				ント、面接技術についてまとめる。(60		
		分)				
		(復習)講義を通して学	んだことを整理する(60分)		
	8	【講義・演習】社会福祉写	実習における個別体験による対]人援助技術(3)		
		グループワークによるア	セスメント結果をロールプレ	イにより発表する		
		(予習) ワークシートを				
			んだことを整理する(60分)			
	9		実習における個別体験による 対			
			実習における個別体験をバイ	スティックの7原則を活用して振り返り整		
		理し発表する	バフフニュックの7度別にた	21777		
			。バイスティックの7原則に1 んだことを整理する(60分			
	10		たとことを正生する (00万) 実習における個別体験による多			
			ら多職種連携について振り返			
			う の 社会資源についてまとめる			
	1					

(復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】事例検討の目的と方法 11 事例検討の取り組みについての説明と各自社会福祉実習における事例をワークシートに記入する (予習) 実習日誌を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】事例検討(1)事例発表 12 各自作成した事例を発表する (予習) 実習日誌を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】事例検討(2)事例①のアセスメント 13 実習における個別体験による事例①についてアセスメントを行い、個別支援計画を作成すること により、相談援助のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める (予習) 相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】事例検討(3)事例①の個別支援計画発表 14 事例①の個別支援計画を発表する (予習) 作成したワークシートと個別支援計画を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 15 【講義・演習】事例検討(4)事例②のアセスメント 実習における個別体験による事例②についてアセスメントを行い、個別支援計画を作成すること により、個別支援計画のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める (予習) 相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 16 【講義・演習】 事例検討(5)事例②の個別支援計画発表 事例②の個別支援計画を発表する (予習) 作成したワークシートと個別支援計画を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】ケース会議の目的と方法 17 実習における個別体験による事例③について模擬ケース会議を実施することを通して、アセスメ ントの視点、ネットワーキングについて学びを深める (予習) アセスメントの視点、社会資源についてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(1) 18 演習課題の取組により地域の理解について学ぶ (予習) 地域概況の項目や地域情報の収集手段についてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(2) 19 演習課題の取組により地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握の方法について学ぶ (予習) アウトリーチ、地域のニーズ把握方法についてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 20 【講義・演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(3)ネットワーキング 演習課題の取組によりネットワーキングについて学ぶ (予習) ネットワーキングについてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 21 【講義・演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(4) 演習課題の取組によりソーシャルアクションについて学ぶ (予習) ソーシャルアクションについてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(5) 22 演習課題の取組により社会資源の活用・調整・開発について学ぶ (予習)社会資源についてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分) 【講義・演習】実践方法指導(1)地域ニーズの把握(1) 23

	地域の状況把握について大学周辺の地域状況を統計情報などから情報収集することを通して学ぶ
	(予習) 地域概況の項目や地域情報の収集手段、ニーズ把握についてまとめる。大学周辺の様
	子・状況を意識して観察する(60分)
	(復習)講義を通して学んだことを整理する(60分)
	24 【講義・演習】実践方法指導(2)地域ニーズの把握(2)
	把握して地域状況から地域ニーズを抽出し検討することにより学ぶ
	(予習) 地域アセスメントについてまとめる(60分)
	(復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
	25 【講義・演習】実践方法指導(3)地域支援の計画(1)
	地域支援の計画について抽出した地域ニーズを基に作成することにより学ぶ
	(予習)地域福祉計画、計画策定のプロセスについてまとめる(60分) (復習)講義を通して学んだことを整理する(60分)
	26
	作成した計画を発表する。他者の計画と自分自身の計画との比較から地域ニーズの捉え方や地域
	診断についての理解を深める
	(予習) 作成した地域支援の計画を読む(30分)
	(復習)講義を通して学んだことを整理する(60分)
	27 【講義・演習】実践方法指導(5)地域支援の計画(3)
	作成した計画を基にふれあいいきいきサロンや子育てサロンなど地域支援の取り組みの実施計画
	を作成することにより、地域支援について理解を深める
	(予習) ふれあいいきいきサロン、子育てサロンなどについてまとめる(60分)
	(復習)講義を通して学んだことを整理する(60分)
	28 【講義・演習】実践方法指導(6)地域支援の計画(4)
	地域支援の取り組みの実施計画を発表する (予習)作成した実施計画を読む(60分)
	(復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
	29 【講義・演習】実践方法指導(7)地域福祉実践
	コミュニティソーシャルワーカーの実践を視聴覚教材により学び、地域福祉実践について考える
	(予習) コミュニティソーシャルワーカーについてまとめる(60分)
	(復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
	30 【 講義・演習】演習のまとめ
	これまでの学びの整理とまとめを行う。
	(予習) これまでのまとめを読む(30分)
	(復習)本科目で学んだことを整理する(60分)
授業の到達目標	社会福祉士に求められる相談援助に係る知識・技術について実践的に習得し、専門的援助技術として概念化し 理論化し体系立てていくことができる能力をつけることを到達目標とする。
成績評価の方法	授業への取組み意欲・態度・提出物 50%、期末レポート 50%。提出物に関してはコメントなどを記入して
	フィードバックを行う。
授業外で行うべき 学修	上記「授業計画」に記載の通り、予習30分、復習60分を行うこと。 また、社会福祉や相談援助に関する書籍を読むこと。
使用テキスト	適宜資料を作成し、配布する。
参考資料	適宜授業内で示す。
受講生への要望等	演習形式であるので積極的に参加すること。
授業の質問対応、 連絡先	授業終了後、オフィスアワー時で受け付ける。前もって予約を取っていただきたい。

講義科目名称: 社会福祉実習指導 I 授業コード: 3F204

英文科目名称: Preparation for Social Welfare Practice 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第3学年	1	自由(両学科)	
担当教員				
芦田 麗子、米澤 美保子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20823	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉 十

20823		3 ○ H2 ◎	3 ○ E2 ◎	社会福祉士
授業の概要と方法	相談援助実	習に向けて、実習の意義や事前学 実習のあり方等を学ぶことを目的 ることができないことの認識が重	習事前指導を目的とする科目であ 習の具体的取り組み方、実習先の とする。よって、本科目を受講し 要である。 義と演習を組み合わせて授業を行	- 理解と学習、社会福祉士として なければ、次年度の相談援助実
授業計画	1	社会福祉実習とは 【講義+演習】 厚生労働省が規定する実習のお 自分が理想とするソーシャルワ	Qらいと内容について講義しする。 フーカーについて考察する。	
	2	ソーシャルワーカーの価値と原貝 【講義】 ソーシャルワーカーの倫理綱領	 1 頃を用いて、ソーシャルワーカーの	D倫理について講義する。
	3	ソーシャルワーカーの価値と原則 【講義】 ソーシャルワーカーの倫理綱領	 2 頁を用いて、ソーシャルワーカーの	D倫理について講義する。
	4	ソーシャルワーカーの実践におけ 【講義】 次年度実習に向けて、ソーシャ	るスタンスや視点 ァルワーカーをお招きして、講義い	いただく。
	5	理想とする ソーシャルワーカー 像 【演習】	と自己の課題の明確化	

ソーシャルワーカーの話を聞いた上で、前回に記入した理想のソーシャルワーカー像を再考する。

6 実習先の理解①

【演習】

障害児者分野、児童家庭分野、高齢者分野、低所得者分野、医療分野、行政機関、地域福祉分野の理解を深めるために各自で調べる。

7 実習先の理解②

【演習】

障害児者分野、児童家庭分野、高齢者分野、低所得者分野、医療分野、行政機関、地域福祉分野の理解を深めるために各自で調べる。

8 実習先の理解③

【演習】

障害児者分野、児童家庭分野、高齢者分野、低所得者分野、医療分野、行政機関、地域福祉分野の理解を深めるために各自で調べる。

9 実習先についての発表①

【演習】

		調べてきた内容を発表する。					
	10	実習先についての発表②					
		【演習】					
		各グループの発表について評価する。					
	11	実習先確定と個人票作成					
		【演習】					
		実習先を確定させ、実習先へ提出する個人票の作成を行う。					
	12	実習先で行われる介護や保育等に関連業務に関する基本的な理解。					
		[演習]					
		社会福祉士の実習で、なぜ介護や保育を経験するのかその意味について学ぶ。 					
	13	計画書作成①					
		次年度実習で学びたいことを整理する。					
	14	計画書作成②					
		【演習】					
		実習計画書の下書きを完成させる。					
	15	実習指導Ⅰまとめ					
		これまでの学びを振り返り、改めて自分の課題を明確にする。					
授業の到達目標	・相談援助実	習の意義について理解できる					
		習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際					
	的に理解でき	る。 術等を体得できる。					
 成績評価の方法	1 3270 2 27	組み意欲・態度・提出物 50%					
	・						
授業外で行うべき	社会福祉に関する書籍を読むこと(合計20時間)。						
学修	さまざまな社会福祉施設に見学やボランティアに行くこと(合計20時間)。						
使用テキスト		、適宜配布する。 					
参考資料	木下大生ほか『知りたい!ソーシャルワーカーの仕事』						
		相談援助職の記録の書き方―短時間で適切な内容を表現するテクニック』 か『ソーシャルワーカーの仕事と生活―福祉の現場で働くということ』					
		私はソーシャルワーカー―福祉の現場で働く女性21人の仕事と生活』					
		ーシャルワーカーという仕事』など					
	ソーシャルワ	ーク記録[改訂版]:理論と技法					
受講生への要望等	実習は外部へ	出て行うため、基本的マナーについても、厳しくチェックする。時間前行動を心掛けること。					
授業の質問対応、		業内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で質問に対応する。連絡先やアポイントの取り方					
連絡先	についてなど詳細は初回の授業で説明する。						

講義科目名称: 社会福祉実習指導 II 授業コード: 4F302

英文科目名称: Preparation for Social Welfare Practice 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期・後期	第4学年	2	自由(両学科)		
担当教員					
芦田 麗子、米澤 美保子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20824	3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎	社会福祉士	

科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
20824		3 ○ H2 ◎	3 ○ E2 ◎	社会福祉士			
授業の概要と方法			指導として、相談援助実習に向けて必要な知識・技術の習得および実習の学びを深めるた ハ、実習終了後は、実習の学びを整理し、深めるために、講義と演習を組み合わせて授業				
授業計画	1	オリエンテーション					
		う。	目談援助実習指導Ⅱ及び相談援助身	[習に関する事務的な説明を行			
	2	実習課題の明確化					
		を書き出し、整理する。	いのか、どんなことをやりたいのた	い、どんな技術を身に着けたいか			
	3	実習の目的の決定					
	4	【演習】 整理された課題の中が 実習の目的を達成するための具	から実習中に一番達成したい課題(人体的行動	こついて深める			
		【演習】職場、職種、ソーシャ	・・・・・・・・・・ ・ルワーク実習それぞれでどのよう	な実習を行うかを整理する			
	5	実習計画書案発表					
		【演習】各自作成した実習計画	直書案を発表する				
	6	実習先への事前訪問について					
		【講義】事前訪問時の注意事項	を講義する。				
	7	実習施設概況表作成	実習施設概況表作成				
		【演習】配属先の実習先ついて	【演習】配属先の実習先ついて調べる				
	8	実習先の地域を理解する					
			【演習】実習先の地域ついて調べる				
	9	実習先の利用者を理解する					
		【演習】実習先の利用者について調べる 実 習先に関する発表					
	10						
		【演習】7~9で調べたことを	きまとめ発表する				
	11	実習記録について①					
	4.0	【講義】実習記録の意味、書き	方についく講義する				
	12	実習記録について②	- 中羽司母も争いてルフ				
	13	【演習】実際に、ビデオを見て 支援計画について	、夫首記球を書いてかる				
			プロセスを復習した上で、支援計画	iの音味 立て方について講義す			
		る。	1日と八と反目のた上で、文成計画	10200分化 立て行うとういて時報			
	14	実習直前諸注意					
		【講義】実習中の諸注意、再度	ま守秘義務について講義する。				
	15	帰校日指導					
		【演習】実習計画書に照らして スーパービジョンを行う	実習の進捗状況等を整理し、より)学びのある実習にするための			
	16	実習先への巡回指導					
		【演習】実習計画書に照らして	実習の進捗状況等を整理し、より)学びのある実習にするための			
		スーパービジョンを行う					
	17	実習先への巡回指導					

	【演習】実習計画書に照らして実習の進掘 スーパービジョンを行う	歩状況等を整理し、より学びのある実習にするための
	18 実習先への巡回指導	
	【演習】実習計画書に照らして実習の進掘 スーパービジョンを行う	り状況等を整理し、より学びのある実習にするための
	カーハー こンョンを 17 3 19 実習経験の言語化・客観化①	
		マレナにいらい ファダゼリ プラジェクングキオフ
	「演習」個美智中に疑問が予当に思うた。 20 実習経験の言語化・客観化②	ことを振り返り、その後グループで話し合い発表する。
	【演習】実習中に失敗したことを振り返り	つ、その後グループで話し合い発表する。
	21 実習経験の言語化・客観化③	
	【演習】実習中に成功したことを振り返り	O、その後グループで話し合い発表する。
	22 実習経験の言語化・客観化④	
	【演習】実習中に出会ったモデルとなる! で話し合い発表する。	ノーシャルワーカーについて振り返り、その後グループ
	23 実習経験の言語化・客観化 ⑤	
		?の中で出たトピックスの中から1つ選び、それに関連
	する出来事などを取り上げ、グループで記	
	24 理想のソーシャルワーカー	
	【演習】自分の実習経験から、理想とする 25 実習総括レポート作成	るソーシャルワーカー像を構築する。
	【演習】実習経験の言語化・客観化の内容	客をふまえ、実習での学びをまとめる。
	26 実習総括レポート発表	
	【演習】クラスで実習総括レポートを発え	長し、教員や学生からコメントをもらう。
	27 実習報告会で発表する内容	
	【演習】報告会で発表する内容について詞	議論し、まとめる
	28 プレゼンテーション の方法	
	【講義+演習】プレゼンテーションの方法 29 実習報告会に向けて	たを講義し、プレゼンの練習を行う。
	【演習】本番と同じようにリハーサルを行	์ วิวิง
	30 実習報告会	
	【演習】実習の成果をまとめたものを報告	きする。
授業の到達目標	・相談援助実習の意義について理解できる。 ・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して 的に理解し実践的な技術等を体得できる。 ・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己	
	習得する。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概	念化し理論化 し体系立てていくことができる能力を涵
	養する。	
成績評価の方法	・授業への取組み意欲・態度・提出物 50%	
	・レポート 50% 提出物、レポート等にはコメントをつけて返却する。	
授業外で行うべき 学修	実習先に関する書籍を読むこと(合計20時間) さまざまな社会福祉施設に見学やボランティアに行くこ	と(合計20時間)
使用テキスト	『福祉小六法 2020年版』みらい	
参考資料		
	八木亜紀子『相談援助職の記録の書き方―短時間で適切	な内容を表現するテクニック』
	杉本貴代栄ほか『ソーシャルワーカーの仕事と生活一福	祉の現場で働くということ』
	杉本貴代栄『私はソーシャルワーカー―福祉の現場で働	く女性21人の仕事と生活』
	宮本節子『ソーシャルワーカーという仕事』など	
	ソーシャルワーク記録[改訂版]:理論と技法	
受講生への要望等	実習は外部へ出て行うため、基本的マナーについても、	厳しくチェックする。時間前行動を心掛けること。

授業の質問対応、 連絡先 授業内に生じた疑問はできるだけ授業中に質問すること、授業後復習で出た質問に関してはメリーにて受け付ける。なお、直接質問したい場合は、メリーにてアポをとること。

講義科目名称: 社会福祉実習 授業コード: 4F104

英文科目名称: Social Welfare Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第4学年	6	自由(両学科)		
担当教員					
濱島 淑惠、芦田 麗子、米澤 美保子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
20825	2 0 3 O H2	0	2 💿 3 🔾 E2 🔾	社会福祉士	

	·
授業の概要と方法	実習先において、実習指導者による指導の下、職場実習、職種実習、ソーシャルワーク実習を行う。
授業計画	実習時間180時間 相談援助実習指導担当教員は巡回指導等を通して、次に掲げる事項について学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行うものとする。 ア 利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域 住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き 合い方などの円滑な人間関係の形成イ 利用者理解とその需要の把握及び支援計画の作成ウ 利用者やその関係者との援助関係の形成エ 利用者やその関係者との援助関係の形成エ 利用者やその関係者への権利擁護及び支援とその評価オ 多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際カ 社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解キ 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際ク 当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワークキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解。
授業の到達目標	・相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的 かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。 ・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ・関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。
成績評価の方法	実習先からの評価(60%)、巡回指導、帰校日指導での評価(20%)、実習日誌(20%)で評価する。
授業外で行うべき 学修	実習日誌を記入し、実習で聞いたわからない用語などを調べる(毎回2時間程度)。
使用テキスト	「福祉六法」2020年版 みらい
参考資料	実習先のパンフレット等(事前に集めておくこと)
受講生への要望等	外部での実習になるため、社会人としてのマナーを身に着けた上で実習すること。
授業の質問対応、 連絡先	万が一、実習を欠席する場合は、実習先と大学の両方に電話で連絡をいれること。

講義科目名称: 保存修復学 授業コード: 20103

英文科目名称: Operative Dentistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第2学年	1	必修(両学科)		
担当教員	担当教員				
山本 一世、吉川 一志、岩田 有弘、谷本 敬彰、保尾 謙三					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する実務経験			科目に関連する実務経験	
30901	1 O H1 ©		1 O E1 ©		

授業の概要と方法 歯科保存学は保存修復学,歯内療法学および歯周療法学の3分野に分類される.その中で保存修復学は,歯の 硬組織に生じた部分的欠損や病変を主に人工材料によって修復し,解剖学的形態,機能的形態および審美性を 回復するとともに、疾患の予防や進行抑制を目的とする学問である.

授業計画 保存修復学の概要 【山本一世】

・保存修復の分類を説明できる

2 硬組織疾患の種類 【山本一世】

- ・歯の硬組織疾患の病因・病態を説明できる
- ・歯の硬組織疾患の検査法の種類を説明できる
- ・う蝕の症状・診断とリスクファクターを説明できる

3 窩洞と修復の前準備 【山本一世】

- ・Blackの分類を説明できる
- ・窩洞の構成要素を説明できる
- ・防湿法を説明できる
- ・歯間分離法を説明できる
- ・歯肉圧排法を説明できる
- ・隔壁法を説明できる
- ・除痛法を説明できる

4 歯髄保護【山本一世】

- ・歯髄保護を説明できる
- ・仮封の目的と種類を説明できる

5 直接修復法-1【黄地智子】

- ・コンポジットレジン修復の長所と短所を説明できる
- ・コンポジットレジン修復の臨床的手順を説明できる
- ・コンポジットレジンと歯質との接着を説明できる
- ・コンポジットレジン修復の使用器材を説明できる

6 直接修復法-2、間接修復法-1【黄地智子】

- ・グラスアイオノマーセメント修復の長所と短所を説明できる
- ・グラスアイオノマーセメント修復の臨床的手順を説明できる
- ・アマルガム修復法の特徴を説明できる
- ・鋳造修復の長所と短所を説明できる
- ・鋳造修復の臨床的手順を説明できる
- ・合着用セメントの種類と用途を説明できる

7 間接修復法-2 【吉川一志】

- ・レジンインレー修復の長所と短所を説明できる
- ・レジンインレー修復の臨床的手順を説明できる
- ・セラミックインレー修復の長所と短所を説明できる
- ・セラミックインレー修復の種類を説明できる
- ・ラミネートベニア修復の臨床的手順を説明できる

	8 歯の漂白法、象牙質知覚過敏処置、歯質の切削 【吉川一志】
	・歯の漂白処置の概要を説明できる
	・象牙質知覚過敏処置の種類を説明できる
	・切削器械の種類と用途を説明できる
	・切削器具の種類と用途を説明できる
	・その他の歯質切削器械の種類と用途を説明できる
	・修復処置後のメインテナンスを説明できる
授業の到達目標	1. 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の保存修復処置と管理について説明できる。 2. 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の保存修復処置を行うための基本的な診療補助技能を実践できる。
成績評価の方法	記述試験、その他実習作品、出席状態等で総合的に評価する。
授業外で行うべき 学修	
使用テキスト	新歯科衛生士教本「保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版社
参考資料	保存修復クリニカルガイド 第2版 医歯薬出版
受講生への要望等	
授業の質問対応、	大阪歯科大学歯学部歯科保存学講座
連絡先	(大学) 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町8番1号
	TEL: 072-864-3037 FAX: 072-864-3137
	(附属病院)〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目5-17
	TEL: 06-6910-1051 FAX: 06-6910-1052
	山本一世 (yamamoto@cc.osaka-dent.ac.jp)
	吉川一志 (kazushi@cc.osaka-dent.ac.jp)
	谷本敬彰 (tanimoto@cc.osaka-dent.ac.jp)
	保尾謙三 (yasuo-k@cc.osaka-dent.ac.jp)

講義科目名称: 歯内治療学 授業コード: 20104

英文科目名称: Endodontics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第2学年	1	必修(両学科)		
担当教員					
辻 則正					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する			科目に関連する実務経験	
30902	1 O H1 ©		1 © E1 O	歯科医師	

授業の概要と方法

歯科衛生士は,歯内治療学を学び歯内治療を必要とする患者の診療補助を行う上で必要となる知識を修得する。また、歯内治療の各処置内容と術式を学び必要となる器材とその使用法について学習し,さらに歯科衛生士が行い得る業務範囲内の技術を習得する。

知識の修得と技術の習得によって、歯科衛生士は歯科医師と良好な連携をもって患者の満足が得られるFour Handed Dentistryに則った効率的な歯科診療補助が行えるようになる。

また、大部分の歯内治療を行った歯には歯科技工士によって作製された修復物・補綴物が装着される。歯科技工士は修復物・補綴物作製にあたり患歯にどのような歯科治療が行われているのかを理解し、歯科医学の中における歯内治療学の位置づけについて把握に努める。

本科目は、講義の形式で上記の知識を得る。

授業計画

1 総論、硬組織疾患(講義)

歯内治療学とは?

硬組織疾患の種類(特に歯内治療学と関連性が強い硬組織疾患について)

|2 歯髄疾患の種類と病態(講義)

歯髄疾患の種類

歯髄疾患の臨床症状

歯髄疾患の検査法

3 根尖性歯周組織疾患の種類と病態(講義)

根尖性歯周組織疾患の種類

根尖性歯周組織疾患の臨床症状

根尖性歯周組織疾患の検査法

4 歯髄保存療法(講義)

歯髄保存療法の種類

各種歯髄保存療法の術式

5 歯髄除去療法(講義)

歯髄除去療法の種類

各種歯髄除去療法の術式

6 根尖性歯周組織疾患の治療、根管治療と治療に用いる器具・機材(講義)

感染根管治療の術式

使用する器具と機材

7 根管充填、根未完成歯の処置(講義)

根管充填に用いる器具・材料

根管充填の術式

根未完成歯の処置

8 外科的歯内治療、歯内治療における安全対策、他(講義)

外科的歯内治療の種類

各種外科的歯内治療の適応症

歯内治療における偶発症の種類、対応、予防

顕微鏡を用いた歯内治療

歯内歯周疾患

外傷歯の治療

授業の到達目標

硬組織疾患を説明できる。

歯髄疾患を説明できる。

根尖性歯周組織疾患を説明できる。

各疾患に対する処置法を説明できる。

	各処置に用いる使用器具を説明できる。 各処置に用いる材料を説明できる。
成績評価の方法	本試験 100% 授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。
授業外で行うべき 学修	予習・復習 特に復習では授業内容(ノート)と教科書を照らし合わせ30分以上学修し理解を深める。
使用テキスト	新・歯科衛生士教育マニュアル「歯内治療」 クインテッセンス出版 授業中の配布資料 教科書を参照しながら黒板への板書を中心に授業を行う。
参考資料	「歯内治療学」 第5版 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」 医歯薬出版
受講生への要望等	歯内治療は日常的に遭遇しやすい処置ですので今から理解を心がけましょう。 歯科衛生士国家試験には関連問題が多数出題されています。
授業の質問対応、 連絡先	普段は天満橋学舎にいることが多いです。天満橋学舎に直接質問に来てくださることは可能です。 連絡はmerryよりn-tsuji@cc.osaka-dent.ac.jpへのメールの方が確実です。少量の質問ならメール連絡でも対 応可能です。

講義科目名称: 歯周病学 授業コード: 20105

英文科目名称: Periodontology

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第2学年	1	必修(両学科)		
担当教員					
緒方 智壽子、山内 伸浩					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
30903	1 ○ H1 ◎		1 O E1 ©	歯科医師	

授業の概要と方法

周知のように、歯周病学は歯科衛生士学生にとっては極めて重要で、将来の臨床との関わりも強い学科目である。それを物語っているのが、平成15年6月に歯科医師国家試験制度改善委員会から出版された「歯科衛生士試験出題基準」である。この出題基準をみた場合、歯周病学と基礎科目や口腔衛生学、歯科臨床大要、歯科予防処置、歯科診療補助ならびに保健指導等との科目と極めて関連が深いことを示している。以上の事柄を勘案した場合、単に歯周病学領域に止まらず、関連性の高い他教科との併学を強調し、歯周病学の基礎と臨床ならびに将来の臨床実習を踏まえながら講義を進め、歯周病学の知識を修得する

授業計画

歯周病学概論(講義)

- ・歯周疾患の特徴を理解する
- ・歯周組織の解剖・組織を理解する
- ・歯周組織の生理・病理を理解する

2 **歯周疾患の病因・リスクファクター**(講義)

- ・歯周疾患の発症因子を理解する
- ・歯周疾患の修飾因子を理解する
- ・リスクファクターの概念を理解する

3 歯周疾患の症候と病態(講義)

- ・歯周疾患の臨床症状を理解する
- ・歯周疾患の原因や病態について理解する

4 歯周疾患の分類と臨床的特徴ならびに対応(講義)

- ・口腔内状態の把握ができる
- ・主訴の解決に向けて原因を特定できる
- ・治療計画の立案ができる
- ・予防の重要性、必要性について理解する

5 歯周基本治療(講義)

- ・歯周基本治療の意義、目的、内容を理解する
- ・プラークコントロール・スケーリング・ルートプレーニングを理解する
- ・メインテナンス移行前の再評価を理解する

6 歯周外科治療(講義)

- ・歯周外科を行う目的を理解する
- ・歯周外科の術式を理解する

7 根分岐部病変の処置(講義)

- ・根分岐部病変の原因と特徴を理解する
- ・根分岐部病変に対する処置を理解する
- ・薬物療法の目的を理解する

8 メインテナンス治療・チーム医療・高齢者の歯周疾患治療(講義)

- ・メインテナンスの意義、目的を理解する
- ・歯周疾患治療におけるチーム医療を理解する
- ・高齢者に対応した歯周治療を理解する

授業の到達目標	 ・歯周組織が理解できる. ・歯周疾患の病因、リスクファクターが理解できる. ・歯周疾患の臨床症状が理解できる. ・歯周治療が理解できる. ・メインテナンスの意義・目的が理解できる.
成績評価の方法	本試験を100%とするが、授業態度および小テストも加味し、評価する
授業外で行うべき 学修	授業の理解を深めるため、教科書や配布資料を照らし合わせ、自主的に予習・復習を最低30分行う。
使用テキスト	歯科衛生士講座 歯周病学 第4版
参考資料	資料を適宜配布する
受講生への要望等	歯周病患者さんは高齢化社会において罹患者も多く、特に衛生士業務と深い関わりもありますので、理解を深めてください。
授業の質問対応、 連絡先	天満橋学舎がメインとなりますので、授業終了直後の質問を受け付けます。 メールで答えられる内容であれば、メール連絡でも可能です。 緒方: ogata-c@cc.osaka-dent.ac.jp 山内: yamauchi@cc.osaka-dent.ac.jp

講義科目名称: 有床義 歯学 授業コード: 20106

英文科目名称: Plate Denture

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第2学年	1	必修(両学科)		
担当教員					
小正 裕、西崎 宏					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する実務経験			科目に関連する実務経験	
31001	1 O H1 ©		1 ○ E1 ◎	歯科医師	

授業の概要と方法

歯を多数失うと有床義歯による補綴治療を受ける。

補綴治療は口腔の諸機能の低下(咀嚼、嚥下、発音)を人工材料で補い、回復するばかりでなく、障害の進行を予防し、全身の健康増進に寄与している。失われた歯の状態(歯が全部なくなった状態、部分的になくなった状態)により、全部床(総)義歯や部分床義歯に分類される。それぞれについて、生理学的、力学的な面から有床義歯における治療や製作方法ならびに指導やケアについて修得する。

8回目の授業にアクティブラーニングを実施する.

授業計画

1 有床義歯技工学総論、有床義歯技工に関連のある生体の基礎知識(講義)

有床義歯の意義と目的を知る。

固定性補綴装置と有床義歯との相違を知る。

有床義歯の種類を知る。

有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識を知る。

2 全部床義歯の種類と特性および製作順序(講義)

全部床義歯の種類を知る。

全部床義歯の構成を知る。

全部床義歯の維持、安定を知る。

全部床義歯の製作順序を知る。

3 全部床義歯の印象採得、咬合採得、咬合様式、人工歯排列および歯肉形成(講義)

全部床義歯の印象材と印象採得に伴う技工操作について知る。

全部床義歯の咬合採得に伴う技工操作について知る。

全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を知る。

蝋義歯の試適を知る。

4 全部床義歯の重合、人工歯削合、研磨および装着(講義)

全部床義歯の埋没の前準備、埋没、流蝋および義歯床用レジンの重合について知る。

重合後の咬合器への再装着、削合および研磨を知る。

5 部分床義歯の構成要素と分類、部分床義歯の設計(講義)

(西崎)

部分床義歯の分類を知る。

直接支台装置と間接支台装置の相違を知る。

各種クラスプの種類を知る。

レストの種類と目的を知る。

隣接面板の目的を知る。

補助支台装置の種類と目的を知る。

アタッチメントの種類を知る。

大連結子と小連結子の種類と特徴を知る。

部分床義歯の設計法を知る。

6 部分床義歯の印象採得と咬合採得、クラスプ、バーの構造と製作法、部分床義歯の人工歯排列、 歯肉形成、重合および咬合調整・研磨、装着(講義)

(西崎)

部分床義歯の印象採得と研究用模型製作法について知る。

サベイングの目的と方法を知る。

部分床義歯の咬合採得について知る。

部分床義歯の咬合器装着法について知る。

クラスプ、バーの構造と製作法を知る。

部分床義歯の人工歯排列、歯肉形成について知る。

部分床義歯の重合および咬合調整・研磨について知る。

	部分床義歯の装着、調整について知る。
	7 有床義歯の修理, リベースおよびリライン, 金属床義歯とオーバーデンチャー(講義)
	有床義歯の修理について知る。
	リベースおよびリラインについて知る。
	金属床義歯とオーバーデンチャーについて知る。
	8 有床義歯の患者指導とケア(講義)
	有床義歯の取り扱いとメインテナンスについて知る。
授業の到達目標	歯の欠損で生じた口腔の形態や機能の変化を解剖学的、生理学的および力学的に理解する。 また,有床義歯技工学の意義、目的、製作法、指導およびケアを理解する。
	 有床義歯技工学の意義、目的について説明できる。 有床義歯に関連のある生体の基礎知識を説明できる。 全部床義歯の特性を説明できる。 全部床義歯の治療と製作手順を説明できる。 部分床義歯の構成要素と分類を説明できる。
	6) 部分床義歯の治療と製作手順を説明できる。
	7) 有床義歯の修理、リベースおよびリラインを説明できる。
	8) 金属床義歯とオーバーデンチャーを説明できる。
	9) 暫間義歯, 即時義歯および治療義歯を説明できる。
	10) 有床義歯の患者指導とケアを説明できる。
成績評価の方法	成績の評価は、授業中に行うアクティブラーニングと期末テストを総合的に評価する。 評価の比率は、期末テスト90%、アクティブ・ラーニング10%とする。
授業外で行うべき 学修	授業ごとに,講義ノートを復習して、補綴治療について理解するように努めてください。(約30分程度)
使用テキスト	「歯科技工士教本 有床義歯技工学」全国歯科技工士教育協議会 医歯薬出版2017年 ISBN 978-4-263-43165-8 (部分床義歯の講義では、「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」医歯薬出版 も使用します。)
参考資料	「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 2009年 ISBN 9784263428221 「コンプリートデンチャーテクニック」細井紀雄ほか 医歯薬出版 2011年 ISBN 9784263456460
	「歯学生のパーシャルデンチャー」 三谷春保ほか 医歯薬出版 2018年 ISBN 9784263458174
受講生への要望等	臨床の現場では高齢者の絶対数から有床義歯装着患者は増加していると言われているのが現状です。また、厚労省の調べにおいて、歯科治療を必要とする要介護者の急増も明らかであり、訪問歯科診療も含めた有床義歯治療についてより検討が必要とされています。したがって、日々の臨床では有床義歯患者の顎口腔系の健康管理に積極的に取り組むことが急務であり有床義歯技工学の重要性が益々問われています。
授業の質問対応、 連絡先	mell y を用いて質問や連絡してください。

講義科目名称: クラウンブリッジ学 授業コード: 20107

英文科目名称: Crown and Bridge Prosthodontics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
楠本 哲次				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31002	1 © H1 O		1 © E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

1

クラウンブリッジによる治療に必要な事項に関心や意欲を持ち、自主的に反復学習し、グループワーク、プレゼンテーション、ポートフォリオの作成、課題や問題解決などができるアクティブラーニングを実施する。約10程度のグループに分かれて、役割分担(進行役、発表役、質疑応答役など)を決め、与えられた3課題について、情報収集、討論を重ね、まとめたものをプレゼンテーションする。グループ間相互に質疑応答を行い、事後に、修正を加えた報告書(学修ポートフォリオ)を提出する。

授業計画

【講義】課題1 クラウンブリッジの名称と特徴を説明できる

・約10のグループに分かれ、役割分担を決める。

進行係:1名、記録係:複数名、調査・検討係:全員、プレゼン準備係:複数名、発表係:1 名、質問対応係:複数名、を各チームで決める(グループ間で増減あり)。

・「課題1 クラウンブリッジの名称と特徴を説明できる。」について、各グループにクラウンブリッジ装着模型を配布する。

それぞれの模型に装着されているクラウンやブリッジを着脱しながら触って、形、大きさ、色調、隣接面関係、支台歯形成の状態などを観察する。

①装着されている部位、②それぞれの名称、③特徴、④装着されている理由について、各自が下調べをしたうえでグループワークを実施する。他のチームの前で発表、説明できるように皆で力を合わせて、情報収集、資料の整理、発表準備を行う。

2,3 【講義】課題1に関する情報収集、発表準備、発表と質疑応答、事後報告書の作成、評価の実施

- ・課題1について、各グループで発表を行い、質疑応答を行う。 持ち時間は15分以内とし、発表10分、質疑応答5分とする。
- ・質疑応答を受けた内容を含め、修正した資料を作成し、事後報告書(学修ポートフォリオ)として提出する。
- ・適宜、教員が補足説明を行う。
- ・各評価項目について、自己評価とともに、グループ内、グループ間で評価を行う。

4 【講義】課題2 クラウンブリッジによる治療の流れを説明できる

- ・課題2も、課題1と同様のグループに分かれ、グループワークを実施。
- ・教員の方からスライドを用いて、術前から、術後、メインテナンスまどの流れを説明する。
- ・治療項目を10ステップに分け、それぞれに必要な器具・機械の学修資源を準備、提示する。
- ・各治療項目について、①具体的な治療内容、②それに必要な器具・道具の名称、③取り扱いの 説明、注意点を、グループワークを実施し、他のグループの前で発表、説明できるように皆で力 を合わせて、情報収集、資料の整理、発表準備を行う。

5,6 【講義】課題2の発表と質疑応答、事後報告書の作成、評価の実施

- ・課題2について、各グループで発表を行い、質疑応答を行う。 持ち時間は15分以内でで、発表10分、質疑応答5分とする。
- ・質疑応答を受けた内容を含め、修正した資料を作成し、事後報告書として提出する。
- ・適宜、教員が補足説明を行う。
- ・各評価項目について、自己評価とともに、グループ内、グループ間で評価を行う。
- ・課題3について、事前に調べておくように指示。

7,8 【講義】課題3 クラウンブリッジ治療の問題点を挙げ、対応を理解する

- ・課題1、2と同様のグループに分かれ、グループワークを実施。
- ・課題3について、各グループで発表を行い、質疑応答を行う。 持ち時間は15分以内で、発表10分、質疑応答5分とする。

	・質疑応答を受けた内容を含め、修正した資料を作成し、事後報告書(学修ポートフォリオ) として提出する。 ・適宜、教員が補足説明を行う。 ・各評価項目について、自己評価とともに、グループ内、グループ間で評価を行う。
授業の到達目標	・歯冠修復による回復に必要な知識を修得することができる。 ・科学的根拠に基づく思考力や洞察力を身につけることができる。 ・ひとにわかりやすく説明できる。 ・高度化、多様化する専門知識や技術に追従できる。 ・診療室以外でも対応できる他職種に関連した知識を修得することができる。
成績評価の方法	・グループ活動に全員が参加し、グループワーク、プレゼンテーション、事後報告書の提出までの一連 の行為を平常点の評価対象とする。グループ活動に全員が参加し、発表することが前提で、欠席、協力をしないものは、各評価が低いか、0点となる。 ・3つの課題について、評価項目を公表し、自己評価とともに、グループ内、グループ間、教員による評価を行い、総合計点数を、全試験成績の50%に割り当てる。 ・単位試験を実施し、全試験成績の50%に割り当てる。試験問題は、次の通り。 1)教員が作成した問題:10問(視覚素材を用いた問題5問+その他5問) 2)学生が作成した問題:各グループで問題を2~3問以上作成し、採用され修正を加えた約10問。
授業外で行うべき 学修	・3課題とも、授業時間以外で自主的にグループワークに参加し、皆で情報収集、意見交換、討論して 欲しいので、相当時間(1~2時間以上)が相当必要である。 ・グループ学習とは別に、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、参考書や論文を検索す るなど自主的に予習、復習(1時間以上)を行い、ノートに整理し、まとめることが必要である。
使用テキスト	歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版 2019 978-4-263-42822-1 課題を解決するため、教本に記載されている内容をてがかりに、他の参考書、教科書、文献を調べること。
参考資料	歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助 松村英雄 大久保力廣 二川浩樹 吉田直美編集主幹 永末書店 2020 978-4-8160-1371-3 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43166-5 最新歯科技工士教本 歯科技工実習 全国歯科技工士教育協議会編集医歯薬出版 2017 978-4-263-43171-9 知識の整理や理解を深めるための資料を適宜配布する。
受講生への要望等	他人にまかせる態度、姿勢ではなく、グループワークには積極的に参加し、学修意欲の持続、向上に努めること。 自分なりに毎回予習,復習を行うようにしてください。
授業の質問対応、 連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、設定されているオフィスアワーに、楠本教授室へ来て下さい。 メール(kusumoto@cc.osaka-dent.ac.jp)または科目ごとに設定されているMellyで連絡してもらってもいいですが、時間外(特に夜間)、休日は避けて下さい。但し、返信は遅れる可能があることをご承知おき下さい。

講義科目名称: 口腔インプラント学 授業コード: 20204

英文科目名称: Oral Implantology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
後期	第2学年	1	必修(両学科)			
担当教員	担当教員					
武田 吉裕、小林 信博、原 明也、山田 陽一、馬場 俊輔						
科目ナンバリング	ナンバリング 口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する実務網					
31003	1 © H1 O		1 © E1 O	歯科医師		

授業の概要と方法	学生がインプラントの基本的な知識を習得する。						
	授業は講義を主体として行う。						
授業計画	1 【講義】インプラントの歴史, 顎骨・周囲組織の解剖およびインプラント基本構造を理解できる						
	器具の名前を理解できる。						
	2 【講義】インプラント材料、インプラント周囲組織、オステオインテグレションを理解できる						
	インプラントの周囲組織について理解できる。						
	3 【講義】現代インプラントの成功の基準、インプラント治療の流れを理解できる						
	インプラント治療の流れを理解できる。						
	4 【講義】インプラント治療で問題となる全身疾患、適応症、禁忌症を理解できる						
	全身的および局所的な問題点を理解できる。						
	5 【講義】一次手術の術式、感染予防対策や器材の滅菌・消毒を理解できる						
	手術の術式を理解できる。						
	一回法、二回法の違いを理解できる。						
	6 【講義】インプラント印象採得法を理解できる						
	オープントレー法、クローズトレー法について理解できる。						
	7 【講義】アバットメントの種類と特徴、上部構造と固定法を理解できる						
	セメント固定、スクリュー固定について理解できる。						
	8 【講義】インプラントにおける偶発事故、メインテナンス時の検査・器具および術式、歯科衛生士・歯 科技工士の役割、患者指導を理解できる						
	衛生士の役割、事故について理解できる。						
授業の到達目標	インプラント補綴を用いた歯科医療の知識を習得できる。						
成績評価の方法	科目試験を100%とする。						
	ただし、受講態度も加味して総合的に判定する。						
授業外で行うべき 学修	授業前に、教科書を読んで、予習をおこなって授業にのぞんでください。(最低30分程度)						
使用テキスト	(よくわかる口腔インプラント学 第3版)医歯薬出版						
参考資料	口腔インプラント学実習書(公益社団法人日本口腔インプラント学会編集)						
受講生への要望等	各講義ごとに必ず復習を行うこと						
授業の質問対応、 連絡先	takeda-y@cc.osaka-dent.ac.jp						

講義科目名称: オーラルアプライアンス学 授業コード: 20205

英文科目名称: Oral Appliances

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
楠本 哲次				
科目ナンバリング	口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31004	1 © H1 O	·	1 © E1 O	歯科医師

授業の概要と方法

スポーツ選手、睡眠障害、顎関節症、ブラキシズム、腫瘍などを有する患者に対し、予防や治療のために装着するオーラルアプライアンスを必要とする状況を理解し、それらの形態、特徴、具備条件、製作に必要な器具・器材を理解し、製作できるようにする。

授業で使用する講義資料(パワーポイントデータ、個人情報に関わる視覚素材は除く)を不完全な状態で事前 に配布する。クラウンブリッジ学と同様にグループワークを実施。各自予習のうえ、不明な点、疑問点、質問 点などをピックアップしておき、グループ内で質疑応答者を選出しておく。

指定質疑応答者を中心に、教員とが質疑応答を行い、教員と双方向で対話しながらアクティブラーニングを行う。質疑応答では、本人だけでなく、学生全員が参加、協力すること。

授業計画

【講義】オーラルアプライアンスを必要とする状況を説明できる。

ガイダンス(楠本)

- 1) スポーツ医歯学とスポーツ選手におけるマウスガードを知る。
- 2) 睡眠時無呼吸症候群患者に装着するスリープスプリントを知る。
- 3) 顎関節症患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを知る。
- 4) ブラキシズム患者装着するナイトガードを知る。
- 5) その他のオーラルアプライアンスの紹介。

特別講師:村田侑右(上宮高校野球部監督)

- 1) 高校野球の実践指導
- 2) スポーツ選手に対する健康教育
- 3) スポーツ選手に対する健康管理・指導
- 4) スポーツ環境などに関する安全対策について

2,3 【講義】スポーツ選手に対し、顎口腔領域での外傷を知り、予防のために装着するマウスガードを知る。

- 1) スポーツ選手における顎口腔領域での外傷の現状を知る。
- 2) 各種の外傷予防対策を知る。
- 3) 口腔領域で実施されている対策として、マウスガードを知る。
- 4) マウスガードの種類、効果、問題点、製作方法などを知る。 マウスガードの製作方法について、設計、デモンストレーションを実施する。 各グループから選出された質疑応答者とインタラクティブな授業を展開する。 授業後、5問の筆記試験形態の小テストを実施する。

協力新家義章(非常勤)

4,5 【講義】睡眠時無呼吸症候群の病態を知り、治療のために装着するスリープスプリントを知る。

- 1) 睡眠時無呼吸症候群の病態を知る。
- 2) 検査、診断方法を知る。
- 3) 治療方法を知る。
- 4) スリープスプリントによる治療を知る。

実際のスプリントを用いて、設計、デモンストレーションを実施する。 各グループから選出された質疑応答者とインタラクティブな授業を展開する。 授業後、5問の筆記試験形態の小テストを実施する。

協力 新家 義章(非常勤)

6 【講義】顎関節症患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを知る

- 1) 顎関節症の病態を知る。
- 2) 顎関節症の分類を知る。
- 3) 治療方法を知るとともに症例を供覧する。

	 4) スタビライゼーションスプリントによる治療を知る。 実際のスプリントを用いて、設計、デモンストレーションを実施する。 各グループから選出された質疑応答者とインタラクティブな授業を展開する。 授業後、5問の筆記試験形態の小テストを実施する。 【講義】プラキシズム患者に装着するナイトガードを知る 1) ブラキシズムの病態を知る。
	 2) 治療方法を知るとともに症例を供覧する。 3) ナイトガードを用いた治療を知る。 実際のスプリントを用いて、設計、デモンストレーションを実施する。 各グループから選出された質疑応答者とインタラクティブな授業を展開する。 授業後、5問の筆記試験形態の小テストを実施する。 【講義】その他のオーラルアプライアンスの紹介。
	 1) 舌接触補助床 2) 顎口腔領域の再建に用いるアプライアンス 3) 気管内挿管時に歯を保護するアプライアンス 4) 化粧をしやすくするアプライアンス 5) 可撤性人工歯肉 など 各グループから選出された質疑応答者とインタラクティブな授業を展開する。 授業後、5問の筆記試験形態の小テストを実施する。
授業の到達目標	 ・各種のオーラルアプライアンスの形態を理解できる。 ・各種のオーラルアプライアンスの特徴を理解できる。 ・各種のオーラルアプライアンスの形態や具備条件を理解できる。 ・製作に必要な材料を理解できる。 ・製作に必要な器具・機械を理解できる。 ・種々な指導・管理、メインテナンス、修理などのサポートができる。
成績評価の方法	・各授業において、グループから選出された質疑対応者が質疑応答を行うこと(最低2回は必須)と、 毎回、授業終了時に実施する小テストの試験成績を平常点とし、全試験成績の40%に割り当てる。 1)質疑応答点数:質疑応答を1回したら2点、2回したら5点(最大5点まで) 2)小テスト(計7回実施):1回5点満点で、計7回で最高35点。 ・単位試験を実施し、全試験成績の60%に割り当てる。
授業外で行うべき学修	・授業で使用する講義資料(パワーポイントデータ)は不完全な状態で事前に配布する。クラウンブ リッジ学でのグループ編成と同様にグループワークを実施。グループワークを行い、完全な講義資料 にして講義に臨むこと。相当な時間(約1時間以上)が必要である。 ・各パワーポイントには、☆☆:最重要事項で、しっかり理解して、忘れて欲しくない項目、☆:重要 事項で、理解してもらいたい項目、無印:覚える必要はないが、知っておいて欲しい項目を明記して あるので、重要度にあわせて、学修の密度を調節すること。 ・学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習、復習(約1時間)を行い、ノートにまと め、整理しておく。
使用テキスト	特定のテキストはない。 知識の整理や理解を深めるための資料を適宜配布する。
参考資料	・スポーツ歯科臨床マニュアル 日本スポーツ歯科臨床マニュアル 医学情報社 2007 978-4-903553-10-8 ・写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方 鱒見進一、皆木省吾編 2011 ヒョウロン・パブリシャーズ 978-4-86432-000-9 ・臨床家のためのオーラルアプライアンス入門 杉山義祥編 医学情報社 2012 978-4-903553-43-6
受講生への要望等	・他人に頼ることなく、積極的にグループワークに参加すること。 ・それとは別に自主的に予習、復習を行うこと。
授業の質問対応、 連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、設定されているオフィスアワーに、楠本教授室へ来て下さい。 メール(kusumoto@cc.osaka-dent.ac.jp)または科目ごとに設定されているMellyで連絡してもらってもいいですが、時間外(特に夜間)、休日は避けて下さい。但し、返信は遅れる可能があることをご承知おき下さい。

講義科目名称: 審美歯科学 授業コード: 20206

英文科目名称: Esthetic Dentistry

捐講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		第2学年	第2学年 1 必修(両学科)				
担当教員							
末瀬 一彦							
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31005	1 ○ H1 ◎			1 O E1 0	歯科医師		
授業の概要と方法	調和の基本しての専門	、修復のための	の基本事項につ できるように習	いて理解し、歯科医師、歯科衛:	。そのためには、顔貌、口腔、歯との 生士、歯科技工士がチーム歯科医療と		
授業計画	1	顎顔面領域	或の形態につい ⁻	て理解する【講義】			
		2)歯肉の 3)歯列の 4)上下顎	常・異常につい 正常・異常につい 正常・異常につい の位置の正常・ 可に常を説明する	Oいて説明する Oいて説明する · 異常について説明する			
	2	顎顔面に訓	間和した色につい	ヽて理解する【講義】			
		1)色の基本について説明する2)歯の色彩的構造について説明する3)歯・歯肉の標準的および病的な色調について説明する4)粘膜・舌の標準的および病的な色調について説明する5)顔面の標準的および病的な色調について説明する6)歯の色調採得法について説明する					
	3 顎口腔系の機能について理解する【講義】						
	4	2)咀嚼・ 3)発音の 4)表情に	正常・異常にて	W 常について説明する ついて説明する こついて説明する			
	4	 1)歯の形 2)歯肉の 3)頬粘膜 4)皮膚・ 	態と色調の変化 退縮と歯頸線の ・口唇の緊張の 心身の機能低T	とについて説明する D変化について説明する D喪失と滑舌の低下について説明 Fと心理的変化について説明する			
	5	2) ブリー	機序と治療にこ チング法につい				
	6	2)有床義	歯冠修復につい 歯の審美につい				
	7	デジタルデン	ノティストリー ①【				
	8	デジタルデン	ノティストリー ②【		ついて説明する		
授業の到達目標	*顔面に調 *加齢に伴	域における形態 和した歯および う顎顔面の変化	態・機能・審美	について理解できる について理解できる できる	. 23077 6		

*デジタルデンティストリーの歯科用CAD/CAMシステムについて理解できる

成績評価の方法	単位試験(100%)において理解度をチェックする
授業外で行うべき 学修	授業内容の復習を30分以上行う
使用テキスト	講義資料を中心に行う
参考資料	歯科審美学 基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー 歯科衛生士ベーシックスタンダード 審美歯科 歯科衛生士ベーシックスタンダード インプラント シーシエの審美補綴 最新デジタルデンティストリー
受講生への要望等	近年、顎口腔・歯の治療において単に形態的・機能的な回復だけでなく、個性的な自然感のある審美回復を誰もが願っています。 審美歯科治療は材料や機器の発展に伴って日々進展しています。できるだけ新しい情報発信をしていきたいと 思います。
授業の質問対応、 連絡先	質問時のメールアドレス suese@osaka-dent.ac.jp

講義科目名称: オーラルアプライアンス技工学 授業コード: 2K202

英文科目名称: Oral Appliances in Dental Technology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第2学年	1	必修(工学)		
担当教員	担当教員				
楠本 哲次、秦野 博司、町 博之、新家 義章					
料目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP			口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31006			1 O E1 ©	歯科医師	

授業の概要と方法

スポーツ選手、睡眠障害、顎関節症、ブラキシズム、腫瘍などを有する患者に対し、予防や治療のために装着するオーラルアプライアンスの形態、特徴、具備条件、製作に必要な器具・機械を理解し、製作できるようにする。

オーラルアプライアンス学と並行して、実習が行われるので、知識の習得に基づいて、インタラクティブな実 習形態を進める。

授業計画

$1\sim3$ 【実習】オーラルアプライアンス用の模型を製作する。

- ・オーラルアプライアンス製作のため学生相互に上下顎印象採得、咬合採得を行う。
- ・上顎作業用模型を製作し、咬合器に装着する。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

4,5 【実習】加圧吸引法によるマウスガードを製作する。

- ・スポーツ選手の上顎歯列に装着するマウスガードを吸引加圧法によって製作する。
- ・咬合器上で内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを十分 に確認し、調整、研磨を行う。
- ・各自の口腔内に装着し、実感する。模型上と違うところを認識する。
- ・必要に応じて、咬合器上と同様に内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを確認し、調整、研磨を行う。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

6~8 【実習】ロストワックス法によるマウスガードを製作する。

- ・ロストワックス法によるマウスガードの設計を作業用模型で行う。
- ・ロストワックス法では、ワックスアップまでを行う。 マウスガードに必要な外形、咬合接触状態、咬合様式をワックスで付与する。
- ・埋没、重合、開輪、研磨、調整、修理などは行わないが、それらの方法、注意事項などを各自で調べ、記録しておくこと。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

$9\sim12$ 【実習】オクルーザルスプリントを製作する。

- ・顎関節症患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを製作する。
- ・上顎作業用模型、対合歯模型を咬合器に装着する。
- ・咬合器上で、オクルーザルスプリント設計を行う。
- ・ワックスアップを行う。

オクルーザルスプリントに必要な外形や厚み、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを付与する。

- ・ワックスアップしたオクルーザルスプリントを咬合器からはずし、埋没、重合、海輪、研磨 し、自身に装着する。
- ・各自の口腔内に装着し、実感する。模型上や他のアプライアンスと違うところを認識する。
- ・必要に応じて、咬合器上と同様に内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、 咬合様式などを確認し、調整、研磨を行う。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

13,14 【実習】ナイトガード、スリープスプリントを製作する。

- ・ブラキシズム患者に装着するナイトガードは、設計のみ行う。
- ・睡眠時無呼吸症候群の患者に装着するスリープスプリントを製作する。

	 ・上顎作業用模型、下顎作業模型それぞれでスリープスプリントの設計を行う。 ・上下顎別々に吸引加圧法によって製作する。 ・上下顎別々に口腔内に試適し、着脱の容易さ、方向などを確認し、所定の下顎位で上下顎のスプリントをレジンで固定する。 ・各自の口腔内に装着し、実感する。呼吸のしやすさしにくさなど、他のアプライアンスと違うところを認識する。
	実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。 15 【実習】その他のオーラルアプライアンスの設計
	・その他のオーラルアプライアンスの実物をみて、設計を考える。・時間があれば、アプライアンスを製作する。
	実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。
授業の到達目標	 ・各種のオーラルアプライアンスの形態を理解できる。 ・各種のオーラルアプライアンスの特徴を理解できる。 ・各種のオーラルアプライアンスの具備条件を理解できる。 ・製作に必要な材料を理解できる。 ・製作に必要な器具・機械を理解できる。 ・種々な指導・管理ができる。 ・種々なメインテナンスができる。 ・種々な修理のサポートができる。
成績評価の方法	1 製作するオーラルアプライアンスごとに、色々な方面からの知識と製作にかかわる技能に関する口 頭試問を随時実施し、評価する。 2 製作するオーラルアプライアンスごとに、技工作品を評価する。 3 前期、後期に実習試験を実施し。3人の教員による客観的な評価を行う。 全成績評価のうち1、2で50%、3で50%を割り当てる。
授業外で行うべき 学修	オーラルアプライアンス学の教科書はない。次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意すべき事項などについて、雑誌や文献などで調べ、自分なりに理解し、 ノートにまとめ、整理するなど、1時間以上かけて予習を行うこと。 実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに1時間以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な点は持ち越さず、次回に確認するようにすること。
使用テキスト	特定のテキストはない。 知識の整理や理解を深めるための資料を適宜配布する。
参考資料	・スポーツ歯科臨床マニュアル 日本スポーツ歯科臨床マニュアル 医学情報社 2007 978-4-903553-10-8 ・写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方 鱒見進一、皆木省吾編 2011 ヒョウロン・パブリシャーズ 978-4-86432-000-9 ・臨床家のためのオーラルアプライアンス入門 杉山義祥編 医学情報社 2012 978-4-903553-43-6
受講生への要望等	・予習と復習を必ず行うこと。 ・ステップごとに、実習記録として残す。
授業の質問対応、 連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、設定されているオフィスアワーに、楠本教授室へ来て下さい。 メール(kusumoto@cc.osaka-dent.ac.jp)または科目ごとに設定されているMellyで連絡してもらってもいい ですが、時間外(特に夜間)、休日は避けて下さい。但し、返信は遅れる可能があることをご承知おき下さ い。

講義科目名称: 口腔外科学 授業コード: 20207

英文科目名称: Oral Surgery

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
松本 和浩				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	月連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31101	1 ○ H1 ◎		1 ○ E1 ◎	歯科医師、口腔外科専門医

授業の概要と方法 顎口腔領域の疾患や手術について、視覚教材をパワーポイントで提示して臨床に即した実例を講義します。講 義内容をフィードバックするため復習のプリント「知識の整理」を使用して演習を行います。演習では理解の 確認を目的として顎口腔領域の疾患や手術について学びます。 【講義】総論、先天異常・発育異常 授業計画 1) 顎口腔領域に発生する疾患について 2)歯の発育異常について 3) 軟組織の先天異常、発育異常について 4) 口唇裂および口蓋裂について 5) 顎の先天異常、発育異常について。 【演習】総論、先天異常·発育異常·【講義】損傷 2 1)総論・先天異常、発育異常について「知識の整理」での演習 2) 軟組織の損傷について 3) 歯および歯槽部の外傷について 4) 顎骨骨折について 3 【演習】損傷・【講義】口腔粘膜疾患 1)損傷について「知識の整理」での演習 2) 水疱形成疾患について 3) 紅斑・白斑形成疾患について 4) 潰瘍形成疾患について 5) 色素沈着疾患について 6) 口腔乾燥・粘膜の萎縮疾患について 【演習】口腔粘膜疾患・【講義】化膿性炎症疾患・嚢胞 1) 口腔粘膜疾患について「知識の整理」での演習 2) 炎症について 3) 歯周組織・顎骨・顎骨周囲組織の炎症について 4) 嚢胞の病態、治療法について 5) 顎骨に発生する嚢胞(歯原性、非歯原性)について 6) 軟組織に発生する嚢胞(歯原性、非歯原性)について 【演習】化膿性炎症疾患、嚢胞・【講義】腫瘍 5 1) 化膿性炎症疾患・嚢胞について「知識の整理」での演習 2) 良性腫瘍(歯原性・非歯原性)について 3) 腫瘍類似疾患について 4)悪性腫瘍について 【演習】腫瘍・【講義】唾液腺疾患、神経疾患 1) 腫瘍について「知識の整理」での演習 2) 唾液腺の特徴と唾液腺疾患について 3) 唾液腺の炎症について 4)シェーグレン症候群について 5) 唾液腺腫瘍について 6) 三叉神経痛について 7) 三叉麻痺について

8) 顔面神経麻痺について

【演習】唾液腺疾患、神経疾患・【講義】顎関節疾患、血液疾患 1) 唾液腺疾患、神経疾患について「知識の整理」での演習

7

	2) 顎関節脱臼について 3) 顎関節症について 4) 口腔内に症状が発現する血液疾患について 5) 出血性素因について 6) 止血法について 【演習】顎関節疾患、血液疾患・【講義】抜歯・小手術・【演習】抜歯・小手術 1) 顎関節疾患、血液疾患について「知識の整理」での演習 2) 抜歯に必要な器具、術式および介助について 3) 消炎手術に必要な器具、術式および介助について			
	4) 嚢胞摘出術に必要な器具、術式および介助について5) インプラント手術について6) 縫合に必要な器具、術式について7) 抜歯・小手術について「知識の整理」での演習			
授業の到達目標	顎口腔領域に発生する疾患(先天異常、外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、炎症、唾液腺疾患、神経疾患、血液疾患等)の病状、診断および治療法について修得できる。 口腔外科手術(抜歯、腫瘍・嚢胞の手術、消炎観血手術等)の適切な介助法を実践できる。 口腔外科手術の説明および注意点の説明を実践できる。			
成績評価の方法	授業態度5%および単位試験95%により総合的に合否を判定する。			
授業外で行うべき 学修	授業後はテキストを利用して30分程度は復習する。			
使用テキスト	・最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版 2019年 ISBN978-4-263-42823-8			
参考資料	・最新 口腔外科学 第5版 榎本昭二他著 医歯薬出版 2017年 ISBN978-4-263-45806-8			
受講生への要望等	臨床実習にあたり重要な科目なので、広い範囲ですが理解できるよう努めて下さい。			
授業の質問対応、 連絡先	講義日の授業前、休憩時間および講義後30分に質問に来てください。			

講義科目名称: 感染予防学 授業コード: 20208

英文科目名称: Infection Control

70 (1 H H) 7 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		第2学年	1	必修(両学科)		
担当教員						
松本 和浩						
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31102		1 ○ H1 ◎		1 ○ E1 ◎	歯科医師、ICD	
授業の概要と方法 歯科診療や技工操作では、エアロゾルや体液に 曝露する機会が多く、感染リスクも高い。そのため、学生が安						

全・安心に歯科診療・技工操作を行うために感染予防対策はとても重要である。感染予防学では、感染経路に ついて理解し、感染予防の概念およびその具体的予防対策方法について学ぶ。授業では視覚教材で実例を示し ながら解説を行う。フィードバックのため「知識の整理」を行う。 【講義】院内感染について 授業計画 1 1) 感染が起こる原因および感染経路について 2) 講義内容について「知識の整理」で演習。 【講義】スタンダードプレコーション(標準予防策) 2 1) 歯科医療および技工操作と感染リスクについて 2) スタンダードプレコーションの概念について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習。 【講義】手指衛生について 3 1) 手指衛生の重要性について 2) 手洗いの種類、手順について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習 【講義】個人防護具について 1) 手袋の必要性および未滅菌、滅菌手袋の装着法について説明する。 2) 個人防護具(サージカルマスク、ゴーグル、プラスチックエプロン等)の目的および使用 法について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習 【講義】器具、器材の洗浄・消毒・滅菌について 5 1) スポルディングの分類について 2) 器具、器材の洗浄から滅菌について 3) 消毒薬の適正使用について 4) 印象体の洗浄・消毒・石膏注入の過程について 5) 講義内容について「知識の整理」で演習 【講義】医療廃棄物について 6 1) 感染性廃棄物、非感染性廃棄物について 2) バイオハザードマークについて 3) 講義内容について「知識の整理」で演習 【講義】針刺し切創および粘膜曝露への対応 1) 針刺し・切創および粘膜曝露防止対策について 2) 針刺し・切創および粘膜曝露発生時の対応について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習 【講義】歯科治療で注意すべき感染症について 1) 歯科治療で注意すべき感染症(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、 HBV、HCV、HIV等) について 2) ワクチン接種の重要性について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習 授業の到達目標 学生が、院内感染について理解し、その予防法を臨床の場で正しく実践できる能力を習得する。

- 1)標準予防策を説明できる。
- 2) 手指衛生について説明できる。
- 3) 洗浄・消毒・滅菌について説明できる。
- 4) 針刺し切創の予防策を説明できる。

	5) 感染症の予防策について説明できる。6) 医療廃棄物の処理が実践できる。			
成績評価の方法	授業態度5%および科目単位試験95%により総合的に合否を判定する。			
授業外で行うべき 学修	授業後は必ず30分程度復習し、不明な点についてはその都度、質問すること。			
使用テキスト	新・歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会編 医歯薬出版 2019年 ISBN 978-4-263-44431-3			
参考資料	シチュエーションに応じた消毒薬の選び方・使い方 尾家 重治著 じほう社 2014年 ISBN 978-4-8407-4561-1 歯科訪問診療における感染予防対策の基本と実際 ICHG研究会 砂書房 2004年 ISBN-13 978-4901894197			
受講生への要望等	日常歯科診療や技工操作で必要な基礎知識ですので、授業をよく理解するように努めてください。			
授業の質問対応、 連絡先	授業内容についての質問は、講義日の講義前、休憩時間、講義後30分に質問しに来て下さい。。			

講義科目名称: 麻酔学・歯科麻酔学 授業コード: 2H201

英文科目名称: Anesthesiology / Dental Anesthesiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第2学年	1	必修(保健)		
担当教員					
百田 義弘、新井 由起子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31103	1 ○ H1 ◎			歯科医師、歯科麻酔専門医	

31103							
授業の概要と方法	歯科麻酔学臨床に必要な医学的知識を修得する。 全身管理の補助について学習する。 救急蘇生に関する実習に参加し心肺蘇生法を修得する。						
授業計画	1 歯科麻酔学、麻酔に必要な基礎知識						
	 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 1~10						
	2 歯科に関連する麻酔方法						
	「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 21~28						
	3 パイタルサイン、特殊な患者の麻酔						
	「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 11~20、29、30						
	4 局所麻酔法、局所麻酔時の偶発症						
	「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 31~36						
	5 ペインクリニック						
	「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 37~46						
	6 心肺蘇生法						
	「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 47~51						
	7 一次救急救命処置、AEDの使用法①						
	「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 47~50						
	一次救急救命処置およびAEDの使用法について講義と実習を行う。						
	8 一次救急救命処置、AEDの使用法②						
	「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 47~50 一次救急救命処置およびAEDの使用法について講義と実習を行う。						
授業の到達目標	歯科麻酔診療に必要な医学的知識を修得できる。 全身管理の方法を理解できる。 有病者の全身管理の診療介助を実践できる。 局所麻酔法について説明できる。 心肺蘇生法を実践できる。						
成績評価の方法	 科目試験60%、授業態度20%、実習態度20%の割合で評価を行う。						
授業外で行うべき 学修	教科書の該当部分を読んで講義に臨んでください。各回予習1時間、復習1時間を目安とします。						
使用テキスト	歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学 学建書院 ISBN 978-4-7624-1169-4						
参考資料	改訂第3版BLS:写真と動画でわかる一次救命処置(学研プラス) AHA ガイドライン2015(G2015) など						
受講生への要望等	講義中は私語を慎み、集中したい学生の迷惑にならないよう気をつけること。 実習中は髪の毛は束ね、動きやすい服装と靴を着用すること。						
授業の質問対応、 連絡先	大阪歯科大学歯科麻酔学講座 arai-y@cc.osaka-dent.ac.jp						

講義科目名称: 歯科放射線学 授業コード: 2H202

英文科目名称: Oral Radiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第2学年	1	必修(保健)		
担当教員	担当教員				
小滝 真也					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31104	1 O H1 ©			歯科医師	

授業の概要と方法

歯科放射線学に関して、歯科衛生士として具有すべき知識・態度・技能を身につける。各科に分散している歯科放射線学の項目を整理しながら、放射線の性質および人体に対する影響を理解し、日常歯科診療への適応方法を学ぶ。放射線の発生から始まり、物質との相互作用、エックス線撮影装置、現像処理、デジタル撮影システム、感染防止対策を含めた撮影手順、画像のマウント方法、口外法撮影、エックス線解剖、放射線生物・防護を主軸とした授講義を行う。また講義には確認のための小テストおよびレポート提出を含み、実習にて主として技能を習得する。

授業計画

1 放射線の基礎知識・歯科医療と放射線

放射線には多くの種類がある。共通する点や、それぞれで異なる点を学ぶ。

われわれの周囲をとりまく電磁波にはどのようなものがを知る。

歯科領域で放射線の利用のされ方、画像検査とはどのようなものか、なぜ放射線が用いられるのかを知る。

授業は講義形式で行う。

2 放射線の人体への影響と防護

放射線防護に関する知識、防護の概念3つ、被曝対象者による線量限度の違い、自然放射線と比べた場合の歯科領域における画像検査の被曝線量などを学ぶ。

授業は講義形式で行う。

3 エックス線と画像形成・フィルム

エックス線によりどのように画像形成がなされるのかを学ぶ。 フイルムの表裏識別・構造、現像処理、デジタル画像を学ぶ。

授業は講義形式で行う。

4 歯科におけるエックス線検査

歯科領域における単純撮影と特殊撮影、歯科用エックス線撮影装置の各部名称、装置の構造、装置の扱い方を学ぶ。

授業は講義形式で行う。

5 **ロ内法エックス線撮影**

口内法エックス線撮影に関して、撮影法、正常解剖像、病的像を学ぶ。

授業は講義形式で行う。

6 パノラマエックス線撮影

パノラマエックス線撮影に関して、撮影法、正常解剖像、病的像を学ぶ。

授業は講義形式で行う。

7 写真処理と画像保管

フィルムにおける写真処理・画像保管とデジタルでの写真処理・画像保管を学ぶ。

授業は講義形式で行う。

8 放射線治療・放射線治療時の口腔管理

歯科における放射線治療・放射線治療時の口腔内管理を学ぶ。

授業は講義形式で行う。

授業の到達目標

放射線の生物学的影響を理解し、放射線防護を概説できる。

エックス線画像の形成原理を概説できる。

頭部エックス線撮影の種類と適応を概説できる。

口内法ならびにパノラマエックス線撮影の手技を説明できる。

口内法エックス線写真とパノラマエックス線写真のエックス線解剖の概要を表記できる。

う蝕と歯周病および顎骨に生じる病変(嚢胞、腫瘍、炎症等)のエックス線所見を概説できる。

超音波検査、CT(CBCT)およびMRIの原理と特徴を概説できる。

成績評価の方法	科目試験、授業態度、提出物をふまえ総合的に評価する。 割合としては、単位試験80%、レポート10%、小テスト10%とする。 レポートは授業ごとに内容を指定する。(昨年は3回レポート提出あり) 小テストは毎回授業の最後に行い、出席点とみなす。
授業外で行うべき 学修	教科書の該当部分を読んで講義に臨んでください。また、復習の際は各回の小テストを解けることを目標に学習して下さい。時間の指定はありませんが、図書館を活用するようにしてください。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科放射線 (医歯薬出版株式会社 全国歯科衛生士教育協議会監修 岡野友宏編)
参考資料	歯科衛生士講座 歯科放射線学(永末書店 金田 隆、奥村泰彦、 村上秀明編集)
受講生への要望等	歯科放射線学の知識は、歯科衛生士の業務に必ず役立つはずです。なぜ、骨の中の歯が見えるのか?歯の中が 見えるのか?どうやって放射線被曝から身を守るのか?などを学習していきます。
授業の質問対応、 連絡先	歯科放射線学講座 kotaki@cc.osaka-dent.ac.jp オフィスアワー:授業実施日の12:15~13:15 メール(kotaki@cc.osaka-dent.ac.jp)で、事前予約や質問を受け付けます。

講義科目名称: 顎・生体技工学 授業コード: 2K203

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第2学年	1	必修(工学)		
担当教員					
山本 さつき、西崎 宏、岡崎 定司					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31105			1 ○ E1 ◎	歯科医師	

授業の概要と方法

1)授業の概要

口腔顔面領域の疾患の治療において、歯科技工士は口腔内に装着する一般的な歯科補綴装置だけでなく、口 腔内外に装着する装置を製作する機会もある。このような装置で患者の機能と形態を回復することは、患者の QOLの向上に大きく関与するため、歯科技工士として様々な装置の知識を得ることは必要である。

この科目で学生は身体の欠損した部位の形態と機能を人工物で補う顎補綴、顎顔面補綴、顔面補綴、装具つ いて学習する。また、疾患が進行中または治療中に用いる口腔内治療装置についても学習する。

2) 授業の方法

講義では板書とパワーポイントを用いる。

講義の後は講義内容を各自が纏めてレポートとして提出する。

提出したレポートは教員がチェックを行いフィードバックする。

	実習では簡	実習では簡単なエピテーゼを製作する。					
	完成した作	F品に対してディスカッション、ディベートを行う。					
授業計画	1 講義	顎補綴装置について					
		①顎顔面補綴症例の分類と病態					
		②顎義歯の特長					
	2 講義	顎顔面補綴装置について					
		①顔面補綴の特長					
		②顎顔面補綴装置装着後の対応					
	3 講義	口腔内の治療装置について					
		①口腔内に用いる治療装置の種類					
		②口腔内治療装置の製作					
	4 講義	装具について					
		①四肢装具					
		②体幹装具					
	5 講義	顎顔面補綴装置の製作					
		①エピテーゼに特有の材料					
		②エピテーゼの彩色					
	6 実習	エピテーゼの製作					
		アルジネート印象					
		蝋型製作					
	7 実習	エピテーゼの製作					
		埋没					
	8 実習	エピテーゼの製作					
		仕上げ					
授業の到達目標	①学生が覧						
	②学生が影	②学生が顎義歯の構造と製作方法を説明できる。					
	③学生が依	③学生が体の表面に取り付けるエピテーゼについて説明できる。					
	④学生がコ	④学生がエピテーゼの製作方法を説明できる。					
		⑤学生が口腔内治療装置を説明できる。					
	⑥学生が製	表具の作製方法を説明できる。 					
成績評価の方法		80%、授業態度 5%、実習態度 5% 、レポート10%					
	実習は完了	実習は完了していること。					

	試験問題の類問を講義中に提示し、解説をします。 レポートはコメントを記入して返却します。
授業外で行うべき 学修	講義の内容を自分なりにまとめて復習してください。 復習時間は1時間を目安とします。
使用テキスト	テキストは使用せず。必要に応じて資料を配布します。 実習では簡単なエピテーゼの製作を行います。ワックスアップに必要な器具は各自で用意をして下さい。
参考資料	顎顔面補綴の臨床:咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために / 大山喬史, 谷口尚編集 医学情報社
受講生への要望等	実習に必要な器材は貸出、支給しますが、各自で準備が必要な器具もあります。実習前に通達するので準備してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問がある場合はこちらのメールアドレスに連絡をください。 satuki-y@cc.osaka-dent.ac.jp

講義科目名称: 小児歯科学 授業コード: 2H203

英文科目名称: Pediatric Dentistry

XX TILLIAM TO CONTINUE DEFICISELY						
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		第2学年	1	必修(保健)		
担当教員						
有田 憲司、原田 京子						
科目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する実務経験				科目に関連する実務経験		
31201 1 ○ H1 ◎ 歯科医師				歯科医師		
授業の概要と方法 小児を対象とする歯科保健医療全般について学ぶ。まず総論で,「小児とは」,そして「小児歯科とは」どの						

ようなものかを学ぶ。次に各論では、小児の発育および小児への対応法について習得し、その上で小児の歯科 的疾患とその治療法についての知識を学び、将来歯科衛生士として小児に積極的に対応できるような知識を習 得するよう講義を進める。 小児歯科学総論(有田)(講義) 授業計画 1 ・小児とは ・小児歯科学とは ・小児歯科医療の目的 ・小児歯科の特徴 ・小児歯科診療における歯科衛生士の役割 ・成長,発達,発育の定義 ・発育期の分類とそれぞれの特徴 心身の発育と小児への対応1(原田)(講義) 2 ・小児の精神運動発達 ・小児の生理的特徴 ・小児患者・保護者・歯科医師・歯科衛生士の関係 ・小児への各種対応法 歯列および歯の発育とその異常(原田)(講義) 3 ・顎, 顔面, 頭蓋の発育とその異常 ・歯の発育とその異常 ・歯列・咬合の発育とその異常 小児におけるう蝕予防(原田)(講義) ・乳歯および幼若永久歯の特徴 ・乳歯う蝕の原因 ・乳歯う蝕の特徴 ・幼若永久歯う蝕の特徴 ・小児の各種う蝕予防法 ・ラバーダム法の目的,方法,利点,欠点 ・リコールシステムの意義および管理 小児歯科診療における補助1(原田)(講義) 5 ・小児歯科診療の流れおよび補助 ・乳歯および幼若永久歯の各種歯冠修復法 ・乳歯および幼若永久歯の歯髄炎および根尖性歯周炎の処置法 小児歯科診療における補助2(原田)(講義) 6 ・小児期の歯周疾患 ・小児期の外傷

- ・小児期の感染症
- ・小児期の軟組織疾患

小児歯科診療における補助3(原田)(講義) 7

- ・保隙の目的
- ・保隙装置の種類、適応症および装着後の留意点
- ・歯科治療上注意すべき小児の全身疾患

心身の発育と小児への対応2(原田)(講義) 8

摂食機能の発達

	・離乳期の特徴
授業の到達目標	小児の発育および身体的・心理的特徴を説明できる。 小児期の歯科的疾患およびその治療法を説明できる。 小児歯科における歯科衛生士の役割を説明できる。
成績評価の方法	本試験,授業中の小テストおよび授業態度などを総合的に評価する。 評価の比率は,単位試験:80%,小テスト20%
授業外で行うべき 学修	シラバスにて講義の内容を確認し、テキストの該当箇所を読んで予習し、講義後はテキストおよび授業時配布 資料を用いて20分程度復習をすること。
使用テキスト	新・歯科衛生士教育マニュアル 小児歯科学 クインテッセンス出版 (テキストは授業中にも使用するので,必ず持参すること) 授業時配布資料
参考資料	最新歯科衛生士教本 小児歯科 医歯薬出版 小児歯科 ベーシックテキスト、クリニカルテキスト 子どもの歯に強くなる本 乳幼児の口と歯の健診ガイド
受講生への要望等	小児歯科診療では、歯科衛生士の役割は非常に大きく、小児のみならず保護者とのコミュニケーションも重要になります。保護者へ十分説明ができる知識と、小児の診療中のストレスを軽減するための対応法やアシスト技術を習得するために好奇心をもって講義に出席してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは,メール(kyoko-w@cc.osaka-dent.ac.jp 原田)までお願いします。

講義科目名称: 歯科矯正学 授業コード: 2H204

英文科目名称: Orthodontics

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第2学年	1	必修(保健)		
担当教員					
細山 有規子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31202	1 O H1 ©			歯科医師	

授業の概要と方法

矯正治療の目的、治療年齢に応じた顎・顔面・歯列の発育、不正咬合の原因、不正咬合の診断、治療内容の実際などを習得して、矯正治療の中での診療補助・予防処置・口腔衛生指導を歯科衛生士が柔軟に行える素地を養う。また、不正咬合の原因である口腔にまつわる様々な悪習癖の除去への指導等、歯科衛生士にとって重要な役割についても学ぶ。また、歯科矯正学の立場からみた目的に留まらず、他の歯科専門領域と連携協力することにより、さまざまな口腔顎顔面領域の疾患に対してより良い総合的な歯科治療を患者に提供することを目的として学習する。

授業の方法は、毎回授業プリントを配布し、スライドで講義を行い、授業を聴きながらプリントの穴埋めを 行って行く。その範囲の国家試験の過去問のプリントを配布し、宿題として問題を解いてくること。次回の授 業のはじめに、問題の解説をスライドで行い、その後、次の範囲の講義を行う。

授業計画

[講義] 歯科矯正学概論、頭部・顎・顔面の成長発育、歯・歯列の成長発育

- 1. 矯正治療の目的や意義を説明できる。
- 2. 成長発育の概念を説明できる。
- 3. 顎顔面の成長発育を説明できる。
- 4. 混合歯列期の成長発育を説明できる。
- 5. 混合歯列期の成長発育を説明できる。

2 [講義] 正常咬合と不正咬合

- 1. 不正咬合の先天的原因を説明できる。
- 2. 不正咬合の後天的原因を説明できる。
- 3. 正常咬合の概念を説明できる。
- 4. 不正咬合の分類を説明できる。

3 [講義] 矯正検査診断に関する知識

- 1. 診断に必要な検査を説明できる。
- 2. 頭部X線規写真分析を説明できる。

4 [講義] 矯正治療の生力学

- 1. 矯正力の種類を説明できる。
- 2. 作用機序、生体反応を説明できる。
- 3. 歯の移動を説明できる。
- 4. 保定の意義を説明できる。

5 [講義] 矯正装置

- 1. 矯正装置の構造を説明できる。
- 2. 矯正装置の使用目的と適用時期を説明できる。
- 3. 保定装置について説明できる。
- 4. 矯正装置装着時の指導ができる。

6 [講義] 症例の分析・治療学

- 1. 症例を的確に分析できる。
- 2. 治療目標を立案することができる。
- 3. 治療開始時期を説明できる。
- 4. 治療の進め方を解説できる。
- 5. 顎変形症を概説できる。

7 - 講義] 矯正治療に使用する器具・材料

- 1. 矯正用材料・器具を説明できる。
- 2. 矯正治療時の補助について説明できる。
- 3. 偶発症、後戻りについて説明できる。

8 [講義] 総括

	1. 顎顔面の成長発育、不正咬合について説明できる。
	2. 症例の分析、診断について説明できる。
	3. 矯正治療法、矯正装置について説明できる。
	4. 矯正治療時の補助について説明できる。
授業の到達目標	矯正治療の目的や意義を説明できる。
	顎顔面の成長発育を説明できる。
	不正咬合について説明できる。
	矯正力の種類、作用機序、生体反応を説明できる。
	診断に必要な検査、分析を説明できる。
	矯正装置、矯正用材料、器具を説明できる。
	矯正治療の実際、補助内容を説明できる。
成績評価の方法	平常点は、講義内での口頭試問、課題として授業プリントの穴埋め、宿題プリントを活用し勉強出来ているか を確認し、評価する。
	単位試験では、範囲から出題し、広範囲の習熟度を判定する。
	評価の比率は、単位試験70%、平常点30%とする。
 授業外で行うべき	
学修	教科書の該当部分を予習し、授業に望んで下さい。 復習の際は、過去の国家試験問題をプリントにしてお渡しするので、画像写真とともに解説が出来るように学
子 1 5	接首の際は、旭太の国家試験问題をプリントにしての渡しするので、画家与具とこむに辨説が古来るように子 習をして下さい。
	自をして下さい。 問題プリントは範囲によって国家試験出題問題数が異なるため必要時間は、30分から2時間程度です。
使用テキスト	全国歯科衛生士教育協議会 『咀嚼障害・咬合異常 2 歯科矯正』(医歯薬出版)
参考資料	第6版『歯科矯正学』(医歯薬出版)
受講生への要望等	毎回、国家試験の過去問をまとめたプリントを宿題にするので、次の授業までに解いてくるようにしてくださ
	()°
	授業の最初に答え合わせをするので、忘れずに持って来てください。
	授業プリントを配りますが、足りない部分は教科書と併用して勉強してください。
授業の質問対応、	メールアドレス hosoyama@cc.osaka-dent.ac.jp
連絡先	, - 3:

講義科目名称: 予防歯科学 授業コード: 2H103

英文科目名称: Preventive Dentistry

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
前期		第2学年	1	必修 (保健)				
担当教員								
神 光一郎								
科目ナンバリング		口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
31203		1 0 2 0 H	1 ©		歯科医師			
授業の概要と方法	体的、精神 は、パワ-	申的、社会的)な −ポイント資料や	健康を実現し動画を用いた	、質の高い生活を送ってもらう。	コ腔の健康を保持増進して総合的(身 ことに貢献することにある。本講義で デモンストレーションを行い、以降に 講義としたい。			
受業計画	1	オーラルヘル	スケアの概念と	内容【講義・ディスカッション】				
		1)オーラル	ヘルスケアと	は				
		2)セルフク	アとプロフェ	ッショナルケア				
	2	医療面接、	患者とのコミュニ	ニケーション【講義・ディスカッション	2]			
		1)医療面接	の実際					
			・・・・・・・ エケーションの	重要性				
	3	歯・口腔に引	員する診査・検	ー・・・ 査と評価【講義・ディスカッション】				
				・食生活の診査と評価				
				初期う蝕診査と評価				
			のリスク検査					
			・味覚機能検					
	4 セルフケアサポートに関する知識と実際【講義・ディスカッション】							
		1) 口腔清掃と補助的清掃用具						
			2) 歯磨剤					
		3)食生活指	導法					
		4)禁煙サホ	ート法					
	5	ライフステージ対応口腔ケアのポイント【講義・ディスカッション】						
		1) 乳幼児期	別の特徴と口腔	ケア				
)特徴と口腔ケ					
		3) 成人期 <i>の</i>	特徴と口腔ケ	ア				
		4) 高齢者の	特徴と口腔ケ	ア				
		5) 障がい者	ば、要介護者の	特徴と口腔ケア				
	6	全身の病気	と口の健康、高	高齢者と口の健康 【講義・ティスカ	ウッション】			
		1) 口腔内の	チェックポイ	ント				
		2) 口腔ケア	7と指導の実践					
		3) 高齢者の	口腔内のチェ	ックポイント				
		4) 高齢者に	対する口腔ケ	アの役割				
				アと指導の実践				
	7	災害時の歯	科保健、国際	歯科保健【講義・ディスカッション	2]			
		1) 災害にお	3ける保健医療	対策と対応				
		2)被災地で	の歯科保健活	動				
		3)国際協力						
			腔保健の現状					
	8	スモールグル	ープディスカッシ	ョン、プレゼンテーション、まとめ				
		1) 与えられ	に課題につい	て、グループで討議する。				
		2)グルーフ	プで討議した結	論について、プレゼンテーショ	ンを行う。			
		3) プレゼン	の内容につい	て質疑応答を行う。				
		4) 講義のま	とめ					
	9	補講						
		2.番に広じっ	て宝塩オマ					

必要に応じて実施する。

授業の到達目標	 オーラルヘルスケアの概念と内容を説明できる。 歯科疾患の指標について説明できる。 セルフケアサポートについて説明できる。 ライフステージ別のオーラルヘルスケアについて説明できる。 災害時の歯科保健活動について説明できる。 国際的な保健活動および口腔保健活動の取組み状況について概説できる。
成績評価の方法	講義開始時には前回講義内容について小テストを行い、最終講義では教員から提示した課題に関してディスカッション・プレゼンテーションを行う。形成的評価として科目試験を実施し総合的に評価する。 評価比率は、小テスト15%、プレゼンテーション10%、科目試験75%とする。
授業外で行うべき 学修	講義終了時に、次回の講義履修までに準備学修(予習)しておく内容(目安時間:約10分)について資料配布する。 また、講義開始時に行った小テストの内容については、講義中に正答を導くポイントを解説し、学生自身で確認・学修する。 準備学習(予習)と小テストの復習は20分程度で行うことができる内容とする。
使用テキスト	「口から支える健康長寿 歯科衛生士が身につけておきたい基礎知識」株式会社キョードークリエイト 併せて、講義中に適宜資料を配付し、テキストの補助資料として使用する。
参考資料	「オーラルヘルスケア事典」学建書院 また、授業中に適宜参考資料を配付する。
受講生への要望等	わが国では、高齢者の残存歯数が劇的に増加傾向を示しています。これは、国民の歯や口腔に対する意識の高まりとともに、歯科保健医療の現場において「歯や口腔の健康を保持・増進する」ことを推進してきた結果です。高齢化が加速度的に進む中、歯科疾患の予防という考え方は国民のニーズでもあります。また、歯科衛生士の役割は、災害時対応や国際的貢献など多岐に亘ります。本授業には積極的な姿勢で臨み、予防歯科に関する理論や方法を習得するとともに、視野を広く持つことを意識してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問対応は、オフィスアワーの際に医療保健学部の教員室に来るか、授業用SNS(melly)で行う。

講義科目名称: 小児歯科技工学 授業コード: 2K204

英文科目名称: Pediatrics in Dental Technology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第2学年	2	必修(工学)		
担当教員					
有田 憲司、阿部 洋子、西村 貴子、	河合 咲希				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31204			1 ○ 3 ○ E1 ◎	歯科医師	

31204		1 ○ 3 ○ E1 ◎ 歯科医師
授業の概要と方法	この変化にした対応が	的、精神的、機能的、社会的に成長・発達の途上にあり日々変化を続けている。小児歯科技工学は富んだ小児期の口腔を対象とするため、口腔諸器官の形態的及び機能的な発育変化を熟知し、考慮求められる。小児歯科技工学講義では小児の発育と装置の特徴について基礎知識を学ぶ。また、実の歯冠修復物および咬合誘導装置を製作し、基礎知識と技術の習得を目的としている。
授業計画	1	【講義】小児歯科技工学概論 (有田 憲司) 1)小児歯科技工学総論 小児の全身と口腔の発育による変化と小児歯科技工の役割について
	2	【講義】心身の発育と口腔機能の発達 (阿部 洋子) 1)発育期の分類と評価について 2)心身の発育について 3)口腔機能の発達について
	3	【講義】顎顔面の発育 (阿部 洋子) 1)頭蓋・顎顔面の発育について 2)歯列の発育について
	4	【講義】歯列の発育と歯の萌出 (阿部 洋子) 1)歯列の発育について 2)歯の萌出について
	5	【講義】歯の発育・乳歯と幼若永久歯の特徴 (阿部 洋子) 1)歯の発育について 2)乳歯と幼若永久歯の形態について
	6	【講義】歯冠修復と乳歯冠 (阿部 洋子) 1)乳歯・幼若永久歯の修復物の特徴について 2)乳歯用既製金属冠の作製方法について
	7	【講義】保隙装置の適応症と製作方法 (阿部 洋子) 1)クラウンループと可撤保隙装置の適応症と製作の要点
	8	【実習】クラウンループの製作①(阿部 洋子、西村 貴子、河合咲希 (うち2名)) 1)実習用模型の製作と乳歯冠の調整 2)作業用模型の作成
	9	【実習】クラウンループの製作② (阿部 洋子、西村 貴子、河合咲希 (うち2名)) 1)ループの屈曲 2)鑞着・研磨
	10	【実習】可撤保隙装置の製作① (阿部 洋子、西村 貴子、河合咲希 (うち2名)) 1)補強線の屈曲 2)人工歯排列
	11	【実習】可撤保隙装置の製作② (阿部 洋子、西村 貴子、河合咲希 (うち2名)) 1)人工歯排列 2)歯肉形成
	12	【実習】保隙装置の製作③ (阿部 洋子、西村 貴子、河合咲希 (うち2名)) 1)保隙装置の仕上げ
	13	【実習】保隙装置の製作④ (阿部 洋子、西村 貴子、河合咲希 (うち2名)) 1)上下顎第一乳臼歯のスケッチ
	14	【講義】咬合誘導装置 (阿部 洋子)

	4) 羽麻及土牡果の牡巣に制ルナナニのレブ
	1) 習癖除去装置の特徴と製作方法について
	15 【講義】咬合誘導装置 (阿部 洋子)
	1) スペースリゲーナーの特徴と製作方法について
授業の到達目標	・小児の発育の特徴が説明できる。 ・小児の口腔機能の発達が理解できる。 ・小児の歯冠修復物が製作できる。 ・小児の咬合誘導装置が製作できる。
成績評価の方法	科目試験 50%、小テスト 10%、授業態度 10%、提出物 30%をふまえ総合的に評価する。 小テストの解説は随時講義で行う。
授業外で行うべき 学修	教科書の該当部を読んで講義に臨んでください。 復習の際は配布プリントと教科書の内容を理解することを目標に学習してください。 予習30分、復習30分を目安とします。
使用テキスト	・最新歯科技工士教本 小児歯科技工学 全国歯科技工士教育協議会編 2017年 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-43164-1 教科書は授業中に交代で読み進めます。大切なところは書き込みを指示します。
参考資料	・講義で配布する資料(あくまで教科書の内容を補うものです) ・歯科技工学実習トレーニング 矯正歯科技工・小児歯科技工 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編 2011年 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-43344-7 ・小児歯科学基礎・臨床実習第2版 前田隆秀ほか編 2014年 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-45782-5
受講生への要望等	授業には教科書・配布資料を必ず持参してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問は講義の後の休み時間に受け付けます。 それ以外の時間は abe-y@cc.osaka-dent.ac.jp までお問合せ下さい。

講義科目名称: 歯科矯正技工学 授業コード: 2K205

英文科目名称: Orthodontics in Dental Technology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	2	必修(工学)	
担当教員				
細山 有規子、田井 詳子、浦田	駿			
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31205	1 ∩ H1 ©		1 O E1 ©	矯正歯科・歯科医師

授業の概要と方法

歯科矯正技工学では、学生が、矯正治療の意義、不正咬合の原因、不正咬合の診断、治療内容の実際などを習得し、矯正装置について、その構造や製作法と使用材料と器具、装置の使用目的について学修し、必要な知識、技能を習得し、矯正治療に携わる歯科技工士が柔軟に技工を行える素地を養うことを目的として学習する。また、歯科矯正学の立場からみた目的に留まらず、他の歯科専門領域と連携協力することにより、さまざまな口腔顎顔面領域の疾患に対してより良い総合的な歯科治療を患者に提供することを目的として学習する。

授業方法は、授業プリント・教科書・PCを用いた視覚教育を使用して授業を行い、矯正装置作成のために必要なデモンストレーションを行い、実際に矯正装置を作製する。

アクティブラーニングとしては、授業内容に沿った問題プリントを解き、ディスカッション、答え合わせを 行うことで理解度を深める。

ICTは使用しない。

授業計画

1 [講義] 成長発育、正常咬合、不正咬合

授業内容:

- 1. 矯正歯科治療の意義と目的
- 2. 矯正歯科治療における矯正歯科技工の目的
- 3. 正常咬合の条件と種類
- 4. 不正咬合について

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

2 [講義] 検査、模型の作成、歯の移動様式

授業内容:

- 1. 矯正歯科治療のための検査
- 2. 平行模型の作成方法
- 3. 予測模型の作成方法
- 4. 歯の移動様式について

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

3 [講義][実習] 自在鑞付け

授業内容:

- 1. 自在ろう着の一般的原則
- 2. 自在ろう着の手順
- 3. 自在ろう着の実習

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 自在ろう着の実習を行う。

4 [講義][実習] 矯正装置・舌側弧線装置・自在鑞付け

授業内容:

- 1.矯正装置の構造・使用目的・効果・作成方法
- 2. 舌側弧線装置のバンド付き作業模型の作成

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

舌側弧線装置の作業模型を作成する。

自在ろう着の実習を行う。

5 [講義][実習] 矯正装置・舌側弧線装置

授業内容:

1.矯正装置の構造・使用目的・効果・作成方法

- 2. 舌側弧線装置の設計線
- 3. STロックの鑞付け
- 4. STロックの脚部の屈曲

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

舌側弧線装置の実習を行う。

6 [講義][実習] 矯正装置の分類・舌側弧線装置

授業内容:

- 1. 矯正装置の必要条件
- 2. 矯正装置の分類
- 3. 舌側弧線装置の主線の屈曲
- 4. 主線の鑞付け

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

舌側弧線装置の実習を行う。

7 [講義][実習] 固定の分類・矯正力・舌側弧線装置

授業内容:

- 1. 矯正装置の固定の分類
- 2. 矯正力について
- 3. 補助弾線の鑞付け
- 4. 補助弾線の屈曲
- 5. 研磨

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

舌側弧線装置の実習を行う。

8 [講義][実習] プライヤー・舌側弧線装置・床矯正装置

授業内容:

- 1. 技工で用いるプライヤーについて
- 2. 床矯正装置で用いる作業模型の作成

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

舌側弧線装置の実習を行う。

床矯正装置で用いる作業模型を作成する。

9 [講義][実習] マルチブラケット装置・床矯正装置

授業内容:

- 1. マルチブラケット法について
- 2. 床矯正装置の設計線
- 3. アダムスクラスプの屈曲

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

床矯正装置の実習を行う。

10 [講義][実習] 保定•床矯正装置

授業内容:

- 1. 保定について
- 2. 床矯正装置の唇側線の屈曲

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

床矯正装置の実習を行う。

11 [講義][実習] 埋伏歯・床矯正装置

授業内容:

- 1. 埋伏歯の治療に用いる装置の作成について
- 2. 床矯正装置のレジン築造

授業形態:

授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。

床矯正装置の実習を行う。

	12 [講義][実習] 外科的矯正治療・床矯正装置
	授業内容:
	1. 外科的矯正治療について
	2. 床矯正装置の研磨
	授業形態:
	授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。
	床矯正装置の実習を行う。
	13 [講義][実習] 問題解説・床矯正装置
	授業内容:
	1. 今までの講義内容に対する国家試験の問題プリントの解説
	授業形態:
	授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。
	床矯正装置の実習を行う。
	14 [講義][実習] 問題解説・床矯正装置
	授業内容:
	1. 今までの講義内容に対する国家試験の問題プリントの解説
	授業形態:
	授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。
	床矯正装置の実習を行う。
	15 [講義] 総括(問題解説)
	授業内容:
	1. 今までの講義内容に対する国家試験の問題プリントの解説
	授業形態:
	授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。
授業の到達目標	1. 矯正治療の目的や意義を説明できる。
	2. 正常咬合の概念を説明できる。
	3. 歯・歯列・咬合の異常を説明できる。
	4. 不正咬合の分類を説明できる。
	5. 矯正用材料・器具を説明できる。
	6. 矯正装置の種類、目的を説明できる。
	7. 矯正装置を図解できる。
	8. 矯正装置を作製できる。
	9. 保定の意義を理解できる。
成績評価の方法	
カス小兵の 一両マンノコノム	単位試験では、授業範囲から出題し、広範囲の習熟度を判定する。
	評価の比率は、単位試験60%、実習作品40%とする。
授業外で行うべき	教科書の該当部分を予習し、授業に望んで下さい。
学修	復習の際は、過去の国家試験問題集等の該当問題で学習し、画像写真とともに解説が出来るように学習をして
	下さい。
	授業では国家試験の問題プリントを配布するので、30分から1時間ほどで各自解いて来てください。後半の授
	業で解説します。
使用テキスト	矯正歯科技工学 医歯薬出版 を使用するので、必ず毎回の授業で持参してください。
参考資料	チェアサイド・ラボサイドの新矯正治療ビジュアルガイド 医歯薬出版
	矯正歯科技工・小児歯科技工ー歯科技工学実習トレーニングー 医歯薬出版
	歯科技工士のための実践 矯正装置製作法 クインテッセンス出版
	第 3 版 歯科技工学実習帳 矯正歯科技工学 小児歯科技工学 医歯薬出版
	矯正装置の製作ガイド - 基礎知識と技工- 医歯薬出版
 受講生への要望等	・勉強は時間をかけて行いましょう。
メ畊工/ VV 安圭守 	・鬼選は丁寧に行いましょう。
	・講義には教科書を持参しましょう。 ・実習には、器具、材料を忘れないようにしましょう。
授業の質問対応、	メールアドレス: hosoyama@cc.osaka-dent.ac.jp
連絡先	オフィスアワー:基本的に樟葉学舎、天満橋学舎で行います。約束をとってください。

講義科目名称: 高齢者歯科学 授業コード: 20108

英文科目名称: Geriatric Dentistry

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第2学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
柿本 和俊				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31301	2 ○ 3 ○ H2 ◎		2 ○ 3 ○ E2 ◎	歯科医師

授業の概要と方法

高齢者の口腔内は一般成人と異なった特徴を持っている。また、高齢者は全身的、心理的および社会的状態においても、一般成人と同列に扱うことはできない。社会の高齢化に伴い、歯科治療を受ける高齢者は急激に増加することが予想され、歯科医療従事者として高齢者の特徴を理解しておくことは必要不可欠である。

この科目では,講義によって高齢者の社会的,全身的,心理的及び口腔の特徴,さらに,高齢者に対する歯 科治療,訪問歯科診療,口腔ケア及び高齢者で使用されることが多い口腔内装置について学習する。

授業計画

- 【講義】高齢者歯科学の目的, 高齢者歯科での歯科衛生士と歯科技工士の役割, 高齢者の年齢 区分, 高齢化の現状と将来, 高齢者の社会保障制度
- 高齢者歯科学の目的
- ・高齢者歯科での歯科衛生士と歯科技工士の役割
- ・高齢者の年齢区分
- ・高齢化の現状と将来
- 高齢者の社会保障制度
- 2 【講義】老化の定義・機序、高齢者の組織・器官の変化、高齢者の身体機能の変化、高齢者の精神・心理的変化、顎口腔系の加齢変化
 - ・老化の定義・機序
 - ・高齢者の組織・器官の変化
 - ・高齢者の身体機能の変化
 - ・高齢者の精神・心理的変化
 - ・顎口腔系の加齢変化
- 3 【講義】高齢者のう蝕の特徴, 高齢者の歯周疾患の特徴, 口腔乾燥症, 高齢者の口臭, その他の 口腔疾患
 - ・高齢者のう蝕の特徴
 - ・高齢者の歯周疾患の特徴
 - ・高齢者に多い口腔粘膜疾患
 - ・口腔乾燥症
 - ・高齢者の口臭
 - ・その他の高齢者に多い口腔疾患
- 4 【講義】高齢者に多い全身疾患と口腔との関係、高齢者に多い全身疾患と歯科治療との関係、高 齢者の服用薬に対する歯科治療上の配慮
 - ・高齢者に多い全身疾患と口腔との関係
 - ・高齢者に多い全身疾患と歯科治療との関係
 - ・高齢者の服用薬に対する歯科治療上の配慮
- 5 【講義】高齢患者とのコミュニケーション, 高齢者の誘導, 高齢者の医療面接, 高齢者歯科の医療 安全, 訪問歯科診療
 - ・生活自立度
 - ・高齢患者とのコミュニケーション
 - ・高齢者の誘導
 - ・高齢者の医療面接
 - ・高齢者歯科の医療安全
 - ・高齢者の診療補助
 - ・訪問歯科診療
 - ・チームアプローチ
- 6 【講義】要介護者の口腔環境, 口腔環境の評価, 要介護者の口腔ケア
 - ・要介護者の口腔環境
 - ・口腔環境の評価
 - ・要介護者の口腔ケア
 - ・義歯の取扱い方法

	・要介護高齢者の口腔ケアのチームアプローチ
	・終末期の口腔ケア 7 【講義】摂食嚥下機能と評価, 摂食嚥下障害のリハビリテーション
	・摂食嚥下のメカニズム
	・摂食嚥下機能の評価
	・摂食嚥下障害のリハビリテーション
	・摂食嚥下障害に用いつ口腔内装置
	8 【講義】介護予防, 居宅療養管理指導, 高齢者の栄養管理, 高齢者歯科医療における歯科衛生 士と歯科技工士の役割
	・介護予防
	• 居宅療養管理指導
	・栄養管理
	・要介護高齢者の口腔ケアのチームアプローチ
	・高齢者歯科医療における歯科衛生士と歯科技工士の役割
授業の到達目標	高齢者の身体的・精神心理的特徴と歯科治療上の留意事項を理解する。
	1) 老化と口腔の加齢変化について説明できる。
	2) 高齢者の全体像を説明できる。
	3) 要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。
	4) 高齢者歯科における医療安全について説明できる。
	5) 器質的・機能的口腔ケアについて説明できる。
	6) 歯科訪問診療を説明できる。
成績評価の方法	レポート課題の評価と単位試験の成績で総合評価する。
	評価の比率は, 科目試験 80%, レポート 20%とする。
	レポートは評価を付けて返却する。
授業外で行うべき 学修	「超高齢社会における歯科衛生士/歯科技工士としての役割」についてのレポートを提出してもらいます。授業内容を復習し、自身の考えをまとめてください。復習は毎回20分程度行うように心がけてください。
使用テキスト	「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」森戸光彦ほか,著永末書店,2017年,ISBN978-4-8160-1312-6 授業中の配布資料
	教科書に基づいて授業をします。教科書を必ず持参してください。
多 与具件	「新歯科衛生士教本 高齢者歯科」全国歯科衛生士教育協議会,医歯薬出版,2013年, ISBN978-4-263-42835-1
	「老年歯科医学」森戸光彦ほか,医歯薬出版,2015年,ISBN978-4-263-45789-4
	「老牛歯科医子」 「お打版 知りたいことがすぐわかる 高齢者歯科医療-歯科医療に繋がる医学知識-」 小谷順一郎ほか、永末
	書店, 2017年, ISBN 978-4-8160-1323-2
	盲点, 2017年, 13BN978-4-8100-1323-2 「高齢者歯科診療ガイドブック」 日本老年歯科医学会監修, 口腔保健協会, 2010年,
	ISBN 978-4-89605-263-3
	「老年歯科医学用語辞典」日本老年歯科医学会編,医歯薬出版,2016年,ISBN978-4-263-45793-1
	「有病者歯科学」今井 裕ほか,永末書店,2018年,ISBN978-4-8160-1335-5
受講生への要望等	 今後,歯科医療スタッフとして高齢者と接する機会は増加します。高齢者に対する態度が歯科医療スタッフと
	しての評価に大きく影響します。日常においても高齢者と接する機会を多く持つように心掛けてください。
授業の質問対応、	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。
連絡先	在室時にも応対可能です。
,—in/o	122 312 312 310 370

講義科目名称: 障害者歯科学 授業コード: 30101

英文科目名称: Dentistry for Persons with Disorders

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
柿本 和俊				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31302	2 O 3 O H1 O		2 ○ 3 ○ E2 ◎	歯科医師

授業の概要と方法

障害者の歯科治療や口腔ケアには困難が伴う。しかしながら、障害者に対する歯科医療の必要性は高く、需要は非常に多い。障害者は全身的、心理的および社会的状態において、一般の幼児、小児あるいは成人と同様に扱うことはできない。歯科医師とともに歯科衛生士や歯科技工士が協力して障害者の歯科治療を補助し、口腔の健康を向上させ維持するためには、障害者の特徴を理解し、対応を理解しておくことは必要不可欠である。

この科目では,講義によって歯科医療人として必要な障害者の知識を習得するとともに,障害者に対する歯科診療と口腔ケアについて学習する。

授業計画

【講義】障害の概念

- ・障害者とは
- ・障害の分類 (ICIDH、ICF)
- ・障害者のQOLと支援
- ・ノーマライゼーションとバリアフリー
- ・障害者の福祉制度

2 【講義】障害の種類

- ・精神発達・心理的発達と行動障害
- ・運動障害
- ・感覚障害
- ・音声言語障害
- ・精神および行動の障害

3 【講義】障害者と歯科

- ・コミュニケーション法
- 行動療法
- ・体動コントロール
- ・薬物的行動調整法

1 【講義】障害者の口腔衛生管理

- ・障害者本人による口腔ケア
- ・介護者による口腔ケア
- ・専門的口腔ケア
- ・障害者の全身疾患と口腔ケア

5 【講義】障害者歯科における医療安全

- ・歯科治療におけるリスク評価
- ・障害者のリスクへの対応
- ・医療安全管理
- ・障害者歯科における感染対策

6 【講義】障害者の摂食嚥下リハビリテーション

- ·摂食嚥下機構
- ・摂食嚥下障害における口腔管理
- ・摂食嚥下障害者の栄養管理
- ・摂食嚥下障害の検査
- ・摂食嚥下障害のリハビリテーション
- ・小児の摂食嚥下障害への対応
- ・摂食嚥下障害における多職種連携

7 【講義】障害者歯科における地域連携

・地域における医療連携

	 ・障害者歯科における多職種連携 ・保健、医療及び福祉のネットワーク ・医療機関における障害者歯科 【グループ討議】障害者歯科における歯科衛生士と歯科技工士の役割 ・歯科衛生士としての役割
	・歯科技工士としての役割
授業の到達目標	障害者の身体的・精神心理的特徴と歯科治療上の留意事項を理解する。 1) 障害者の概要を述べることができる。 2) 障害者の全身的特徴と歯科的特徴を理解し、歯科保健医療の留意点を述べることができる。 3) 障害者の歯科治療について説明できる。 4) 障害者歯科における医療安全について説明できる。 5) 障害者の摂食・嚥下障害とリハビリテーションについて説明できる。
成績評価の方法	課題レポート、討議参加及び単位試験を行い総合的に評価する。 評価の比率は、科目試験 60%、レポート 20%、討議参加 20%とする。
授業外で行うべき 学修	第7回の講義前に「障害者歯科における歯科衛生士と歯科技工士の役割」に関するレポートを提出してもらいます。自身の考えを、授業を聞いて十分に整理しておいてください。 前回の講義に関する質問をすることがありますので、20分程度は復習をしておいてください。 「高齢者歯科学」に関連する内容が多いので、「高齢者歯科学」についてよく復習しておいてください。
使用テキスト	「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2013年, ISBN 978-4-263-42836-8 授業中の配布資料 教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。
参考資料	「歯科衛生士講座 障害者歯科学」緒方克也ほか,永末書店,2014年,ISBN978-4-8160-1365-2 「歯科衛生士のための障害者歯科」緒方克也ほか,医歯薬出版,2006年,ISBN978-4-263-42158-1
受講生への要望等	障害者の歯科治療における対応は、一般の患者とは異なり特別なことが多いです。臨床実習でもしっかり対応 できるように学修してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称: 要介護者の口腔ケア 授業コード: 3H202

英文科目名称: Oral Care for the Person Requiring Care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第3学年	1	必修(保健)	
担当教員				
糸田 昌隆、柿本 和俊、寺島 雅子、尾形 祐己				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31303	H1 O H2 O I	H3 ◎		歯科医師

授業の概要と方法

障害者や要介護高齢者は口腔清掃状態が悪く,構音や摂食嚥下機能などの口腔機能が低下していることが多い。障害者や要介護高齢者にとって,器質的ならびに機能的な口腔ケアは,口腔のみならず全身の健康にとって非常に重要である。

この科目では、学生相互の演習とグループ・ディスカッションによって、障害者や要介護高齢者および介護者に対する器質的ならびに機能的口腔ケアの計画と指導方法を取得する。

授業計画

1 【講義】要介護者の口腔ケアのためのアセスメント(糸田)

- ・ガイダンス
- ・口腔ケアのエビデンス
- ・既存評価法の理解(OHAT-J,OAG,CORCHなど)
- 各評価法の問題点

2 【講義】要介護者の口腔健康管理のためのアセスメントと課題分析(糸田)

- ・課題分析型アセスメントの理解
- ・MDS-rapsの理解
- ・GW:口腔ケアプランの作成

3 【講義】要介護者の口腔ケアに用いる器材の概説 1(柿本)

- ・歯を対象とする用具
- ・主に粘膜を対象とする用具
- ・義歯を対象とする用具
- ・その他口腔ケアに使用する用具

4 【講義】要介護者の口腔ケアに用いる器材の概説 2(柿本)

- ・歯を対象とする用具
- ・主に粘膜を対象とする用具
- ・義歯を対象とする用具
- ・その他口腔ケアに使用する用具

5 【演習】味覚障害の検査(柿本, 寺島, 尾形)

- ・味覚障害の症状
- ・味覚障害の原因
- ・味覚障害の検査
- ・味覚障害の治療
- ・濾紙ディスク検査の実施
- ・レポート作成

6 【演習】義歯清掃と安定剤(柿本, 寺島, 尾形)

- ・義歯用ブラシによる清掃
- 義歯洗浄剤の種類と使用
- ・ 義歯安定剤の種類と使用
- ・レポート作成

7 【演習】口腔ケア相互実習

- ・細菌カウンターによる口腔内細菌量の計測
- ・注水、吸引による口腔ケアの手技確認
- ・口腔ケア実施(相互)
- ・口腔ケア後の口腔内細菌数の確認

8 【講義】総括(糸田, 柿本)

- ・口腔ケア後の細菌カウンターによる細菌数の確認
- ・口腔ケアの効果検証の確認と問題点の抽出(グループ討議)

	・要介護者の口腔ケアの要点とまとめ
授業の到達目標	要介護者の口腔ケアプランを立案し実践できる。 1) 要介護者の口腔ケアのためのアセスメントができる。 2) 要介護者の口腔健康の課題を分析できる。 3) 要介護者の口腔ケアに用いる器材を理解している。 4) 要介護者の口腔ケアに用いる器材を使用できる。 5) 要介護者の口腔ケアプランの立案ができる。 6) 要介護者の口腔ケアプランを評価できる。
成績評価の方法	課題レポートとグループ討議の参加で総合評価する。 評価の比率は,課題レポート 60%,討議参加 40%とする。
授業外で行うべき 学修	
使用テキスト	
参考資料	「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」森戸光彦ほか,永末書店,2017年,ISBN978-4-8160-1312-6 「最新 歯科衛生士教本 高齢者歯科」,全国歯科衛生士教育協議会監修,医歯薬出版,2013年, ISBN978-4-263-42835-1 「歯科衛生士講座 障害者歯科学」緒方克也ほか,永末書店,2014年,ISBN978-4-8160-1365-2 「最新 歯科衛生士教本 障害者歯科」,全国歯科衛生士教育協議会監修,医歯薬出版,2013年, ISBN978-4-263-42836-8
受講生への要望等	
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称: 口腔機能障害学 授業コード: 30102

英文科目名称: Oral Function Impairment

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	1	必修(両学科)	
担当教員				
糸田 昌隆				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31401	1 O H1 ©		1 ○ E1 ◎	歯科医師

授業の概要と方法

口腔の担う機能(話す、食べる、呼吸など)は生活あるいは生命維持に必要な機能である。しかしながら、先天性あるいは後天性(中途障害)に口腔機能の低下や障害が認められることが多い。また成人・高齢者においては口腔機能の低下から始まる全身機能の低下が認められることもある。特に高齢社会では口腔機能障害への対応・指導可能な歯科衛生士を目指すことが必要である。今授業では口腔機能のみならず心身の「機能障害」と社会的背景や対応法について総合的に理解した後に、口腔機能障害とその対応法の基礎的考え方を学習する。講義の形式はスライドを用いて行い、実際の障害をもつ方々の口腔機能障害への対応法は動画等を用いて講義する。

授業計画

ガイダンス、ICFにおける機能障害と生活機能の概念

・WHOの機能障害に関する考え方

2 脳(中枢)の構造と役割

- ・大脳機能と日常生活
- ・延髄の機能
- ・小脳の役割
- ・その他の中枢

3 運動機能(神経機構と筋活動)

- 筋活動
- ・運動機能について

4 感覚と感覚障害と口腔機能障害

・感覚障害等は

5 運動障害と口腔機能障害

- 痙縮
- ・固縮
- ・萎縮
- ・運動失調障害
- · 運動可動域障害
- ・協調運動障害

6 麻痺と口腔機能障害

- ・筋疾患
- 神経筋接合部の障害
- ・下位運動ニューロン障害
- ・上位運動ニューロン障害
- ・麻痺によって起こる口腔障害

7 内臟疾患障害

- ・がん
- ・自己免疫疾患
- ・造血管細胞移植など

8 高次脳機能障害

	・高次脳障害とは
	・広義の高次脳障害
	・狭義の高次脳障害
	9 高次脳機能障害と口腔機能障害
	- ・口腔の失行
	・口腔の失認
	・失語による口腔症状
	10 高次脳機能障害と認知症
	・認知症の分類
	・高次脳機能の中での認知機能とは
	· 摂食嚥下障害とは
	・摂食嚥下性性では、・摂食嚥下州外によって引き起こされる問題
	・嚥下障害のメカニズム(球麻痺・仮(偽)性球麻痺を中心に)
	12 摂食・嚥下障害と口腔機能障害の関係
	・摂食嚥下障害に診られる口腔機能障害
	・口腔機能と嚥下のかかわり
	13 心理的障害と口腔機能障害の関係
	・心理学的障害と口腔の症状
	・心理学的障害が先か口腔障害が先か?
	・心理的障害の口腔機能への影響
	・摂食障害の原因
	14 発育・発達障害(小児)
	・小児における口腔の障害とは
	・発達段階での機能障害の分類
	・食べることの機能の成長障害など
	15 まとめ
	・GW:口腔機能障害のまとめ
授業の到達目標	1) 口腔の担う機能(口腔機能)を理解する。口腔機能障害の発症機序、原因、全身的、局所的(特に口腔の各
	器官)にみられる障害の種類について理解を深める。 2) 口腔機能低下・障害をもつ方の身体的、精神的、社会的変化を学ぶ。
	2) 口腔機能管理の重要性を理解する。
 成績評価の方法	 本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。
	単位試験を実施し、出席状況、学習態度により総合的に評価を行う。
授業外で行うべき 学修	なし
使用テキスト	適宜、資料を配布する。
参考資料	「機能障害科学入門」九州神陵文庫
受講生への要望等	復習をすること
授業の質問対応、	質問は随時受け付けます。1号館1階糸田自室、授業中、休み時間、メールなどにて。
連絡先	E-mail: itoda@cc.osaka-dent.ac.jp

講義科目名称: 口腔リハビリテーション学 授業コード: 3H101

英文科目名称: Oral Rehabilitation

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第3学年	1	必修(保健)		
担当教員	担当教員				
糸田 昌隆					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31402	H1 ○ H2 ◎			歯科医師	

授業の概要と方法

医療、介護、福祉あるいは地域での健康増進への取り組みなどの現場においては様々な要因により、口腔領域に機能低下、障害をもつ方々が多く診られる。これら背景から、今授業では歯科衛生士として国際生活機能分類ICF(International Cassification of Funtioning, Disability and Health)に準じたリハビリテーションを目指し、摂食・嚥下リハビリテーションを含む口腔リハビリテーションのセラピストとしての基礎知識と専門的技術を習得することを目的とする。また地域における地域リハビリテーション事業を基とした地域支援事業(介護予防など)について理解し、歯科衛生士として地域との関わりや口腔機能向上へのアプローチについても学習する。講義の形式は、主にスライドを用いて行い、各種検査資料を配布・使用し説明を行う。実際の口腔機能障害への対応、口腔リハビリテーションの訓練内容や症例については動画を用いて講義する。

授業計画

ガイダンス

- ・リハビリテーションとは
- ・WHOの医学体系
- ・ノーマライゼーションとQOL、ADL
- ・障害分類と障害受容

2 リハビリーションを実施する際に必要な評価と診断の流れ

- ·身体学的評価
- · 精神機機能評価
- ·認知機能評価 etc

3 口腔リハビリテーションに必要な解剖学、生理学、臨床医学

- ・頭頸部の筋と神経支配
- ・口腔の生理機能(咀嚼、嚥下、発声、呼吸)

4 総合的口腔アセスメント

- · OHAT-J
- · OAG
- ・GWCORCH などについて

5 器官別口腔機能・嚥下機能評価

- ・ディサースリア検査
- ・咀嚼力検査
- ・舌圧検査など

6 口腔・嚥下障害の正常像と診断・治療の流れ

- ・摂食嚥下時の時期分類
- ・各時期での器官の活動
- ・プロセスモデルについて

7 嚥下機能評価・スクリーニング、専門的検査

- ・身体観察ポイント
- ・スクリーニングとは
- ・各種スクリーニング検査
- ・嚥下造影検査
- ・嚥下内視鏡検査
- ・超音波エコー検査
- ・筋電図検査など

8 口腔リハビリテーションの訓練計画の立案と具体的訓練(間接訓練)

- ・間接訓練の目標
 - ・間接訓練の考え方と種類
 - ・具体的方法

	9 口腔リハビリテーションの具体的訓練(直接訓練)						
	・直接訓練の原則と配慮すべき点						
	・基本的な食事への配慮事項 ・具体的訓練法						
	10 口腔リハビリテーションと歯科治療						
	・口腔リハビリテーションの中での歯科治療の位置付け						
	・歯科治療を実施する時期						
	11						
	・民事場面の観察点(ミールブラブト) ・ミールラウンド時に必要な視点 ・必要な器具						
	12 口腔リハビリテーションでの特別な治療機器						
	・低周波 ・電気的刺激機器 ・温熱療法など						
	13 リハビリテーションにおいて協働する職種による内容と対応法						
	・看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の役割 ・共通言語と共通患者評価の視点						
	・ICFによる評価と多職種連携 14 介護予防事業における歯科衛生士の役割						
	· 介護保険とは						
	・地域支援事業とは						
	・一次予防事業とは						
	15 まとめ						
	GW: 口腔リハビリテーションについて考える						
授業の到達目標	口腔領域に機能障害をきたした方の、口腔リハビリテーションを実施する際の基礎知識と専門技術を習得し、 口腔リハビリテーションを行う際の素地をつくる。						
	1) リハビリテーション医学について理解し、対応となる疾患を学ぶ。						
	2)機能的口腔ケアの目的と手技・方法について習得する。 3)口腔リハビリテーションに必要な解剖学・生理学・臨床医学を説明できる。						
	3) 口腔りハこりデーションに必要な解剖子・主理子・臨床医子を説明できる。 4) 口腔機能評価と嚥下機能評価に関して説明できる。						
	5) 口腔リハビリテーションにおける治療・訓練法について特徴や効果を知る。						
	6) 口腔リハビリテーション計画を科学的根拠に基づいて立案ができる。						
成績評価の方法	本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。 単位試験を実施し、学習態度により総合的に評価を行う。						
授業外で行うべき 学修	なし						
使用テキスト	「歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション」医歯薬出版 追加資料を配布する						
参考資料	「標準ディサースリア検査」インテルナ出版 「5疾病の口腔ケア」医歯薬出版						
受講生への要望等	国家試験にも多く出題される範囲である。復習を行うこと						
授業の質問対応、	随時受けつける.						
連絡先	居室に不在時は下記メールにて質問・相談を.						
	E-mail: itoda@cc.dent-osaka.ac.jp						

講義科目名称: 口腔リハビリテーション実習 授業コード: 3H203

開講期間		配当年	単位数	科目必選回	区分		
		第3学年 1		必修(保健)			
担当教員							
糸田 昌隆、頭山 高于	² 、梶 貢三子	、前岨 亜優子、会	并 美季子、板並		景那、貴島 真佐子		
科目ナンバリング		口腔保健学科の	関連DP	口腔工学和	科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31403		H2 © H3 O				歯科医師	
授業の概要と方法	評価方法、 う。また口 実習の進行 習に関して	口腔リハビリテ- 腔リハビリテー: は、はじめにス: は相互実習を基	ーションの具体的 ションを実施する ライドを用いて配	訓練内容に 際の訓練計 布する各種 する。実際	□関しての実習を行け画の立案について ■検査資料を基に説	をもとに、口腔機能および嚥下機能 い、専門的技術を習得するために行 も学習する。 明を行う。また実際の検査・評価実 の対応、口腔リハビリテーションの	
受業計画	1	ガイダンス、ロ	腔ケア相互実習	I(口腔ア	セスメント)		
		・OHAT-J評 ・CORCHに		-	44.\		
	2		[実習②(口腔ケ		手技)		
		・注水、吸引 ・ワイプ法	など	认位			
	3	ロ腔機能評価 I ・咀嚼能力検査・オーラルディアドコキネシス					
	4	・舌圧検査 口腔機能評 ・細菌検査 ・口腔乾燥度					
	5	・pH検査 e 嚥下機能評 ・RSST	etc 価・スクリーニング	I			
	6	・咳反射テス	、ト&改訂水飲みラ 、ト etc 価・スクリーニング				
		・嚥下聴診 ・フードテス	<pre></pre>				
	7	嚥下機能評価 Ⅲ ・嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査					
	8	質問式嚥下 ・聖隷式嚥下 ・EAT-10 ・KTバランス	質問評価				
	9	・頬ふくらま ・ブローイン	ハビリテーションの Eし、舌運動(抵抗 yグ ブメソッド など		(間接訓練)1		
	10		ハビリテーションの	訓練内容	(間接訓練)Ⅱ		

・シャキア法、おでこ体操 ・メンデルゾーン法 etc

	11 実際の口腔リハビリテーションの訓練内容 (直接訓練・咀嚼訓練)Ⅲ					
	・姿勢調整					
	・一口量調整					
	・食事具の調整など					
	12 重度口腔機能障害、嚥下障害患者への対応方法(講義)					
	・最終栄養法の決定					
	・臨床死生学について 13 ケーススタディ、グループディスカッション					
	・脳梗塞による嚥下障害症例の検討 14 介護予防事業における口腔機能向上アプロー チ					
	・集団訓練法の検討・講和の意義と手法					
	15 まとめ					
	・GW: 口腔リハビリテーションのまとめ					
授業の到達目標	 器質的口腔ケアを身につける。機能的口腔ケアを学ぶ。 口腔機能評価、嚥下機能評価、スクリーニングを身につける。 口腔リハビリテーションに必要な技術を身につける。 咀嚼力検査、舌圧検査(最大舌圧測定)について学ぶ。 機器を用いた専門的な嚥下障害検査法を学ぶ。 重度口腔機能障害・摂食嚥下障害患者の対応方法について学ぶ。 地域高齢者や介護予防等におけるポピュレーションアプローチでの歯科衛生士の役割を学ぶ。 					
成績評価の方法	本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。 単位試験を実施するとともに、実習中の態度・行動を観察(態度、技能、表現力、応用力)・評価し、総合的 に評価を行う。					
授業外で行うべき 学修	その日中に30分程度の復習を行うこと。					
使用テキスト	実習に際して、資料を配布する。					
参考資料	なし					
受講生への要望等	なし					
授業の質問対応、 連絡先	質問は随時受け付けます。1号館1階糸田自室、授業中、休み時間、メールなどにて。 E-mail:itoda@cc.osaka-dent.ac.jp					

講義科目名称: 口腔リハビリテーション技工学 授業コード: 3K202

英文科目名称: Oral Rehabilitation in Dental Technology

2001 Hallis I oran temperatura year.						
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		第3学年	1	必修(工学)		
担当教員						
柿本 和俊、楠 尊行						
科目ナンバリング		口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31404 E1 ◎ E2 ○ 歯科医師						
授業の概要と方法 口腔の機能は咀嚼だけではない。超高齢社会となって、咀嚼機能以外にも構音や摂食・嚥下機能障害に対し						

ても歯科医療が期待されている。構音や摂食嚥下機能障害のリハビリテーションには口腔内装置が必要なこと が多い。

この科目では、実習によって口腔機能のリハビリテーションに用いられる補綴的発音補助装置(スピーチエ イド, 軟口蓋挙上装置(PLP) および舌接触補助床(PAP)の製作方法を取得するとともに, 装置を自身で体験 して使用方法を理解するともに,修正方法についても学習する。

授業計画

1

- 【講義】口腔機能障害の症状(柿本)
 - ・構音障害
 - ・摂食嚥下機能
 - ・摂食嚥下障害
- 【講義】口腔機能障害の検査(柿本) 2
 - ・パラトグラム
 - ・反復唾液嚥下テスト
 - ・水飲みテスト(WST)
 - ・改訂水飲みテスト(MMST)
 - ・嚥下造影検査(VF)
 - ・嚥下内視鏡検査(VE)
- 【講義】口腔機能障害の治療(柿本) 3
 - ・リハビリテーション
 - ・スピーチエイド
 - ・舌接触補助床 (PAP)
 - ・軟口蓋挙上装置 (PLP)
- 【講義】口腔乾燥症(ドライマウス)と味覚障害(柿本)
 - ・口腔乾燥症の症状
 - ・口腔乾燥症の原因
 - ・口腔乾燥症の治療
 - ・味覚障害の症状
 - ・味覚障害の原因
 - ・味覚障害の治療
- 5-6 【実習】作業模型の製作と咬合器装着(柿本. 楠)
 - ・アルジネート印象材による印象採得
 - ・作業模型と対合模型の製作
 - ・咬合器装着
- 【実習】PAPの設計とろう型製作(柿本, 楠) 7-8
 - ・概形線の設定
 - ・クラスプの設計
 - ・クラスプの製作
 - ・ろう型の製作
 - ・フラスコ下部埋没
 - ・フラスコ上部埋没
- 【実習】PAPの重合・完成とパラトグラム記録(柿本, 楠) 9-10
 - ・重 合
 - ・開輪
 - ・研磨

	・正常顎位でのパラトグラムの記録 ・咬合挙上位でのパラトグラムの記録 ・ソフトワックスによる口蓋部の修正					
	11-12 【実習】PAPの補正(柿本, 楠) ・重 合 ・開 輪 ・研 磨 ・パラトグラムの記録 ・口蓋部の修正					
	13 【実習】PLP挙上子の装着(柿本, 楠) ・挙上し装着のためのワイヤー屈曲 ・挙上子の装着 ・挙上子の調整					
	14 【演習】「PAPとPLPの役割」についてのレポート作成(柿本) ・PAPの役割 ・PLPの役割					
	15 【 討議】口腔機能障害に対する歯科技工士の役割(柿本) ・口腔機能障害と歯科技工士 ・まとめ					
授業の到達目標	口腔機能障害に対する装置の目的と製作方法を修得する。 1) スピーチエイドの機能と使用方法を説明できる。 2) 口蓋部形態と口腔機能の関係を理解する。 3) 舌接触補助床 (PAP) の機能と使用方法を説明できる。 4) 舌接触補助床 (PAP) を製作できる。 5) 軟口蓋挙上装置(PLP) の機能と使用方法を説明できる。 6) 軟口蓋挙上装置(PLP) を製作できる。					
成績評価の方法	実習作品と課題レポートで総合的に評価する。 評価の割合は、実習作品 40%、レポート 30% 討議 30%とする。					
授業外で行うべき 学修	「高齢者歯科学」と「障害者歯科学」で学修した摂食嚥下障害と構音障害について復習しておいてください。 「口腔機能障害に対する歯科技工士の役割」についてレポートを作成します。					
使用テキスト	配布する「口腔リハビリテーション技工学実習帳」					
参考資料	「摂食・嚥下障害,構音障害に対する舌接触補助床 (PAP) の診療ガイドライン」一般社団法人・日本老年歯科医学会、社団法人・日本補綴歯科学会 編集,http://www.gerodontology.jp/publishing/guideline.shtml,2011年 「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」森戸光彦ほか,永末書店,2017年,ISBN978-4-8160-1312-6 「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修,医歯薬出版,2013年,ISBN978-4-263-42835-1 「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修,医歯薬出版,2013年,ISBN978-4-263-42836-8 「歯科衛生士のための障害者歯科」緒方克也監修,医歯薬出版,2006年,ISBN978-4-263-42158-1					
受講生への要望等	附属病院の口腔リハビリテーション科や第4学年での「口腔工学訪問実習」では、口腔機能障害について臨床体験する予定です。口腔機能障害に対する歯科技工の役割を意識して学修してください。参考書の「摂食・嚥下障害,構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン」は、学会ホームページからダウンロードできます。					
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。					

講義科目名称: 口腔デジタル基礎工学 授業コード: 20109

英文科目名称: Digitalized Oral Engineering

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		第2学年	1	必修(両学科)		
担当教員						
樋口 鎮央						
科目ナンバリング		口腔保健学科の関	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31501	4 〇				歯科技工士	
授業の概要と方法	学生が講義を通じて従来法とデジタル法の違いを理解し、修復物を製作するための知識力を養う。これまでの歯科技工は、修復物を作製する上において印象材、石膏、WAX、埋没材、金属、樹脂、セラミックスと絶えず膨張、収縮する不安定な材料を駆使しながら修復物を製作していた。しかし、昨今では、口腔内スキャナーや歯科用CAD/CAM・AM技術を使用することにより、それらに影響されることなく、精度的にも材料的にも安全安心で安定した修復物の製作ができるようになってきている。本コースではCAD/CAMシステムの構造の理解、ソフトウェアとハードウェアについての理解、などの基礎的な理論と知識について習得する。					
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	これまでの歯科 これまでの歯科 これまでの歯科 これまでの歯科 これまでの歯科 これまでのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	復物毎の製作工程 ツジ、 村技工材料につい 作 技工材料につい 作 技工材料につい 作 法正是工程の (CAM技術を Aの (CAM技術を Aの (CAMシステムの付 (CAMb) (CAMb) (C	した製作法の製作工程の流れと特別用する材料の特性(講義) はした製作法による使用材料の特性 は造と特性(プレゼンテーション) を行ない、歯科用CAD/CAMシステ はに質疑応答にて把握。 特徴(講義) 可能な材料についての特徴を把握。 ファクチャリング(AM)技術の特徴(記 に積層造形法(アディティブ・マニ	徴を把握。 について把握。 ムの構造と特性について調べ、 構義) ニュファクチャリング)では、現	
授業の到達目標	日常臨床の中でCAD/CAMシステムで製作した各種修復物の応用状況を把握。 1)これまでの歯科技工工程について説明できる。 2)これまでの歯科技工材料について説明できる。 3) CAD/CAMでの製造工程を説明できる。 4) CAD/CAMシステムの構造を説明できる。 4)ソフトウェアについて説明できる。 5)ハードウェアについて説明できる。 6) AM技術による製作方法を説明できる。 7) CAD/CAMシステムと従来法で制作した装置との違いを説明できる。					
成績評価の方法	7) CAD/CAMシステムと従来法で製作した装置との違いを説明できる。 レポート提出と授業中に数回、小テスト行う。単位試験を行い、総合評価する。 評価の比率は、単位試験80%、小テスト20%とする。 小テストの解説は随時、講義で行ない、提出物については返却時にコメント記入する。					
授業外で行うべき 学修 使用テキスト	授業前に数回、前回の授業についての小テストを行うので、約60分は復習をしておいて下さい。 授業前の予習については約60分は行い、範囲については授業中に指示します。 ・教科書としては無いので下記を使用。 ・「基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー」医歯薬出版 ISBN:978-4-263-43362-1 ・授業中の配布資料を主に用いる。					
	・1文耒中の	当川貝科で土に用	さって			

参考資料	「歯科用CAD/CAM ハンドブック 〜CAD/CAM基礎知識から材料特製まで〜」 I 〜 V 山本貴金属地金 「補綴臨床別冊 最新CAD/CAM歯冠修復治療」 シエン社
受講生への要望等	日程の関係で講義内容の順序を変更を行なうことがある。 デジタル加工技術に使用するシステムは急速に進歩している技術でもあり、そのメカニズムについて違いを理解しておく必要があり、各種学会、デンタルショーへの参加やインターネット等、常に向上心を持って学習するように心掛けおくこと。
授業の質問対応、 連絡先	Mellyにて対応します。 分かり難ければ直接、研究室まで。

講義科目名称: 口腔デジタル技工学 授業コード: 2K206

英文科目名称: Digitalized Dental Technology

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期	第2学年					
担当教員		•		<u>'</u>		
樋口 鎮央						
科目ナンバリング		口腔保健学科	ー 中の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31502		4 🔾		4 O E3 O	歯科技工士	
授業の概要と方法	歯科技工は 大きく影響 ている。こ ついて習得	- と	内スキャナーや く、精度的にも ジタル技工の理 一つでではない MD/CAMシステム D/CAMシステム ーションとディス による3次元計算 キャナーを用いた る口腔内装置の	した修復物を製作する基本的な 歯科用CAD/CAM・AM技術を使 材料的にも安全安心で安定した 論と知識を学習するとともに, 一ションすることによりその知 ムの応用や現状について習得す ふの種類と特徴についてプレゼンテ 、の種類と特徴についてグループ スカッションを行ない知識習得を 別について(スキャニング)(講義) こ三次元計測について仕組み、が 設計について(講義)	知識技術を養う。 正用することによって,取り扱う材料に修復物の製作ができるようになってきシステム専用ソフトの操作,取扱いに識を深める。また、様々な材料を使用る。ションとディスカッション(講義)	
	45678	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	クラン D/CAMシステム た内容についてつる AMによる加工方 Mによる切削加い ナるアディティブ・マ も注目されている おける使用状況の Mシステムで製作 Mシステムで製作 Mシステムで製作	なで使用する口腔内装置の製作をプレゼンテーションとディスカッ法と特徴いついて(講義) 正法の種類と特徴について知識をアニュファクチャリング(AM)技術の る三次元積層造形法(アディティの把握と現在、使用できる材料にした装置の特徴について(講義) なで製作した各種修復物の特徴にはした装置の臨床応用について(記	応用(講義) (ブ・マニュファクチャリング) であるこついて知識習得を深める。 ○ついて知識習得を深める。 ○ついて知識習得を深める。	
		歯科用CA る。	D/CAMシステム	で製作した各種修復物の臨床で	の使用状況について知識習得を深め	
授業の到達目標	2) 模型代 3) CAD(4) CAD/ 5) CAM(6) AM技 7) CAD/	P口腔内のスキ こよる口腔内装 CAMに使用す こよる口腔内装 術による口腔I CAMシステム		できる。 できる。 きる。 できる。		
成績評価の方法	評価の比率	図は,単位試験	80%, 小テス	を行い,総合評価する。 ト20%とする。 提出物については返却時にコメ	ント記入する。	
授業外で行うべき 学修		授業前に前回の授業についての小テストを行うので、約60分は復習をしておいて下さい。 授業前の予習(プレゼンテーション)は約60分は行い、範囲については授業中に指示します。				
使用テキスト			で下記を使用。 CAMテクノロジ-	—」医歯薬出版 ISBN:978-4-		

	・授業中の配布資料を主に用いる。
参考資料	 ・「歯科用CAD/CAM ハンドブック ~CAD/CAM基礎知識から材料特製まで~」 I ~ V 山本貴金属地金 ・「補綴臨床別冊 最新CAD/CAM歯冠修復治療」 シエン社 ・最新デジタルデンティストリー 医歯薬出版2018 ・汎用CADによるデンタルデザイン クインテッセンス出版2016 ・臨床技工材料の本 医歯薬出版2012
受講生への要望等	講義の進捗によっては日程順序等の変更を行なうことがある。 デジタル加工技術を応用した歯科技工技術は、今後さらに拡大していきます。また、急速に進歩している技術 でもあり、各種学会、デンタルショーへの参加やインターネット等、常に向上心を持って学習するように心掛 けてください。
授業の質問対応、 連絡先	Mellyにて質疑応答 別途、必要であれば研究室まで。

講義科目名称: 電磁波応用技工学 授業コード: 2K207

英文科目名称: Electromagnetic Waves in Dental Technology						
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		第2学年	1	必修(工学)		
担当教員						
柿本 和俊						
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31503				4 ○ E1 ◎ E3 ○	歯科医師	
授業の概要と方法	歯科医療においては従来の放射線だけではなく光やレーザーといった電磁波の利用が進んでいる。歯科技工においても同様で、電磁波の利用が拡大しており、それぞれ電磁波の歯科技工での利用法や歯科医療の利用についての知識が重要である。					

この科目では、放射線での鋳造欠陥の検査、光でのレジン重合、レーザーでの三次元形態計測や加工につい て、原理と歯科技工での応用を講義によって学習する。さらに、これらの電磁波の歯科治療における利用の概 略を学習する。

授業計画

1

- 【講義】電磁波の分類、電磁波の単位、電磁波の発生、エックス線の性質と作用
 - ・電磁波とは
 - ・電磁波の分類
 - ・電磁波の単位
 - ・電磁波の発生
 - ・エックス線の性質と作用
- 【講義】エックス線の人体への影響, エックス線防護, エックス線画像の形成原理 2
 - ・エックス線の人体への影響
 - ・エックス線防護
 - ・エックス線画像の形成原理
- 【講義】口内法エックス線写真とパノラマエックス線写真の概要,エックス線の正常と異常所見 3
 - ・口内法撮影の種類
 - ・デンタルエックス線画像の正常像と異常像
 - ・パノラマエックス線画像の正常像と異常像
- 【講義】CTとMRの基礎とエックス線による技工物の検査法 4
 - ・CTの基礎と画像
 - ・MRIの基礎と画像
 - ・エックス線による技工物の検査法
- 【講義】抵抗スポット溶接の原理と応用、光重合法 5
 - ・抵抗スポット溶接の原理
 - ・抵抗スポット溶接の応用
 - 光重合法の原理
 - ・光重合法の歯科技工への応用
 - ・光重合法の歯科治療への応用
- 【講義】レーザーの原理と利用 6
 - ・レーザーの発振原理
 - ・レーザーの性質
 - ・レーザーの利用
 - ・レーサーの医療での応用
- 【講義】歯科治療でのレーザーの応用
 - ・レーザによる歯の切削
 - ・レーザによる軟組織の処置
 - ・レーザーの切開と電気メス
 - ・レーザによる検査法
 - ・レーザーの防護

【講義】レーザー加工法 8

- ・三次元スキャナ
- ・レーザー溶接法

	・レーザー積層造形			
	・レーザーによるその他の加工法			
授業の到達目標	1) 放射線の生物学的影響を理解し、放射線防護を概説できる。 2) エックス線画像の形成原理を概説できる。 3) 口内法エックス線写真とパノラマエックス線写真のエックス線解剖の概要を説明できる。 4) 基本的な病変像のエックス線所見を概説できる。 5) エックス線による技工装置の検査を説明できる。 6) 抵抗スポット溶接を説明できる。 7) 光重合法を説明できる。 8) レーザーの原理を説明できる。 9) 三次元スキャナを説明できる。			
成績評価の方法	課題レポートの提出と科目試験を行い、総合的に評価する。 評価の比率は、科目試験 60%、レポート 40%とする。			
授業外で行うべき 学修	授業前に前回の授業についてのレポートを提出してもらいます。(最終回の授業については、1週後とします。)レポートの作成には30分程度が必要です。 授業前の予習については授業中に指示します。			
使用テキスト	講義中に適宜資料を配布します。			
参考資料	「歯科放射線学」岡崎友宏ほか、医歯薬出版、2018年、ISBN978-4-263-45812-9 「歯科技工・補綴パラダイムシフト レーザー溶接入門」都賀谷紀宏、医歯薬出版、2008年、 ISBN978-4-263-46206-5 「CAD/CAMデンタルテクノロジー」日本歯科CAD/CAM学会・全国歯科技工士教育協議会監修、医歯薬出版、2012年、ISBN978-4-263-43349-2 「基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー」日本デジタル歯科学会・全国歯科技工士教育協議会、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43362-1			
受講生への要望等	放射線をを応用したCTやMRI、光、特にレーザーを用いた歯科治療や歯科技工などの発展は目覚ましいです。日常生活にもレーザーは広く利用されているので、一般的な応用についても目を向けてください。			
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。			

講義科目名称: 口腔デジタル技工学実習 授業コード: 3K101

英文科目名称: Digitalized Dental Technology Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
前期	第3学年	2	必修(工学)				
担当教員	担当教員						
樋口 鎮央、山木 康充、吉次 範博	樋口 鎮央、山木 康充、吉次 範博						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
31504			E1 ○ E3 ◎	歯科技工士			

授業の概要と方法

学生が実習を通じてCAD/CAM操作と設計能力を養うことにより、種々の修復物が製作できる知識、技術力を養う。近年、歯科用CAD/CAM装置は自費のみならず保健技工にも適用されるようになり、その使用頻度は今後、益々増加傾向である。本実習においては歯科用CAD/CAMシステムを理解し、設計能力の高い技工士として広く活躍できる人材を育成したい。本実習ではCAD/CAMシステムにおけるデジタル技術知識を習得し、生体適合性が高く、精度の高い高品質な修復物を設計製作出来る

そして、切削加工機、積層造形機を扱え、各症例に適した精度の高い修復物製作をするために応用ができる人 材を育成する。

授業計画

1-6

歯科用主要CADを用いてクラウン(CAD/CAM冠~ジルコニア)の設計。(実習)

CAD操作による各種修復物設計および加工の実習をメインとする。

スキャナーの操作方法の習得

CADソフトの内容把握

CADソフトの操作方法の習得

加工できる修復物の必要要件を把握し、設計を行なう。

支台歯の状態を把握し、その状態によってのパラメータ調整方法を習得。

各修復物の完成工程のある物については審美修復およびインプラント実習の中で行なう。

7-10 歯科用主要CADを用いてブリッジ&築盛用フレームの設計。(実習)

CADソフトを用いてブリッジ&築盛用フレームの設計を行なう。

ブリッジおよび築盛用フレームの必要要件を把握する。

11-16 歯科用主要CADを用いてパーシャルフレーム設計。(実習)

CADソフトを用いてパーシャルフレーム設計を行なう。

パーシャルフレームの必要要件を把握し操作方法を習得。

樹脂にて造形を行ない、模型上にて適合状態の確認を行なう。

17-20 歯科用主要CADを用いてインプラント上部構造の設計。(実習)

CADソフトを用いてインプラント上部構造の設計を行なう。

インプラント上部構造に必要な要件を把握。

インプラントカスタムアバットメントおよび、ジルコニアフレーム、モノリシックジルコニア

21-24 ICTを活用した口腔内スキャナーデータから模型設計。(実習)

ICTを活用した口腔内スキャナーのデータ~模型設計を行うまでの一連の設計方法の習得。

口腔内スキャナーのデータの取り込み方法および、変換方法を習得。

積層造形機の操作方法を習得。

造形、洗浄、重合、仕上げ、までの操作方法を習得。

積層造形機を用いて樹脂模型の造形を行なう。

合わせて石膏ブロックによる削り出しも行なう。

25-26 ICTを活用した口腔内スキャナーデータから各種修復物の設計。(実習)

ICTを活用した口腔内スキャナーのデータ〜修復物設計を行うまでの一連の設計方法の習得。 CADソフトでの設計操作を習得。

各種修復物の必要要件を把握し設計を行なう。

27-28 切削加工機を用いて各種修復物に適した加工を行なう。(実習)

切削加工機を用いて各種修復物の適した加工を行なう。

切削加工機の取り扱い操作方法を習得。

各種修復物の必要要件を把握し、加工を行なう。

CAM操作の習得および加工、取り出し、後処理、ジルコニアの場合は最終焼成までの一連の操作を習得。

テンポラリー用ディスク、CAD/CAM冠、ジルコニアフレーム、ジルコニアモノリシック

	クラウンなどを各材料ブロックおよびディスクより加工する。 29-30 積層造形機を用いて個人トレー、各種模型、各種修復物の鋳造用原型の作製をする。(実習) 積層造形機を用いて個人トレー、各種模型、各種修復物の鋳造用原型の作製をする。 積層造形機の操作方法を習得。 各種造形物の必要要件を把握し、造形を行なう。 造形、洗浄、重合、仕上げまでの一連の操作を習得。 サージカルガイドの造形も試用する。
授業の到達目標	 ① 三次元計測装置の適切な取扱い操作できる。 ② 歯科用主要CADを用いてクラウンの設計ができる。 ③ 歯科用主要CADを用いてブリッジ&築盛用フレームの設計ができる。 ④ 歯科用主要CADを用いてパーシャルフレーム設計ができる。 ⑤ 歯科用主要CADを用いてインプラント上部構造の設計ができる。 ⑥ ICTを活用した口腔内スキャナーデーターから模型設計ができる。 ⑦ ICTを活用した口腔内スキャナーデーターから各種修復物の設計ができる。 ⑨ 切削加工機を用いて各種修復物の適した加工機の操作ができる。 ⑨ 積層造形機を用いて個人トレー、各種模型、各種修復物の鋳造用原型を作製できる。 クラウン模型においてはグループワークを行ない、プレゼンテーションおよび、ディスカッションを行なう。
成績評価の方法	実習製作による各種修復物を提出物にて評価0.8 レポートの提出0.2
授業外で行うべき 学修	各日程で行なう予定の内容についてテキストのCADおよびCAM操作内容を3Shapeマニュアルより事前に確認しておく事。(別途、配布予定)各日程の終了後、操作手順、設定値について考察をレポートして次回の授業時に提出する。
使用テキスト	「3 Shape操作マニュアル」 3 Shape社 「はじめての歯科用CAD exocadを用いた操作・設計ガイド」医歯薬出版 ISBN:978-4-263-46141-9 ・随時、配布資料
参考資料	・基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー/日本デジタル歯科学会・全国歯科技工士教育協議会 ・一週間で分かるパーシャルデンチャー上・下・新/医歯薬出(株) ・初めての歯科用CAD 医歯薬出版2018
受講生への要望等	実習の進捗によっては実習時間の延長もある。器材、日程により実習順序等の変更を行なうことがある。CAD操作および各設定値については症例毎により異なるため、作製したデータについては随時記録しておき、将来へのIT化への布石とする。 デジタル機器については進捗が早いため、デンタルショーや歯科雑誌、インターネット等、各方面より情報収集を行なう。
授業の質問対応、 連絡先	Mellyにて質疑応答 別途、必要あれば研究室まで。

講義科目名称: 歯科保健指導論 授業コード: 1H205

英文科目名称: Oral Health Instruction

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		第1学年	1	必修(保健)			
担当教員	旦当教員						
前岨 亜優子、髙田橋	美幸、下川 耈	凑子					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31601		1 O H1 ©			歯科衛生士		
授業の概要と方法	識と基本的が解することが 演習時にはは クを用い評価	導とは何かを理解し、歯科保健指導を実施するうえで基礎知識となる口腔清掃用具と指数の基礎的な使用方法を理解し、対象者と関わっていくうえで最も重要となるコミュニケーションの基本を理を目的とする。 think pair share、グループディスカッションといったアクティブラーニングを取り入れルーブリ価する。 的な操作方法の確認には動画やライブ映像を活用することで、理解を深める。					
授業計画	2	【講義】健康について、歯科衛生士の役割について、歯科保健指導について理解する 概説の合間に各自で考えたことをクラスメイトと共有(think pair share)することで、 共有する 【講義】歯ブラシの基礎1 口腔清掃用具の意義を理解する。					
	4	【講義・演習】歯ブラシの基礎3 歯ブラシの為害作用について理解し、歯肉の正常と異常を見るという意識をもつ必要性を理解する					
	6	【講義・演習】歯ブラシの基礎 確認演習 歯ブラシの基本的な使用方法を理解し提示できるかを確認する 【講義・演習】コミュニケーション1					
	7	医療面接、問診について、概要を理解する。グループワークを含めながら理解する 【講義・演習】コミュニケーション2 医療面接、問診について、ロールプレイを実施して技能を習得する 【講義】指数について理解する					
授業の到達目標	口腔内の汚れの程度を表す指標について学習する 1、歯科保健指導の社会的役割について理解できる 2、4年間の歯科保健指導講義・実習の概要を理解し、実習に使用する物品の名称と用途を理解できる 3、歯・口腔の付着物・沈着物について理解し、それらを除去する目的について考えることができる 4、各種口腔清掃法、様々な歯ブラシの特徴、歯磨き時の注意点を理解できる 5、代表的な口腔清掃方法を提示できるまで理解できたかを確認できる 6、患者とのコミュニケーションの必要性を理解できる 7、患者とのコミュニケーション技法の要点を理解できる 8、口腔清掃状態を表す指数を理解できる						
成績評価の方法	試験(実技記	含む)90%、受詞	講態度・提出物10	0%、から総合評価。提出物	別は返却時にコメントする。		
授業外で行うべき 学修	指定された	課題を実施して毎	9回受講すること	。復習は30分以上行ってか	ら受講することが望ましい。		
使用テキスト	最新歯科衛星	生士教本 歯科子	予防処置論・歯科	保健指導論(医歯薬出版)			
参考資料	デンタルハイジーン別冊 セルフケアの本 (医歯薬出版) 別冊歯科衛生士 信頼がうまれる患者対応の技術 歯科医院のための医療面接スタートガイド (クインテッセンス)						
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。 講義および実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できない。 全回出席すること。						

	欠席者は講義·実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。
	配布資料は全てファイリングする。
	講義・実習記録は毎回提出すること。
	講義最終回にファイル提出あり。
	スマートフォンおよび携帯電話等の持ち込み不可。
授業の質問対応、	メリーまたは教員室にて受け付けます。
連絡先	

講義科目名称: 歯科保健指導実習 I 授業コード: 1H206

英文科目名称: Oral Health Instruction Practice 1

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		第1学年	1	必修(保健)		
担当教員		17.2-3		TO TO TOTAL		
前岨 亜優子、大西 愛	、尾形 祐己、	寺島 雅子、髙田	橋 美幸、下川 泰-			
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31602		1 O H1 ©			歯科衛生士	
授業の概要と方法	するための 部位に対す 法を習得す を自分自身 演習時には	の科目では歯科保健指導論に続き、口腔清掃を補助する用具について学び、また、患者の疾患リス るための指数について講義を通して理解する。実習においては、スクラビング法による歯垢清掃、立に対する歯間清掃用具の使用方法をマネキン実習、相互実習の順に実施することで一般的な歯匠を習得すること、一口腔を専門職として清掃することの意義、難しさに気づき、清掃により得られ自分自身が体得することを目的とする。 習時にはthink pair share、グループディスカッションなどのアクティブラーニングを取り入れル用い評価する。				
	2-4	【講義・演習】	ょど教科書に沿っ 歯ブラシ以外の消			
	5-6			春剤・洗口剤・歯垢染色方法実 即を変えるでは、できます。 である。	_	
	7-8			(情報収集・関係図作成) 5をグループディスカッションを	通じて学ぶ	
	9-10	【実習】歯科衛生過程2(相互実習1回目) 患者を診るために必要な考え方を実際の口腔内に適用することで学ぶ・模擬患者を対象に歯垢染色手順を実践し、歯ブラシでの歯垢清掃をする				
	13-14	【実習】歯科衛生過程3(相互実習2回目) 患者を診るために必要な考え方を実際の口腔内に適用することで学ぶ ・模擬患者を対象にSOの情報収集を行い、歯ブラシと歯ブラシ以外の清掃用具でする 【実習】歯科衛生過程4(相互実習3回目) 患者を診るために必要な考え方を実際の口腔内に適用することで学ぶ ・模擬患者を対象にSOから考えた患者に適した歯垢清掃方法指導を実践する				
	15		∜明・学習の整理 内容を整理し、知	記識及びスキルの確認を行う		
授業の到達目標	1口腔清掃状態を評価する指数を理解する 2-4補助的清掃用具の使用目的と使用方法について理解できる。 5歯磨剤、洗口剤、歯垢染色剤の用途、使用方法、特徴を理解できる。 6歯垢染色・歯口清掃法を実践できる(マネキン) 7-8歯科衛生過程の基礎(SO情報収集)を理解できる。 9-10実際に口腔を観察し歯垢染色し、SOに沿って情報収集を実施できる。 11-12_相互実習にて患者役の口腔内を観察し、歯ブラシで歯垢清掃を実施できる。 13-14_SO情報を収集し、歯ブラシと歯間清掃用具を用いることで100%プラークを除去できる 15知識と技術を復習し、患者対応の基本を実施することができる					
成績評価の方法	試験(実技	含む) 90%、提出	出物(10%)、受	受講態度にて総合評価。提出物は	返却時にコメントする。	
授業外で行うべき 学修	指定された	課題を実施して毎	回受講すること	。毎回30分以上の予習・復習をし	してから受講することが望まし	
使用テキスト	最新歯科衛	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論·歯科保健指導論(医歯薬出版)				
参考資料	最新歯科衛生士教本 口腔保健管理(医歯薬出版)					
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。					

	講義および実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できない。 全回出席すること。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出すること。 講義・実習記録は毎回提出すること。 講義最終回にファイル提出あり。
	スマートフォンおよび携帯電話の持ち込み不可。
授業の質問対応、 連絡先	メリーまたは教員室にて受け付けます。

講義科目名称: 歯科保健指導実習 II 授業コード: 2H301

英文科目名称: Oral Health Instruction Practice 2

英文科目名称: (Oral Health	Instruction (Practice 2				
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期・後期		第2学年	年 2 必修(保健)				
担当教員							
前岨 亜優子、大西 愛	之、尾形 祐己、	、寺島 雅子、髙	田橋 美幸、下川 氡	 長子			
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31603		2 O 5 © H	3 🔾		歯科衛生士		
授業の概要と方法	じた歯科衛 演習ではグ 第2学年後	生教育指導がで ループディスカ 期では対象者の	きることを目的。 ッションを重ね、 ライフステージ(とする。 PDCAサイクルを実践する	テージごとの対象者を把握し対象者に応 5アクティブラーニングを行う。 いて学び、歯科衛生過程をグループディ ことを目的とする。		
授業計画	1-2	・健康教育の ・健康教育の ・健康教育の ・幼児を対象	象としたチャート	。 ∵ついて知る :(第1次)を作成する			
	3-4	【演習】教育活動実習3.4 ・健康教育に用いる教育媒体(第1次)を評価する ・第1次媒体を元に第2次媒体を作成する					
	5-6	【演習】教育活動実習5.6 ・健康教育に用いる教育媒体(第2次)を評価する ・小学校3年生に特化した対象把握を行う					
	7	【講義】教育活動実習7 教員によるデモ ・小学校3年生を対象にフランネルグラフ媒体を活用した集団歯科保健指導の概要を理解する					
	8	【講義・演習】教育活動実習8 試験前最終確認 ・小学校の児童を対象とした集団ブラッシング指導時の注意点を理解する ・原稿試験に向けた練習を実施する					
	9-10	【講義・演習】教育活動実習9.10 序盤原稿試験(午前・午後のどちらか指定された時間に実施) 原稿試験1を実施する					
	11-12	【講義・演習】教育活動実習11.12 中盤原稿試験(午前・午後のどちらか指定された時間に実施)原稿試験2を実施する					
	13-14	【講義・演習】教育活動実習13.14 終盤原稿試験(午前・午後のどちらか指定された時間に実施)原稿試験3を実施する					
	15-補	【講義・演習 15.学生代表 指導案を 現場で実証	 】教育活動実習 によるデモを見	・・・・ 学し実践上の注意を考える 『習を行う			
	16-18	成人用チー 【 講義・演習 16グ 成	ァートについて !]ライフステージ別 ループに分かれ、	歯科保健指導1.2.3	D特徴を整理し、グループごとに資料を作 人期・老年期)		
	19-24	【講義・演習 1年生との合 19-20_代表 21-23_歯科	】 歯科衛生過程 に同実習に向けて、 的な歯周病症例。 衛生過程情報の	1-6 、自分の担当患者について 患者の歯科衛生過程展開方	歯科衛生過程を展開できるようになる 去について		

	25 【講義・演習】フロス再考一効果的な使用法について一
	2回目合同実習に向けて、補助的清掃用具の使用方法と清掃効率について再考する
	26-29 【講義・演習】対象者に応じた口腔ケア1-4
	・補綴物周辺の清掃実習(ブリッジ)
	・インプラント周辺の清掃実習
	・高齢者の口腔ケア実習
	・義歯清掃実習(義歯着脱含む) ・歯周病患者の口腔ケア実習
	・矯正装置装着患者の清掃実習
	・幼児の寝かせ磨き実習
	・小児の口腔ケア実習
	30-補 【 講義·演習】母子保健1-2
	・母子手帳(1か月頃~5歳の頃)から乳幼児の成長発達段階を理解する
	・乳幼児対象の歯科保健指導を理解する
	・市町村保健センターにおける乳幼児健診の概要について理解する
	・う蝕罹患型について理解する
授業の到達目標	実習生として、対象者に合わせた対応を修得するための取り組みができる。
	小学校3年生を対象とした歯科保健指導の要点を理解できる。 小集団を対象に授業を行う際の注意点を理解できる。
	方条団を対象に投棄を行う際の注意点を理解できる。 自ら仲間と協働し、授業を作り上げるための連携ができる。
	コンドドロンの 日本 ロード・フェイン のための ときがっている。
	ライフステージごとの口腔健康管理の方法を理解できる
	歯科衛生過程の展開方法を理解できる
	3年次の臨地実習で行う幼児健診での実践内容を理解する
成績評価の方法	試験 (90%) 、授業態度及び提出物(10%)
	提出物については返却時にコメントをする。
授業外で行うべき	社会人の基本的なマナーを修得する。
学修 	予習復習をそれぞれ30分以上行って受講することが望ましい。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)
参考資料	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学(医歯薬出版)
	コミュニケーション検定 初級対策テキスト(ウイネット) 『インタラクティブ・ティーチング アクティブ・ラーニングを促す授業づくり』(河合出版,栗田佳代子)
	電インタンファイン・ティーテンシーテンティン・フーニンフを促す30米フトラ』(四日山版,米田住下)
	歯科口腔保健の推進に向けてライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック(医歯薬出版)
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。
	講義および実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できない。
	全回出席すること。
	欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。
	配布資料は全てファイリングする。
	講義・実習記録は毎回提出すること。 講義最終回にファイル提出あり。
	講義最終回にファイル徒山のり。 スマートフォンおよび携帯電話の持ち込み不可。
	教員室またはメリーにて対応します
連絡先	が発生などのグラーにて分別のであっ

講義科目名称: 歯科保健指導実習Ⅲ 授業コード: 3H301

英文科目名称: Oral Health Instruction Practice 3

英文科目名称:(Oral Health	Instruction P	ractice 3				
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期・後期	前期・後期		第3学年 2 必修(保健)				
担当教員							
前岨 亜優子、大西 愛	&、尾形 祐己、	寺島 雅子、髙田	3橋 美幸、北垣 起	5麻、山下 政代、臼本 鏡子			
———— 科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する		科目に関連する実務経験			
31604		2 O 5 O H1	. O		歯科衛生士		
授業の概要と方法	有病者を対グループ毎	象とした対象者別にプレゼンテーシ	別の歯科保健指導 ションの方法を3	導ができる能力を身につけるこ ディスカッションし、相手の理	解を促すような「伝える方法」を考		
	1 - 1 - 1		_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	とで対象者の問題に主体的に取	り組む安勢を身につける。		
授業計画	3-10	1.臨地実習 II 2.保育所集団	(保健センター 指導実習の演習		見覚支援学校実習)の詳細を理解する 学校実習		
		3-4 小学校集団指導演習・歯科検診補助演習 5-6 保育所イオン導入法実習及び集団指導演習(デモ) 7-8 小中学校歯科検診補助(実技試験)及び集団指導演習 9-10 小学校マウスピース法実習及び集団指導演習(デモ)					
12-補 16-19 20-23	12-補	【講義・演習】現場における口腔保健教育活動 支援が必要な方を対象とした実習 11-12 障がいについて理解する 視覚障がい者に対する歯科保健指導の演習を行う(アイマスク体験) 13-14 覚障がい者に対する歯科保健指導の演習を行う(症例分析) 15-補 視覚障がい者に対する歯科保健指導を報告する					
	16-19	バイタルチェ 高齢者の状態 自助具作成演	ツク演習 把握	:した 歯科保健指導 基礎1~4 の移乗演習	ļ		
	20-23	摂食嚥下のメ 口腔機能低下	カニズム 症の評価 を確認する食事	: した歯科保健指導 基礎5~8 介助演習	3		
	24-27	口腔ケアの概 短期目標と長 口腔ケアの手	l念 期目標という考 順について トを活用した演		~4		
	28-補	口腔機能評価 口腔機能の理	演習	象とした歯科保健指導 演習5 く ついて理解する	~8		
授業の到達目標	保育所、小学校 1小中学校	幼稚園児に対する . 2. 3年生に対 における集団歯科	る集団歯科保健排 対するブラッシン 科検診補助の方法	よび3歳児に対する歯科健康診 指導の方法を理解できる いグ指導の方法を理解できる 法を理解できる リシング指導を実践できる	 査の流れについて理解できる		

・高齢者・要介護者に対するアセスメントの方法を理解できる

	・高齢者・要介護者に対する口腔ケアの方法を理解できる
成績評価の方法	・実技試験(10%) ・筆記試験(90%)前期後期の内容をまとめて後期に実施する
授業外で行うべき 学修	社会人としての基本的なマナーの修得。30分以上の復習をして受講することが望ましい。
使用テキスト	歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 歯科衛生士のための口腔介護実践マニュアル(メディカ出版)
参考資料	歯科衛生士教育サブテキスト 臨地実習ハンドブック(クインテッセンス) 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み1保健生態学(医歯薬出版)
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。 講義および実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できない。 全回出席すること。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出すること。 講義最終回にファイル提出あり。
授業の質問対応、 連絡先	随時教員室またはメリーにて対応します

講義科目名称: 歯科保健指導実習Ⅳ 授業コード: 4H101

英文科目名称: Oral Health Instruction Practice 4

	I					
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
前期	第4学年	1	必修(保健)			
担当教員						
前岨 亜優子、尾形 祐己、寺島 雅子、下川 泰子、山下 政代、臼本 鏡子						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31605	2 ○ H1 ○ H2 ◎			歯科衛生士		

科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31605		2 O H1 O H2 ©		歯科衛生士		
授業の概要と方法	患者の口腔的とする。	空健康管理ができるために、口	腔状態に応じた処置と症状の変	化についての流れを理解することを目		
授業計画	1	【講義・演習】歯科衛生士	の介入事例①歯周病			
		歯周病患者への歯科衛生	Lの一般的な介入を症例を通じ核	剣する		
		グループディスカッション	ンを実施する			
	2-3	【講義・演習】歯科衛生士	の介入事例②歯肉炎・う蝕			
		妊産婦・乳幼児を中心には	歯肉炎患者・う蝕症患者への歯科	¥衛生士の一般的な介入を症例を通じ検		
		討する				
		グループディスカッション				
	4-5	【講義・演習】歯科衛生士	:の介入事例③喫煙患者の特徴	(・デンタル・パノラマ読影		
		喫煙患者で口腔内に問題点がある症例を歯科衛生士の一般的な介入を症例を通じ検討する				
		グループディスカッション				
		歯周病患者の特徴的なデンタル・パノラマを読影し問題点と治癒過程を症例を通じ検討する グループディスカッションを実施する				
	6.7		▽で美元9~3 : の介入事例④高齢者・有病者 ・	ターミナルの思わり		
	6-7			- メース かめ 属わり E士の一般的な介入を症例を通じ検討す		
		同断句・行例句の口腔内の	プロ起点に対する症例で断件第3	三上の 放射な月人を延物を通り換割す		
		ターミナル期の症例への歯科衛生士の介入を症例を通じ検討する				
		グループディスカッションを実施する				
	8-9	【講義・演習】歯科衛生士	の介入事例⑤生活習慣病・糖	尿病症例で検討		
		生活習慣病患者・特に糖尿病患者の口腔内の問題点に関する症例を歯科衛生士の一般的な介入る症例を通じ検討する				
		グループディスカッション	ンを実施する ア			
	10	【講義・演習】歯科衛生士	:の介入事例⑥			
		脳梗塞・障がい者の口腔区	内の問題点に関する症例を歯科律	衛生士の介入症例を通じ検討する		
		グループディスカッションを実施する				
	11	【講義・演習】歯科衛生士	の介入事例⑦ガン退院後の開業	業医での関わり		
		ガン退院後の患者さんが開	業医を受診した際の歯科衛生	_の介入症例を通じ検討する		
		グループディスカッション	ンを実施する			
	12-13	【講義∙演習】歯科衛生士	の介入事例⑧がん患者周術期	1		
		ガン入院中の歯科衛生士の	Dかかわりについて歯科衛生士の)介入症例を通じ検討する①		
		グループディスカッション	ンを実施する			
	14-15	【講義•演習】歯科衛生士	の介入事例⑨がん患者周術期	2		
		ガン入院中の歯科衛生士の	Dかかわりについて歯科衛生士 <i>0</i>)介入症例を通じ検討する②		
		グループディスカッション	ンを実施する アル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
授業の到達目標	・乳幼児ヤ ・喫煙患者 ・高齢者・	者の症状と一般的な歯科衛生士 ・障がい者の口腔健康管理の注	一般的な歯科衛生士の介入の流 の介入の流れを理解する 意点を理解する	れを理解する		
	・生活習慣	貫病(特に糖尿病)患者の口腔	健康管理の注意点を理解する			

- ・生活習慣病(特に糖尿病)患者の口腔健康管理の注意点を理解する
- ・脳梗塞患者への歯科衛生士の介入の流れを理解する
- ・障がいをもつ患者の口腔健康管理の注意点を理解する
- ・がん患者の周術期口腔健康管理の注意点を理解する

	・ガン退院後開業医を受診された患者への歯科衛生士の関わりを理解する			
成績評価の方法	筆記試験90%、受講態度と提出物10%			
授業外で行うべき 学修	臨床実習 I と II で学んだこと、これから学ぶこととを、本講義の内容と連結させ、卒業後に生かせるよう予習と復習を30分以上行う。			
使用テキスト	歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)			
参考資料	歯科衛生士のための病院における医科歯科連携・口腔機能管理マニュアル (医歯薬出版) 事例でわかる歯科衛生過程 (全国歯科衛生士教育協議会)			
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。 講義及び実習準備物に不足がある場合・課題未提出の場合は受講できない。 全回出席する。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義までに補講・追実習を受ける。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出する。 講義最終回にファイル提出あり。			
授業の質問対応、 連絡先	メリーまたは教員室にて対応します。			

講義科目名称: 歯科診療補助論 I 授業コード: 1H207

英文科目名称: Dental Assisting 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
後期	第1学年	1	必修(保健)			
担当教員						
頭山 高子、尾形 祐己、寺島 雅子						
斗目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する実務経験						
31606	1 O H1 ©			歯科衛生士		

授業の概要と方法

歯科衛生士の三大業務の一つとして歯科診療補助がある。歯科衛生士の業務に歯科診療補助が加えられたのは昭和30年のことである。歯科診療の補助とは、歯科診療を効率よく円滑に進めるために歯科医師の補助者の立場で行う業務である。第1学年ではスタンダートプリコーションの概念に基づく感染防止対策、器具・器材の消毒・滅菌法、歯科材料の管理、および医療廃棄物の取り扱いなど、歯科診療全般にわたる基礎知識を学ぶ。安全な医療の提供者になるための基礎知識の習得を目的とする。内容によってはマネキン実習室及びチェア実習室にて演習・実習を行う。

授業計画

1 歯科診療補助概論、医療安全

【講義】

- ・ 歯科衛牛十の3大業務
- ・歯科衛生士の独占業務について

2 歯科診療室の基礎知識、チェア各部の名称

【講義】

- ・歯科診療室の構造と設備
- ・歯科診療室における受診の流れ
- ・歯科用ユニットの名称と機能

3 ポジショニング、バキュームテクニック

【講義】

- ・術者・患者・補助者のポジショニング
- ・診療時のライティング
- ・バキュームテクニック
- ・スリーウェイシリンジテクニック

4 **バキュームテクニック**

【演習】

- ・顎模型でバキュームテクニックを行う
- ・スリーウェイシリンジで顎模型の口腔内洗浄を行う

5 チェア実習室の使用ルールと滅菌物の取扱い

【講義】

- ・チェア実習室でのルールについて
- ・滅菌物の取扱いについて
- ・ごみの分別について

6 滅菌と消毒

【講義】【演習】

- ・滅菌法の種類と特徴
- ・消毒法の種類と用途、使用濃度
- ・消毒剤の希釈方法 (演習)
- ・洗浄について

7 手指消毒方法と綿球作り

【講義】【演習】

- ・手指消毒方法について
- ・手指消毒法を行い手洗いミスの起こりやすい部位を確認する
- ・綿球・オールワッテの作製

8・補講 患者誘導・チェアにおけるポジショニング実習

【実習】

	・チェア実習室にて相互で患者・術者・補助者となり患者誘導、チェアの取扱い実習を行						
	う 						
	・滅菌物の取扱い実習を行う						
授業の到達目標	1) 歯科診療補助の概要を理解できる.						
	2)共同動作の意味を理解できる.						
	3) 手指消毒を正しく行うことができる						
	4) チェアの各部分の名称がわかる						
	5)共同動作における術者と補助者の正しい位置と姿勢ができる						
	6) バキュームの使用目的を知り、操作できる						
	7)滅菌・消毒された器具・器材を適切に取り扱うことができる						
	8) 使用目的にあわせて, スリーウェイシリンジを操作することができる						
成績評価の方法	科目試験(100%)で評価するが、受講態度や提出物なども加味して評価する。						
授業外で行うべき	受講後にはレポート課題を出すので復習(約30分程度)しておくこと。						
学修	講義内容が実習に続いていきます。次回の実習内容を伝えるので、必ず復習しておくこと(約30分)。						
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論 第2版」 医歯薬出版						
	最新歯科衛生士教本 「歯科材料」 医歯薬出版						
	最新歯科衛生士教本 「歯科器機」 医歯薬出版						
参考資料	「歯科衛生士国家試験直前マスター歯科診療補助! キーワードで完ぺき!」歯科衛生士国試問題研究会(編)						
	医歯薬出版						
受講生への要望等	全回出席すること。						
	欠席者は講義担当者に申し出て次回講義および実習までに補講・追実習を受講すること。						
	講義および実習準備物に不足がある場合・指定された課題未修了の場合は受講できない。						
	配布資料は全てファイリングすること。						
	講義および実習記録は毎回提出すること。						
	講義・実習最終回にファイル提出すること。						
	スマートフォンおよび携帯電話などの持ち込みを不可とする。						
授業の質問対応、 連絡先	「melly」もしくは直接研究室に来てください。						

講義科目名称: 歯科診療補助実習 I 授業コード: 1H208

英文科目名称: Dental Assistance Practice 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
後期	第1学年	1	必修(保健)			
担当教員	担当教員					
頭山 高子、大西 愛、尾形 祐己、寺島 雅子、南部 智子						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31607	1 © H1 O			歯科衛生士		

授業の概要と方法

この科目では主要歯科材料の種類と取扱いについて理解することを目的とする。各種印象材・石膏においては種類・分類・用途について理解し、マネキン実習を通じて取り扱いの基本的技術を習得する。マネキン実習後に相互実習を行うことで、歯科診療補助論にて学んだ滅菌・消毒、感染防止法、診療チェア取扱い、患者誘導、患者配慮、ミラーテクニックを応用し、印象採得を実施する。各種合着材・接着材・仮封材においては種類と用途を理解し、取り扱いの注意点を理解したうえで、練和の演習を実施し、用途に適した硬さの材料を準備できる訓練を行う。

授業計画

1,2 器具の受け渡し実習

【実習】

- ・器具の受け渡しエリア、方法について学び実習する
- ・バキュームテクニックの相互実習

3,4 印象材の取扱い実習①

【講義】【実習】

- ・印象材の種類と分類
- ・印象材の性質
- ・アルジネート印象材の取扱い方法
- ・印象材を練和し、片顎用トレーに盛り印象採得を模型で行う

5,6 印象材の取り扱い実習②

【実習】

- ・片顎用トレーで模型の印象採得を行う
- ・下顎用トレーで模型の印象採得を行う
- ・上顎用トレーで模型の印象採得を行う

7,8 アルジネート印象採得練和チェック、模型材料の取り扱い

講義】【実習】

- ・印象材を練和し下顎用トレーに盛って術者役に手渡しする(実習)
- ・印象採得できる状態で手渡しできるかを確認する(実習)
- ・石膏の種類と用途について
- ・石膏の一般的性質について
- ・石膏の取扱い方法について
- ・石膏を印象体に注入する(実習)

9,10 印象採得相互実習①

【実習】

- ・片顎用トレーで印象採得を行う
- ・下顎用トレーで印象採得を行う

11,12 印象採得相互実習② 模型材料の取扱い

【実習】

- ・下顎用トレーで印象採得を行う
- ・上顎用トレーで印象採得を行う
- ・印象体に石膏を注入する

13,14 歯科用合着材・接着材の取扱い実習

【講義】【実習】

- ・合着材・接着材種類と使用目的・方法
- · 各種合着 · 接着材練和実習

15,16 仮封材の取扱い実習

【講義】【実習】

	・仮封の種類
	・仮封材の種類
	・仮封材の練和実習
 授業の到達目標	1) 各種印象材の種類と用途が理解できる.
汉朱沙邦连山脉	12) アルジネート印象材を正しく取り扱うことができる。
	3) 器具の種類に合わせた受け渡しができる.
	4) 歯科用石こうの種類と用途が理解できる
	5) 各種合着材・接着材の種類と用途を理解できる
	6) 各種合着材・接着材を正しく取り扱うことができる
	6) 各種仮封材の種類と用途を理解できる
	7)各種仮封材を正しく取り扱うことができる
成績評価の方法	試験(実技)にて100%評価する。
授業外で行うべき	実習後にはレポート課題を出すので、指定された課題を行うこと(約30分)。
学修	実習が続くので、前回に行った内容を授業前には復習しておくこと(約30分)。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論」 医歯薬出版
	最新歯科衛生士教本 「歯科材料」 医歯薬出版
参考資料	新歯科衛生士教本 「歯科材料の知識と取り扱い」 医歯薬出版
受講生への要望等	全回出席すること。
	欠席者は講義担当者に申し出て次回講義および実習までに補講・追実習を受講すること。
	講義および実習準備物に不足がある場合・指定された課題未修了の場合は受講できない。
	配布資料は全てファイリングすること。
	講義および実習記録は毎回提出すること。
	講義・実習最終回にファイル提出すること。
	スマートフォンおよび携帯電話などの持ち込みを不可とする。
授業の質問対応、	「melly」もしくは直接研究室に来てください。
連絡先	

講義科目名称: 崇科診療補助実習 II 授業コード: 2H302

英文科目名称: Dental Assistance Practice 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
用碘别间	100 100	単位数	村日必選区方		
前期・後期	第2学年	2	必修(保健)		
担当教員	担当教員				
頭山 高子、大西 愛、尾形 祐己、寺島 雅子、吉川 一志、辻 則正、緒方 智壽子、山内 伸浩、濱本 愛子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	i連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31608	1 O H1 ©			歯科衛生士	

授業の概要と方法

歯科衛生士は、各種治療がスムーズに進行するように術式を把握し、器材の使用目的及び、使用方法について理解しておく必要がある。さらに歯科医師と歯科衛生士は緊密な連携が不可欠であり、フォーハンドテクニックによるアシスタントワークができることが求められる。この科目では、前期・後期を通じて保存修復・歯内治療、歯周治療、口腔外科、小児歯科、矯正歯科、歯科放射線科の科目についての診療の流れを講義によって理解し、患者に術前術後の説明やアシスタントワークができる能力をつける。また実習では治療時に使用する器具の取扱いを理解する。

授業計画

1 歯科材料の取扱い実習

【実習】

- ・連合印象採得時の器具器材の取扱いについて実習する
- ・寒天印象材の取扱い方法について

2.3 ラバーダム防湿法模型実習

【講義】【実習】

- ・ラバーダム防湿法の目的
- ・ラバーダム防湿法に使用する器具の取扱い
- ・ラバーダム防湿の手順
- ・模型にラバーダム防湿を行う

4 歯周治療における歯科衛生士の役割①

【講義】

・歯周疾患の原因や病態について

5 · 6 連合印象採得相互実習

【実習】

・アルジネート印象材と寒天印象材で連合印象採得を相互で行う

7 歯周治療における歯科衛生士の役割②

【講義】

- ・治療計画の立案
- ・予防の重要性・必要性

8 保存修復学実習①

【実習】

- ・タッフルマイヤー型リテーナーの取扱い及び装着
- ・2級窩洞の覆髄・裏層

9 歯周治療における歯科衛生士の役割③

【講義】

・歯周基本治療の意義・目的・内容について

10 歯内治療におけるインスルメント実習①

【実習】

・根管治療に用いる器具・器材のスケッチ

11 **保存修復学実習②**

【実習】

- ・5級窩洞グラスアイオノマーセメント充填実習
- ・5級窩洞コンポジットレジン充填実習
- ・3級窩洞コンポジットレジン充填実習

12 歯周治療における歯科衛生士の役割④

【講義】

- 1		A DITTE OF A
		・根分岐部病変に対する処置
		・薬物療法の目的
:	15 /	Jーマーファイルの鑑別
		【実習】
		・根管治療に用いる器材の鑑別
1	補講 🏮	歯周病治療におけるインスルメント実習
		【実習】
		・歯周治療に用いる器具・器材のスケッチ
	16 4	各科で使用するインスルメントの取扱い
		・各科で使用するインスルメントの使用方法復習
	17~20 □	コ腔外科における器具の取扱いと歯科衛生士の役割
		・内科疾患を持つ患者の歯科治療時の注意点
		・普通抜歯時における歯科衛生士の役割と使用器具の取扱い
		・難抜歯時における歯科衛生士の役割と使用器具の取扱い ・小手術時における歯科衛生士の役割と使用器具の取扱い
		・滅菌グローブの着脱実習
		・カートリッジ注射器の取扱い実習
		・メスの取扱い実習
		・持針器の取扱い実習
- 1		
.	21~23 *	浦綴治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割
	21~23 ‡	i 綴治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割
-	21~23 *	【講義】【実習】
	21~23 	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い
4	21~23 *	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い
4	21~23 	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い
	21~23 *	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い
	21~23 *	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習
		【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習
		【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割
		【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割
		【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明
		【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割
		【講義】 【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ
		【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント
	24 · 25	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント ・手術時の準備・アシスタント
	24·25 1	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント ・手術時の準備・アシスタント ・外科器具のメインテナンス 「ツクス線撮影時の歯科衛生士の役割、口腔内写真撮影実習
	24·25 1	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント ・手術時の準備・アシスタント ・外科器具のメインテナンス 【ツクス線撮影時の歯科衛生士の役割、口腔内写真撮影実習 【実習】
	24·25 1	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント ・手術時の準備・アシスタント ・外科器具のメインテナンス 「ツクス線撮影時の歯科衛生士の役割、口腔内写真撮影実習
	24 · 25 1	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ププラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント ・手術時の準備・アシスタント ・外科器具のメインテナンス 【ツクス線撮影時の歯科衛生士の役割、口腔内写真撮影実習 【実習】 ・自動現像機の取扱い実習 ・口腔内写真撮影実習
	24 · 25 1	【講義】【実習】 ・クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・部分床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・シリコン印象材での印象採得実習 ・ディスペンサーの取扱い実習 ・咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い実習 (ンプラント治療時における器具の取扱いと歯科衛生士の役割 【講義】 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント ・手術時の準備・アシスタント ・外科器具のメインテナンス 【ツクス線撮影時の歯科衛生士の役割、口腔内写真撮影実習 【実習】 ・自動現像機の取扱い実習

・歯周治療の流れ ・歯周基本治療について ・歯周組織検査について

・歯周外科治手術時の補助のポイント

・歯周外科手術後の術後説明

・歯周外科の術式について 歯内治療におけるインスルメント実習②

歯周治療における歯科衛生士の役割⑤

・根管充填に用いる器具・器材のスケッチ

13

14

【実習】

【講義】

	・歯周パックの取扱い実習
	30・補講 小児歯科・障がい者歯科における歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
	(講義)
	・小児歯科における歯科衛生士の役割
	・コンポジットレジン冠修復時の手順と使用器具・器材
	・乳歯用既製冠修復時の手順と使用器具・器材
	・生活歯髄切断時の手順と使用器具・器材
	・特別な対応を必要とする患者対応について
授業の到達目標	1) 保存修復時の歯科診療補助を理解し,必要な器具・器材を準備できる.
	2) 歯内治療時の歯科診療補助を理解し,必要な器具・器材を準備できる.
	3) 歯周治療時の歯科診療補助を理解し,必要な器具材料を準備できる.
	4) 口腔外科治療時の歯科診療補助を理解し,必要な器具・器材を準備できる.
	5) 小児治療時の歯科診療補助を理解し,必要な器具・材料を準備できる.
	6) 矯正歯科治療時の歯科診療補助を理解し,必要な器具・材料を準備できる.
	7) 歯科放射線撮影時の撮影方法を理解し準備できる.
	8) 障がい者歯科における歯科診療補助を理解し必要な器具・材料を準備できる。
成績評価の方法	単位テストにて100%評価する。
授業外で行うべき	実習後にはレポート課題を出すので、指定された課題を行うこと(約30分)。
学修	実習が続くので、前回に行った内容を授業前には復習しておくこと(約30分)。
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論 第2版」 医歯薬出版
	最新歯科衛生士教本 「歯科材料」 医歯薬出版
	最新歯科衛生士教本 「歯科器機」 医歯薬出版
	毎回異なる教本(専門科目)の指示があるので準備すること
参考資料	臨床科目の教科書
受講生への要望等	全回出席すること。
	欠席者は講義担当者に申し出て次回講義までに補講を受講すること。
	配布資料は全てファイリングする。
	講義最終回にファイル提出あり。
授業の質問対応、	簡単な質問であれば「melly」で行ってください。それ以外は直接研究室を訪ねてきてください。
連絡先	

講義科目名称: 歯科診療補助実習Ⅲ 授業コード: 3H302

英文科目名称: Dental Assistance Practice 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
前期・後期	第3学年	2	必修(保健)			
担当教員	担当教員					
頭山 高子、大西 愛、尾形 祐己、寺島 雅子、辻 則正、石井 美和、南部 智子						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31609	1 0 2 0 H1 0			歩 科衛生十		

授業の概要と方法

臨床実習を行う中で歯科医師との連携やフォーハンドテクニックによるアシスタントワークができることが求められる。また各種治療がスムーズに進行するように術式を把握し、器材の使用目的及び、使用方法について理解しておく必要がある。各種の歯科材料や歯科器具を復習し歯科診療補助がスムーズにできるように研鑽する。

4年生で行う医科病院での実習で必要な周術期の患者に対する歯科衛生士の役割についても学ぶ。

授業計画

1、2 歯科矯正治療時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い

【講義】【演習】【実習】

- ・歯科矯正治療に必要な資料
- ・歯科矯正治療用材料の名称と取扱い
- ・歯科矯正治療時の衛生士の役割
 - ①バンドのセメント合着時
 - ②装置の除去時
 - ③ブラケットの装着時
- ・セパレーティングプライヤーの使用方法(演習)
- ・結紮時の手順および使用器具・器材(演習?
- ・各種プライヤーのスケッチ(実習)

3、4 各科で使用する器具の名称の確認試験と解説

【講義】

- ・2年次に課題として出題した器具の名称を試験する。
- ・試験後解説を行う

5、6 保存修復時、歯内治療時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い

【講義】

- ・コンポジットレジン充填時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・グラスアイオノマーセメント充填時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・歯髄保護時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・仮封時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・ラミネートベニア修復時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・ホワイトニング時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・抜髄時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・根管治療時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い
- ・根管充填時の歯科衛生士の役割と使用器具・器材の取扱い

7、8 歯科材料の取扱い実習

【実習】

- ・合着材の取扱い
- ・接着材の取扱い
- ・印象材の取扱い
- ・仮封材の取扱い
- ・仮着材の取扱い

9、10 **テンポラリークラウンの作製実習①**

【実習】

- ・既製冠を用いて製作する方法
- ・支台歯に直接レジンをもって製作する方法

11、12 連合印象採得相互実習

【実習】

	・アルジネート印象材と寒天印象材で連合印象採得を相互で行う 13~15 各種材料・器具の取扱い復習①
	・臨床実習時の困ったことを振り返り、各自のできない材料の取扱いを復習する
	16~19 各種材料・器具の取扱い復習②
	[実習]
	・臨床実習に戻るにあたって、各自のできない材料の取扱いを復習する
	20·21. チーム医療における歯科衛生士の取り組み
	【講義】
	・医療現場で求められるチーム医療
	・急性期病院における歯科衛生士の役割
	22・23. 周術期口腔機能管理における歯科衛生士の役割
	【講義】
	・周術期等口腔機能管理の目的・対象・システムについて
	・周術期等口腔機能管理、特にがん患者に対する歯科衛生士の役割
	24・25. テンポラリークラウンの作製実習②、仮封材の取扱い実習
	【実習】
	・既製冠を用いて製作し仮着する
	・余剰セメント除去実習 ・各種仮封材の取扱い
	26·27 歯内治療実習①
	【実習】 ・模型歯を使用して根管治療実習を行い、必要な器具・器材を確認する
	28・29 医科歯科連携病院における歯科衛生士の役割
	[演習]
	・
	・4年次に行く臨床病院の理念や地域での役割などをグループで調べる
	30·31. 歯内治療実習②
	【実習】
	・模型歯を使用して根管充填実習を行い、必要な器具・器材を確認する
授業の到達目標	1) 各種の歯科器具の名称及び使用目的が分かる。
	2) 各歯科治療に応じた器具及び材料の準備ができる。
	3) 周術期における歯科衛生士の役割りが理解できる。
	4) 概形印象採得ができる。
成績評価の方法	単位テストにて100%評価する。
授業外で行うべき 学修	各臨床科目の復習を行い、実習後には指定された課題を実施して受講すること。(30分以上)
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論 第2版」 医歯薬出版
	最新歯科衛生士教本 「歯科材料」 医歯薬出版
	最新歯科衛生士教本 「歯科器機」 医歯薬出版
	毎回異なる教本(専門科目)の指示があるので準備すること。
参考資料	臨床科目の教科書
受講生への要望等	全回出席すること。
	欠席者は講義担当者に申し出て次回講義までに補講を受講すること。
	提出物などを忘れた場合は追加課題をもらいに来ること。
	配布資料は全てファイリングし、講義最終回にファイル提出すること。
授業の質問対応、	少しの質問であれば授業用SNS「melly」を利用してください。それ以外は直接研究室に来てください。
連絡先	

講義科目名称: 歯科診療補助論 II 授業コード: 4H102

英文科目名称: Dental Assisting 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第4学年	1	必修(保健)		
担当教員					
頭山 高子、大西 愛、尾形 祐己、寺島 雅子、辻 則正、石井 美和、衣笠 瑞子					
科目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP			口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31610	1 ◎ H1 ○ H3 ○			歯科衛生士	

31610	1	◎ H1 () H3 ()		歯科衛生士		
授業の概要と方法		ージおよび各医療の現場の変遷 のケースを振り返り症例として	(健常期・急性期・回復期・維持 検討する。	期) への対応を臨床実習で体験		
授業計画	1-2	心疾患・脳血管・糖尿病への的 【講義】 ・心疾患患者への歯科衛生士の ・脳血管疾患患者への歯科衛生士の ・糖尿病患者への歯科衛生士の ラバーダム防湿(結紮法)実習	つかかわり E士のかかわり			
		【実習】 ・結紮法によるラバーダム防湿				
	5-6	医科歯科連携病院における歯 (講義) ・多職種連携のポイント ・患者とのコミュニケーション	,			
	7-8	医科歯科連携病院における臨 【演習】 ・実習に行って振り返り、経験	床美省でのケーススタティ 	考える		
授業の到達目標	臨床実習で学修したことを振り返り、各症例を検討していく中で、歯科衛生士としての役割を理解する。 ケーススタディを行うことで問題点がわかり、解決策を考えることができる。					
成績評価の方法	筆記試験の成績100%で評価する					
授業外で行うべき 学修	臨床実習で学習したことを振り返って、不足している知識を30分以上は調べ学習しておくこと。					
使用テキスト	今までに配布したプリントを綴じたファイル					
参考資料	なし					
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は講義担当者に申し出て次回講義までに補講を受講すること。 配布資料は全てファイリングする。 講義最終回にファイル提出あり。					
授業の質問対応、 連絡先	少しの質問で	あれば授業用SNS「melly」を利	別用してください。それ以外は直接	妾研究室に来てください。		

講義科目名称: 歯科予防処置論 授業コード: 1H209

英文科目名称: Preventive Care

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
後期		第1学年	1	必修(保健)	
担当教員					
梶 貢三子、尾形 祐己	1、寺島 雅子、	髙田橋 美幸			
科目ナンバリング		口腔保健学科の関	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31611		10 H1 O			歯科衛生士
授業の概要と方法	歯科衛生士の主要業務の一つに歯科予防処置がある.歯科予防処置とは口腔内の二大疾患であるう蝕および歯周疾患を予防するためのプロフェッショナルな技術である.この科目では,齲蝕および歯周疾患予防のスペシャリストである歯科衛生士としての責務を果たすために,専門職としての心構え,医療従事者として求められる態度について学び,口腔保健正常像・病的変化の理解,予防に関する基礎知識を修得し,予防処置業務に使用する器具器材の基本を理解する.				
授業計画	3.45.67.8	 「講義」歯周病予防処置総論 ・歯科予防処置の定義 ・歯科予防処置論の考え方 ・歯科予防処置の法的位置づけ 【講義・演習】歯科予防処置に必要な器具器材薬剤 ・購入物(基本セット・スケーラーセット)の確認 ・器具の名称と用途 ・歯科予防処置時に必要な薬剤 ・歯科予防処置時に必要な器具 【講義・演習】齲蝕予防処置総論 ・齲蝕予防処置の定義 ・齲蝕予防処置の種類 ・齲蝕予防処置時に必要な薬剤 ・齲蝕予防処置時に必要な薬剤 「講義】硬組織、歯周組織、軟組織の病的変化 ・正常な口腔内 ・歯周組織 ・歯冠と歯根の形態 ・歯周病の基礎知識 			
授業の到達目標	・齲蝕の基礎知識 1. 歯周病予防処置の概要を理解できる. 2. 歯科予防処置に必要な器具器材薬剤を理解できる. 3. 齲蝕予防処置の概要を理解できる. 4. 口腔内の病的変化を理解できる.				
成績評価の方法	試験(実技	含む) にて評価.			
授業外で行うべき 学修	指定された	課題を授業までに	20分程度実施し	て受講すること。	
使用テキスト		最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 講義中に適宜資料を配布する			
参考資料	歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床(永末書店) 新歯科衛生士教本 歯科予防処置(医歯薬出版)				
受講生への要望等	順番通りに全回出席すること。但し,講義及び実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できない。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。 配布資料は全てファイリングすること。 実習記録は毎回提出すること。 講義・実習最終回ににファイル提出あり。 スマートフォン及び携帯電話等の持ち込み不可。				

授業の質問対応、 質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 連絡先 在室時にも対応可能です。 講義科目名称: 歯科予防処置実習 I 授業コード: 1H210

英文科目名称: Preventive Care Practice 1

開講期間	構期間		単位数	科目必選区分			
		第1学年	1	必修(保健)			
			•	·			
梶 貢三子、大西 愛、	尾形 祐己、	寺島 雅子、髙田	3橋 美幸、江原 3	杏子、東山 朋世			
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31612		1 O H1 ©			歯科衛生士		
	虚拟圣陆加	1. 器論で翌241. #	- 知識に其づき	前半け歩利予防処署の基礎は			
以来の似女とガム					でいくこう一テクニック、エイベノロー 通して習得し、後半はシックルスケー		
					を通して習得する。また、使用後の		
			ュープニング方		CEOCHRY S. S.C. Killes		
四类計型				・エキスプローラー)/ファントム実			
授業計画	1.2						
			ラーの使用目的	-			
			ラーの使用方法 ローラーの使用				
			ローラーの使用				
	2.4			プ)/ ファントム実習室			
	3.4						
			ーブの使用目的				
			ーブの使用方法				
	5.6		空内診査/ファン	トム美官至			
		・動揺度検					
		・動揺度検					
		・口腔内診					
		・口腔内診					
	7.0	・口腔内診		ミ智/チェア実習室			
	7.8						
			口腔内診査を実	手 他			
			の確認の確認				
			:の確認 :プローリング				
			·ビング				
		動揺度					
			の配慮				
	9.10			ルスケーラー(前腕運動))/ファン	ルル実習室		
	3.10		沈着物、付着物				
			ーラーの種類	y			
			ーラーの操作方	ī法			
		・前腕回転					
	11.12			ルスケーラー(手根関節運動)).	/ファントム実習室		
			ーラーの操作方				
		・手根関節		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	13.14			フルスケーラー)/ファントム実習室	.		
	15.1 1		ンニン ノ・ング ニングとは	······ • // •/ • 1 4 A B B	_		
			ニングとは				
			ニングの日的	器具			
			ニングの方法				
	15.16			歯石除去(シックルスケーラー)	相互実習/チェア実習室		
	15.10		エ				
				る 見用し縁上歯石除去を行う			
	<u> </u>				- + ->		
授業の到達目標	1. マネキ	-ンを使用し、3	こ フ ー ・ エ キ ス	プローラーを操作することがで	"きる		

	3. マネキンを使用し、ピンセットを操作することができる4. 口腔内診査を相互にて行うことができる5. マネキンを使用し、シックルスケーラーを操作することができる6. シックルスケーラー操作を相互にて行うことができる
成績評価の方法	試験(実技含む)にて評価.
授業外で行うべき 学修	指定された課題を授業前に15分程度実施して実習を受けること.
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 実習中に適宜資料を配布する
参考資料	歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床(永末書店) 新歯科衛生士教本 歯科予防処置(医歯薬出版)
受講生への要望等	順番通りに全回出席すること.但し,講義及び実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できない. 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること. 配布資料は全てファイリングすること. 実習記録は毎回提出すること. 講義・実習最終回にファイル提出あり. スマートフォン及び携帯電話等の持ち込み不可.
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

講義科目名称: 歯科予防処置実習 II 授業コード: 2H303

英文科目名称: Preventive Care Practice 2					
開講期間	開講期間		単位数	科目必選区分	
前期・後期		第2学年	2	必修(保健)	
担当教員					
梶 貢三子、大西 愛、尾形 祐己、寺島 雅子、髙田橋 美幸、江原 杏子、東山 朋世、濱本 愛子		東山 朋世、濱本 愛子			
科目ナンバリング		口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31613		1 ○ H1 ◎		歯科衛生士	
授業の概要と方法	前期では、歯科予防処置論で習得した基礎知識とミラーテクニック、エキスプローリング、プロービングをもとに、超音波スケーラー・エアースケーラー・エアーフロー・コントラアングルハンドピース・PMTC用器具器材の基礎知識および基本的な使用方法をマネキン実習および相互実習を通して習得する。後期では、グレーシーキュレットスケーラーを使用した歯肉縁下歯石除去の技術をマネキン実習および相互実習を通して習得す				

る。また、使用後のグレーシーキュレットスケーラーのシャープニング方法を習得する。相互実習において は、患者との信頼関係の構築に欠かせないコミュニケーション、医療従事者としてふさわしい態度・姿勢を習 得する。 【実習】超音波スケーラー/ファントム実習室・チェア実習室 授業計画 1.2 ・超音波スケーラーとは ・超音波スケーラーの操作方法 ・使用時の注意事項 【実習】エアースケーラー/ファントム実習室・チェア実習室 3.4 ・エアスケーラーとは ・エアスケーラーの操作方法 ・使用時の注意事項 【実習】歯面研磨・回転器具(コントラ)/ファントム実習室 5.6 ・歯面研磨とは ・歯面研磨剤について ・回転器具(コントラ)とは ・回転器具(コントラ)の操作方法 ・使用時の注意事項 【実習】PMTC/ファントム実習室 7.8 ・PMTCとは PMTC用コントラの操作方法 ・使用時の注意事項 【実習】超音波スケーラー相互実習/チェア実習室 9.10 ・相互にて超音波スケーラーを使用し実習する ・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明する ・患者への配慮を行う 【実習】エアースケーラー相互実習/チェア実習室 11.12 ・相互にてエアスケーラーを使用し実習する ・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明する ・患者への配慮を行う 【実習】歯面研磨相互実習/チェア実習室 13.14

- ・相互にて回転器具を使用し歯面研磨の実習をする
- ・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明する
- ・患者への配慮を行う

15.16 【実習】PMTC・フッ化物塗布相互実習/チェア実習室

- ・相互にてPMTC用コントラを使用し歯面研磨の実習をする
- ・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明する
- ・患者への配慮を行う

| 17.18 | 【実習】手用スーケーラー①(グレーシーキュレットスケーラー)/ファントム実習室

- ・グレーシーキュレットスケーラーとは
- ・グレーシーキュレットスケーラーの操作方法(上顎前歯)

	19.20 【実習】手用スーケーラー②(グレーシーキュレットスケーラー)/ファントム実習室		
	・グレーシーキュレットスケーラーの操作方法(下顎前歯)		
	21.22 【実習】手用スーケーラー③(グレーシーキュレットスケーラー)/ファントム実習室		
	・グレーシーキュレットスケーラーの操作方法(上顎左側)		
	23.24 【実習】手用スーケーラー④(グレーシーキュレットスケーラー)/ファントム実習室		
	・グレーシーキュレットスケーラーの操作方法(下顎左側)		
	25.26 【実習】手用スーケーラー⑤(グレーシーキュレットスケーラー)/ファントム実習室		
	・グレーシーキュレットスケーラーの操作方法(右側)		
	27.28 【実習】シャープニング/ファントム実習室		
	・グレーシーキュレットスケーラーのシャープニング		
	29.30 【実習】スケーリング(グレーシーキュレットスケーラー)①相互実習/チェア実習室		
	・グレーシーキュレットスケーラーを使用し相互に実習する(前歯部)		
	・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明する		
	・患者への配慮を行う		
	31.32 【実習】スケーリング(グレーシーキュレットスケーラー)②相互実習/チェア実習室		
	・グレーシーキュレットスケーラーを使用し相互に実習する(臼歯部)		
	・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明する・患者への配慮を行う		
授業の到達目標	1. マネキンを使用し、超音波スケーラー・エアースケーラーを操作できる 2. マネキンを使用し、回転器具(コントラ)・PMTC用コントラを操作できる		
	2. マイナンを使用し、回転研究(コンドン)・FMTC用コンドンを採住とさる 3. 歯面研磨を相互にて行うことができる		
	4. PMTCを相互にて行うことができる		
成績評価の方法	期末試験(100%)にて評価.		
授業外で行うべき 学修	指定された課題を30分程度実施して実習すること.		
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)		
	実習中に適宜資料を配布する		
参考資料	歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床(永末書店)		
	新歯科衛生士教本 歯科予防処置 (医歯薬出版)		
受講生への要望等	全回出席すること.		
	欠席者は実習担当者に申し出て次回実習までに追実習を受講すること.		
	配布資料は全てファイリングすること。		
	実習記録は毎回提出すること。		
授業の質問対応、	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。		
連絡先	在室時にも対応可能です。		

講義科目名称: 崇科予防処置実習Ⅲ 授業コード: 3H303

英文科目名称: Preventive Care Practice 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第3学年	2	必修(保健)	
担当教員				
梶 貢三子、尾形 祐己、寺島 雅子、髙田橋 美幸、濱本 愛子、江原 杏子、東山 朋代				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31614	1 O 2 © H1	0		歯科衛生士

授業の概要と方法

臨地実習におけるフッ化物塗布実習のために使用する薬剤の安全量、使用方法、各種器材の使用方法について演習を行う。安全面への配慮も十分に検討し、相互実習を通じ実践に近い形で習得する。

また、患者対応の技術を高めることを目的に相互実習を通じ実践に近い形で実習を展開する。1年次より習得してきた基本的な知識と技術、患者と関わる姿勢・態度を複合的に活用し、対象者の口腔衛生・口腔機能を維持管理する方法を実践することで、コミュニケーション法・器具操作の運動方法・操作ポジション・器具の取扱い・器具のメンテナンス方法を習得することを目的とする。

授業計画

1.2 【講義・実習】フッ化物集団応用の実際①

- ・フッ化物イオン導入法とは
- ・フッ化物イオン導入法の手順
- ・使用時の注意事項

3.4 【実習】患者からの情報収集(口腔内診査・口腔内写真撮影)相互実習/チェア実習室

- ・口腔内診査をし評価する
- ・相互にて口腔内写真5枚法を撮影する

5.6 【実習】プレ2.3年合同実習①/チェア実習室

・問題点を抽出し、処置をする

口腔内診査

超音波スケーラー

歯面研磨

患者への説明

7.8 【実習】フッ化物集団応用の実際②

- マウスピース法とは
- ・マウスピース法の手順
- ・使用時の注意事項

9.10 【実習】クリーニング相互実習①(上顎前歯部)/チェア実習室

・患者を想定し、総合的に口腔内をクリーニングする

口腔内診查

超音波スケーラー・エアスケーラー

歯面研磨

患者への説明

11.12 【実習】クリーニング相互実習②(下顎前歯部)/チェア実習室

・患者を想定し、総合的に口腔内をクリーニングする

口腔内診査

超音波スケーラー・エアスケーラー

歯面研磨

患者への説明

13.14 【実習】プレ2.3年合同実習②/チェア実習室

・問題点を抽出し、処置をする

口腔内診査

超音波スケーラー

歯面研磨

患者への説明

15.16 【実習】スケーリング相互実習①(下顎前歯部)/チェア実習室

・患者を想定し、歯石の除去する

口腔内診査

	T	
	ハンドスケーラー	
	超音波スケーラー	
	歯面研磨	
	17.18 【実習】クリーニング相互実習③(下顎左側)/チェア実習室	
	・患者を想定し、総合的に口腔内をクリーニングする	
	口腔内診査	
	超音波スケーラー・エアスケーラー	
	歯面研磨	
	患者への説明	
	19.20 【実習】クリーニング相互実習④(上顎左側)/チェア実習室	
	・患者を想定し、総合的に口腔内をクリーニングする	
	口腔内診査	
	超音波スケーラー・エアスケーラー	
	歯面研磨	
	患者への説明	
	21.22 【実習】クリーニング相互実習⑤(下顎右側)/チェア実習室	
	・患者を想定し、総合的に口腔内をクリーニングする	
	口腔内診査	
	超音波スケーラー・エアスケーラー	
	歯面研磨	
	患者への説明	
	23.24 【実習】クリーニング相互実習⑥(上顎右側)/チェア実習室	
	・患者を想定し、総合的に口腔内をクリーニングする	
	口腔内診査	
	超音波スケーラー・エアスケーラー	
	歯面研磨	
	患者への説明	
	25.26 【実習】PMTC/チェア実習室	
	・患者を想定し、口腔内をクリーニングする	
	口腔内診査	
	PMTC	
	フッ化物塗布	
	患者への説明	
	27.28 【実習】スケーリング相互実習②(下顎左側)/チェア実習室	
	・患者を想定し、歯石の除去する	
	口腔内診査	
	ハンドスケーラー	
	超音波スケーラー	
	歯面研磨	
	29.30 【実習】スケーリング相互実習③(下顎右側)/チェア実習室	
	・患者を想定し、歯石の除去する	
	口腔内診査	
	ハンドスケーラー	
	超音波スケーラー	
	歯面研磨	
授業の到達目標	1. 安全量を理解しフッ化物塗布ができる	
	2. フッ化物塗布後の注意を列挙できる	
	3. 患者を想定し、超音波スケーラー・エアースケーラーを使用できる	
	4. 患者を想定し、回転器具・PMTCコントラを使用できる	
	5. 患者を想定し、手用スケーラーを使用できる	
 成績評価の方法	試験(実技含む)にて評価	
授業外で行うべき	指定された課題を30分程度実施して実習すること.	
学修		

使用テキスト	最新歯科衛生士教本、歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 実習中に適宜資料を配布する
参考資料	歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床(永末書店) 新歯科衛生士教本 歯科予防処置(医歯薬出版)
受講生への要望等	順番どおりに全回出席すること。 欠席者は実習担当者に申し出て次回実習までに追実習を受講すること 配布資料は全てファイリングすること 実習記録は毎回提出すること
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

講義科目名称: 歯科予防処置実習IV 授業コード: 4H301

英文科目名称: Preventive Care Practice 4

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第4学年	2	必修(保健)	
担当教員				
梶 貢三子、尾形 祐己、寺島 雅子、	髙田橋 美幸、江	原 杏子、東山 朋t	世、藤林 由利安	
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31615	2 O 5 © H1	○ H3 ○		

授業の概要と方法

前期では、総合病院歯科での実習のために全人的な処置を検討する。複数の症例を歯科衛生過程に沿って、対象者の口腔内だけでなく環境面・心理面も含め検討し、3年間学んだ知識、技術、態度を通して処置を行う。 後期では、卒業後に現場で即戦力として活躍できる歯科衛生士になるために1年次より習得してきた知識、技術、態度を総復習しながら相互実習を行う。

授業計画

1.2 【実習】スケーリング復習①(上顎)/チェア実習室

・患者を想定し、沈着物の除去を行う

口腔内診査

ハンドスケーラー

超音波スケーラー

エアスケーラー

エアーフロー

歯面研磨

処置後の説明

3.4 【実習】スケーリング復習②(下顎)/チェア実習室

・患者を想定し、沈着物の除去を行う

口腔内診査

ハンドスケーラー(水平ストローク)

超音波スケーラー

エアスケーラー

PMTC

処置後の説明

5.6 【実習】多量沈着物の除去①(上顎前歯部)/チェア実習室

・多量に沈着した歯石を患者の安全に配慮し、効率よく除去する 必要な器具器材を選択し、実施する 処置後の説明をおこなう

7.8 【実習】多量沈着物の除去②(左側部)/チェア実習室

・多量に沈着した歯石を患者の安全に配慮し、効率よく除去する 必要な器具器材を選択し、実施する 処置後の説明をおこなう

9.10 【実習】多量沈着物の除去③(右側部)/チェア実習室

・多量に沈着した歯石を患者の安全に配慮し、効率よく除去する 必要な器具器材を選択し、実施する 処置後の説明をおこなう

11.12 【実習】糖尿病患者の口腔ケア/チェア実習室

・糖尿病に罹患している患者を想定し、歯科衛生士の視点から患者教育を行う 臨床データ、全身の状態、口腔内の状態から処置を選択する

13.14 【実習】周術期患者の口腔ケア/チェア実習室

・周術期の患者を想定し、必要な器具器材を選択する 臨床データ、全身の状態、口腔内の状態から処置を選択する

15.16 【実習】要介護者の口腔ケア/チェア実習室

・要介護者の患者を想定し、必要な器具器材を選択する 全身の状態、口腔内の状態から処置を選択する

	17.18	【実習】SRP(上顎前歯)/チェア実習室		
	19.20	・上顎前歯部の歯肉縁下の歯石を除去し、SRPを行う 歯面研磨、処置後の説明を行う 【実習】SRP(下顎前歯)/チェア実習室		
		・下顎前歯部の歯肉縁下の歯石を除去し、SRPを行う 歯面研磨、処置後の説明を行う		
	21.22	【実習】SRP(下顎左側部)/チェア実習室 ・下顎左側部の歯肉縁下の歯石を除去し、SRPを行う		
		歯面研磨、処置後の説明を行う		
	23.24	【実習】SRP(上顎左側部)/チェア実習室		
		・上顎左側部の歯肉縁下の歯石を除去し、SRPを行う 歯面研磨、処置後の説明を行う		
	25.26	【実習】SRP(下顎右側部)/チェア実習室		
		・下顎右側部の歯肉縁下の歯石を除去し、SRPを行う 歯面研磨、処置後の説明を行う		
	27.28	【実習】SRP(上顎右側)/チェア実習室		
		・上顎右側部の歯肉縁下の歯石を除去し、SRPを行う 歯面研磨、処置後の説明を行う		
	29.30	【実習】メインテナンス/チェア実習室 ・メンテナンスの患者を想定し、社会環境、全身状態、口腔内の状態から適切な処置方法を選択		
		・メンテナン人の志有を認定し、社会環境、主身体態、口腔内の体態から適切な処置方法を選択する。		
		・メンテナンスの期間を設定する		
授業の到達目標	 有病者の患者の歯科衛生士視点での問題点をあげることができる. 1 の問題点を考慮しながら処置ができる. 3 周術期の患者の歯科衛生士視点での問題点をあげることができる. 4 3 の問題点を考慮しながら処置ができる. 5 歯科衛生士としての知識を実践に移すことができる. 6 患者の主訴、安全を配慮し処置をすることができる. 			
成績評価の方法	提出物にて評価.			
授業外で行うべき 学修	指定された課題を30分程度実施して実習すること.			
使用テキスト	最新歯科衛生士教本、歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 実習中に適宜資料を配布する			
参考資料	別冊歯科衛生士 う蝕・歯周病予防のためのリスクアセスメント&コントロール(クインテッセンス出版) SRP修行論-秘伝トレーニングメソッドの公開-(松風) DHstyle増刊号 口腔内の病変・異常に気づく観察眼を養おう(デンタルダイヤモンド社) 全身疾患関連の口腔粘膜病変アトラス(医療文化社) デンタルハイジーン別冊 歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック(医歯薬出版)			
受講生への要望等	欠席者は実習 配布資料はす	回出席すること. 担当者に申し出て次回実習までに追実習を受講すること. べてファイリングすること 回提出すること		
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡在室時にも対	したいときは授業用「melly」でお願いします。 応可能です。		

講義科目名称: オーラルマネジメント学 授業コード: 4H103

英文科目名称: Oral Management

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第4学年	1	必修(保健)	
担当教員				
貴島 真佐子、頭山 高子、江原 杏子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	J連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31616	H2 ○ H3 ◎			歯科医師、歯科衛生士

授業の概要と方法 日常臨床において、正確な診査、診断に基づき、ケア・リハビリ・治療の目標・計画が立案され、それぞれが 実施された後、再評価し、継続した口腔管理が行われる。患者さんにより口腔内の状況や環境は多岐にわた る。全人的、全顎的に観察し、診査することが重要である。歯科衛生士として、個別に検査、診査を行い、状 況に応じた歯科医療を提供する視点を持つことが必要とされる。本授業では、日常臨床の治療計画の流れにお ける全身を意識した口腔の検査、診査について理解する。口腔の健康に関わる専門職としての活躍を目指し、 各ライフステージおよび各医療の現場の変遷(健常期・急性期・回復期・慢性期・維持期)への対応について 学ぶ。また合わせて、臨床検査データの解釈についても学ぶ。講義の形式はスライドを用いて行う。 ガイタンス、総論:オーラルマネジメントに必要な知識・技術(貴島) 授業計画 1) オーラルマネジメントの概念について説明する 2) オーラルマネジメントの構成要素における教育・評価の重要性について説明する 3) オーラルマネジメントの実践による成果の例について概説する 口腔に関連する検査、診査の方法と対応(貴島) 2 1)評価における口腔の専門職と非専門職による役割分担について説明する 2) 主観的評価と客観的評価について説明する 3) 歯科衛生士が知っておくべき血液検査データについて概説する 急性期における対応(貴島) 3 1) 急性期にオーラルマネジメントが必要な患者について説明する 2) 術後肺炎予防のためのオーラルマネジメントについて説明する 3) 造血幹細胞移植患者のオーラルマネジメントについて説明する 急性期における対応(貴島) 4 1) 急性期における他職種とのコミュニケーションの取り方について説明する 2) 急性期において多職種で構成される医療チームについて概説する 3) 呼吸サポートチームを例に、評価の重要性について説明する 回復期・慢性期における対応(貴島) 5 1)回復期・慢性期におけるオーラルマネジメントについて説明する 2)回復期・慢性期における歯科衛生士の役割について説明する 3)回復期・慢性期のチーム医療における多職種連携について説明する 4) 栄養サポートチーム (NST) をはじめとした栄養管理とオーラルマネジメントについて説明 する 維持期(生活期)における対応(貴島) 6 1)維持期(生活期)にオーラルマネジメントについて説明する 2)維持期(生活期)における歯科衛生士の役割について説明する ライフステージ(乳幼児・学童期・成人期・壮年期)における対応(頭山) 1) ライフステージにおける特徴を理解する 2) 各ライフステージにおける歯科衛生士の役割を理解する オーラルマネジメントの目的・まとめ(貴島) 8 1) オーラルマネジメントについてのフィードバック 2) 各医療現場(急性期・回復期・慢性期・維持期)における対応法について説明する。 授業の到達目標 1. オーラルマネジメントに必要な知識・技術を考えることができる。

- 2. 日常臨床の治療計画の流れにおける全身を意識した口腔の検査、診査を考えることができる。
- 3. 各ライフステージにおける対応法と保健指導について考えることができる。
- 4. 各期(健常期・急性期・回復期・慢性期・維持期)における対応法について考えることができる。
- 5. 臨床検査データと全身疾患の関係を理解し、適切な対応法について考えることができる。

成績評価の方法	第1回から8回までの内容を単位試験にて100%とする。
授業外で行うべき 学修	授業計画を見て、3年生までに習った関連する科目の復習を30分以上は行うこと。
使用テキスト	なし
参考資料	・オーラルマネジメントの実務―口腔ケアの新常識(日総研出版) ・オーラルマネジメントに取り組もう(デンタルダイヤモンド社) ・口腔アセスメントカード(学研メディカル秀潤社) ・成果の上がる口腔ケア(医学書院)
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は講義担当者に申し出て次回講義までに補講を受講すること。 提出物などを忘れた場合は追加課題をもらいに来ること。 配布資料は全てファイリングすること。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したい時は授業用SNS「melly」でお願いします。それ以外は直接研究室に来てください。

講義科目名称: 口腔保健臨地実習 I 授業コード: 2H205

英文科目名称: Oral Health Science Clinical Visit 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	2	必修(保健)	
担当教員				
頭山 高子、梶 貢三子、前岨 亜優子、大西 愛、尾形 祐己、寺島 雅子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31617	2 O H1 © H3 O			歯科衛生士

授業の概要と方法

歯科衛生士として活動する場の一つとしてあげられる小学校において、小学校3年生を対象とした口腔保健のための実際を経験する。

45分間の講座を円滑に進めるために、前日には担当する小学校単位で引継ぎをおこないシミュレーションをする。

実習終了後は担当した小学校単位でフィードバックの時間を設けてグループディスカッションをおこなう。 また、自己評価および他者評価を用いて、次回に向けてのよりよいプレゼンテーション方法を考える。

実習では対象者の把握のみならず対象者を取り巻く養護教諭や学級担任との関わりを学ぶ。 また、基礎知識および専門知識や技術を現場で応用修得することにより、将来の歯科衛生士としての資質を高める。

授業計画

1-5 オリエンテーション

【講義・演習】

臨地実習要項を基に臨地実習の目的および意義を理解する。

特別講師として八尾市歯科医師会より歯科医師を招き、八尾市内の小学生の口腔内の現状、口腔衛生に関する意識等を学ぶ。

6-41 **臨地実習**

【実習】

実習場所:大阪府八尾市内 全小学校(28校)

対象者:小学校3年生

実施内容:集団歯科保健指導

各々が定められた小学校を訪問し、児童に対しう蝕のメカニズムと歯・口の清掃法に関する講演、指導を行い、口腔衛生思想の普及を図る。

そのために、45分間の講座の中で以下の内容を行う。

- ・歯みがきの効果判定のために、歯垢顕示錠で染色し、歯垢清掃状態を把握させる。
- ・う蝕の原因となる歯垢について理解させる。
- ・なぜ歯を磨く必要があるかを理解させる。
- ・歯みがきの実技指導を行う。

42-43 **フィードバック**

【講義・演習】

臨地実習で取り組んだ内容を振り返り、各小学校単位でグループディスカッションを行う。 意見をまとめて各小学校の代表者が全体の前で発表し、それに対して質疑応答の時間を設け、意 見交換を行う。

口腔保健臨地実習Ⅰで学んだ内容を共有し、4年時の口腔保健臨地実習Ⅱに繋げる。

44-45 引継ぎ

【実習】

現場での実習を1年対象に行い、次年度の引継ぎを行う。

授業の到達目標

- ・対象者に歯・口腔の発育や疾病・異常など、自分の歯や口の健康状態を伝えることができる
- ・対象者にう蝕や歯周疾患の予防に必要な歯の磨き方・望ましい食生活などを伝えることができる
- ・対象者に歯や口の健康を保つのに必要な態度や習慣を身につける方法を助言できる
- ・他者との協働・連携の必要性と重要性が体感できる
- ・対人関係力を向上させることができる
- ・社会性(マナーやルール)を習得することができる

成績評価の方法	現場での実習評価(55%)と実習日誌の内容(45%)で評価する。
授業外で行うべき 学修	現場実習でのグループによる綿密な事前の打ち合わせと事後のフィードバックをする。 実習前には自分が担当する箇所の復習が必要となる。(約15~30分間)
使用テキスト	なし 臨地実習要項(授業時に配布)
参考資料	歯科衛生士教育サブテキスト臨地実習ハンドブック(クインテッセンス)
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守ってください。 実習期間中は健康管理を怠らないように気を付けてください。 万が一現場に遅れる場合は、遅れる事態がわかった時点で必ずすぐに実習班員に伝え、当日朝教員に連絡をしてください。 態度・身嗜み・服装・準備物などにおいて不備があったり、指導を受けても改善されない場合は実習が受けられなくなりますので気をつけてください。
授業の質問対応、 連絡先	「melly」もしくは歯科衛生士教員室で対応します。

講義科目名称: 口腔保健臨床実習 I 授業コード: 3H304

英文科目名称: Oral Health Science Clinics 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期 第3学年 9		9	必修(保健)	
担当教員				
小正 裕、神 光一郎、頭山 高子、材	尾 貢三子、前岨 亜	優子、大西 愛、原	尾形 祐己、寺島 雅子	
科目ナンバリング	口腔保健学科の関]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31618	2 ○ H1 ◎ H3 ○			歯科医師

村日ナンハリング		山腔保健子科の関連DP	口腔工子科の関連DP	
31618		2 O H1 © H3 O		歯科医師
授業の概要と方法	大阪歯科大	学附属病院にて実習を行う。		
	での見学ややケアをどう。人間関	が日常業務として行っている内容 実施することにより知識・技術・ のように提供することが必要なの 係を深め、成長することを目的と 従事者にふさわしい人格を養成す	態度の面から学修する。専門職と かを学ぶ。このことを通して自分 する。	としてニーズに応じた適切な動き
授業計画	1-14	歯科矯正科での臨床実習		
	45.20	【実習】 矯正治療と予防矯正を行ってい 小児歯科での臨床実習	าล.	
	15-28	【実習】	象で、歯科全般の治療および予防	処置を行っている。
	29-42	障がい者歯科での臨床実習		
		を持つ患者を対象としている。	神遅滞、自閉症、脳梗塞の後遺症、	、認知症などのさまざまな障がい
	43-56	歯科麻酔科での臨床実習 【実習】 口腔外科手術や障がい者の歯科 る。	料治療のための全身麻酔、精神鎮護	静法下での歯科治療を行ってい
	57-70	ロ腔インプラント科での臨床実 【実習】 各症例に応じたインプラントシ	習 システムを選択し、機能回復と審	美的回復の向上に努めている。
	71-84	保存科での臨床実習 【実習】 保存修復処置と歯内治療処置を	ご行っている。	
	85-98	補綴咬合治療科での臨床実置 【実習】 顎補綴を含むあらゆる補綴治療	習 療、顎関節症、咬合異常の診断を	行っている。
	99-113	歯科口腔外科での臨床実習 【実習】 観血処置、口腔癌、顎骨骨折、	顎変形症など口腔と顎・顔面の	治療・手術を行っている。
	114-128	総合診療科での臨床実習 【実習】 チーム医療を行い、一般の診療	^{寮室同様、各分野の治療を行ってし}	いる。
	129-143	中央画像検査室での臨床実習 【実習】		
	144-158	口腔診断科での臨床実習 【実習】		
	159-173		査を行い、病状に応じた診療科を決 床実習	太足りる。

	【実習】 嚥下機能の低下や口腔機能の障がいや問題に対して、専門的検査とリハビリテーションを行っている。 174-188 高齢者歯科での臨床実習 【実習】 70歳以上の高齢者の一般的な歯科治療および義歯治療を行っている。 189-203 歯周治療科での臨床実習 【実習】 「実習】 歯周疾患の治療と再生治療などの先進医療を行っている。		
授業の到達目標	・講義、学内実習で学んだ知識に基づいて患者との人間的な関わり合いを深め、患者のニーズに関する理解力や判断力を養うことができる。 ・患者とのコミュニケーションを通じて、歯科医療における患者の心理に対して理解を深めることができる。 ・歯科医療における歯科衛生士の役割を理解することができる。 ・指導者の指導のもとに、歯科診療の流れとそれに必要な診療補助技術を修得することができる。 ・指導者の指導のもとに、歯科予防処置ならびに歯科保健指導技術を修得することができる。 ・歯科衛生士としての職業倫理・社会的役割と使命感を養い、医療人としての態度を身につけることができる。		
成績評価の方法	各科の教員評価(50%) 実習日誌内容評価(50%)		
授業外で行うべき 学修	実習前は各臨床科目の復習を行い、実習中及び実習後には指定された課題を実施すること。 実習終了後は振り返りのために日誌作成(約2時間)をおこない、次回の実習時に各科の教員に提出する。		
使用テキスト	なし		
参考資料	臨床科目の教科書 最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論 第2版」 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 「歯科材料」 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 「歯科器機」 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」		
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は担当者に申し出て補講を受講すること。 全てに臨床日誌は各科の担当医の印をもらいファイリングする。 実習最終回に全ての科のファイル提出あり。 態度・身嗜み・服装・準備物などにおいて不備があったり、指導を受けても改善されない場合は実習が受けられなくなります。		
授業の質問対応、 連絡先	各科での質問は実習指導担当の歯科医師に直接質問してください。診療科での実習内容などについては当日天 満橋で担当する教員に質問してください。		

講義科目名称: □腔保健臨床実習 II 授業コード: 4H302

英文科目名称: Oral Health Science Clinics 2

英文科目名称:(Oral Health	Science Clinic	cs 2			
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期・後期		第4学年	8	必修(保健)		
担当教員						
小正 裕、神 光一郎、	頭山 高子、	尾 貢三子、前岨 雪	匝優子、大西 愛、	尾形 祐己、寺島 雅子		
科目ナンバリング		口腔保健学科の	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目	目に関連する実務経験
31619		2 O H1 O F	13 ◎		歯	科医師
授業の概要と方法	の役割や機	能を学ぶ。また、	来院患者や入院	完患者に対応することで	ご、患者の疾病の)中での歯科および口腔外科)特徴を知り、歯科診療にお)中での歯科衛生士の役割を
授業計画	1-4	実習病院の実習におけ	習に行くにあた 特徴を調べる。 る目標を考える	っての事前課題を行う。	o	
	5-180	・全身病院実施・・全身病院実施・・大・歯病ののでは、 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が変に 大・歯が 大・が 大・ はい	院患者ののののでは、	のコミュニケーション にいを理解し、後輩に歯いる。 衛生士の役割りを学修 で倫理観を学ぶ。 に実習②、介護老人保健 ため、個人によって実	を学修する。 を学ぶ。 科診療補助につい する。 施設実習、大阪で 習順序が違います。	いて指導することによって、 が属病院実習は病院の受け入
授業の到達目標	2.患者の疾3.多職種間	の協同および連打	ン、歯科診療時の 携について学び、	が説明できる。 D配慮する事項を説明で 歯科衛生士の役割を訪 りにコミュニケーション	説明できる。	
成績評価の方法		評価(60%) レポート・事前等	学習内容評価(4	40%)		
授業外で行うべき 学修	ら出された	事前レポート課題	質を行う。	完の地域における役割や 施し事後レポートを提出		調べておく。また各病院か
使用テキスト	なし	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	
参考資料	各授業の教	———— 科書およびプリン	ントなど			
受講生への要望等	全てに臨床 実習終了後	当者に申し出て社 実習日誌は各病院 には全ての臨床! み・服装・準備特	完担当医の印を3 実習日誌を綴じか	5らいファイリングする こファイル提出あり。		れない場合は実習が受けら

授業の質問対応、 連絡先 質問は各病院の歯科医師または歯科衛生士に質問して下さい。 質問はお昼休憩もしくは診療終了後に行うようにしてください。 講義科目名称: 口腔保健訪問実習 授業コード: 4H104

英文科目名称: Oral Health Science Home Care Visit

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
通年	第4学年	1	必修(保健)	
担当教員				
柿本 和俊、糸田 昌隆、貴島 真佐子、芦田 貴司、奥村 ひふみ				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31620	H1 ○ H2 ◎ H3 ○			歯科医師

授業の概要と方法

要介護高齢者の増加に伴い,歯科医療においては訪問歯科診療の重要性が増している。訪問歯科診療においては,歯科衛生士は歯科医師の補助だけではなく,訪問歯科衛生指導や居宅療養管理指導などを実施する重要な役割を果たす。

この科目では,訪問歯科診療の心得,機材の準備,使用法,片付けについて学習したうえで,大阪歯科大学 附属病院が実施している訪問歯科診療に同行し,訪問歯科診療を体験するとともに福祉施設へ訪問して,訪問 歯科診療での業務について習得する。さらに,口腔工学科の学生とともに体験した症例を報告し,学生相互に ディスカッションを行い,体験を共有する。

授業計画

【講義】訪問歯科診療の概説(柿本)

- ※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義
- ・オリエンテーション
- 訪問歯科診療の必要性
- ・往診と訪問診療
- 訪問歯科診療での処置
- ・訪問歯科診療でのマナー

2 【講義】訪問歯科診療の対象(芦田)

- ※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義
- 訪問歯科診療の対象患者
- 訪問歯科診療の場所
- ・訪問歯科診療の環境
- ・往診と訪問診療
- ・医療保健と介護保険

3 【講義】訪問歯科診療の情報収集・準備(芦田)

- ※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義
- ・患者の基本的事項
- ・家庭や周囲の環境
- ・口腔アセスメント
- ・交通手段と訪問車
- ・訪問歯科診療に用いる器材
- ・器材の準備
- ・居宅・施設内での場所の設定
- ・患者の準備

4 【講義】訪問歯科診療での処置(芦田)

- ※ 口腔保健学科,口腔工学科合同講義
- ・訪問歯科診療の対象となる疾患
- ・訪問歯科診療で実施できる処置
- ・訪問歯科診療での特殊性
- ・緊急時の対応

5 【講義】訪問歯科診療の診療補助と予防処置(芦田)

- ・ライティング
- ・治療の介助
- ・印象採得
- ・歯周検査
- ・スケーリング
- ・その他の予防処置

6 【講義】訪問歯科診療での口腔健康管理(芦田)

訪問歯科診療での口腔衛生管理 ・訪問歯科診療での口腔機能管理 ·居宅療養管理指導 · 訪問歯科衛生指導 ·口腔機能維持管理 ・食支援 【講義】訪問歯科診療後の対応(芦田) 7 ※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義 ・訪問先での片付け・清掃 ・介護者への説明 ・診療記録 ・帰院の業務 【講義】訪問歯科診療での多職種連携(糸田、貴島) 8 ※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義 ケアマネージャーとの連携 ・医師との連携 看護師との連携 ・施設職員との連携 ・その他の関連職種との連携 【実習】訪問歯科診療器材の使い方(柿本、糸田、貴島、奥村) 9-10 ※ 班別実習 ・ポータブル歯科ユニットの設置 ・ポータブル歯科ユニットの使用 ・ポータブル歯科ユニットの片付け ・ポータブル歯科ユニットの移動 11-18 【実習】訪問歯科診療実習(柿本、糸田) ※ 小班別実習 関西電力病院, 大手前病院、小松病院 ・事前の情報収集 ・材料の準備 ・器材の運搬 ・器材の設置 ・診療見学 ・片付け 【演習】体験レポートの作成(柿本、糸田、貴島) 19 体験の整理 ・学修したこと ・今後について ・レポートの作成 ・プレゼンテーションの作成 【討議】体験事例の報告(柿本、糸田、貴島) 20-23 ・患者の状態 ・実施した処置 ・歯科衛生士・歯科技工士としての対応 ・訪問歯科診療で学修したこと ・これからの訪問歯科診療について ・自らが何を学修するべきか 授業の到達目標 1) 訪問歯科診療の対象者と施設を説明できる。 2) 在宅療養者に訪問歯科診療の説明ができる。 3) 訪問歯科診療における歯科衛生士の役割を説明できる。 4) 訪問歯科診療での多職種の役割と連携を説明できる。 5) 訪問歯科診療の情報収集ができる。 6) 訪問歯科診療の準備ができる。 7) 訪問歯科診療での予防処置ができる。

	8) 訪問歯科診療での診療補助ができる。 9) 訪問歯科診療での保健指導ができる。 10) 訪問歯科診療の事後処置ができる。
成績評価の方法	訪問歯科診療実習に関するレポート、体験事例の報告及び質疑を総合的に評価する。 評価の基準は、レポート 60%、報告 30%、質疑 10%とする。
授業外で行うべき 学修	訪問診療実習に行く前に、必ずそれまでの授業を十分に復習しておいてください。各授業回ごとに20分程度の復習が必要です。 訪問診療実習は2日間を予定しています。1日ごとに実習で行ったことや見学したことに関するレポートを 作成してください。レポートの提出は20回目の授業開始時とします。
使用テキスト	実習要綱
参考資料	「歯科衛生士のための訪問歯科診療ガイドブック」米山武義ほか,2018年,医歯薬出版,ISBN978-4-263-42257-1 「歯科訪問診療」前田実男,日本歯科新聞社,2018年 「在宅歯科医療 まるごとガイド」菅 武雄,永末書店,2013年,ISBM 978-4-8160-1256-3 「在宅療養者の口腔機能維持管理のための地域連携ガイドライン」リーフレット・ガイドライン・ワーキング,大阪府,2013年
受講生への要望等	学外実習では遅刻は厳禁です。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称: □腔保健臨地実習 Ⅱ 授業コード: 3H102

英文科目名称: Oral Health Science Clinical Visit 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第3学年	1	必修(保健)	
担当教員				
頭山 高子、梶 貢三子、前岨 亜優子	子、大西 愛、尾形	祐己、寺島 雅子、	北垣 志麻	
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31621	2 O 5 O H3 O			

授業の概要と方法 保育所・幼稚園・小学校における集団歯科保健指導およびフッ化物塗布実習

小学校・中学校における歯科検診補助実習

視覚特別支援学校におけるブラッシング指導実習

方法:グループディスカッションを繰り返しPDCAサイクルを実践し、よりよいプレゼンテーションを行う

授業計画 1 【実習】柏原市内小学校歯科健康診断補助実習

柏原市内小学校において歯科健康診断の補助をおこなう。

事前に各小学校の養護教諭と連携を図り歯科健康診断会場の設営をし、学校歯科医と綿密な打ち合わせをする。

歯科健康診断票の記載時は誤りがないよう慎重におこなう。

児童の口腔内の特徴を理解して臨み、学校歯科医が個々にどのように指導しているかを学ぶ。 事後は歯科健康診断票の整理および歯科健康診断会場の片づけをする。

2 【実習】柏原市内中学校歯科健康診断補助実習

柏原市内中学校において歯科健康診断の補助をおこなう。

事前に各中学校の養護教諭と連携を図り歯科健康診断会場の設営をし、学校歯科医と綿密な打ち合わせをする。

歯科健康診断票の記載時は誤りがないよう慎重におこなう。

生徒の口腔内の特徴を理解して臨み、学校歯科医が個々にどのように指導しているかを学ぶ。 事後は歯科健康診断票の整理および歯科健康診断会場の片づけをする。

3 【実習】柏原市内小学校1・2・3年生対象にフッ化物塗布および歯科保健指導実習

柏原市内小学校1・2・3年生を対象にトレー法でフッ化物塗布をおこなう。

小学校に到着後、対象者数のマウスピースにフッ化物製剤を塗布する。

歯面にフッ化物を十分に作用させるために各クラス単位で集団ブラッシング指導を実施し、トレー法にてフッ化物塗布をおこなう。

また、塗布後はフッ化物の効果や限界について指導する。

4 【実習】柏原市内幼稚園児対象に歯科保健指導およびフッ化物塗布実習

柏原市内幼稚園児を対象にイオン導入法でフッ化物塗布をおこなう。

幼稚園に到着後、対象者数のイオントレーにフッ化物製剤を塗布する。

歯面にフッ化物を十分に作用させるために各クラス単位で集団ブラッシング指導を実施し、イオン導入法にてフッ化物塗布をおこなう。

また、塗布後はフッ化物の効果や限界について指導する。

5 【実習】柏原市内保育所の4・5歳児対象に歯科保健指導およびフッ化物塗布実習

柏原市内保育所の4・5歳児を対象にイオン導入法でフッ化物塗布をおこなう。

保育所に到着後、対象者数のイオントレーにフッ化物製剤を塗布する。

歯面にフッ化物を十分に作用させるために各クラス単位で集団ブラッシング指導を実施し、イオン導入法にてフッ化物塗布をおこなう。

また、塗布後はフッ化物の効果や限界について指導する。

6 【実習】大阪市内の視覚支援学校の小学生・中学生・高校生対象に歯科保健指導実習

大阪市内の視覚支援学校の小学生・中学生・高校生を対象に個別での口腔衛生指導およびブラッ

	シング指導をおこなう。		
	まず対象者が安全かつリラックスして指導を受けられるよう配慮する。 対象者とコミュニケーションを図りながら、口腔内概診、歯垢染色を実施し、口腔内状況を把握する。 そして、対象者に適した口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。 その際に効果的なブラッシングを継続できるようモチベーション向上につながる指導をする。 (実習)大阪市内の特別支援学校の1・2年生対象に歯科保健指導実習 大阪市内の特別支援学校の1・2年生を対象に個別での口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。		
	まず対象者が安全かつリラックスして指導を受けられるよう配慮する。 対象者とコミュニケーションを図りながら、口腔内概診、歯垢染色を実施し、口腔内状況を把握する。 そして、対象者に適した口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。 その際に効果的なブラッシングを継続できるようモチベーション向上につながる指導をする。 【実習】大阪市内の視覚特別支援学校の社会人対象に歯科保健指導実習 大阪市内の視覚特別支援学校の社会人を対象に個別での口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。		
	まず対象者が安全かつリラックスして指導を受けられるよう配慮する。 対象者とコミュニケーションを図りながら、口腔内概診、歯垢染色を実施し、口腔内状況を把握 する。 そして、対象者に適した口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。 その際に効果的なブラッシングを継続できるようモチベーション向上につながる指導をする。		
	9 【実習】大阪市西区保健センターで1歳6か月児または3歳児健康診査の見学および歯科保健指導実習 大阪市西区保健センターで実施される1歳6か月または3歳児健康診査の見学および集団歯科保健 指導をおこなう。		
	対象者および保護者にう蝕予防とブラッシングに関する内容の集団歯科保健指導をおこなう。 また、歯科健康診査およびフッ化物塗布を見学し、市町村保健センターで従事する歯科衛生士の 役割について学ぶ。 母子保健法に基づく市町村保健センターで実施される健康診査要領の概要および乳幼児の成長発		
	達段階を理解して臨む。 10 【実習】枚方市保健センターで1歳6か月児または2歳6か月児健康診査の見学実習		
	枚方市保健センターで実施される1歳6か月または2歳6か月児健康診査の見学をおこなう。		
	1歳6か月健康診査は歯科健康教育およびブラッシング(グループ)指導を見学する。 2歳6か月健康診査は歯科健康診査、歯科保健指導(歯垢染色実施)、フッ化物塗布塗布、集団歯 科健康教育、身体計測、保健相談、栄養相談、個別相談を見学する。 市町村保健センターで従事する歯科衛生士の役割について学ぶ。 母子保健法に基づく市町村保健センターで実施される健康診査要領の概要および乳幼児の成長発		
15.W 11.+ - 1-	達段階を理解して臨む。		
授業の到達目標	・対象者に歯・口腔の発育や疾病・異常など、自分の歯や口の健康状態を伝えることができる ・対象者にむし歯や歯肉の病気の予防に必要な歯の磨き方・望ましい食生活などを伝えることができる ・対象者に歯や口の健康を保つのに必要な態度や習慣を身につける方法を助言できる		
成績評価の方法	・引継ぎ、実習反省会での教員評価(10%) ・実習日誌内容評価(90%) ・実習日誌は活動日に提出し、訂正後返却を受け、訂正がある場合は返却された日に再度提出する。		
授業外で行うべき 学修	・30分以上の実習活動班での綿密な事前打ち合わせ		
使用テキスト	なし 随時資料を配布する(臨地実習ファイルを実習終了後提出するのでファイリングすること)		
	1		

参考資料	歯科衛生士教育サブテキスト 臨地実習ハンドブック(クインテッセンス)
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守ってください 実習期間中、健康管理を怠らないように気を付けてください。 万が一現場に遅れる場合は、遅れる事態がわかった時点で活動班のメンバーにすぐ連絡し、当日朝引率教員に も連絡をしてください。 態度・身嗜み・服装・準備物などにおいて不備があったり、指導を受けても改善されない場合は実習が受けら れなくなりますので気を付けてください。
授業の質問対応、 連絡先	メリーまたは教員室にて対応します

講義科目名称: 歯科技工学概論 授業コード: 1K102

単位数

科目必選区分

英文科目名称: Introduction to Dental Technology

配当年

開講期間

				村日必選区分		
前期		第1学年	1	必修(工学)		
担当教員						
首藤 崇裕						
科目ナンバリング		口腔保健学科	の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31701				3 ○ E1 ◎	歯科技工士	
授業の概要と方法	を得るこ		。授業はパワー		技工士として知っておくべき基本情報 が中心で、適宜、学生同士のディス	
	1	【講義】歯	科医療と歯科技			
以未可巴		医療と歯科		・ 寮の目的、歯科医療関係職種、歯	南科技工士と歯科技工学、歯科技工士の	
	2	【講義】顔	および口腔組織	の形態と機能		
		顔および口	コ腔組織の形態と	と機能について概説する。		
	3	【講義】歯	科疾患と周囲組	織の変化		
	4	症、舌おる患の現状に		失患、顎骨および顔面の疾患、歯 る。	歯髄の疾患、歯周組織の疾患、顎関節 歯の喪失に伴う周囲組織の変化、歯科疾	
		インレー、 ウスガート	クラウン、ブリ になどの一般的に	・ Jッジ、インプラントと義歯、矯	S正装置、顎顔面装置、スプリント、マ 3介。デジタルデンティストリー、再生	
	5	【講義】歯	科技工で扱う材	料•器具		
			幾(高分子)・無 Oいて概説する。		成の基本情報およびそれらの基本的な取	
	6	【講義】歯	科技工の管理と	運営		
歯科技工の作業環境、歯科技工業務の運営、歯科技			 	らける衛生管理について概説する。		
	7	「講義」口腔と全身の健康管理				
	口腔が全身	の健康に及ぼる	扩影響、健康政策、在宅 歯科医療	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
	8		科技工士関係沒			
		歯科技工士	上法の成り立ちと		支工士免許・国家試験・業務、歯科技工 \て概説する。	
授業の到達目標	 ・歯科医療の特殊性・目的、歯科技工学の意義・目的や歯科技工士の役割を説明できる。 ・医療従事者としての心得を認識し説明できる。 ・口腔の構造および機能、歯科疾患について説明できる。 ・歯科臨床と歯科技工の関連、歯科技工物の種類について把握し説明できる。 ・歯科技工で使用する基本的な材料や器具・器械について説明できる。 ・歯科技工業務に必要な運営・品質管理、感染予防、作業環境やその衛生について説明できる。 ・歯科技工士の健康管理と歯科技工所の運営について説明できる。 ・口腔と全身における健康の関連性、健康政策について説明できる。 					
	・在宅歯科医療、災害時歯科医療における歯科技工士の役割を説明できる。 ・歯科技工士法の成り立ち、目的、その内容について把握し説明できる。					
成績評価の方法	毎回の授業で小テストを行い、解説をその都度行う。科目試験を行い、総合的に評価する。 評価の比率は、科目試験70%、小テスト20%、授業態度10%とする。			総合的に評価する。		
授業外で行うべき 学修	予習については、必要に応じて授業中に次の授業までに行うべき内容を指示する。 復習は毎授業後に必ず行うこと。教科書と配布資料の中身をしっかりと理解し、小テストと科目試験に備える こと。 予習約20分、復習約40分を目安とする。					
	予習約20	分、復習約40分	かを目安とする。			

	978-4-263-43170-2
	また、講義中に適宜、資料を配布する。
参考資料	「最新歯科技工士教本」各種 全国歯科技工士教育協議会 編 医歯薬出版 「歯科技工学用語集」 日本歯科技工学会 編 医歯薬出版 2011年 ISBN:978-4-263-43348-5 「デンタルスペシャリスト 歯科技工士への道」 全国歯科技工士教育協議会 編 医歯薬出版 2007年 ISBN:978-4-263-43334-8 「歯科技工のおもしろさ」 日本歯科技工士会 編 口腔保健協会 2015年 ISBN:978-4-89605-314-2 「世界で活躍するサムライ歯科技工士」 日本歯科新聞社 編 日本歯科新聞社 2015年 ISBN: 978-4-931-55036-0 「要点チェック歯科技工士国家試験対策 関係法規」 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編 医歯薬出版 2016年 ISBN:978-4-263-43267-9
受講生への要望等	目指す職種についての理解を深める重要な科目です。自らの目標を定める第一歩です。自分の将来と重ねなが ら受講して、今後の学習意欲を高めてください。
授業の質問対応、 連絡先	質問などある場合は、教員室を訪ねるか授業用のmellyにて連絡をお願いします。

講義科目名称: 保存修復技工学実習 授業コード: 2K208

英文科目名称: Preservation and restoration dental techniques pra

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第2学年	1	必修(工学)	
担当教員				
錦織 良、谷本 啓彰、保尾 謙三				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31702			1 ○ E1 ◎	歯科技工士

授業の概要と方法

学生が保存修復物を作成するために必要な基礎知識と態度の修得をするために、模型実習による修復物作製を体験、実践する。本実習では実習前に、実習帳を基にPCを用いて講義を行った後に実習を行う形式を基本とする。本実習では歯の解剖学的形態・機能の回復、硬組織及び歯周組織疾患の改善と疾患の予防、審美的回復、健康増進などにつながる技工操作を実習中心に学ぶ。これらに寄与するための保存修復物の作製にあたり、生物学的、力学的な知識による修復物の作製のための基本的な歯科技工技術を習得する。

授業計画

1 【講義】実習概要説明

実習上の注意事項の説明

実習室にある機器・機械の紹介

実習室にある機器・機械の取り扱い方法の説明

実習の流れの説明

2 【実習】作業用模型の作製

シリコーン型への石膏注入

模型のトリミング

ダウェルピン植立 (赤鉛筆を忘れずに持参してください)

2次埋没

上顎模型の咬合器への装着

3 【講義・実習】模型分割・咬合器装着

(講義)

今回行う実習内容についての講義

(実習)

模型のトリミング

模型の分割

下顎模型の咬合器への装着

4 【講義・実習】マージンラインの決定と印記

(講義)

今回行う実習内容についての講義

(実習)

事前に指定した赤鉛筆を忘れずに持参してください

支台歯のトリミング

マージンラインの決定とマージンライン印記

模型硬化処理

5-6 【講義・実習】ワックスアップ

(講義)

今回行う実習内容についての講義

(実習)

指定の支台歯のワックスアップ

隣接面コンタクトポイント回復

咬合面コンタクトポイントの確認

7 【講義・実習】埋没指定の支台歯のワックスアップ

(講義)

今回行う実習内容についての講義

(実習)

顕微鏡でワックスアップ確認

スプルー植立

```
埋 没
       【講義・実習】鋳造・調整
8
       (講義)
       今回行う実習内容についての講義
       (実習)
       ワックス焼却
       鋳造
       割り出し
       サンドブラスト処理
       試適
       内面調整(必要がある場合のみ)
       【講義・実習】調整・研磨・仕上げ
9
       今回行う実習内容についての講義
        (実習)
       隣接面コンタクトポイントの調整
       咬合面コンタクトの調整
       粗研磨
       仕上げ研磨
       【講義・実習】マージンライン決定・ワックスアップ
10-11
       今回行う実習内容についての講義
        (実習)
       隣接面コンタクトポイントの調整
       咬合面コンタクトの調整
       粗研磨
       仕上げ研磨
12
       【講義·実習】埋没·鋳造
       今回行う実習内容についての講義
       (実習)
       スプルー植立
       埋没
       ワックス焼却
       鋳造
13
       【講義・実習】咬合調整・研磨
       今回行う実習内容についての講義
       (実習)
       割り出し
       サンドブラスト処理
       試適
       内面調整(必要がある場合のみ)
14
       【講義·実習】研磨
       (講義)
       今回行う実習内容についての講義
        (実習)
       隣接面コンタクトポイントの調整
       咬合面コンタクトの調整
       粗研磨
       仕上げ研磨
       【グループワーク・ディスカッション】まとめ
15
       まとめとして作製手順を振り返りながらおのおのの問題点を検討するためのグループワークと
       ディスカッション
```

授業の到達目標 1) 補綴物が完成するまで使用に耐えられる作業用模型が作製できる。 2) 作業用模型作製時の注意ポイントが説明できる。 3) 模型作製から補綴物完成までの手順が説明できる。 4) マージンラインを決定出来る。 5) インレー作製時の注意点の抽出ができる。 6) インレー作製時の問題発生時での対策方法が説明できる。 7) 決められた期日(納期) までに作品が提出できる。 8) 決められた期日(納期) までにレポートが提出できる。 ・定期レポート提出30%、実習完成物40%、実習態度:準備、受講態度含む、後片付けやチームワーク参加度 成績評価の方法 等30%により総合的に評価する。 ・定期レポートの課題内容はその都度指定します。 ・全ての提出物の指定期日内の提出を行うことが科目成績評価の基本条件とする。 ・特に提出物の期日内提出がない場合は全体としての成績の評価を行いませんので、提出物の期日内提出の履 行に十分に気をつけてください。 授業外で行うべき 【予習】毎回の実習前に実習テキストを5-10分程度の予習をしましょう。 学修 【復習】毎回の実習が終わったら、5-10分程度で、その日実習したところをよく思い出しながら難しかった点 や、実習中にやり直した点等を実習テキストに書き込んで整理しておきましょう。 本実習前に下記の教科書等で予習を行い実習全体のイメージを理解しておきましょう。 ・歯科技工実習 ・歯冠修復技工実習トレーニング P21-29 ・歯冠修復技工学 P6, P115 実習で用いる機器や材料の性質と使用方法について実習帳を参考に歯科理工学の教科書等を参考にを再度読 み直して材料の性質について理解を深めておきましょう。 特にワックスと金属の熱収縮とその補償の方法について、歯科理工学の教科書の該当箇所を復習して理解して おきましょう。 参考書として下記の図書を推薦する。実習が進んでいくうちに何度か読み返すことで、実習の意義をより深く 理解でき、技術の向上に役立つと考えています。是非実行してください。 使用テキスト ・歯冠修復技工 歯科技工学実習トレーニング (ISBN 978-4-263-43343-0) (実習で必要なテキストです) P1-P31を事前によく読んでイメージだけでも頭に入れておいてください。 ・歯冠修復技工学 (ISBN 978-4-263-43166-5) (小テストを行います) P115-121を事前によく読んで復習をしておいてください。 ・最新歯科技工士教本 歯科理工学 (ISBN 978-4-263-43162-7) (実習で必要な内容です)1年生の時に習った(ワックスの性質、埋没材の組成、金属の組成と金属の鋳造収 縮、研磨についてよく復習しておいてください。) ・最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (ISBN 978-4-263-43171-9) (実習で必要な内容です) P1-P27を事前によく読んでイメージだけでも頭に入れておいてください。 参考資料 本実習をより深く理解し、技術を習得するために下記の書籍を参考図書として推薦する。レポートの課題な どにも活用できると考える。 ・保存修復クリニカルガイド 第2版 (ISBN 978-4-263-45633-0) ・生体と調和する歯周組織にやさしい歯冠修復物 (クインテッセンス出版2014,6) ・写真で学ぶ即!実践 臨床技工テクニカルヒント (ISBN978-4-263-46417-5) ・卒後5年までに身につけたいインレー・コア・クラウン技工のコツとツボ(ISBN 9784263462034) ・歯科技工別冊 "誤差"を埋めるクラウンブリッジの臨床・技工 医歯薬出版株式会社 (JAN 4910042640736) 下記の書籍を参考に本実習のレポートを作成するとよりまとまったレポートが作成できると考える。 ・大学生のための「論文」執筆の手引き卒論・レポート・演習発表の乗り切り方(ISBN 978-4-7980-2448-6) ・実習の進捗状況によっては実習時間の延長がある。実習順序等の変更を行うことがある。最初のうちはス 受講生への要望等 ピードは重視しません。スピードはやっているうちについていくものと考えています。確実に一つ一つをこな していく技術を身につけましょう。 努力する必要はありますが、焦る必要はありません。 ・実習前にその日の段取りの講義をします。本実習での遅刻はその日にやるべきポイントを聞き逃すこととな り、以降の他の実習でも大きなマイナスになることが明らかになっています。大学生としての自己管理をしっ かりしてください。

授業の質問対応、 メリーもしくは実習終了後、もしくはオフィスアワー等にて。 連絡先 講義科目名称: 総義歯学実習 授業コード: 2K301

英文科目名称: Full Denture Clinical Practice

1

開講期間 配当年 単位数 科目必選区分					
通年	第2学年	3	必修(工学)		
担当教員	担当教員				
小正 裕、柿本 和俊、北山 展弘、額田 和門					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31703			E1 ◎	歯科医師	

授業の概要と方法

上下顎総義歯を製作する技能を高める科目である。上下顎無歯顎顎堤の研究模型上での個人トレーの製作、作業模型上での、咬合床を製作して咬合器に装着し、人工歯排列、歯肉形成、Tenchのコア採得、重合研磨、咬合器再装着、選択削合と自動削合によるフルバランスドオクルージョンを確立する咬合小面の形成およびスピルウェイの形成を行い、上下顎総義歯を完成させる。本実習によって総義歯製作技能の養成を行うとともに、有床義歯学の講義での総義歯理論の修得をより確実なものとする。

授業計画

【講義】総義歯の印象採得

- ・概形印象と最終印象
- ・印象採得に用いる器材
- ・個人トレーの設計と製作
- ・筋形成
- ・咬座印象

2 【実習】考究模型の製作,個人トレー外形線,リリーフ,個人トレーの製作

- ・概形印象に用いる器材
- ・ 考究模型の製作手順
- ・個人トレーの種類と要件
- ・個人トレー外形線の設定
- ・リリーフ部の記入と設置
- ・個人トレー体部の製作

3-4 【実習】個人トレーの製作

- ・個人トレー体部の製作
- ・個人個人トレーの柄とフィンガーレストの製作
- ・仕上げ

5 【講義】総義歯の咬合採得

- ・ボクシングと作業模型の製作
- ・垂直的顎間関係と水平的顎間関係
- ・咬合採得に必要な器材
- ・咬合床の要件
- ・咬合採得の手順
- ・標示線

6 【実習】作業模型製作、床外形線と歯槽頂線の記入

- ・作業模型の製作
- ・床外形線の記入
- ・歯槽頂線の記入

7 【実習】基礎床の製作

- ・基礎床の製作
- ・基礎床の形態修正
- ・仕上げ

8-13 【実習】咬合床の製作

- ・ワックスブロックの製作
- ・基礎床のワックスブロックの圧接
- ・咬合床の形態修正
- ・標示線の記入

14 【実習】咬合器装着

・咬合器装着の前準備

	・上顎作業模型の咬合器装着
	・下顎作業模型の咬合器装着
15	【講義】総義歯の咬合様式
	・平衡咬合
	・フルバランスド・オクルージョン
	・リンガライズド・オクルージョン
	・交叉咬合
	・モノプレーン・オクルージョン
16	【講義】総義歯の人工歯選択と人工歯排列
	・人工歯の分類
	・Williams の3基本形
	・SPA 要素
	・形態・大きさとモールドガイド
	・色調とシェードガイド
	・人工歯の排列方法
17-18	【実習】上顎前歯部人工歯排列
	・上顎両側中切歯の排列
	・上顎両側側切歯の排列
	・上顎両側犬歯の排列
19-20	【実習】下顎前歯部人工歯排列
	・下顎両側中切歯の排列
	・下顎両側側切歯の排列
	・下顎両側犬歯の排列
	・垂直・水平被蓋の付与
21-22	【実習】上顎臼歯部人工歯排列
	・上顎左側小臼歯排列
	・上顎左側大臼歯排列
	・上顎右側小臼歯排列
	・上顎右側大臼歯排列
23-24	【実習】下顎臼歯部人工歯排列
	・下顎左側第一大臼歯排列
	・下顎右側第一大臼歯排列
	・下顎左側小臼歯排列
	・下顎右側小臼歯排列 ・下顎左側第二大臼歯排列
	・下顎左側第二人臼幽排列 ・下顎右側第二大臼歯排列
25.20	【実習】歯肉形成
25-28	
	・歯肉形成の前準備
	・前歯部の歯肉形成 ・臼歯部の歯肉形成
	・舌・口蓋側の歯肉形成
	・床縁の歯肉形成
	・仕上げ
	・? 義歯の完成
29	【実習】テンチのコア採得,埋没と重合
	・Tench のコア採得
	・埋没の前準備
	・フラスク埋没
30-32	【実習】埋没と重合
	・フラスク埋没
	・流ろう
	・レジン重合
	・開 輪
33-36	【実習】研磨
1	

		1°11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		・バリ・小突起の除去	
		・石膏溶解液での洗浄	
		・マイクロモーターでの研磨	
		・レーズでの研磨	
	37	【実習】再装着用模型製作	
		・アンダーカット部のブロックアウト	
		・ボクシング	
		・再装着用模型の製作	
	38	【実習】咬合器再装着	
		・上顎義歯の咬合器再装着	
		・下顎義歯の咬合器再装着	
	39-40	【実習】選択削合	
		・咬頭嵌合位での選択削合	
		・偏心位での選択削合(BULL の法則)	
		・咬合小面の形成	
	41	【実習】自動削合、スピルウェイ付与、仕上げ	
		・自動削合	
		・スピルウェイの形成	
		・人工歯の研磨	
	42	【講義】金属床義歯製作法	
	42		
		・金属床義歯の特徴	
		・金属床義歯の使用材料	
		・金属床義歯の設計 ・金属床義歯の製作手順	
	42		
	43	【講義】義歯の修理,リライニング	
		・義歯のトラブルの原因と症状	
		・義歯床修理の方法	
		・人工歯部の修理と咬合挙上	
		・リライニングとリベース	
	44	【実習】義歯修理用模型の製作	
		・義歯の復位と仮着	
		・義歯修理用模型の製作	
	45	【実習】修理	
		・加強線の屈曲	
		・修理の前準備	
		・即時重合レジンによる修理	
		·研 磨	
 授業の到達目標	1) 総義歯の	DD的象採得を説明できる。	
汉朱沙江是古际	'	の個人トレーを製作できる。	
	'	の咬合採得を説明できる。	
	1	り吹合床を製作できる。	
	1 -	りなられては、こともののできる。	
	'	の人工歯排列ができる。	
		D重合と研磨ができる。	
	1	人工歯の削合ができる。	
	1 -	総義歯の製作法を説明できる。	
	'	でできる。	
 成績評価の方法	実習作品と	課題レポートで総合的に評価する。	
		は、実習作品 80%、レポート 20%とする。	
1四世月一十二一一二十二			
授業外で行うべき		たに自分自身の作品の評価についてレポートを提出してもらいます。	
学修)進行が遅れている場合は,指導教員の指示に基づいて,自習して補ってください。	
		引した内容を参考書で20分程度振り返って下さい。 	
使用テキスト	配布する「	総義歯学実習帳」	_

	実習時には常に持参して参考にしてください。
参考資料	「コンプリートデンチャーテクニック」細井紀雄ほか,医歯薬出版,2011年,ISBN978-4-263-45646-0 「最新歯科技工士教本 有床義歯技工学」全国歯科技工士教育協議会編,医歯薬出版,2017年, ISBN978-4-263-43165-8
受講生への要望等	義歯の製作は歯科技工士の主要業務の1つであり、義歯の中でも総義歯の製作技能の習得は基本となるものです。しっかりとした技能を身に付けて、気持ちよく口入れられるような、きれいな作品を製作してください。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称:局部床義歯学実習 [授業コード: 2K302

英文科目名称: 	Partial Der	iture Clinica	I Practice 1		
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期		第2学年	3	必修(工学)	
担当教員					
西崎 宏、柿本 和俊、	錦織 良、三	1		1	Tax
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31704				E1 ©	歯科医師
授業の概要と方法	概要と方法 歯科技工士が局部床義歯を作製するときに必要な基礎知識と態度とを模型実習を主として体験、実践するである。歯が一部欠損している顎に対して局部床義歯を用いることで、機能・形態および審美性を回復しることによって全身の健康増進に寄与させるための装置の作製に必要な生理学的、力学的な知識や診断、床義歯の設計、作製のための生物学的理論と理工学的理論の知識と技術について習得する。本実習では、用模型、耐火模型への金属フレーム設計までの実習を行う。製作時の問題点と改善法のレポートをもとにループワークを行う。				機能・形態および審美性を回復し改善す 生理学的、力学的な知識や診断、局部 について習得する。本実習では、作業
授業計画	1	局部床義	歯製作実習のオ	・リエンテーション(講義)	
	-		末義歯製作実習の		
	2-4		型の製作(実習)		
	2 1	・上顎欠抗	単模型のアルジネート 型のアルジネート	スート印象	
	5-6	個人トレー	-の製作(実習)		
	7	・スペー <u>†</u> ・トレーし ・形態修፤ 作業用模	型の製作、咬合	床の製作(実習)	
		ン ・精密印 ・超硬石 ・咬合床の ・咬合床の	象とボクシングの 言で作業用模型の D基礎床の製作 Dろう堤部の製作	Oデモ O製作	Jング)を研究用模型でシミュレーショ
	8	•上顎模型	着(実習) 型の咬合器付着 を介在させて下顎	頂模型を咬合器装着	
	9	・作業用植 ・作業用植	と設計(実習) ^{莫型のサベインク ^{莫型への義歯設計}}	†線の記入	
	10	• 隣接面部	រト・リリーフ(実習 邸のブロックアウ Dリリーフ	•	
	11	・コンビ	パターン製作(実 ? ネーションクラス レジンでパターン	スプの線鉤の屈曲	
	12	埋没(実 配・パター)	習) ンを鋳造リングに	二埋没	
	13	鋳造(実 配・Kメタル	- · /で鋳造		
	14	研磨(実習 ・スプル- ・研磨			
	15-16	人工歯排	列(実習)		

	・硬質レジン歯排列
17-18	歯肉形成(実習)
	・床縁形態修正 ・歯肉形成
19-20	埋没(実習)
	・普通石膏でフラスク埋没
	・流蝋
21-22	重合(実習)
	・床用レジンを湿熱法で重合
23	リマウント、咬合調整(実習)
	・開輪 ・咬合器再装着
	・咬合調整
24-25	研磨(実習)
	・形態修正
	・レーズを使用して研磨
26	製作時の問題点についてのグループ討論(グループディスカッション)
	製作時の問題点と改善法のレポートをもとに討論
27	金属床義歯フレームワーク製作実習のオリエンテーション(講義)
28-29	・金属床義歯フレームワーク製作実習の概略説明 研究用模型の製作(実習)
20-29	・下顎欠損模型のアルジネート印象
	・上顎模型のアルジネート印象
	・硬石膏で研究用模型の製作
30	予備サベイング(実習)
	研究用模型で予備サベイング仮設計
31-32	個人トレーの製作(実習)
	・トレー外形線の記入
	・スペーサーの圧接 ・トレーレジンで製作
	・形態修正、研磨
33	マウスプレパレーション(実習)
	・研究用模型上でガイドプレーンとレスト窩形成のシミュレーション
	・精密印象とボクシングのデモ
34	作業用模型の製作(実習)
35-36	・超硬石膏で作業用模型製作 咬合床の製作(実習)
33 30	・咬合床の基礎床の製作
	・咬合床のろう堤部の製作
37-38	咬合器装着(実習)
	・咬合採得
	・上下顎模型の咬合器装着
39	サベイング、設計(実習) ・サベイング
	・ リヘイ ング ・ 金属床義歯設計
40	ブロックアウト、リリーフ(実習)
	・フレームワーク製作のためのブロックアウト、リリーフ
41	複印象(実習)
	・シリコンによる複印象
42	耐火模型の製作(実習)
l	

	7
	・フレームワーク製作用耐火模型の製作
	43 耐火模型への金属フレームワークの設計(実習)
	・耐火模型への金属フレームワークの設計の転写
	44-45 フレームワーク製作の問題点について小グループで討論後、全体討論を行う(グループディスカッション)
	・フレームワーク製作時の問題点とその改善点についてのレポートをもとに討論
授業の到達目標	1) 局部床義歯の製作手順を説明できる。
	2) 局部床義歯の個人トレーを製作できる。
	3) 局部床義歯の作業用模型を製作できる。
	4) 局部床義歯の咬合床を製作できる。
	5) 局部床義歯のサベイングができる。
	6) 局部床義歯の設計を模型に描記できる。
	7) 局部床義歯のクラスプを製作できる。
	8) 局部床義歯の人工歯排列ができる。
	9) 局部床義歯の歯肉形成ができる。
	10) 局部床義歯のレジン床の重合ができる。
	11) 局部床義歯の研磨ができる。
	12) 局部床義歯製作時の問題点を抽出できる。
	13) 金属床義歯の製作のための耐火模型を製作できる。
	14) 金属床義歯のフレームワークの設計を耐火模型にできる。
	15) 金属床義歯のフレームワーク製作時の問題点を抽出できる。
成績評価の方法	 実習作品,実習試験及びグループワークの結果を総合的に評価する。
	評価の比率は,実習作品60%,実習試験20%,アクティブラーニング20%とする。
	提出物については、返却時にコメントする。
 授業外で行うべき	 毎実習前に、実習内容について20分程度、予習して必要な器材の性質や使用方法について理解しておいてくだ
学修	さい。診療室で歯科医師が行っている印象、咬合採得、設計、試適、装着について関連がある実習時には、20
	かった原因と次回製作時の改善点について」レポートにまとめ討論に使用後、提出する。
 使用テキスト	実習前、実習中に適宜、資料を配布する。
参考資料	「有床義歯技工 歯科技工学実習トレーニング」 医歯薬出版 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 2011
	年
	ISBN 9784263456606
	「歯科技工士教本 有床義歯技工学」 医歯薬出版 全国歯科技工士教育協議会 2017年 ISBN
	9784263432648
	「パーシャルデンチャーテクニック」 医歯薬出版 五十嵐順正ほか 2012年 ISBN 9784263456606
	「歯学生のパーシャルデンチャー」 医歯薬出版 三谷春保 2018年 ISBN 9784263458174
	「パーシャルデンチャー活用力」 医歯薬出版 和田淳一郎ほか 2016年 9784263444603
受講生への要望等	局部床義歯は、欠損様式、残存歯、顎堤粘膜、咬合状態などにより、形態や機能が異なり多様化しているた
	め、歯科医師の指示と口腔内状態に応じた製作方法を生理学や力学的な知識を駆使して設計、製作しなければ
	なりません。義歯を単に製作するだけでなく、それらのための十分な生物学的理論と理工学的理論の知識と技
	術を習得してください。
授業の質問対応、	mellyを使って質問や連絡をしてください。
連絡先	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

講義科目名称:局部床義歯学実習Ⅱ 授業コード: 3K301

部別・後期	英文科目名称:	Partial Der	nture Clinical	l Practice 2					
四当覧 (回聴 集	開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
西崎 东、錦鳳 良、首藤 学裕、三宅 兄子	前期・後期		第3学年	4	必修 (工学)				
日韓保健学科の関連DP	担当教員		•		·				
担保の概要と方法 歯科医肝	西崎 宏、錦織 良、	首藤 崇裕、三	宅 晃子						
授業の概要と方法	科目ナンバリング		口腔保健学科	lの関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
である。歯が一部欠損している場に対して局部床義歯を用いることで、概能・形態および審美性を回復し改善ることによって全身の健康結論に寄うさせるための装置の作数に必要な生理学的、力学的点知識や診断、局部 床義節の設計、作製のための生物学的理論と埋工学的理論の知識と技術について咨询する。本実習では、クラスプの団曲、金属床の鋳造研修などの実習を行う。製作時の問題点とその改善法についてグループディスカッションを行う。 「下職金属床義歯製作の概略説明 2 フレームワークのウックスパターン(支袖装置)の製作(実置)・耐火模型にフレームワーク(支台装置)の製作(実置)・ブレームワークのウックスパターンの製作 3 フレームワークのリックスパターンの型没(実置)・フレームワークのリックスパターンの理治 5 ワクスパターンの検却 6 第金(実置)・フックスパターンの埋没 5 ワクスパターンの機却 6 第金(実置)・フレームワークの研修 9-10 仕上げ研磨(実置)・フレームワークの中の手の機能を受け、一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の	31705				E1 ©	歯科医師			
ションを行う。 下職金属床義歯製作のがリエンテーション(講義) 下職金属床義歯製作の概略説明 2	授業の概要と方法	である。歯ることによ 床義歯の設	が一部欠損し って全身の健 計、作製のた	が一部欠損している顎に対して局部床義歯を用いることで、機能・形態および審美性を回復し改善すって全身の健康増進に寄与させるための装置の作製に必要な生理学的、力学的な知識や診断、局部					
・下顎金属床套歯製作の概略説明 2 フレームワークのワックスパターン(支合装置)の製作(実習) ・耐火模型にフレームワーク(支合装置)のツックスパターンの製作 3 フレームワークのワックスパターン(リンガルパーと維持格子)の製作(実習) ・フレームワークのワックスパターンの埋没(実習) ・フレームワークのワックスパターンの埋没 5 ワックスパターンの焼却(実習) ・ワックスパターンの焼却(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研療(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研療(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・プレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークの吹合床の製作(実習) ・検型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 ・ 検型改造印象と咬合採得、咬合器装着(実習) ・ 検型改造印象と咬合採得 ・ 作業用模型の改造 ・ 咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・ 硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・ ほ外形の修正 ・ 歯肉形成 16 埋没(実習) ・ 音通石膏でフラスク埋没 流蝋(実習) ・ 流蝋 18 宣合(実習) ・ 温熱法でレジン重合									
・下顎金属床套歯製作の概略説明 2 フレームワークのワックスパターン(支合装置)の製作(実習) ・耐火模型にフレームワーク(支合装置)のツックスパターンの製作 3 フレームワークのワックスパターン(リンガルパーと維持格子)の製作(実習) ・フレームワークのワックスパターンの埋没(実習) ・フレームワークのワックスパターンの埋没 5 ワックスパターンの焼却(実習) ・ワックスパターンの焼却(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研療(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研療(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・プレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークの吹合床の製作(実習) ・検型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 ・ 検型改造印象と咬合採得、咬合器装着(実習) ・ 検型改造印象と咬合採得 ・ 作業用模型の改造 ・ 咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・ 硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・ ほ外形の修正 ・ 歯肉形成 16 埋没(実習) ・ 音通石膏でフラスク埋没 流蝋(実習) ・ 流蝋 18 宣合(実習) ・ 温熱法でレジン重合		1	下顎金属		 リエンテーション(護義)				
2 フレームワークのウックスパターン(支合装置)の製作(実習) ・耐火模型にフレームワーク(支合装置)のワックスパターンの製作 フレームワークのワックスパターンの製作(実習) ・フレームワークのリックスパターンの埋没(実習) ・フレームワークのフックスパターンの埋没(実習) ・フレームワークのウックスパターンの埋没(実習) ・フックスパターンの焼却(実習) ・フックスパターンの焼却(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの吐上げ研磨 フレームワークの吹き床の製作(実習) ・ 規型改造印象用の基礎床製作 ・ 吸合提の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・ 規型改造印象と咬合採得 ・ 作業用模型の改造 ・ 皮合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・ 定の形成(実習) ・ 定の形成(実習) ・ 定の形成(実習) ・ 連例形成(実習) ・ 活動形成(実習) ・ 活動形成(実習) ・ 活動形成(実習) ・ 治臓石膏でフラスク埋没 流蝋(実習) ・ 流蝋(実習)	汉朱阳邑	1							
・耐火模型にフレームワーク (支台装置) のワックスパターンの製作 フレームワークのワックスパターン(リンガルバーと維持格子) の製作(実習) ・フレームワークのリックスパターンの埋没(実習) ・フリームワークのワックスパターンの埋没 フックスパターンの焼却(実習) ・フックスパターンの焼却(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研磨(実習) ・フレームワークの吐上げ研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの吐上げ研磨 11 フレームワークの吹合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・吹合場の製作 (模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象を吹合採得 ・作業用模型の改造 ・吹合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・原質レジンで人工歯排列 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・温熱法でレジン重合		2							
3 フレームワークのワックスパターン(リンガルバーと維持格子)の製作(実習) ・フレームワーク(リンガルバーと維持格子)のワックスパターンの製作 フレームワークのワックスパターンの埋没(実習) ・フレームワークのワックスパターンの埋没 ワックスパターンの焼却(実習) ・フックスパターンの焼却 6 鋳造(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの付上げ研磨 11 フレームワークの使合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 (模型改造印象・咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・「戻外形の修正 ・「歯肉形成 16 埋没(実習) ・「流脈(実習) ・「温熱法でレジン重合		2							
・フレームワーク (リンガルバーと維持格子) のワックスパターンの製作 フレームワークのワックスパターンの埋没 (実習) ・フックスパターンの焼却(実習) ・ワックスパターンの焼却(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研磨(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・ブレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークの仕上げ研磨 12 模型改造印象・映合採得、映合器装着(実習) ・模型改造印象・映合採得、映合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・ 作型改造印象と咬合採得 ・ 作型放造印象と咬合採得 ・ 作型放造印象と咬合採得 ・ 作型内が一段を受けるである。 ・ での器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・ 定例とジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・ 定外形の修正 ・ 歯肉形成 16 埋没(実習) ・ 流脈(実習)									
4 フレームワークのワックスパターンの埋没(実習) ・フレームワークのワックスパターンの埋没 5 ワックスパターンの焼却(実習) ・フックスパターンの焼却 6 鋳造(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研磨(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・ブレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークの使合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合量の影味を含料得 ・吹合量の影味を含料得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・流蝋(実習) ・流蝋		3							
・フレームワークのワックスパターンの理没 フックスパターンの焼却(実習) ・ワックスパターンの焼却 の						人八ターンの製作			
5		4							
・フックスパターンの焼却 6 鋳造(実習) ・コパルトクロム合金で鋳造 7-8 研磨(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークの吹合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・ 普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・ 流蝋									
6 鋳造(実習) ・コバルトクロム合金で鋳造 7-8 研磨(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークの吹合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・ 普通石膏でフラスク埋没		5	ワックスバ	ターンの焼却(実	智)				
・コバルトクロム合金で鋳造 7-8 研磨(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークへの咬合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・ 「硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・ 「床外形の修正 ・ 歯肉形成 16 埋没(実習) ・ 普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・ 流蝋									
7-8 研磨(実習) ・フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークへの咬合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 7 流蝋(実習) ・流蝋(実習) ・流蝋		6	鋳造(実習	볼)					
- フレームワークの研磨 9-10 仕上げ研磨(実習) - フレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークへの咬合床の製作(実習) - 模型改造印象用の基礎床製作 - 吹合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) - 模型改造印象と咬合採得 - 作業用模型の改造 - 咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) - 硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) - 床外形の修正 - 歯肉形成 16 埋没(実習) - 普通石膏でフラスク埋没 流蝋(実習) - 流蝋(実習) - 流蝋(実習) - 流蝋			7-8 研磨(実習) ・フレームワークの研磨						
9-10 仕上げ研磨(実習) ・フレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークへの咬合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 7 流蝋(実習) ・流蝋		7-8							
・フレームワークの仕上げ研磨 11 フレームワークへの咬合床の製作(実習) ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋									
11 フレームワークへの咬合床の製作(実習) ・ 模型改造印象用の基礎床製作 ・ 咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・ 模型改造印象と咬合採得 ・ 作業用模型の改造 ・ 咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・ ・ 硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・		9-10	9-10 仕上げ研磨(実習)						
 ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作 12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合 			・フレームワークの仕上げ研磨						
・咬合堤の製作 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 (実習) ・流蝋 (実習) ・流蝋 (実習) ・流蝋 (実習)		11	11 フレームワークへの咬合床の製作(実習)						
12 模型改造印象、咬合採得、咬合器装着(実習) ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合			・模型改造	造印象用の基礎床	製作				
 ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合 			・咬合堤の	D製作					
 ・作業用模型の改造 ・咬合器装着 13-14 人工歯排列(実習) ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合 		12	模型改造	印象、咬合採得	、咬合器装着(実習)				
 ・硬質レジンで人工歯排列 15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合 			・作業用植	莫型の改造	₹				
15 歯肉形成(実習) ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合		13-14	人工歯排	列(実習)					
 ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合 			・硬質レジ	ジンで人工歯排列	IJ				
 ・床外形の修正 ・歯肉形成 16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合 		15	歯肉形成	(実習)					
16 埋没(実習) ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合			・床外形の	の修正					
 ・普通石膏でフラスク埋没 17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合 			・歯肉形成	戊					
17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合		16	埋没(実習	3)					
17 流蝋(実習) ・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合			・普通石富	雪でフラスク埋没	Ľ Ž				
・流蝋 18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合		17							
18 重合(実習) ・湿熱法でレジン重合									
・湿熱法でレジン重合		18		學)					
		10							
19-20 研磨、咬合調整(実習)		10-20							
19-20 利治、火口調査(天日)		19-70							

・レジン床の研磨

24 22	・咬合調整 人工歯追補修理(実習)
21-22	
22.24	・第二大臼歯人工歯の追加修理 レスト付き2腕線鉤の製作(実習)
23-24	
	・2腕線鉤の屈曲 ・レストのワックスパターンの採得
	・レストの鋳造・研磨
25-26	製作時の問題点とその改善法についてグループ討論後、全体討論を行う(グループワーク)
	・製作時の問題点とその改善法についてグループ討論後、全体討論
27	上下顎金属床義歯製作の実習のオリエンテーション(講義)
	・上下顎金属床義歯製作の概略説明
28-29	考究用模型の製作(実習)
	・アルジネート印象
	・硬石膏で考究用模型の製作
30-32	個人トレーの製作(実習)
	・上顎個人トレーの製作
	・下顎個人トレーの製作
33	予備サベイング(実習)
	・研究用模型で予備サベイング
34	義歯の設計、マウスプレパレーション(実習)
	・義歯の設計
	・研究用模型でマウスプレパレーションのシミュレーション
35	印象採得、ボクシング、作業用模型の製作(実習)
	・精密印象とボクシングのデモ
	・超硬石膏で作業用模型の製作
36-37	咬合床の製作(実習)
	・上顎咬合床の製作・下顎咬合床の製作
38	で合採得、上顎模型の咬合器装着(実習)
30	・咬合採得
	・上顎模型の咬合器装着
39	下顎模型の咬合器装着(実習)
	・下顎模型の咬合器装着
40	サベイング(実習)
	・上顎模型のサベイング
	・下顎模型のサベイング
41	義歯の設計(実習)
	・上顎義歯の設計
	・下顎義歯の設計
42	ブロックアウト、リリーフ(実習)
	・作業用模型のブロックアウト、リリーフ
43	耐火模型の製作(実習)
	・シリコンで複印象
	・耐火模型の製作
44-45	上顎フレームワークのワックスパターン製作(実習)
46 47	・上顎フレームワークのワックスパターン製作 フレームワークのワックスパターン製作(実習)
46-47	
48	・下顎フレームワークのワックスパターン製作 埋没(実習)
40	・耐火模型のリングへの埋没
40	・耐火候型のリングへの埋没
49	<u> </u>

		フロム合金で鋳造				
	50-51 研磨(実習)					
		フークの研磨				
	52-53 人工歯排列	(実習)				
	・上顎硬質し	レジン歯の排列				
		ンジン歯の排列				
	54-55 歯肉形成()	美智)				
	・床縁形態の	D修正				
	・歯肉形成					
	56 上顎義歯の	埋没(実習)				
	・フラスクに	こ石膏埋没(下顎は4年生で流し込みレジンを用いて重合)				
	57 上顎義歯の	重合(実習)				
	・床用レジン	ンを湿熱重合(下顎は4年生で流し込みレジンを用いて重合)				
	58-59 研磨(実習)					
	・ ・ 義歯床を ・					
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					
		問題点についてレポートをもとにグループ討論後、全体討論				
 授業の到達目標		フークのワックスパターンを製作できる。				
1文条の判廷口伝		フークのフックスパターンで装作 ca る。 フークを鋳造研磨ができる。				
		告印象で作業用模型を改造できる。				
	5) 金属床義歯の人工歯排列					
	6) 金属床義歯の歯肉形成が					
	7) 金属床義歯のレジン床の	の重合ができる。				
	8) 金属床義歯の研磨ができ	きる。				
	9) 金属床義歯の製作時の	問題点を抽出できる。				
	10) 局部床義歯の人工歯追	R補修理ができる。				
	11) 局部床義歯の修理のためのレスト付き2腕鉤を製作できる。					
	12) 局部床義歯の個人トレーを製作できる。					
	13) 局部床義歯の予備サベイングができる。					
	14) 局部床義歯の設計を模型に描記できる。					
	15) 局部床義歯のレスト窩の形成ができる。					
	16) 局部床義歯の作業用模型を製作できる。					
	17) 局部床義歯の咬合床を					
	18) 局部床義歯の設計を模					
	19) 局部床義歯のフレー <i>と</i>					
	20) 局部床義歯の人工歯排21) 局部床義歯の歯肉形成					
	21) 局部休義歯の歯内形成 22) 局部床義歯のレジン床					
	23) 局部床義歯の研磨がて					
	24) 局部床義歯製作時の問					
 成績評価の方法		ルーパールー				
		ルーノ討論後に延山するレバートと総合的に評価する。)%、実習試験20%、グループ討論・レポート20%とする。				
1四米月 一/						
授業外で行うべき		いて20分程度、予習して必要な器材の性質や使用方法について理解しておいてくだ				
学修		行っている印象、咬合採得、設計, 試適、装着について関連がある実習時には、20 解を深めてください。				
#m=+	分程度復習して参考書で理解を深めてください。					
使用テキスト	実習前、実習中に適宜、資					
参考資料		学実習トレーニング」 医歯薬出版 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 2011				
	年 ISBN 079 4363456	.606				
ISBN 978-4263456606 「歯科技工士教本 有床義歯技工学」 医歯薬出版 全国歯科技工士教育協議会 2017年 ISBN						
	1 幽科技工工教本 有床 我 978-4263432648	图1X工士」 区图采山似 土凹图符1X工工教目励强云 2017年 15DN				
		クニック」 医歯薬出版 五十嵐順正ほか 2012年 ISBN 978-4263456606				
		チャー」 医歯薬出版 三谷春保 2018年 ISBN 978-4-263-45817-4				
		У , _ <u>БЕДУГНИ</u> У <u>БЕДИ</u> 2010 <u>+</u> 1001 У/О 200 1001/				

	「パーシャルデンチャー活用力」 医歯薬出版 和田淳一郎ほか 2016年 978-4263444603
受講生への要望等	局部床義歯は、欠損様式、残存歯、顎堤粘膜、咬合状態などにより、形態や機能が異なり多様化しているため、歯科医師の指示と口腔内状態に応じた製作方法を生理学や力学的な知識を駆使して設計,製作しなければなりません。義歯を単に製作するだけでなく、それらのための十分な生物学的理論と理工学的理論の知識と技術を習得してください。
授業の質問対応、 連絡先	mellyを利用して質問、連絡をしてください。。

講義科目名称: 局部床義歯学実習Ⅲ 授業コード: 4K101

英文科目名称: Partial Denture Clinical Practice 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	第4学年	2	必修(工学)	
担当教員				
西崎 宏、錦織 良、三宅 晃子				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31706			E1 ◎	歯科医師

授業の概要と方法 歯科技工士が局部床義歯を作製するときに必要な基礎知識と態度とを模型実習を主として体験、実践する科目 である。歯が一部欠損している顎に対して局部床義歯を用いることで、機能・形態および審美性を回復し改善す ることによって全身の健康増進に寄与させるための装置の作製に必要な生理学的、力学的な知識や診断、局部 床義歯の設計、作製のための生物学的理論と理工学的理論の知識と技術について習得する。本実習では、人工 歯排列・歯肉形成、埋没、レジン重合、形態修正・研磨までの演習を行う。ノンメタルクラスプデンチャー、 マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャーの製作実習を行い、局部床義歯に最適な維持力につ いてグループワークを行う。 流し込みレジン重合のオリエンテーション(講義) 授業計画 1 ・流し込みレジンを用いた重合法の概要の説明 下顎義歯の排列・歯肉形成仕上げ(実習) 2 ・下顎義歯の遊離端部の人工歯排列と歯肉形成仕上げ シリコンコア採得・流ろう(実習) 3 ・シリコンコア採得と流ろう 流し込みレジン重合(実習) 4 ・流し込みレジンを注入・重合 研磨(実習) 5 ・レジンン床の研磨 流し込みレジンと加熱重合レジンの特徴について討論(グループティスカッション) 6 ・流し込みレジンと加熱重合レジンの特徴について討論 7 リライン(実習) ・直接法リライン ・間接法リライン ノンメタルクラスプテンチャーの製作(実習) 8-16 8-18は、19-29と2つのグループに分かれて交互に行う。 ・製作法検討 ・模型製作 設計 ・排列 ・歯肉形成 ・埋没 ・重合 ・研磨 マグネットデンチャーの製作(実習) 17-18 8-18は、19-29と2つのグループに分かれて交互に行う。 ・マグネットデンチャーの原理と構造の理解 ・キーパーの根面板部への取り付け コーヌステレスコープデンチャーの製作(実習) 19-29 19-29は、8-18と2つのグループに分かれて交互に行う。 ・コーヌステレスコープデンチャーの原理と構造の理解 ・製作法の検討

・模型製作・咬合採得・咬合器装着

	 ・内冠ワックスパターン ・埋没 ・鋳造 ・内冠ミリング ・外冠パターン製作 ・埋没 ・外冠・鋳造 ・研磨 30 ノンメタルクラスプデンチャー、マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャーの維持力についてグループ討論(グループワーク) ・マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャー、ノンメタルクラスプデンチャーの維持力についてグループ討論を行う。
授業の到達目標	 金属床義歯の人工歯排列ができる。 金属床義歯の歯肉形成ができる。 金属床義歯のいジン床の流し込み重合ができる。 金属床義歯の研磨ができる。 流し込みレジン重合の問題点を抽出できる。 リラインができる。 ノンメタルクラスプデンチャーの製作ができる。 マグネットデンチャーの製作ができる。 コーヌステレスコープデンチャーの製作できる。 マグネットデンチャー・コーヌス・ノンメタルクラスプデンチャーの維持力について説明できる。
成績評価の方法	実習作品、実習試験及びグループ討論後に提出するレポートで総合的に評価する。 評価の比率は、実習作品60%、実習試験20%、レポート・グループワーク20%とする。 提出物については、返却時にコメントする。
授業外で行うべき 学修	毎実習前に、実習内容について必要な器材の性質や使用方法について理解するよう20分程度予習しておいてください。印象、咬合採得、設計、試適、装着など診療室で歯科医師が行っていることについて関連がある実習時には、20分程度復習して参考書で理解を深めてください。
使用テキスト	実習前、実習中に適宜、資料を配布する。
参考資料	「歯科技工士教本 有床義歯技工学」全国歯科技工士教育協議会(医歯薬出版)2007年 ISBN9784263431214 「ノンメタルクラスプデンチャー 長く使える設計の原則からメインテナンスまで 」谷田部優(クインテッセンス出版)2015年 ISBN 9784781204376 「Q&Aでわかるノンメタルクラスプデンチャー できること、できないこと」大久保力廣 編著 (ヒョーロン) 2019年 ISBN 9784864320498 「マグネットデンチャーの臨床術式」 水谷 紘、中尾 勝彦 (クインテッセンス出版)2006年 ISBN 9784874179154 「磁性アタッチメントを用いた部分床義歯」水谷 紘、石幡伸雄、中村和夫著(クインテッセンス出版)1994年 ISBN 9784874174548 「ケルバーのコーヌスクローネ 」カールハインツ・ケルバー、河野正司 (医歯薬出版)1990年 ISBN 9784263403617
受講生への要望等	局部床義歯は、欠損様式、残存歯、顎堤粘膜、咬合状態などにより、形態や機能が異なり多様化しているため、歯科医師の指示と口腔内状態に応じた製作方法を生理学や力学的な知識を駆使して設計、製作しなければなりません。義歯を単に製作するだけでなく、それらのための十分な生物学的理論と理工学的理論の知識と技術を習得してください。
授業の質問対応、 連絡先	mellyを利用して質問、連絡をしてください。

講義科目名称: クラウンブリッジ技工学実習 I 授業コード: 2K303

英文科目名称: Crown and Bridge Prosthodontics Practice 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第2学年	3	必修(工学)	
担当教員				
楠本 哲次、首藤 崇裕、藤田 暁				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31707			1 O E1 ©	歯科医師

授業の概要と方法 歯科技工の手順を理解し、それらに必要な基本的な器具・機械の名称や性質を理解したうえで、それを扱うこ とができるようにする。 ステップごとに課題を与え、分担して各ステップの臨床とのつながり、実施目的や意義、使用材料、注意点な どを事前に資料を作成し、実習開始時に発表を行い、質疑応答を行い、相互理解を得たアクティブラーニング

を実施する。

【実習】各個人の上下顎印象採得、咬合採得 授業計画 1,2

- 1) 学生相互で印象採得、咬合採得を行う。
- 2) 個人トレー、個歯トレー製作のための印象採得を行う。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

3~6 【実習】研究用模型、作業用模型の製作、咬合器装着

- 1) 印象材に模型材(石膏)を注入し、硬化後模型の整形。
- 2) 咬合採得材を用いて、咬合器に装着。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

【実習】個人トレーの製作 7~9

- 1) ミニマム:下顎用個人トレーを製作する。
- 2) 上顎用用個人トレー
- * ミニマムはクリアし、余裕があれば他の部位も製作する。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

10~12 【実習】個歯トレーの製作

- 1) ミニマム:下顎大臼歯
- 2) 上顎小臼歯、上顎前歯、上顎大臼歯
- * ミニマムはクリアし、余裕があれば他の部位も製作する。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

【実習】テンポラリークラウンの製作 13~23

- 1) ミニマム:上顎中切歯、上顎大臼歯
- 2) 上顎犬歯、下顎小臼歯、下顎大臼歯、上顎両側中切歯連続冠
- * ミニマムはクリアし、余裕があれば他の部位も行う。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

【実習】テンポラリーブリッジの製作 24~29

- 1) ミニマム: 下顎大臼歯
- 2) 上顎前歯部、上顎大臼歯
- *7~29の間、適宜、シェードテイキング、口腔内スキャナーを実施。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

30~45 【実習】全部金属冠の製作

1) 作業用模型の製作

2) 咬合器装着 3) ワックスアップ 4) 埋没、鋳造 5) 作業用模型での調整、研磨 実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。 【実習】実習試験・セミナー ・前期終了時に実習試験を兼ねたセミナーを実施し、レポートの提出を義務づける。 実習試験・セミナー1 ファントムを用いた支台歯形成、印象採得などの臨床模擬試験 実験試験・セミナー2 1球体、四面体を用いた印象採得、石膏注入における問題点、課題点の検討 2 ブロックの糸鋸、咬合器装着 · 後期終了時 実習試験 全部金属冠のワックスアップ 筆記試験 クラウンブリッジ全般、歯の描記 【実習】アナログ技工とデジタル技工の共同実習 * ハイブリッド型コンポジットレジンを用いたクラウンの製作 ファントムでの支台歯形成人工歯を用いて従来法であるアナログ技工と口腔内スキャナーとCA D/CAMを使用して製作するデジタル技工により印象採得からそれぞれの工程で歯冠補綴装置 を製作し、同一歯に装着するまで行う 形態、咬合状態、隣接面関係、歯周状態との適合性、適合度、装着感などの各種項目について、 学生自身に客観的、多角的に評価させることで、両者の違いを実感する。 授業の到達目標 歯科補綴学、歯科理工学、歯冠修復技工学などの学問的背景に基づき、十分理解を積み重ねて、下記の事項の 目標を到達することができる。 ・歯冠修復の製作に必要な各種作業模型を製作することができる。 ・咬合器へ適切に装着できる。 ・印象採得に必要な個人トレーを製作できる。 ・印象採得に必要な個歯トレーを製作できる。 ・テンポラリーレストレーションを製作できる。 ・ハイブリッド型コンポジットレジンを用いたクラウンを製作できる。 ・全部金属冠を製作できる。 ・デジタル技工との違いが理解できる。 成績評価の方法 ・下記に示す項目をクリアすることを平常点とし、全試験成績の50%に割り当てる。 1 ステップごとの情報収集と資料作成、プレゼンテーション 2 各技工作品の完成 3 ファントムを用いた臨床模擬試験の受講 4 間接法の問題点を体験する実験試験の受講 ・後期終了後に、下記に示す後期実習試験を全試験成績の50%に割り当てる。 1 ワックスアップ 2 歯の描画 3 筆記試験 ・再試験:後期実習試験で実施した3課題について実施し、60点以上獲得した学生を合格とする。 授業外で行うべき クラウンブリッジ技工は歯科技工の根幹をなす科目で、学修すべき内容は広範囲にわたる。 学修 次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意すべき事 項などについて、教本、雑誌や文献などで調べ、自分なりに理解し、ノートにまとめ、整理するなど、1時間 以上かけて予習を行うこと。 実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに1時間以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な点は持ち 越さず、次回に確認するようにすること。 使用テキスト 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43166-5 最新歯科技工士教本 歯科技工実習 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43171-9 参考資料 知識の整理や理解を深めるための資料を適宜配布する。

受講生への要望等	器具・機械の名称、理工学性質、特徴、取扱い方法など、予習と復習を必ず行うこと。
授業の質問対応、 連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、設定されているオフィスアワーに、楠本教授室へ来て下さい。 メール(kusumoto@cc.osaka-dent.ac.jp)または科目ごとに設定されているMellyで連絡してもらってもいい ですが、時間外(特に夜間)、休日は避けて下さい。但し、返信は遅れる可能があることをご承知おき下さ い。

講義科目名称: クラウンブリッジ技工学実習 II 授業コード: 3K302

英文科目名称: Crown and Bridge Prosthodontics Practice 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期・後期	第3学年	4	必修(工学)		
担当教員	担当教員				
楠本 哲次、首藤 崇裕、藤田 暁					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31708			1 ○ E1 ◎	歯科医師	

授業の概要と方法

審美補綴を代表する基本的な補綴装置として、レジン前装鋳造冠と陶材焼付鋳造冠を製作する。各種支台築造の製作を行う。技術到達を最終目標とするのではなく、各ステップにおける器具・器材や技術的な問題点、課題、将来性などを理解したうえでの知識と技術の獲得を目的とするアクティブラーニングを展開する。そのためには、実習開始以前に、実習内容を事前学習し、資料の作成、説明用パワーポイントのスライドを製作し、実習ステップ開始時に、担当学生が発表し、質疑応答を受ける実習形態を採用する。教員は適宜、補足説明やデモンストレーションを行う。

・実習開始時に学生自身によるプレゼンテーションを実施し、相互理解を得る。

授業計画

1~20 【実習】1 レジン前装鋳造冠の製作

- 1 シェードテイキング
- 2 作業用模型の製作
- 3 咬合器の装着
- 4 ワックスアップ
- 5 窓開け
- 6 維持装置の付与
- 7 埋没・鋳造
- 8 調整・研磨
- 9 レジンの築盛と重合
 - 1) メタルコーピングの前処理
 - 2) オペーク色
 - 3) サービカル色
 - 4) デンティン色
 - 5) エナメル色
- 10 形態修正
- 11 研磨・試適

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

21~45 【実習】2 陶材焼付鋳造冠の製作

- 1 シェードテイキング
- 2 作業用模型の製作
- 3 咬合器の装着
- 4 ワックスアップ
- 5 窓開け
- 6 スプルー線の植立、ベントの付与
- 7 埋没・鋳造
- 8 調整・研磨
- 9 陶材の築盛
 - 1) メタルコーピングの前処理
 - 2) オペーク色
 - 3) サービカル色
 - 4) デンティン色
 - 5) エナメル色
- 10 形態修正
- 11 研磨・試適

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

45~60 【実習】間接法による各種支台築造の製作

	1 前歯部における鋳造体による支台築造
	2 小臼歯部におけるファイバーポストを用いたレジン支台築造
	3 臼歯部における鋳造体による支台築造(分割築造)
	実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。
授業の到達目標	1 レジン前装鋳造冠を製作できる。
	2 陶材焼付鋳造冠を製作できる。
	3 間接法による各種支台築造が製作できる。 1) 前歯部における鋳造体による支台築造が製作できる。
	2) 小臼歯部におけるファイバーポストを用いたレジン支台築造が製作できる。
	3) 臼歯部における鋳造体による支台築造(分割築造)が製作できる。
 成績評価の方法	・下記に示す項目をクリアすることで、全評価の50%を割り当てる。
7501XII	1) 実習中、クラウンのコアカリキュラムに記載された事項ついて、学生自身による資料収集、事前学
	修、資料作成を行った上で、各項目ごとに口頭試問を受ける。
	2) 各技工作品を完成させる。
	3)病院実習前試験(歯科技工士版OSCE)の受講
	・後期に実習試験を実施し、担当教員による客観的評価を持って全評価の50%を割り当てる。
	1) ワックスアップ (実施時点までに行った補綴装置を対象) 2) 描画 (すべての歯種を対象)
	3) 筆記試験(多肢選択問題+記述式問題)
	*前期に実習試験を実施後、担当教員による客観的評価、フィードバックを行う。
	1) 全部金属冠のワックスアップ
	2) 臼歯描画
	*再試験:後期の実習試験(1)~3))と同じ評価で60%以上獲得した場合に、合格とする。
授業外で行うべき	・クラウンブリッジ技工は歯科技工の根幹をなす科目で、学修すべき内容は広範囲にわたる。材料やテーク
学修	ニックは、日進月歩なので、各種雑誌などを閲覧し、各自で情報の整理を行うこと。
	・次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意 すべ
	き事項などについて、教本、雑誌や文献などで調べ、自分なりに理解し、ノートにまとめ、整理 するなど、
	1 時間以上がりてア自を行うとと。 実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに 1 時間以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な 点は
	持ち越さず、次回に確認するようにすること。
	・セミナーや研修会、デンタルショーなどに積極的に参加すること。
使用テキスト	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017
	978-4-263-43166-5
	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017
	978-4-263-43171-9
参考資料	現在、発行されている関連の教科書は目を通すこと。
受講生への要望等	自主的な学修姿勢を心がけて下さい。
授業の質問対応、	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。
連絡先	授業時間以外では、設定されているオフィスアワーに、楠本教授室へ来て下さい。
	メール (kusumoto@cc.osaka-dent.ac.jp) または科目ごとに設定されているMellyで連絡してもらってもいい
	ですが、時間外(特に夜間)、休日は避けて下さい。但し、返信は遅れる可能があることをご承知おき下さ ,、
	ال اله

講義科目名称: クラウンブリッジ技工学実習Ⅲ 授業コード: 4K102

英文科目名称: Crown and Bridge Prosthodontics Practice 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	第4学年	2	必修(工学)		
担当教員					
楠本 哲次、錦織 良、藤田 暁					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31709			1 ○ E1 ◎	歯科医師	

授業の概要と方法

少数歯欠損に対する基本的な補綴装置として、ろう付け法用いた固定性ブリッジを製作する。

技術到達を最終目標とするのではなく、各ステップにおける器具・器材や技術的な問題点、課題、将来性などを理解したうえでの知識と技術の獲得を目的とするアクティブラーニングを展開する。そのためには、実習開始以前に、実習内容を事前学習し、資料の作成、説明用パワーポイントのスライドを製作し、実習ステップ開始時に、担当学生が発表し、質疑応答を受ける実習形態を採用する。教員は適宜、補足説明やデモンストレーションを行う。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、相互理解を得る。

授業計画

1,2 【実習】作業用模型の製作

指定された部位の作業用模型を製作する。

ブリッジの製作において、支台歯間の狂いは致命的になるので、慎重な歯型分割が必要である。 実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

3,4 【実習】咬合器装着

中心咬合位(咬頭嵌合位)で、適切に咬合器に装着する。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

5~10 【実習】ブリッジ構成要素のワックスアップ

各支台装置の内面や歯頚部付近における適合性、形態的、機能的に留意した咬合面、隣接面形態を付与すること。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

11 【実習】スプルー線の植立、ベントの付与

ワックスの取り扱い方で、変形や三次元的位置関係の狂いを引き起こすので、細心の注意が必要である。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

12 【実習】埋没・鋳造

慎重かつ適切な操作を心がける。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

13~15 **【実習】調整・研磨**

内面、咬合面、隣接面の適合を検査し、調整、修正を行う。

ろう付け面の適切な形態、間隙を確保する。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

16~19 【実習】ろう付けの準備とろう付け

ろう付け用の模型に関して、ろう付け操作を考慮して製作する。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

20~23 【実習】ろう付け後、金属熱処理、研磨

ろう付けを行ったあと、熱処理を適切に行う。

再度研磨、調整を行う。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

24~26 【実習】作業用模型上での調整

ろう付けが適切に行われれば、作業用模型に復位できるが、調整が必要なことも少なくない。 咬合接触や欠損顎堤粘膜との接触状態、隣接面関係なども再度、確認し、必要に応じて修正を行 う。

実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。

27~28 【実習】ポンティック頬側面の形態修正

ポンティック頬側面をレジンで回復することもあるので、形態付与、修正を行う。

	中羽門仏味に 一学生白色に トスプレゼン ニーン も中佐 ! ・ 牧号に トスオロギョナケミ
	実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。 29~30 【実習】最終確認
	各種チェック項目について、自己責任のもと確実にチェックを行う。
	各ステップに関して自主的に学修を行い、レポート提出の上、口頭試問を受け、合格するするこ
	と。 実習開始時に、学生自身によるプレゼンテーションを実施し、教員による補足説明を行う。
授業の到達目標	ブリッジの臨床意義が理解できる。 ブリッジの種類を説明できる。 ブリッジの構成要素について説明できる。 ブリッジの製作手順を説明できる。 ブリッジの連結方法と特徴を説明できる。
成績評価の方法	 ・下記に示す項目をクリアすることで、全評価の50%を割り当てる。 1) 実習中、ブリッジのコアカリキュラムに記載された事項ついて、学生自身による資料収集、事前学修、資料作成を行った上で、各項目ごとに口頭試問を受ける。 2) 各技工作品を完成させる。 ・実習試験を実施し、担当教員による客観的評価を持って全評価の50%を割り当てる。 1) ワックスアップ(実施時点までに行った補綴装置を対象) 2) 描画(すべての歯種を対象) 3) 筆記試験(多肢選択問題+記述式問題)
	*再試験:実習試験(1)~3))と同じ評価で60%以上獲得した場合に、合格とする。
授業外で行うべき学修	・ブリッジの製作技工は歯科技工の根幹をなす科目で、学修すべき内容は広範囲にわたる。材料やテクニックは、日進月歩なので、各種雑誌などを閲覧し、各自で情報の整理を行うこと。 ・次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意すべき事項などについて、教本、雑誌や文献などで調べ、自分なりに理解し、ノートにまとめ、整理するなど、1時間以上かけて予習を行うこと。 実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに1時間以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な点は持ち越さず、次回に確認するようにすること。 ・セミナーや研修会、デンタルショーなどに積極的に参加すること。
使用テキスト	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43166-5 最新歯科技工士教本 歯科技工実習 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43171-9
参考資料	現在、発行されている関連の教科書は目を通すこと。
受講生への要望等	自主的な学修姿勢を心がけて下さい。
授業の質問対応、 連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、設定されているオフィスアワーに、楠本教授室へ来て下さい。 メール(kusumoto@cc.osaka-dent.ac.jp)または科目ごとに設定されているMellyで連絡してもらってもいいですが、時間外(特に夜間)、休日は避けて下さい。但し、返信は遅れる可能があることをご承知おき下さい。

講義科目名称: 口腔インプラント技工学実習 授業コード: 3K303

英文科目名称: Oral Implantology Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
前期・後期	第3学年	2	必修(工学)				
担当教員	担当教員						
樋口 鎮央、錦織 良、首藤 崇裕							
科目ナンバリング	科目ナンバリング ロ腔保健学科の関連DP 口腔工学科の関連DP 科目に関連する実務経験						
31710			E1 ◎	歯科技工士			

31710			E1 ©	歯科技工士				
授業の概要と方法	作を行なう	を通じて口腔インプラント修復物を製作するための各種アバットメントの選択と上部構造の設計製ことにより、インプラント治療の基礎および生体に調和した修復物を製作する基本的な知識と技術また、種々の上部構造に対応するための各種アバットメントの特徴および使用目的と使用方法を理						
授業計画	1-2	撮影用テンプレート製作(実習)						
		CT撮影用テンプレートの具備領	条件を把握し、製作できる知識おる	よび技術を習得。				
	3-4	模型上におけるインプラント埋入	、(実習)					
		し、知識及び技術を習得。	技工用アナログを模型内に精度高	らく埋入する際の注意点を把握				
	5-10	作業用模型製作(実習)						
		**************************************	vー、クローズトレーを製作し、そ 真型を製作するための注意点を把握					
	11-15	咬合器装着 歯冠部回復(実	3					
			るための咬合器装着技術の習得。 Nてテンポラリークラウンを製作す Nてテンポラリー用歯冠形態の回復					
	16-19	カスタムアバットメント形成(実習	!)					
	20-25		Rしたカスタムアバットメントの形 リシックジルコニアクラウン製作(実習					
		最終修復物の具備条件を把握し と技術の習得。	、た上部構造体およびモノリシック	アジルコニアクラウンの製作知識				
	26-28	陶材築盛•焼成(実習)						
		陶材築盛技術の習得とポーセレ	フンのカラーリング技術の知識、技 レンファーネスの温度コントロール					
	29-30	形態修正・仕上げ(実習)						
		, (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	隊を表現するための仕上げを得るた]ントロール技術および質感と清掃					
授業の到達目標	・CT撮影用							

- ・CTデータ読影とインプラントシミュレーションソフトについて説明できる。
- ・サージカルガイドの各種製作方法について説明できる。
- ・サージカルガイドを製作できる。
- ・インプラント埋入手術の疑似体験をする。
- ・インプラント用個人トレーの特徴を説明し、製作できる。
- ・インプラント上部構造製作に必要な高精度の作業模型の製作できる。
- ・インプラント上部構造製作時に付与する咬合関係を説明できる。
- ・インプラント上部構造製作時に清掃性を考慮した歯冠形態を製作できる。
- ・上部構造体の形態を考慮したカスタムアバットメントを製作できる。
- ・ジルコニアコーピングまたはモノリシックジルコニアまたはニケイ酸リチウムをカスタムアバットメントに 精密に適合

できる。

- ・インプラント上部構造に付与すべき清掃性を考慮し、隣在歯と調和した歯冠形態の製作できる。
- ・生体親和性を考慮した歯肉縁下部および表面性状と仕上げを艶出し研磨で仕上げられる。

成績評価の方法	実習による各製作作品90%、実習態度10%により総合的に評価を行なう。
授業外で行うべき 学修	実習予定表および実習帳を事前確認し、実習内容を十分把握しておくこと。 事前の資料配布がある場合は十分予習をしておくこと。
使用テキスト	・最新歯科技工教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工教育協議会/クインテッセンス出版2006・教科書 良く分かる口腔インプラント学/医歯薬出版
参考資料	・CAD/CAMテクノロジー/日本歯科CAD/CAM学会、全国歯科技工士教育協議会 医歯薬出版2012 ・歯科技工別冊「インプラントの技工」医歯薬出版2004 ・若手歯科医師・技工士のための インプラント補綴・技工 超入門 クインテッセンス出版2010 ・歯科衛生士ベーシックスタンダードインプラント 医歯薬出版2015 ・良くわかる口腔インプラント学 医歯薬出版2017 ・これなら安心インプラント治療 ゼニス出版2004
受講生への要望等	・実習の進捗状況によっては実習時間の延長がある。器材、日程の関係で実習順序の変更を行なうことがある。インプラントは専門用語が多いのでそれぞれ、教科書を再確認して事前の予習をしておくこと。
授業の質問対応、 連絡先	Mellyにて質疑応答 別途、必要であれば研究室まで。

講義科目名称: 審美歯科技工学実習 授業コード: 3K203

英文科目名称: Esthetic Dentistry Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
後期	第3学年	1	必修(工学)			
担当教員						
樋口 鎮央、首藤 崇裕、藤田 暁						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31711			E1 ©	歯科技工士		

31711			E1 ©	歯科技工士				
授業の概要と方法	理工学的条件	件を理解し、フレームを製作する	知識と技術力を養う。	・ 築盛理論を理解した上で歯冠用セラミックス				
授業計画	1-4	作業用模型製作(実習)						
	精度の高い作業模型を製作でき知識技術を習得。 精度の高い咬合器装着ができるように知識技術を習得。 石膏の膨張の状態を習得。							
	5-6	ワックスアップ(実習)						
		審美性の高い修復物を作れる!! ポーセレンの特徴を理解した!						
	7	埋没(実習)						
		適合性の高い鋳造体を製作する 混液比の重要性を把握し、自動	o					
	8	鋳造(実習)						
		精度が高く、高品質な鋳造欠限 リングファーネスの使用方法の		るための注意点を習得。				
	9-10	鋳造フレームおよびジルコニアフ	レームの調整(実習)					
		ポーセレン築盛に必要なフレージルコニアフレーム製作の注意 使用ポイント(研削材)の選択 ポーセレンファーネスの取扱	意点と金属フレームと 沢と注意点を習得。					
	11	シェートテイキング、口腔内写真	【撮影(実習)					
		シェードガイドの構造とメージ 口腔内撮影用カメラの機能おる 各自がシェードテイキングが行	よび取扱い方を習得。					
	12-13	ポーセレン築盛・焼成(実習)						
		各種ポーセレンの特徴および、 ポーセレンファーネスのコン	トロール方法を習得。	<u>「盛方法を習得。</u>				
	14	ジルコニアクラウンのカラーリング	調整(実習)					
		モノリシックジルコニアクラ! 識、技術の習得。	うン(フルジルコニ ア	?) の最終焼成前における、カラーリング知				
	15	形態修正・艶出し仕上げ(実習	₽)					
			- 124112 - 111 121 - 121 111	るよび最終色調再現知識と技術習得。 出し仕上げの知識、技術の習得。				
授業の到達目標			 芸模型を製作できる					

- ・高精度な修復物を作製するための精密な作業模型を製作できる。
- ・サポートエリア・陶材築盛量を考慮したフレーム設計をできる。
- ・理工学的欠陥のないメタルフレームを鋳造できる。
- ・鋳造体もしくはジルコニアフレームを支台歯に正確に適合できる。
- ・サポートエリアを十分確保した陶材築盛面の調整ができる。
- ・歯科用陶材の特性を説明できる。
- ・シェードガイドの仕組みを理解してシェードテイキングができる。

	 ・デジタルカメラの仕組みを理解し、口腔内写真を撮影できる。 ・天然歯の色調を正確に判断し、複数の陶材を緻密に積層することで色調再現できる。 ・モノリシックジルコニアのカラーリングによる色調再現できる。 ・ステインによる色調表現法を理解し、説明、再現できる。 ・形態修正と艶出しにより天然歯の持つ質感を再現できる。
成績評価の方法	実習による各製作作品90%、実習態度10%により総合的に評価を行なう。
授業外で行うべき 学修	実習予定表および実習帳を事前に確認し、十分実習内容を把握しておく
使用テキスト	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会 編:医歯薬出版、2017
参考資料	・CAD/CAMテクノロジー/日本歯科CAD/ CAM学会、全国歯科技工士教育協議会 ・メタルセラミックス築盛の基礎: カラーアトラス/クインテッセンス出版 ・ザ・メタルセラミックス: カラーアトラス/クインテッセンス出版 ・最新CAD/CAMレストレーション/補綴臨床別冊/医歯薬出版 ・審美歯科技工の追求 医歯薬出版2018 ・上顎前歯部天然歯を光学的構造的に観察した珠玉の写真集 医歯薬出版2018
受講生への要望等	・実習の進捗によっては実習時間の延長もある。器材、日程により実習順序等の変更を行なうことがある。 ・事前に資料配布等があった場合は十分内容を予習しておくこと。 ・製作物が多いので休まないこと。
授業の質問対応、 連絡先	Mellyにて質疑応答 別途、必要であれば研究室まで。

講義科目名称:口腔工学 授業コード: 4K103

開講期間			配当年	単位数	科目必選区分					
前期			第4学年	2	必修(工学)					
担当教員				·	·					
錦織 良										
科目ナンバリング			口腔保健学科	Aの関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験				
31712			4 © E3 ○ 歯科技工士							
 受業の概要と方法	歯	科技工と	 関連する若し		 る可能性を含む材料化学.	生物学、機械工学の理論に関連する研究				
		歯科技工と関連する若しくは将来関連する可能性を含む材料化学,生物学,機械工学の理論に関連する研究 テーマに触れながら,今後これらの工学的手法の応用による顎口腔機能の修復のみならず全身の健康増進に寄								
	与	させるた	めの専門的な	知識について理	解を深める。また、口腔コ	- 学に関連する幅広い関連分野について多角				
	的な視野より講義を行う。									
	1	講義	口腔工学	概論・授業の進	 め方					
			・科目の	既要の説明						
				学の概論について	- -					
	2	講義	金属材料	について						
			・金属材料	料について研究・	開発・現在の到達点など	に関する講義				
	3	講義	無機材料	・金属材料について研究・開発・現在の到達点などに関する講義 無機材料について						
		-13324	• 無機材料	料について研究・	開発・現在の到達点など	に関する講義				
	4	講義		料について	7012 7012 - 723XE/M 0.C	1200				
	'	27.70			記・開発・現在の到達点な	どに関する講義				
	5	講義		料について	0 1/11/10 1/10/1±0/12/12/17/10/					
		X t tr a			記・開発・現在の到達点な	どに関する藩盖				
	6									
		5+% どに関する護姜								
	_	・CAD/CAM材料について研究・開発・現在の到達点などに関する講義 7 講義 積層造形装置について								
		神 我	積層道形装直についく ・積層造形装置について研究・開発・現在の到達点などに関する講義							
		なこに対 9 句語我								
	8	講義		清層造形装置について - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
		=#+ ->-	・積層造形装置について研究・開発・現在の到達点などに関する講義							
	9	講義		関連工学について						
				学に関する講義 		明本工学についいての選挙をマウ				
	1.0	=# **			/ルエ子、栓呂工子、寺の	関連工学についいての講義を予定				
	10	講義	関連工学							
				学に関する講義 = u z u = = = ::: <i>t</i>		明徳工学についいての課業をマウ				
		=# **	関連工学		/ルエ子、柱呂エ子、寺の	関連工学についいての講義を予定				
	11	講義								
				学に関する講義 = リマル・デミ <i>は</i>	7川 丁学 - 奴労丁学 - 笠の	関連工学についいての講義を予定				
	1.3	=# *	関連工学		/ルエ子、柱呂エ子、寺の	対理工子に がいての 講義を がた				
	12	講義								
				学に関する講義 テロアル・デジタ	7川.丁学 - 奴労丁学 - 竿か	関連工学についいての講義を予定				
	12	講義	社会歯学		ルエナ、性白エチ、寺の	刃仕エナに プい・し ツ 一我で 17年				
	13									
		=# ≠	・社会 <u>圏</u> ・ 社会歯学	学に関する講義 でついて						
	14	講義								
				学に関する講義 学の分野含むを予	テレアいキオ					
		# 羊	・ 関理		´圧U CVはy。					
	12	講義		_	以外からのまとめの講義					
	1		\rightarrow \rightarrow \sim	~ - w// / / / /						

	2) 高分子材料に関する特性の説明ができる 3) 無機材料に関する特性の説明ができる 4) 関連工学((CAD/CAM), 3Dプリンター, バイオマテリアル)に関して基本的な内容説明ができる 5) 生命科学(再生医療を含む)に関して基本的な内容が説明できる 6) 関連工学の研究開発に関して基本的な内容説明ができる 7) 自己学習ができる
成績評価の方法	・定期レポート100%とする。 ・なお、合格点に達していない定期レポートは1回だけ再提出することが出来る。 ・定期レポートの課題内容はその都度指定する。 ・全ての提出物の提出を行うことが成績評価を行うための基本条件とする。 ・提出物の期日内提出がない場合は科目の成績評価を行いません。 <<< ※提出物の期日内提出厳守に十分気をつけてください。 >>>
授業外で行うべき 学修	【予習】指定のテキストはないので、日ごろから関連する項目の情報に3-120分触れてください。 例えば日本語のネーチャー誌、科学系の雑誌などを大学の図書館や図書館のネット経由で読むなど。 【復習】毎回の講義が終わったら、3-120分程度その日の単元をよく思い出しながら難しかった点や、関心を持ったことに関して、個人で調べるとよいでしょう。 ・レポートの書き方について自主的に学習してください。 ・ワードやパワーポイントはしっかりこの機会に使いこなせるようにしてください。
使用テキスト	特にありません。
参考資料	 ・「わかりやすい説明」の技術-最強のプレゼンテーション15のルール(ブルーバックス)講談社 ISBN978-4062573870 ・「わかりやすい表現」の技術-意図を正しく伝えるための15のルール(ブルーバックス)講談社 ISBN978-4062572453 ・「わかりやすい文章」の技術-読み手を説得する18のテクニック(ブルーバックス)講談社 ISBN978-4062574433 ・大学生のための「論文」執筆の手引き卒論・レポート・演習発表の乗り切り方 ISBN 978-4-7980-2448-6 ・Phillips' science of dental materials / Kenneth J. Anusavice, Chiayi Shen, H. Ralph Rawls 12th ed. ISBN 9781437724189 ・中野田紳一 著、汎用CADによるデンタルデザイン the BASIC 補綴装置作成のための汎用CADヒント集 クインテッセンス出版株式会社 ISBN 978-4781205304 最新歯科技工士教本 歯科理工学 2019.ISBN 97814263431627 ・歯科鋳造の話 井田一夫 著 クインテッセンス出版 1987 ・続 歯科鋳造の話 井田一夫 著 クインテッセンス出版 1988 ・臨床でいきるデンタルマテリアルズ&テクノロジー 月刊歯科技工別冊 医歯薬出版 2006 JAN 4910042641160 ・臨床技工材料学の本 JAN 4910042641221
受講生への要望等	【ゲストスピーカーの招聘】 ・外部もしくは学内の先生をお招きする予定です。講義内容に関してレポート提出を課します。 【携帯端末等の取り扱い】 ・教員以外は特別の指示が無い限り携帯端末等(電話機を含む)の使用を禁止します。
授業の質問対応、	メリーもしくは講義終了後、もしくはオフィスアワー等にて。

連絡先

講義科目名称: 口腔工学病院臨床実習 I 授業コード: 3K304

英文科目名称: Oral Engineering Clinical Practice 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第3学年	8	必修(工学)	
担当教員				
柿本 和俊、西崎 宏、糸田 昌隆、釒	棉織 良、首藤 崇裕	、藤田 暁		
科目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP			口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31713			5 ○ E1 ◎ E4 ○	歯科医師

授業の概要と方法

歯科技工学に関して、第1学年と第2学年で学修した知識と学習模型上で習得した技能を、実際の臨床例の 多種多様な印象や模型での作業に応用できる技能を習得することが重要である。

この科目では、大阪歯科大学附属病院において複製した実際の臨床的模型を用いて、実習課題を完成させることによって、技能を向上させる。また、附属病院歯科技工士の作業の見学によって自身の技能の向上を図る。さらに、技工装置を用いた診療室での診療の見学によって、臨床に必要な技工関連知識とコミュニケーション能力を向上せる。

授業計画

1-4 【講義】登院式とオリエンテーション

- ・登院式
- ・附属病院見学
- ・実習内容説明

5-6 【グループ討議】病院臨床実習のグループ討議

- ・個々の実習目標発表
- ・実習態度についてのグループ討議
- ・実習目標の設定

7-54 【実習】臨床模型を用いての補綴装置製作

- ・研究模型の製作
- ・個人トレーの製作
- 暫間補綴装置の製作
- ・咬合床の製作
- ・歯冠形態の造形
- ・附属病院技工士の作業見学
- ・診療室での診療見学

55-56 【グループ討議】前期実習成果のグループ討議

- ・個々の実習成果の発表
- ・実習での課題・問題点についてのグループ討議
- ・後期実習の目標設定

57-178 【実習】臨床模型を用いての補綴装置製作

- ・研究模型の製作
- ・個人トレーの製作
- 暫間補綴装置の製作
- ・咬合床の製作
- ・作業模型の製作
- ・歯冠修復装置の製作
- ・有床義歯の製作
- ・スプリントの製作
- ・歯冠形態の造形
- ・附属病院技工士の作業見学
- ・診療室での診療見学

179-180 【グループ討議】後期実習成果のグループ討議

- ・個々の実習成果の発表
- ・実習での課題・問題点についてのグループ討議
- ・4年生での実習の目標設定

授業の到達目標

- 1) 技工指示書に基づいた口腔内装置を製作できる。
- 2) 適切な製作方法を選択できる。

成績評価の方法	3) 症例に応じた口腔内装置を製作できる。 4) 製作期日を順守できる。 5) 完成した口腔内装置を評価できる。 6) 技工室と診療室での基本的な態度を習得する。 実習課題の完成度・製作期間,製作レポート,見学レポート,前期,後期試験の成績及び実習態度を総合的に評価する。 評価の割合は、実習課題と製作レポート 40%,見学レポート 10%,中間試験 20%,期末試験 20%,実習態度 10%とする。 中間試験不合格者は,随時再試験を受験して,期末試験までに合格する必要がある。
授業外で行うべき 学修	与えられた実習課題について、製作に着手する前に必ず30分程度は予習をしておくこと。 実習課題の装置完成後と見学実習後は、休日を除いた2日後までに記載して提出すること。以後の提出は受け付けません。
使用テキスト	口腔工学病院臨床実習要綱
参考資料	「最新歯科技工士教本 歯科技工管理学」全国歯科技工士教育協議会編,医歯薬出版,2017年,ISBN978-4-263-43170-2 「歯科技工士教本 有床義歯技工学」全国歯科技工士教育協議会編,医歯薬出版,2017年,ISBN978-4-263-43165-8 「コンプリートデンチャーテクニック」細井紀雄ほか,医歯薬出版,2011年,ISBN978-4-263-45646-0「歯学生のパーシャルデンチャー」赤川安正,医歯薬出版,2018年,ISBN978-4-263-45817-4「最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学」,全国歯科技工士教育協議会編,医歯薬出版,2017年,ISBN978-4-263-43166-5 「保存修復クリニカルガイド」千田 彰ほか,医歯薬出版,2009年,ISBN978-4-263-45633-0「スポーツ歯科臨床マニュアル」日本スポーツ歯科医学会編,医学情報,2007年,ISBN 13:9784903553108 「臨床家のためのオーラルアプライアンス入門」 医学情報 「CAD/CAMデンタルテクノロジー」日本歯科CAD/CAM学会ほか監修,医歯薬出版,2012年,ISBN978-4-263-43349-2 「顎顔面補綴の臨床:咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために」大山喬史,医学情報,2006年,ISBN 13:9784903553009
受講生への要望等	前期試験は石膏の歯冠彫刻,後期試験はクラウンのワックスパタンの製作ですので十分に練習しておいてください。どの歯が出題されるかはわかりません。 実習期間中に矯正歯科技工室、中央画像検査室(歯科放射線科)及び口腔リハビリテーション科の見学実習を行いますが、特に意欲のある学生はあらかじめ申し出てください。見学実習日数を増やすことも可能です。中央技工室では実際の患者さんの模型や装置を扱っています。不用意な行動で破損すると重大な結果になります。細心の注意を払ってください。 診療室での態度には特に気をつけてください。不適切な髪、服装、態度及び不用意な言動は大きなトラブルとなります。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称: □腔工学病院臨床実習 II 授業コード: 4K104

英文科目名称: Oral Engineering Clinical Practice 2

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		第4学年	4	必修 (工学)			
担当教員							
柿本 和俊、西崎 宏、樋口 鎮央、首藤 崇裕、藤田 暁							
科目ナンバリング		口腔保健学科の関	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31714				5 O E1 O E4 O	歯科医師		
授業の概要と方法	歯科技工学に関して,第1学年と第2学年に加えて第3学年で学習した知識と習得した技能を,実際の臨床の模型での作業に応用できる技能をさらに高め,卒業後すぐに適応できる実践能力を身に着ける。 この科目では,大阪歯科大学附属病院で実習を行い,複製した実際の臨床的模型を用いて,実習課題を完させることによって,さらに応用技能を向上させる。加えて,臨床現場において,口腔内装置が利用されてる状態を見学し,技能向上に役立てる。						
授業計画	1-2	【グループ討議	」病院臨床実習	のグループ討議(柿本、西崎、樋口	、首藤、藤田)		
	3-88	・口腔工学病 ・口腔工学病 ・口腔工学病	院臨床実習Ⅰでの 院臨床実習Ⅰから 院臨床実習Ⅱでの 関型を用いての口	D反省点 6の改善点 D目標			
	89-90	・口腔リハビ【グループ討議・個々の実習・実習の課題	製作 の製作 可の製作 ご利用した有床義 リテーション関連 ジ実習成果のグル	連装置の製作 ノープ計議 この討議			
授業の到達目標	2) 適切な勢3) 製作期日4) 完成した	示書に基づいて効 製作方法を選択し 日を遵守できる。 こ口腔内装置を正 長置と診療との関	て実施できる。	空内装置を製作できる。			
成績評価の方法	実習課題の完成度・製作期間,製作レポート,見学レポート,及び実習態度を総合的に評価する。 評価の割合は,実習課題と製作レポート 60%,見学レポート 20%,実習態度 20%とする。						
授業外で行うべき 学修	スケッチと歯型彫刻を春期休暇中の課題とします。4月15日の実習時の提出となります。 与えられた実習課題について、製作に着手する前に必ず予習をしておくこと。 実習課題の装置完成後と見学実習後は、休日を除いた2日後までに記載して提出すること。以後の提出は受け付けません。						
使用テキスト	口腔工学病	院臨床実習要綱					
参考資料	「最新歯科技工士教本 歯科技工管理学」全国歯科技工士教育協議会編,医歯薬出版,2017年,ISBN978-4-263-43170-2 「歯科技工士教本 有床義歯技工学」全国歯科技工士教育協議会編,医歯薬出版,2017年,ISBN978-4-263-43165-8 「コンプリートデンチャーテクニック」細井紀雄ほか,医歯薬出版,2011年,ISBN978-4-263-45646-0「歯学生のパーシャルデンチャー」赤川安正,医歯薬出版,2018年,ISBN978-4-263-45817-4「最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学」,全国歯科技工士教育協議会編,医歯薬出版,2017年,ISBN978-4-263-43166-5 「保存修復クリニカルガイド」千田 彰ほか,医歯薬出版,2009年,ISBN978-4-263-45633-0「スポーツ歯科臨床マニュアル」日本スポーツ歯科医学会編,医学情報,2007年,ISBN 13:9784903553108 「臨床家のためのオーラルアプライアンス入門」 医学情報						

	「CAD/CAMデンタルテクノロジー」日本歯科CAD/CAM学会ほか監修, 医歯薬出版, 2012年, ISBN978-4-263-43349-2 「顎顔面補綴の臨床:咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために」大山喬史, 医学情報, 2006年, ISBN 13:9784903553009
受講生への要望等	中央技工室では実際の患者さんの模型や装置を扱っています。不用意な行動で破損すると重大な結果になります。細心の注意を払ってください。 診療室での態度には特に気をつけてください。不適切な髪,服装,態度及び不用意な言動は大きなトラブルとなります。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称: 口腔工学訪問実習 授業コード: 4K105

英文科目名称: Oral Engineering Clinical Visit

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
通年	第4学年	1	必修(工学)			
担当教員						
柿本 和俊、楠本 哲次、錦織 良、芹	柿本 和俊、楠本 哲次、錦織 良、芦田 貴司					
科目ナンバリング 口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
31715		E1	歯科医師			

授業の概要と方法

要介護高齢者の増加に伴い、歯科医療においては訪問歯科診療の重要性が増している。訪問歯科診療において、最も治療頻度が高いのは義歯に関する治療である。なかでも義歯の修理やリラインには、歯科技工士が訪問歯科診療に同行することは非常に有用である。

この科目では、訪問歯科診療の心得、機材の準備、使用用法、片付けについて学習したうえで、大阪歯科大学附属病院が実施している訪問歯科診療に同行し、訪問歯科診療を体験するとともに他の医療職との連携について習得する。さらに、口腔保健学科の学生とともに体験した症例を報告し、学生相互にディスカッションを行い、体験を共有する。

授業計画

【講義】訪問歯科診療の概説(柿本)

- ※ 口腔保健学科,口腔工学科合同講義
- ・オリエンテーション
- 訪問歯科診療の必要性
- ・往診と訪問診療
- 訪問歯科診療での処置
- ・訪問歯科診療でのマナー

2 【講義】訪問歯科診療の対象(芦田)

- ※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義
- 訪問歯科診療の対象患者
- ・訪問歯科診療の場所
- ・訪問歯科診療の環境
- ・往診と訪問診療
- ・医療保健と介護保険

3 【講義】訪問歯科診療の情報収集・準備(芦田)

- ※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義
- ・患者の基本的事項
- ・家庭や周囲の環境
- ・口腔アセスメント
- ・交通手段と訪問車
- ・訪問歯科診療に用いる器材
- ・器材の準備
- ・居宅・施設内での場所の設定
- ・患者の準備

4 【講義】訪問歯科診療での処置(芦田)

- ※ 口腔保健学科,口腔工学科合同講義
- ・訪問歯科診療の対象となる疾患
- ・訪問歯科診療で実施できる処置
- ・訪問歯科診療での特殊性
- ・緊急時の対応

5 【講義】訪問歯科診療での歯科技工士の役割1(楠本)

- ・訪問歯科診療に必要な歯科技工士の器材
- ・訪問歯科診療で歯科技工士が必要となる処置
- ・有床義歯への対応
- ・その他の口腔内装置への対応

6 【討議】訪問歯科診療での歯科技工士の役割2(楠本)

・これからの歯科技工士が訪問歯科診療で果たす役割

		<u> </u>				
		・歯科技工士が要介護者にできるこれからの支援 ・訪問歯科診療に求められる歯科技工士の資質				
	7	・前向圏科ジ原に水のうれる圏科及エエの負責 【講義】訪問歯科診療後の対応(芦田)				
	/					
		※ 口腔保健学科, 口腔工学科合同講義・訪問先での片付け・清掃				
		・介護者への説明・診療記録				
		・診療記録・帰院の業務				
	8	【講義】訪問歯科診療での多職種連携(楠本)				
		・ケアマネージャーとの連携				
		・医師との連携				
		・看護師との連携				
		・施設職員との連携				
		・その他の関連職種との連携				
	9-10	【実習】訪問歯科診療器材の使い方(柿本、楠本、錦織)				
		※ 班別実習				
		・ポータブル歯科ユニットの設置				
		・ポータブル歯科ユニットの使用				
		・ポータブル歯科ユニットの片付け				
		・ポータブル歯科ユニットの移動				
	11-18	【実習】訪問歯科診療実習(柿本、楠本、錦織)				
		※ 小班別実習				
		関西電力病院,大手前病院、小松病院				
		・事前の情報収集				
		・材料の準備				
		・器材の運搬				
		・器材の設置				
		・診療見学				
		・片付け				
	19	【演習】体験レポートの作成(柿本、楠本、錦織)				
		・体験の整理				
		・学修したこと				
		・今後について				
		・レポートの作成				
		・プレゼンテーションの作成				
	20-23	【討議】体験事例の報告(柿本、楠本、錦織)				
		・患者の状態				
		・実施した処置				
		・歯科衛生士・歯科技工士としての対応				
		・訪問歯科診療で学修したこと				
		・これからの訪問歯科診療について				
		・自らが何を学修するべきか				
	1) 試問協利	診療の対象者と施設を説明できる。				
(大学)到连口惊		者に訪問歯科診療の説明ができる。				
	2) 任七原食自に訪问圏科診療の説明がてきる。 3) 訪問歯科診療における歯科技工士の役割を説明できる。					
	4) 訪問歯科診療での多職種の役割と連携を説明できる。					
	4) 訪問歯科診療との多職種の役割と建設を説明とさる。 5) 訪問歯科診療の情報収集ができる。					
		診療の準備ができる。				
		診療での歯科技工を説明できる。				
		診療の事後処置ができる。				
北緒評価の方法		実習に関するレポート、体験事例の報告及び質疑を総合的に評価する。				
成績評価の方法		:美賀に関するレホート、体験事例の報告及び質疑を総合的に評価する。 :, レポート 60%, 報告 30%, 質疑 10%とする。				
皮乗がて打りへる 学修	の復習が必要					
או נ	ジスロルが安					

	訪問診療実習は2日間を予定しています。1日ごとに実習で行ったことや見学したことに関するレポートを 作成してください。レポートの提出は20回目の授業開始時とします。
使用テキスト	実習要綱
参考資料	「歯科衛生士のための訪問歯科診療ガイドブック」米山武義ほか,2018年,医歯薬出版,ISBN978-4-263-42257-1 「歯科訪問診療」前田実男,日本歯科新聞社,2018年 「在宅歯科医療 まるごとガイド」菅 武雄,永末書店,2013年,ISBM 978-4-8160-1256-3 「在宅療養者の口腔機能維持管理のための地域連携ガイドライン」リーフレット・ガイドライン・ワーキング,大阪府,2013年
受講生への要望等	学外実習では遅刻は厳禁です。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称: **医学一般** I 授業コード: 30103

英文科目名称: Medical Science 1

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		第3学年	1	必修(両学科)			
<u>1373</u> 担当教員	330] [רדיננייו) פויטען			
元根 正晴							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP			ロ腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31801		H1 © H2 O		E1 © E2 O	医師		
授業の概要と方法	ら、生活し 学、生化学 ケーション	遺伝子、細胞、器官レベルの解剖学・生理学・生化学の基本の上に成り立ち、環境に影響を受 している。歯科衛生士・歯科技工士として仕事を行う上で、口腔内のみならず、全身の解剖学 学のみならず、疾患・病態の理解が必須になる。また医師や看護師などの多職種との円滑なコ いをとるうえでも医学的知識は必須となる。本講義では、基礎医学の理解の上に、病気・疾患 学の説明を行う。					
授業計画	第1回	洋医学の発展 人体の構造と	:歴史につい €について講 :機能	義形式で解説する。	ネッサンス⇒近代と時系列に沿って、西		
	第3回	を兼ねて、請 環境・文化と	義形式で学 人間の健康	習する。細胞、組織、器官レベリ :	までに学んでいる内容ではあるが、復習 レで人体の構造と機能を見直す。 公害や環境破壊についても説明する。		
	第4回	病気の基本 病気の原因を発症原因別、障害別、発症部位別に分け講義形式で説明する。また症状学や病理学 にも言及する。					
	第5回	5回 病因・病態別の病気の分類 病因・病態別に病気を分類し、解説する。遺伝病、外傷、感染症、アレルギー、腫瘍、代謝障 害、変性などに分けて講義形式で説明する。					
	第6回	器官別の病気各論(1) 器官別の病気各論を講義形式で説明する。(1)では、消化器、呼吸器、循環器、腎臓・泌尿 器、血液、神経、精神に関する病気を取り扱う。					
	第7回		各論を講義	形式で説明する。(2)では、Æ 喉科に関する病気を取り扱う。	支膚、小児、高齢者、外科、整形外科、		
	第8回			する。生化学検査、血液学検査、 義形式で説明する。	微生物検査、遺伝子検査、画像診断、		
授業の到達目標	・基礎医学について説明できる ・臨床医学の各論について説明できる ・臨床診断学について説明できる ・多職種連携において主体的に関われる能力を身につける。						
成績評価の方法	科目試験100%						
授業外で行うべき 学修	生理学、病理学、細菌学などの教科書を読みなおすこと						
使用テキスト	南江堂:医学概論 中島泉						
参考資料	 生理学、解剖学、組織学などの2年次までの使用教科書						
受講生への要望等	全身の医学的知識を習得することは大変重要です。口腔内の知識を生かすのにも役立ちますし、医師や看 とのコミュニケーションにも必須です。						
授業の質問対応、 連絡先		医療保健学部 曜日:全日可能,		效授室 F後可能,金曜日:午前可能			

講義科目名称: 医学一般Ⅱ 授業コード: 30201

英文科目名称: Medical Science 2

開講期間	配当年 単位数 科目必選区分						
後期		第3学年	1	必修(両学科)			
担当教員							
元根 正晴							
科目ナンバリング		口腔保健学科の関	関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31802		H1 © H2 🔾		E1 © E2 O	医師		
授業の概要と方法	ら、生活し 学、生化学 ケーション	ている。歯科衛生 のみならず、疾患 をとるうえでもB	E士・歯科技工士 患・病態の理解が 医学的知識は必須	・生理学・生化学の基本の上に成さして仕事を行う上で、口腔内の が必須になる。また医師や看護師な となる。本講義では、医学一般 I 医療法規などについて解説する。	みならず、全身の解剖学、生理 どの多職種との円滑なコミュニ		
授業計画	第1回 第2回	医療の基本	各論と予防医学(こついて講義形式で解説する。	V		
	第3回	主要な病因・ 主要な病因・	病態に対する医 病態に対する医療	チーム医療について講義形式で解詞 療の枠組み 寮の枠組みを、診断・治療・予防に			
	第4回	第4回 一般診療における医療 診療科ごとに医療現場のありかたを講義形式で解説する。救急医療や総合診療などの診療科横断的な科についても説明する。					
	第5回 公衆衛生学 疫学や公衆衛生学について講義形式で解説する。特に感染症との関連について解説する。						
	第6回 予防医療 健康診断・予防接種などについて講義形式で解説する。予防医学との関連も説明する。						
	第7回 社会の医療情勢と医療体制 現在の医療情勢と医療体制について講義形式で解説する。医療教育についても解説する。						
	第8回	医療法規と医 医療法規・社 る。		寮施策について講義形式で解説する	る。医療経済との関係も説明す		
授業の到達目標	医療関連の多職種連携に、主体的に関わることができる。 日本の医療の経済的側面について説明できる。						
成績評価の方法	科目試験100%						
授業外で行うべき 学修	日本の医療制度・医療法制に関わる資料を読んでおく。						
使用テキスト	南江堂:医学概論 中島泉						
参考資料	厚生労働省ホームページで現在の日本の医療に関する資料を読んでおくこと						
受講生への要望等	医学一般に		 ナておくことは医		 ンツールになります。		
授業の質問対応、連絡先	医学一般に関する知識をつけておくことは医療職種に共通のコミュニケーションツールになります。 元根正晴:医療保健学部 一号館一階 教授室 月曜日、火曜日、木曜日:全日対応可能 水曜日:午後対応可能 金曜日:午前対応可能						

講義科目名称: 医療コミュニケーション学 授業コード: 20110

英文科目名称: Patient Communication

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		第2学年	1	必修 (両学科)			
担当教員		•	•				
佐久間 泰司							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP			口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31803		DP1 O DP2	0	DP1 ○ DP2 ○ DPE4 ◎	病院医療安全管理責任者		
授業の概要と方法	適切なコミ 本教科では ションの特	ユニケーション 、患者と遭遇す	ンをできる能力 する様々な歯科 た実践できる能	「多くの患者に接し、対応する。その が必要です。 対医療の現場において、適正かつ迅流 対を得ることを目的とします。			
授業計画	第1回	コミュニケ コミュニケ コミュニケ	ーションの特征	成要素と成立過程			
	第2回	言語的コミ非言語的コ	ュニケーションミュニケーション	>			
	第3回	コミュニケーションに影響するもの コミュニケーションにおける4つの交流 コミュニケーションに影響する要因 良好なコミュニケーションに必要なこと					
	第4回	第4回 良好なコミュニケーションに必要な技法一質問技法ー(講義・ゲループワーク) コミュニケーションの場面を設定する(環境を整える) 聴くための技法:質問技法					
	第5回	積極的傾取 積極的傾聴 共感とは 積極的な傾	とは	・グループワーク)			
	第6回	なぜ関係構 感情探索の 感情操作の	築の技法が必 技法 技法	必要な技法ー関係構築の技法ー(要なのか ンには促進の技法を統合して活用す			
	第7回	面接のプロ 患者中心の	セス(講義、演 面接 の面接への移行	習)			
	第8回						
授業の到達目標	 言語的および非言語的コミニュケーションの方法を概説できる。 対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。 疾患が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。 チームワークの重要性を例示して説明できる。 						
成績評価の方法	グループワ	さっている。 日試験 40%、グループワークの参加度 40%、レポート課題 20% レープワークを重視します。 ポート課題は、コミュニケーションに関する具体例を考えていただく内容です。					

授業外で行うべき 学修	毎回、教科書を読んで予習をしてきてください。 グループワークに予習は必須です。
使用テキスト	山本高史著 伝わるしくみ, マガジンハウス社、2018年 教科書を用いて授業をしますので、必ず持参してください。
参考資料	以下は図書館で参照してください。 和田仁孝ほか/医療メディエーション 医療タイムス社教育研修事業部/医療の接遇 廿日出庸治/患者に寄り添う医療コミュニケーション 國頭英夫/死にゆく患者(ひと)と、どう話すか Lloyd,M./事例で学ぶ医療コミュニケーション・スキル 水木さとみ/歯科医療コミュニケーション・スキル 水木さとみ/歯科医療コミュニケーション 小澤竹俊/死を前にした人にあなたは何ができますか?" 日本医療マネジメント学/臨床事例で学ぶコミュニケーションエラーの"心理学的"対処法 山本美保/医療現場の人間関係につまずき「ナース向いてないかも…」と思う前に試してみたいコミュカアップ 術25 上谷 実礼/ナースのためのアドラー流勇気づけ医療コミュニケーション:メンタルヘルスの専門家・ミレイ先生 が人間関係の悩みを解決! 三瓶舞紀子/看護の現場ですぐに役立つ 患者接遇のキホン (ナースのためのスキルアップノート) 浅野 マリ子/笑顔のカ 病院ボランティア経験でわかったコミュニケーションメソッド
受講生への要望等	友達や家族との会話と異なり、患者とのコミュニケーションには知識と技術が必要です。学問的な背景をよく 学んでください。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。なお回答は遅れることがありますので、急ぐ時は教務を通じて催促してください。

講義科目名称: 臨床検査学 授業コード: 30202

英文科目名称: Clinical Laboratory Studies

1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
後期	第3学年 1 必修(両学科)					
担当教員						
元根 正晴						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31804	H1 © H2 O		E1 ◎ E2 ○	医師		

授業の概要と方法

歯科学領域では、主に口腔外科関係の診療科を受診する患者に対して、手術や麻酔の安全性を確認するために 各種の臨床検査(血球計測、尿検査、血清生化学検査、止血凝固検査、呼吸機能検査、心電図、胸部レントゲン検査など)が行われる。また感染症の診断や院内感染防止の目的で細菌検査やウイルス検査も日常的に実施されている。さらに腫瘍性病変の診断には病理検査が欠かせない。これから歯科衛生士・歯科技工士を目指す学生諸君にとって、臨床検査学の概要を知っておくことは極めて重要である。本授業では、疾患別に臨床検査学の概要を説明していく。

授業計画

臨床検査学総論、循環器疾患の検査

臨床検査とはどういうものかを説明する。臨床検査の意義と誤差について総説する。血液検査、 尿検査、超音波(血管、腹部、心臓など)、画像(CT、レントゲン、MRIなど)、細菌検査、病 理検査、心電図、シンチグラムなどについて各論を概説する。

次に循環器疾患とは、心臓、血管に関係する疾患である。最も基本的な検査は、心電図、心工コーであるが、さらに詳細に検査するには運動負荷心電図、心筋シンチ(安静時および運動負荷時)を実施する必要がある。血液検査からは、心筋逸脱酵素(WBC,GOT,LDH,H-FABP,Trop-T)などが参考になる。虚血性心疾患の鑑別には冠血管造影検査、心臓CTなどが用いられる。循環器疾患には感染症(感染性心内膜炎など)や膠原病(大動脈炎など)も含まれる。それらの説明も行う。また循環器疾患の治療法・予防法にも言及する。

2 呼吸器疾患の検査、消化管疾患の検査

呼吸器疾患とは肺・気管・気管支に関係する疾患である。最も基本的な検査は、胸部レントゲン、胸部CT、呼吸機能検査である。さらに詳細な検査として運動負荷心肺機能検査がある。気管支喘息などのアレルギー性疾患に対しては、IgE,IgE RAST抗体なども補足的に用いられる。細菌性肺炎に対しては、喀痰培養などの細菌学的検査が、肺がんなどの悪性腫瘍に対しては病理細胞診、病理組織診が有効である。また呼吸器疾患の治療法・予防法にも言及する。

次に消化管とは、口腔一食道一胃一十二指腸潰瘍一小腸一大腸とつながる管腔臓器である。最も 基本的な検査は、造影検査、立位腹部単純レントゲン、腹部CTなどの画像検査であるが、最近は 消化管エコー検査も多用されてきている。より詳細な形態学検査として、上部・下部消化管内視 鏡も用いられる。また細菌感染症のための便培養、悪性腫瘍のための病理細胞診なども用いられ る。また消化管疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。

3 肝・胆・膵疾患の検査

消化器の中で消化管以外の実質臓器として肝・胆・膵があげられる。最も基本的な検査として、腹部CT、腹部エコーがあげられる。より詳細な検査としてERCPなどもある。生化学検査としての、肝酵素(AST,ALT)、胆道系酵素、消化酵素(アミラーゼなど)も重要である。悪性腫瘍のための病理組織診も用いられる。肝・胆・膵疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。

4 感染症の検査、血液・造血器疾患の検査

感染症は、起炎菌から細菌性、ウィルス性に大きく分けられる。当然ながら、塗抹・培養による 細菌学的検査が主になるが、検体として、喀痰・尿・便・血液などから選択する必要があり、そ のためには感染症を起こしている部位の特定が必須である。そのためには、胸腹部レントゲン、 胸腹部CT、腹部エコーなどによる形態学的検査や生化学・末梢血検査・尿検査などによる感染の 有無や場所の同定も重要である。感染症の治療法・予防法にも言及する。

次に血液疾患は、大きく分けて赤血球疾患、白血球疾患、血小板疾患に大別される。診断に関わる臨床検査として、末梢血検査、マルク骨髄検査などがあげられる。血液疾患の治療法・予防法 にも講義形式で言及する。

5 内分泌疾患の検査、腎・泌尿器疾患の検査、体液・電解質・酸塩基平衡の検査

内分泌疾患とは、視床下部・甲状腺・副甲状腺・副腎・精巣・卵巣などの内分泌臓器におこる疾 患の総称であり、大きく機能亢進症と機能低下症に分類される。内分泌疾患に関わる臨床検査と しては、CT、MRIなどの形態学的画像検査、腹部エコーなどの超音波検査、生化学検査、ホルモ

	ン負荷試験などがあげられる。疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。 腎臓・泌尿器疾患は、腎臓・尿管・膀胱・尿路に関係する疾患であり、診断に関わる検査として、生化学検査、尿検査、骨盤CT、エコー検査などに加え、尿培養、尿細胞診などがあげられる。詳細な検査として、膀胱鏡、腎生検なども挙げられる。 体液、電解質、酸塩基平衡の検査、神経・運動疾患の検査 電解質・酸塩基平衡に関しては、血液ガス検査などがあげられる。疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。					
	神経・運動運動疾患とは、神経・筋肉・骨関節などに関係する疾患であり、臨床検査として、 MRI・CT・超音波などの形態学的検査、脳波・筋電図などの機能検査、筋原性酵素などの生化学 検査を含む。					
	7 膠原病・免疫・アレルギー疾患の検査、代謝・栄養疾患の検査					
	膠原病・免疫・アレルギー疾患に関する臨床検査として、各種特異抗体、生化学検査などが含まれる。これらの疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。 また代謝・栄養疾患とは、糖尿病・脂質異常症などの内分泌臓器異常あるいは標的臓器異常に起因する疾患である。CTなどの形態学的検査のみならず、生化学検査、ホルモン検査などが用いられる。					
	8 感覚器疾患の検査、中毒の検査、遺伝子・染色体異常の検査、悪性腫瘍の検査					
	感覚器疾患とは、眼科・耳鼻科疾患を含み、CTなどの形態学検査や視力・視野・聴力検査などの機能検査を含む。これらの疾患の治療法・予防法にも言及する。 遺伝子・染色体異常の検査には、遺伝子(DNA,RNA)および染色体の検査が含まれる。また悪性腫瘍検査には、各種検体からの細胞診、組織診および腫瘍マーカーなどが用いられる。これらの疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。					
授業の到達目標	臨床検査の概要が説明できる。 感染症検査・病理検査について検体処理方法が説明できる。					
成績評価の方法	科目試験100%					
授業外で行うべき 学修	テキストを熟読すること。画像アトラスやスライド(病理、微生物、病理など)を見ておくことも重要。					
使用テキスト	医学書院: 臨床検査医学 総論 矢富裕					
参考資料	CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 第4版 I巻 頭部・頸部 単行本 2015/2/2 感染症プラチナマニュアル					
受講生への要望等	臨床検査学には、血液検査、尿検査、画像検査(レントゲン、CT、MRIなど)、超音波検査、病理検査、細菌 検査など多くの内容を含みます。検査所見の解釈などに精通しておくことで、歯科衛生士や歯科技工士の業務 に興味がわくことでしょう。					
授業の質問対応、 連絡先	元根正晴:医療保健学部 一号館一階 教授室 月曜日、火曜日、木曜日:全日対応可能 水曜日:午後対応可能 金曜日:午後対応可能					

講義科目名称: 医科歯科連携学 授業コード: 30104

英文科目名称: Medical-Dental Collaboration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分				
前期	第3学年	1	必修(両学科)				
担当教員	担当教員						
糸田 昌隆							
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
31805	H1 ○ H2 ◎		E1 ○ E2 ◎	歯科医師			

科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31805		H1 ○ H2 ◎	E1 O E2 ©	歯科医師		
授業の概要と方法	れぞれの専門療の提供が	門的知識と対応による相乗効果に	医科が緊密な連携を行い、相互のよって、患者を中心とした質の高 士として多職種と協働する際に必 身につける。	い医療と安心と満足度の高い医		
授業計画	1	ガイダンス				
		・多職種連携の必要性と意義・多職種連携の種類				
	2	現在の医療政策、介護政策、	福祉政策 I			
	3	現在の医療政策、介護政策、	福祉政策 Ⅱ			
	4	各医療・介護・福祉関係職種	の役割			
	5	チーム医療での歯科衛生士の	役割			
		(保健指導からできること) 歯科衛生士のチーム医療での :	办 1 			
	6	圏科制生工のナーム医療での	介入划未			
	7	医療連携ツール				
		・地域連携クリティカルパスに				
		・IT活用やデータ集積についる				
	8 多職種が用いる代表的評価法と内容(多職種共通言語の理解)					
	9	各種カンファレンスについて				
		・歯科医療者を必要とする力ン ・各カンファレンスの内容と				
	10	歯科衛生士による他施設・多				
				では、		
	11		職種への情報提供書の作成Ⅱ			
	1.1	GW: 歯科医療者からの情報系				
	12	ケーススタディー【				
		・がん患者の問題点について				
		GW:ガンの周術期口腔管理の)方法			
	13	ケーススタディー				
		・脳外科患者の問題点についる	-			
	1.4	GW:脳外科疾患の周術期口腔 ケーススタディー	26年			
	14	・ 終末期患者の問題点につい	7			
		・終末期思名の同題点にしいる GW:終末期口腔管理の口腔介				
	15	チーム医療発表会&ディスカッシ				
	13	GW:チーム医療での歯科医療				
	/p // =					
授業の到達目標	・1禾1建・医	原・価値の運携を理解し、圏科俑	生士として役割と介入効果を説明	じざる。		

	・多職種の役割とその介入内容の概要を説明できる。 ・自身の能力の限界を認識し、他の医療従事者に必要に応じて援助を求めることができる。 ・地域の保健、医療、福祉と介護活動とネットワークの状況を説明できる。
成績評価の方法	第1回から10回までの内容を単位試験にて50%、グループワークへの参加の評価を30%、プレゼンテーションの評価を20%で行う。
授業外で行うべき 学修	自身の生活の中で、周囲の医療・介護等々に関する情報や活動に興味を持ち、興味を持ったことについて調べておく。また授業内容で学んだことと、自身で調べた内容がどのように関連・連携しているかを考察すること。
使用テキスト	授業に際し適宜資料を配布する。
参考資料	「慢性期医療講座テキスト」厚生科学研究所
受講生への要望等	身の回りの医療・介護・福祉分野にアンテナをはり、情報を収集すること
授業の質問対応、 連絡先	随時受け付ける。

講義科目名称: 医科歯科連携学実習 授業コード: 30203

英文科目名称: Medical-Dental Collaboration Practice

開講期間 配当年 単位数 科目必選区分						
後期 第3学年 1 必修(両学科)						
担当教員	担当教員					
糸田 昌隆、貴島 真佐子、逢坂 伸子	糸田 昌隆、貴島 真佐子、逢坂 伸子、入江 智子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31806	H2 ◎ H3 ○		E2 ◎ E3 ○			

31806	H2 © H3 O E2 © E3 O
授業の概要と方法	円滑なチーム医療が行える歯科医療者を目指し、病院施設での多職種連携の中での歯科技工士の役割と、多職種の業務内容を理解することを目的とする。医科歯科連携学を第3学年、前期で学習した基本知識をもとに、実際の病院・施設での歯科の重要性や実施するべき歯科技工士の業務(口腔リハビリテーションの意義など)を中心に、多職種の連携(新入院評価やリハビリテーションカンファレンスなど)ついて考え学ぶ機会をつくる。
授業計画	1 院内オリエンテーション。病院・施設内(わかくさ竜間リハビリテーション病院、介護老人保健施設)見学
	2 病院内での歯科衛生士の役割 歯科的対応(歯科外来、入院患者など)の見学
	3 口腔ケアの実施方法の説明
	4 実際の口腔ケア(器質的口腔ケア)の見学 (歯科衛生士編)
	5 実際の口腔ケア(器質的口腔ケア)の見学 (歯科衛生士編)
	6 実際の口腔ケア(器質的口腔ケア)の見学 (看護・介護職編)
	7 多職種による新入院評価の見学
	8 リハビリテーションカンファレンス見学
	9 言語聴覚士による摂食・嚥下リハビリテーションの見学
	10 言語聴覚士による摂食・嚥下リハビリテーションの見学
	11 言語聴覚士による摂食・嚥下リハビリテーションの見学
	12 言語聴覚士による摂食・嚥下リハビリテーションの見学
	13 大東市介護予防事業の見学
	14 大東市介護予防事業の見学
	15 大東市介護予防事業の見学
授業の到達目標	・医療現場における多職種連携医療を歯科医衛生士の視点で体験・学修する。 ・各種連携会議・カンファレンスを体験する ・健康長寿にむけた地域高齢者への取り組みを体験する。
成績評価の方法	実習中の態度、日々の日誌およびレポートで評価する。最終評価について、実習先施設の学生担当者と協議し総合的に判断し評価を行う。
授業外で行うべき 学修	なし。病院、医療、地域支援事業を体験すること。

使用テキスト	なし
参考資料	「地域包括ケアを支える医科歯科連携実践マニュアル」シエン社 「慢性期医療認定テキスト」
受講生への要望等	多職種との連携ツール、共通言語は何かを確認すること。
授業の質問対応、 連絡先	実習先、学内等々で随時受けつける。 学内では糸田まで。

講義科目名称: 臨床運動生理学 授業コード: 30105

英文科目名称: Clinical Exercise Physiology

1

開講期間	配当年 科目必選区分					
前期	第3学年 1 必修(両学科)					
担当教員	担当教員					
糸田 昌隆						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31807	H1 ◎ H2 ○		E1 ◎ E2 ○	歯科医師		

授業の概要と方法

運動生理学とは、運動を行うことによって身体にどのような変化・現象を生じるかを知る学問であり、臨床運動学とは疾患や、疾患によってもたらされる正常とは異なる変化・現象を知るものである。授業では、運動時の正常な生理を知り、心疾患、脳血管障害あるいは老化などによって身体に生じる運動時の変化を知る機会とする。講義の形式はスライドを用いて行い、数度の運動分析を行うための演習・実習を行う。

授業計画

ガイダンス

- ・生理学と運動生理学の違い
- ・運動生理の原則(ルーの法則など)
- 運動とは
- ・ 運動時の生理反応の概略

2 運動と筋骨格系 I

- ・筋の種類
- ・骨格筋の構造
- ・筋繊維の種類
- ・筋活動とエネルギー供給様相 など

3 運動と筋骨格系Ⅱ

- ・筋の収縮様相と筋力
- ・筋力、筋パワー、筋持久力

4 運動と中枢と神経系 I

- ・神経系の役割
- ・求心性入力と遠心性出力
- ・錐体路と錐体外路

5 運動と中枢と神経系Ⅱ

- ・末梢神経の分類と役割(再度求心性と遠心性の理解)
- ・運動調整の仕組み(再度錐体路、錐体外路の理解)

6 **運動と呼吸 I**

- ・胸郭と呼吸筋と呼吸補助筋
- ・換気メカニズム

7 運動と呼吸Ⅱ

- ・姿勢と呼吸
- ・運動時の換気量
- ・呼吸筋の疲労など

8 **運動と循環 I**

- ・循環系の配列
- ・心筋と血管系の構造
- ·一回拍出量、心拍数、心拍出量

9 運動と循環Ⅱ

	・重力と循環					
	・運動による血流の再分配					
	・酸素摂取量に影響する要因と因子など					
	10 運動と代謝と栄養と、疾患による影響					
	・栄養とは					
	・食品の機能性と摂取基準と代謝					
	・運動とストレスによるエネルギー消費					
	・運動時前後の呼気圧					
	・運動の血圧と心拍数					
	・運動解析など					
	12 演習Ⅱ					
	・摂取食品のカロリー量					
	・活動と消費カロリー・					
	・必要カロリー など					
	13 運動学習とトレーニング I					
	・運動時中枢系の役割					
	・運動学習について					
	・運動負荷試験と運動強度について					
	□ 14 運動学習とトレーニングⅡ					
	フィールドワーク(雨天時は座学)					
	15 ディスカッション(まとめ)					
	・GW:臨床運動生理についての気付き					
 授業の到達目標	・運動時の中枢神経の働きについて理解する。					
	・運土時の末梢神経と筋の働きについて理解する。					
	・感覚と身体運動との関係について理解する。					
	・身体運動と呼吸・循環・代謝機能の関係と働きについて理解する。					
	・疾患による運動への影響と、障害改善のための運動の効果を理解する。					
成績評価の方法	本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。					
	単位試験を実施し、学習態度により総合的に評価を行う。					
授業外で行うべき	解剖学、生理学、生化学の復讐をして下さい。					
学修						
使用テキスト	入門運動生理学 /杏林書院					
参考資料	ニュー運動生理学 I,I/真興交易(株)					
受講生への要望等	なし					
授業の質問対応、	随時受け付ける。メールでも可能。					
連絡先	E-mail: itoda@cc.osaka-dent.ac.jp					

講義科目名称: 看護学概論 授業コード: 3H204

英文科目名称: Introduction to Nursing Care

使用テキスト

受講生への要望等

授業の質問対応、

参考資料

各授業で資料を配布する。

[melly]

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第3学年				
担当教員					
森田 婦美子					
科目ナンバリング		口腔保健学科の)関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31808		20 30 H	10		看護師・助産師
授業の概要と方法	医療専門職として求められる生命の尊重と人間の尊厳に基づいた倫理観を学び、さらに臨床実践に伴って会る倫理的諸問題について理解し、倫理的態度や判断力を養う。「いのちとは何か」を問い続ける授業である決して普遍的ではないこの問に対して歯科衛生士として、「いのち」はなぜ大切なのか、なぜ粗末にしてはけないのか、医療専門職として、一人の人間として「いのち」に向き合うことを目的にしている。毎回テーマにそってグループワーク、ディスカッションを行いまとめる。				とは何か」を問い続ける授業である。 なぜ大切なのか、なぜ粗末にしてはい うことを目的にしている。
授業計画	1 あなたにとって「いのち」とはなにか 講義 ・「生きる」という文字からいのちを考える。 2 生命の質とは 講義 ・患者の権利・自己決定 3 生命の質とは				
	4	人はいつから 講義 ・妊娠の成3	かち・死ぬいの 5 「ひと」になるの 立と「ひと」 中絶と「ひと」	_	
	5	生殖補助抗	るものから、つ)くるものへ	
	7	講義 ・子はつくる 人の死とは 講義 ・脳死と臓 人の死とは 講義 ・安楽死と	器移植	くられるものへ	
授業の到達目標	1)生命倫理に関する諸問題から自らの考えを明確にすることができる。2)文献資料・映像などの具体的な事例のなかに問題を見いだすことができる。3)問題解決にアプローチする視点とその方法を身につけ議論を展開することができる。				
成績評価の方法	科目試験50%、授業態度50%の割合で評価をおこなう。				
授業外で行うべき 学修	新聞、テレビ、書籍(雑誌)などあらゆるマスメディアによる、生命倫理に関する報道、情報を収集し、理解を深める努力をすること。 事前に渡された資料を読む。60分 授業後、各回で配布されたワークシートの整理を行う。60分				
	6 15 W - 37	ツッチェッケ・ナフ			

積極的にグループワークに参加すること。必ず自分の意見が述べることができるよう努力すること。

連絡先	

講義科目名称: 在宅介護論 授業コード: 3H103

英文科目名称: Home Care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分			
前期	第3学年	1	必修(保健)			
担当教員						
森田 婦美子	森田 婦美子					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験		
31809	H1⊚ H2 ○			看護師・助産師		

授業の概要と方法

地域保健医療活動における歯科衛生士による在宅介護の位置づけ、在宅介護の目的を理解する。また、在宅介護の対象は、地域で療養する者とその家族であり、その生活環境および生活の場としての在宅介護の理解を深め、在宅における歯科衛生士の役割と機能を学ぶため日常生活援助技術、医学的管理を伴う援助技術の習得を目指す。さらに在宅療養者を支える法律と制度を理解する。

授業形態として、グループによるベットサイド演習を取り入れる。

授業計画

1 在宅介護の必要性

講義

- 1) 在宅ニーズの動向
- 2) 在宅介護の対象
- 3) 在宅療養者とその家族
- 4) 在宅療養の法律・制度

2-3 在宅における日常生活援助1

講義

- 1) 安全・自立支援の視点からの在宅環境調整
- 2) 住宅改修・福祉用具の活用

4-5 在宅における日常生活援助2

演習

1) 自立支援にの視点からの移乗・移動の技術

6 医学的管理を伴う援助技術1

講義

- 1) 在宅酸素療法を受けている患者の理解
- 2) 在宅人工呼吸療法を受けている患者の理解

7-8 医学的管理を伴う援助技術2

講義

- 1) 経鼻的栄養チューブを挿入している患者の理解
- 2) 胃瘻造設を受けている患者の理解
- 3) 尿道留置カテーテルを挿入している患者の理解
- 4) 人工肛門造設を受けている患者の理解

9-10 医学的管理を伴う援助技術3

講義

- 1) 吸引を受ける患者の理解
- 2) 口腔内吸引の基礎理解
- 3) 鼻腔内吸引の基礎理解
- 4) 気管内吸引の基礎理解

11-12 医学的管理を伴う援助技術4

演習

- 1) 口腔内吸引の実際
- 3) 鼻腔内吸引の実際
- 4) 気管内吸引の実際

13-14 医学的管理を伴う援助技術5

演習

- 1) 口腔内吸引の実際
- 3) 鼻腔内吸引の実際
- 4) 気管内吸引の実際

	15 医学的管理を伴う援助技術まとめ
	1) 吸引技術確認
授業の到達目標	1) 在宅介護における歯科衛生士の役割を理解できる。 2) 在宅介護における歯科衛生士の対象を理解できる。 3) 在宅介護に関わる法律・制度を理解できる。
	4) 日常生活技術援助の方法が理解できる。 5) 在宅における医療的管理の必要性が理解できる
成績評価の方法	科目試験50% 授業態度・技術演習後のレポート50%
授業外で行うべき 学修	事前に渡された資料を読む。60分 授業後、各回で配布されたワークシートの整理を行う。60分
使用テキスト	毎回の授業で資料を配布する。
参考資料	
受講生への要望等	技術演習時は学内演習ユニフォーム。白のソックス着用。爪は短く切り、ネイル禁止。長髪の学生はまとめ髪にすること。
授業の質問対応、 連絡先	[melly]

講義科目名称: 歯科心身医学 授業コード: 30204

英文科目名称: PSM in Dentistry

開講期間	配当年 単位数 科目必選区分						
後期	第3学年	1	必修(両学科)				
担当教員	担当教員						
安彦 善裕	安彦 善裕						
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験			
31810	H1 ○ H2 ◎		E1 ○ E2 ◎	歯科医師			

提案の概要と方法	31810		H1 ○ H2 ◎	E1 O	E2 ©	歯科医師		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	授業の概要と方法	歯科臨床にるに恐怖を抱い	おいて心身医学的対応を行いている患者、口腔内に原	テラベき場面は多 京因不明の痛みや	らい。すなわち、日常的な P症状を訴えている患者、	歯磨きをしてくれない患者など		
歯科心身症とはどのようなものかについて理解する。	授業計画	1	心身医療とは何か?	身医療にはどの	ようなものがあるかつい ⁻	て理解する。		
気分障害、不安障害、統合失調症など、口腔症状を訴えることのある精神疾患について理解する。 4		2		うなものかにつ	いて理解する。			
歯科臨床で遭遇することが比較的多い、舌痛症、非定型歯痛、咬合違和感症候群、口腔セネスパチーについて理解する。 歯科心身症各論(2) 歯科場正治療、審美歯科に関わる歯科心身症、について理解する。 歯科心身症各論(3) 口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について理解する。 1 1 1 2 2 3 3 4 3 4 4 3 5 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		3	気分障害、不安障害、 る。		、口腔症状を訴えることの	のある精神疾患について理解す		
歯科矯正治療、審美歯科に関わる歯科心身症、について理解する。 6 歯科小身症各論(3) □臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について理解する。 7 歯科医療従事者による小身医療(1) 歯科における心身医学的対対応の実際について理解する。主に臨床心理学的アプローチにより、歯磨きをしてくれない患者や、痛みを抱えている患者への対応の実際について理解する。 8 歯科医療従事者による小身医療(2) 歯科における心身医学的対応の実際について理解する。主に臨床心理学的アプローチにより、腔乾燥症を訴えている患者や、口臭恐怖症を訴えている患者への対応の実際について理解する。 歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。歯科心身症と精神疾患との違いについて理解する。歯科心身疾症があける他科との連携について理解する。歯科の身疾における他科との連携について理解する。歯科の身の腫における他科との連携について理解する。 は、過解音生、歯科技工士が行うべき歯科心身症患者への対応について理解する。 は、過解音生・歯科技工士が行うべき歯科心身症患者への対応について理解する。 は、複響が高の評価が50%、日ごろの受講態度が50%で評価する。 し、授業に臨むこと。 使用テキスト 教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。 参考資料 「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版歯科衛生土講座「高齢者歯科学」永末書店 受講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生土、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる。		4	歯科臨床で遭遇するこ		、舌痛症、非定型歯痛、『	咬合違和感症候群、口腔セネスト		
口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について理解する。		5		科に関わる歯科	心身症、について理解する	వ.		
歯科における心身医学的対対応の実際について理解する。主に臨床心理学的アプローチにより、歯磨きをしてくれない患者や、痛みを抱えている患者への対応の実際について理解する。 8 歯科医療従事者による心身医療(2) 歯科における心身医学的対応の実際について理解する。主に臨床心理学的アプローチにより、歴乾燥症を訴えている患者や、口臭恐怖症を訴えている患者への対応の実際について理解する。歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。歯科心身症と精神疾患との違いについて理解する。歯科衛生士、歯科技工士が行うべき歯科心身症患者への対応について理解する。歯科衛生士、歯科技工士が行うべき歯科心身症患者への対応について理解する。 は続評価の方法 本試験日に記述・選択形式の試験をおこなう。リポートや事前の準備、提出物はなし。試験解答の評価が50%、日ごろの受講態度が50%で評価する。 位理学、高齢者歯科学、医療コミュニケーション学などで学習したコミュニケーションに関わる内容を復習学修 し、授業に臨むこと。使用テキスト 教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。 参考資料 「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永未書店 要講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる。		6						
歯科における心身医学的対応の実際について理解する。主に臨床心理学的アプローチにより、 腔乾燥症を訴えている患者や、口臭恐怖症を訴えている患者への対応の実際について理解する。 歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。 歯科心身症と精神疾患との違いについて理解する。 歯科心身症と精神疾患との違いについて理解する。 歯科心身症を精神疾患との違いについて理解する。 歯科心身医療における他科との連携について理解する。 歯科心身医療における他科との連携について理解する。 歯科衛生士、歯科技工士が行うべき歯科心身症患者への対応について理解する。 成績評価の方法 本試験日に記述・選択形式の試験をおこなう。リポートや事前の準備、提出物はなし。 試験解答の評価が50%、日ごろの受講態度が50%で評価する。 授業外で行うべき 心理学、高齢者歯科学、医療コミュニケーション学などで学習したコミュニケーションに関わる内容を復習し、授業に臨むこと。 使用テキスト 教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。 参考資料 「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店 受講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる。		7	歯科における心身医学	的対対応の実際				
歯科心身症とはどの様なものかについて理解する。 歯科心身症と精神疾患との違いについて理解する。 歯科心身医療における他科との連携について理解する。 歯科衛生士、歯科技工士が行うべき歯科心身症患者への対応について理解する。 成績評価の方法 本試験日に記述・選択形式の試験をおこなう。リポートや事前の準備、提出物はなし。 試験解答の評価が50%、日ごろの受講態度が50%で評価する。 授業外で行うべき つ理学、高齢者歯科学、医療コミュニケーション学などで学習したコミュニケーションに関わる内容を復習し、授業に臨むこと。 使用テキスト 教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。 参考資料 「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店 受講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背にを観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる。		8	歯科における心身医学	的対応の実際に				
試験解答の評価が50%、日ごろの受講態度が50%で評価する。 授業外で行うべき 心理学、高齢者歯科学、医療コミュニケーション学などで学習したコミュニケーションに関わる内容を復習 し、授業に臨むこと。 使用テキスト 教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。 参考資料 「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店 受講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背景を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる。	授業の到達目標	歯科心身症。 歯科心身症。 歯科心身医	とはどの様なものかについ と精神疾患との違いについ 寮における他科との連携(ハて理解する。 ハて理解する。 こついて理解する		O o		
学修 し、授業に臨むこと。 使用テキスト 教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。 参考資料 「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店 受講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背流を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる。	成績評価の方法					はなし。		
参考資料 「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店 受講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背 を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる								
歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店 受講生への要望等 歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背害を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる。	使用テキスト	教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。						
を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる	参考資料							
一成が対に与くことを重めなす。	受講生への要望等	を観察しない						
授業の質問対応、 安彦善裕へe-mailで。 yoshi-ab@hoku-iryo-u.ac.jp								

講義科目名称: 口腔保健学総論 I 授業コード: 4H201

英文科目名称: Oral Health Science Overview 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第4学年	2	必修(保健)	
担当教員				
小正、和唐、元根、糸田、要田、椛	喬本、頭山、神、濱	喜島、山中、芦田、	梶、前岨、米澤、大西、尾形、寺島	<u>=</u>
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31901	5 ○ H3 ◎			歯科医師

授業の概要と方法 歯科衛生士の3大業務に加え多職種連携および訪問歯科診療について考察し、今後に予想される 展開について解説し、学士(口腔保健学)としての向上心を養う。 加えて、これまでに学修した知識と技能を踏まえて、自らテーマを決めて整理するとともに文献検索、必要に 応じて実験や作品の製作によって自ら成果をまとめて発表する。 1 【講義】研究の概説(小正) 授業計画 ・オリエンテーション ・研究の目的 ・研究の必要性 ・研究の成果 ・歯科医学とは 【講義】歯科医学の発展(和唐) 2 ・歯科医学とは ・歯科医学の歴史 【講義】研究テーマの設定(橋本) 3 ・結果の収集・整理 ・追加研究の必要性 • 統計解析 ・データの信頼性 【講義】研究倫理(神) ・ヒトを対象にした研究倫理 ・動物を対象とした研究倫理 ・自然を対象とした研究倫理 ・不正行為 【講義】研究計画の立案(元根) 5 ・研究目的 ・文献検索 ・予備実験 ・具現性の確立 ・成果の見込みと意義 【講義】論文の構成(糸田) 6 ・論文の基本的な構成 • 抄 録 ・緒言 ・目 的 ・結果 ・考 察 ・謝 辞 ・引用文献

7 【講義】研究論文の作成(橋本)

・研究目的

・図表

- ・作品の製作
- ・作品の評価
- 8 【講義】デジタルデンティストリーとは(荒井)

	=	デジタルデンティストリーとは			
		(講義]これからの歯科医療(荒井)			
		これからの歯科医療			
		(演習】情報収集(担当教員)			
		・文献検索			
		・文献整理			
		・その他の情報収集			
	12-13	(演習】計画立案(担当教員)			
		・研究目的の設定			
		・研究方法の策定			
		・実施計画の立案			
		・プレゼンテーション作成			
		・発表原稿作成 (演習】成果発表(担当教員)			
		・プレゼンテーション ・質 問			
		·応答			
 授業の到達目標					
		への向上心を持つことができる。			
	3) 研究の重要	性を説明できる。			
	4) 倫理に基づく研究ができる。				
	5)課題に必要な情報を収集して整理できる。				
		6)問題点を抽出して解決法を考えられる。 7)成果を適切に提示することができる。			
	7) 成果を適切	に提示することができる。			
成績評価の方法	討議の内容を総合的に評価する 評価の比率は、プレゼンテーション75%、質疑応答25%とする				
授業外で行うべき		「い, 「演習は」自分自身が興味を持った内容について研究したりすることです。す。口腔保健			
学修	学科の教員の指導を受けて実施しますので、指導を受けたい教員と授業が始まるまでに連絡を取るようにして				
	ください。 プレゼンテーションの準備は難しいでの、担当教員と相談して良い成果を収めるようにしてくださ				
使用テキスト					
	な し 				
参考資料					
受講生への要望等	自らの設定したテーマに基づいて、考え、実施しする学士としての素養を身につける科目ですので、しっかり とした成果をあげて、自らの学識を広げて下さい。				
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。				

講義科目名称: □腔保健学総論 II 授業コード: 4H202

英文科目名称: Oral Health Science Overview 2

XXIII GIVE Steller Overview 2				
開講期間	配当年			
後期	第4学年	2	必修 (保健)	
担当教員				
和唐、川島、、井上、池尾、中塚、山中、神、福田				
科目ナンバリング 口腔保健学科]連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31902 H1 O				歯科医師
授業の概要と方法 これまで学んできた教育内容を整理し、知識と技能をより確実なものとする。とくに口腔保健学で学習した基				

科目ナンバリンク		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験	
31902		H1 O		歯科医師	
授業の概要と方法		んできた教育内容を整理し、知識 容を整理し、各科目の要点を全体			
授業計画	1-2	解剖学のまとめ(川島)			
		解剖学の整理とまとめ。(川島 予習:歯科衛生士国試対策集な 復習:間違えた問題を再度調へ 生理学・口腔生理学のまとめ(:	・・ などの問題集をあらかじめ予習する 、る(10分)	3(30分)	
	3-4				
		復習:間違えた問題を再度調へ	ょどの問題集をあらかじめ予習する 、る(10分)	3(30分)	
	5-6	生化学・栄養学のまとめ(池尾))		
		復習:間違えた問題を再度調へ	よどの問題集をあらかじめ予習する	3(30分)	
	7-8	口腔解剖学のまとめ(中塚)	(中坯)		
		口腔解剖学の整理とまとめ。 予習:歯科衛生士国試対策集な 復習:間違えた問題を再度調へ	よどの問題集をあらかじめ予習する	3(30分)	
	9-10	病理学・口腔病理学まとめ(和	唐)		
	11.12	病理学と口腔病理学の整理とま 予習:歯科衛生士国試対策集な 復習:間違えた問題を再度調へ 免疫学・微生物学まとめ(山中)	ょどの問題集をあらかじめ予習する 、る(10分)	3(30分)	
	11-12	免疫学と微生物学の整理とまと	≤め。(山中) などの問題集をあらかじめ予習する	3(30分)	
	13-14	口腔衛生学・衛生統計学・衛	生行政学公衆衛生学のまとめ(神)	
	15-16		E統計学、衛生行政学の整理とまと などの問題集をあらかじめ予習する べる(10分)		
		薬理学の整理とまとめ。(福田 予習:歯科衛生士国試対策集な 復習:間違えた問題を再度調へ	。 などの問題集をあらかじめ予習する	3(30分)	
授業の到達目標	歯科衛生士として必要な知識を身につける。 1. 歯科衛生と歯科医療との関係を説明できる。 2. 歯と口腔の構造と機能を説明できる。 3. 基礎科目から臨床科目へのつながりを説明できる				
 成績評価の方法					
授業外で行うべき 学修		習したことについてのまとめ。			
使用テキスト	各科目で用				
	1				

参考資料	歯科衛生士のための主要3科プラス専門分野 問題集 第3版 一般社団法人 口腔保健協会編集
	歯科衛生士 国家試験予想問題集 医歯薬出版株式会社
	歯科衛生士国試対策集 2020年対応 クインテッセンス腫版株式会社
受講生への要望等	
授業の質問対応、 連絡先	

講義科目名称: 口腔工学総論 I 授業コード: 4K301

英文科目名称: Overview of Oral Engineering 1

1

	1			
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	第4学年	3	必修(工学)	
担当教員				
柿本、楠本、都賀谷、西崎、中塚、	樋口、錦織、首萠	藤、三宅、藤田		
科目ナンバリング	口腔保健学科の関	連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31903			5 ○ E3 ◎ E4 ○	歯科医師

授業の概要と方法

デジタル加工技術を中心とした歯科技工製作技術の展開と歯科臨床における応用, さらに今後に予想される 展開について解説し, 学士(口腔工学)としての向上心を養う。また、 デジタル加工技術を中心とした歯科 技工製作技術の展開と歯科臨床における応用, さらに今後に予想される展開について解説し, 学士(口腔工学)としての向上心を養う。

加えて、これまでに学修した知識と技能を踏まえて,自らテーマを決めて整理するとともに文献検索,必要 に応じて実験や作品の製作によって自ら成果をまとめて発表する。

授業計画

【講義】研究とは何か(柿本)

- ・オリエンテーション
- ・研究の目的
- ・研究の必要性
- ・研究の成果

2 【講義】歯科医学の発展とエビデンス(柿本)

- ・研究の歴史
- ・歯科医学の歴史
- ・歯科技工の発展
- ・エビデンス
- ・ 今後の歯科技工

3 【講義】研究倫理(柿本)

- ・ヒトを対象にした研究倫理
- ・動物を対象とした研究倫理
- ・自然を対象とした研究倫理
- ・不正行為

4 【講義】研究計画の立案(柿本)

- ・研究目的
- ・文献検索
- ・予備実験
- ・具現性の確立
- ・成果の見込みと意義

5 【講義】結果の分析(柿本)

- ・結果の収集・整理
- ・追加研究の必要性
- ・統計解析
- ・データの信頼性

6 【講義】考察(柿本)

- ・結果の分析
- ・結果の解釈
- ・研究目的と結果の関係
- ・結論への誘導

7 【講義】論文の構成(柿本)

- ・論文の基本的な構成
- ・抄 録
- ・緒言
- ・目的
- ・結 果

		·考 察
		・謝 辞 ・引用文献
		·図 表
	8	【講義】査読と掲載(柿本)
		・査読とは
		・査読の内容
		・査読への返事
		·掲載
	9	【演習】情報収集(担当教員)
		・文献検索
		・文献整理
	10	・その他の情報収集 【演習】計画立案(担当教員)
	10	
		・研究目的の設定・研究方法の策定・
		・実施計画の立案
	11-15	【演習】研究実施(担当教員)
		・データ収集
		・データ分析
		・作品の製作
		・作品の評価
	16-17	【演習】発表準備(担当教員)
		・論文・レポート作成
		・プレゼンテーション作成
		発表原稿作成
	18	【講義】デジタル・デンティストリーとは(荒井)
	19	【講義】これからの歯科医療(荒井)
	20	【講義】臨床の観点からのテジタル歯科技工(荒井)
	21	【講義】これからの歯科技工士への期待(荒井)
	22-23	【討議】成果発表(担当教員)
		・プレゼンテーション
		· 質 問
		・応答
授業の到達目標		科医療を説明できる。
	' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	への向上心を持つことができる。
		要性を説明できる。 づく研究ができる。
		要な情報を収集して整理できる。
		抽出して解決法を考えられる。
	7) 成果を適	切に提示することができる。
成績評価の方法	討議の内容を	と総合的に評価する。評価の比率は,プレゼンテーション 75%,質疑応答 25%とする。
授業外で行うべき		回の「情報収集」から「発表準備」までの演習は、自分自身が興味を持った内容について作品を製
学修		によりする演習となります。口腔工学科の教員の指導を受けて実施しますので、指導を受けたい ファイボン・ファイン はんしょう アイ・ファイン アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア
		回の授業が始まるまでに連絡を取るようにしてください。
	1	3~20回の「情報収集」から「発表準備」までの演習は、授業時間内だけでは十分な研究や作品の ジンテーションの準備は難しいでの、担当教員と相談して良い成果を収めるようにしてください。
使用テキスト	なし	

参考資料	作品の製作や研究に関連する書籍や文献を参考にしてください。
受講生への要望等	自らの設定したテーマに基づいて、考え、実施しする学士としての素養を身につける科目ですので、しっか りとした成果をあげて、自らの学識を広げて下さい。
授業の質問対応、 連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

講義科目名称: □腔工学総論 II 授業コード: 4K201

英文科目名称: Overview of Oral Engineering 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	第4学年	2	必修(工学)	
担当教員				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31904			E1 ©	歯科医師

授業の概要と方法

これまでの科目ごとに学習して習得した内容を整理し、各科目の要点を全体としての統一した観点から学習しなおして、知識と技能を確実なものとする科目である。

講義だけでは十分な理解を得るのが難しかった知識や技術を実習や臨床現場での体験後に再度講義を中心に 学習する。この科目によって、学習が不十分であった内容を学生自身が認識して補填するとともに、科目ごと の理解だけではなく、全ての科目を繋げた理解を深める。

授業計画

1 【講義】歯科技工と歯科医療 1(柿本)

- ・歯科技工士の役割
- ・歯科技工士の倫理
- ・衛生行政の意義
- ・衛生行政の組織及び活動
- ・歯科技工士法

2 【講義】歯科技工と歯科医療 2(柿本)

- ・歯科技工環境管理
- ・歯科技工品質管理
- ・医療法
- ・歯科医師法
- ・歯科衛生士法
- ・医薬品、医療機器等、有効性及び安全性の確保等に関する法律

3 【講義】歯・口腔の構造と機能 1(柿本)

- ・歯の概説
- ・永久歯の形態
- ・歯の発生
- ・歯と歯周組織
- ・歯の異常

4 【講義】歯・口腔の構造と機能 2 (柿本)

- ・歯列と咬合
- ・頭蓋の骨
- ・口腔周囲の筋
- ・口腔
- ・顎口腔系の形態

5 【講義】歯・口腔の構造と機能3(柿本)

- ・顎口腔系の機能
- ・下顎位
- ・下顎運動
- ・歯の接触様式
- ・咬合器

6 【講義】歯科材料・歯科技工機器と加工技術 1(藤田)

- ・歯科材料の機械的性質
- ・歯科材料の物理的性質
- ・歯科材料の科学的性質
- ・歯科材料の生物学的性質
- ・印象材の分類
- ・印象材の種類
- ・印象材の性質

- ・石膏の種類
- ・石膏の性質

7 【講義】歯科材料・歯科技工機器と加工技術 2 (藤田)

- ・ワックスの種類と用途
- ・ワックスの組成
- ・ワックスの性質
- 義歯床用レジン
- 加熱重合レジン
- ・常温重合レジン
- ・その他の義歯床用レジン
- ・レジン成形法
- ・歯冠用硬質レジン
- ・CAD/CAM用コンポジットレジン
- ・その他のレジン
- ・歯冠用セラミックス
- ・歯冠用陶材
- ・金属焼付用陶材
- ・加熱重合型セラミックス
- ・ジルコニア

8 【講義】歯科材料・歯科技工機器と加工技術 3(藤田)

- ・歯科用合金
- ・金合金、銀合金、コバルトクロム合金、チタンおよびチタン合金
- ・鋳造収縮と補正
- ・鋳造操作
- ・鋳造欠陥
- ・金属の加工
- ・金属の接合
- ・合金の熱処理
- ・切削・研削・研磨
- ・新しい加工技術

9 【講義】有床義歯技工学 1(柿本)

- ・有床義歯技工に関する基礎知識
- ・全部床義歯の特性
- ・全部床義歯の印象採得に伴う技工操作
- ・全部床義歯の咬合採得に伴う技工操作

10 【講義】有床義歯技工学 2 (柿本)

- ・全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成
- ・全部床義歯のろう義歯の埋没と重合
- ・全部床義歯の咬合器再装着および削合、研磨
- ・部分床義歯の特性
- ・支台装置
- ・連結子

11 【講義】有床義歯技工学 3(柿本)

- ・部分床義歯の印象採得に伴う技工操作
- ・部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作
- ・部分床義歯の人工歯排列と歯肉形成
- ・部分床義歯のろう義歯の埋没とレジン重合
- ・義歯装着後の変化と対応
- ・その他の義歯

12 【講義】歯冠修復技工学 1 (藤田)

- ・歯冠修復技工学の概要
- ・クラウンの概要と種類
- ・ブリッジの概要と種類
- ・クラウンとブリッジの具備条件
- ・クラウンとブリッジの製作

	13 【講義】歯冠修復技工学 2 (藤田)
	・歯冠修復物と部分被覆冠
	・全部被覆冠
	・ブリッジ
	・インプラント
	・CAD/CAMシステム
	14 【講義】矯正歯科技工学(藤田)
	・矯正歯科治療の概説
	・矯正歯科技工用器械・器具・材料
	・矯正歯科技工の基本的実技・矯正用模型の製作
	・矯正用候望の製作・・矯正特に関係しています。
	・矯正装置の種類と製作
	15 【講義】小児歯科技工学(藤田)
	・小児歯科治療の概説
	・小児の歯冠修復
	・保険装置
	・スペースリゲーナー
	・口腔習癖除去装置
	・咬合誘導装置に用いる維持装置
 授業の到達目標	│ │歯科技工士として必要な知識を説明できる。
12米の13足口は	1) 歯科技工と歯科医療との関係を説明できる。
	12) 歯と口腔の構造と機能とを説明できる。
	3) 歯科材料、歯科用技工機器および加工技術を説明できる。
	4) 有床義歯技工を説明できる。
	5) 歯冠修復技工を説明できる。
	6) 矯正歯科技工を説明できる。
	7) 小児歯科技工を説明できる。
成績評価の方法	各授業の最初と最後に実施する小テストの結果を総合して評価します。
授業外で行うべき	各授業の最初と最後に小テストを行いますので、授業の予習と復習をそれぞれ20分程度の自己学習をするよ
学修	うに心がけてください。
	また、授業内容に関係するこれまでの歯科技工士国家試験問題には必ず目を通して、授業までには解答でき
	るようになっておいてください。
使用テキスト	「要点チェック 歯科技工士国家試験対策 1 歯科理工学」関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編, 医歯薬
	出版, 2015年, ISBN978-4-263-43261-7
	「要点チェック 歯科技工士国家試験対策 2 歯の解剖学」 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編, 医歯薬
	出版,2016年,ISBN 978-4-263-43262-4
	「要点チェック 歯科技工士国家試験対策 3 顎口腔機能学」関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編, 医歯
	薬出版, 2015年, ISBN 978-4-263-43263-1 「再点チェック
	「要点チェック 歯科技工士国家試験対策 4 有床義歯技工学」関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編,医 歯薬出版, 2015年, ISBN978-4-263-43264-8
	国案山版, 2013年, 13BN976-4-203-4-3204-6 「要点チェック 歯科技工士国家試験対策 5 歯冠修復技工学」関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編, 医
	「安無ノエクク 国行及工工国外的成分 J 国内 J 国
	「要点チェック 歯科技工士国家試験対策 6 矯正歯科技工学・小児歯科技工学」関西北陸地区歯科技工士学校
	連絡協議会編, 医歯薬出版, 2015年, ISBN978-4-263-43266-2
	「要点チェック 歯科技工士国家試験対策 7 関係法規」関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編,医歯薬出
	版, 2016年, ISBN978-4-263-43267-9
参考資料	「歯科技工士国家試験問題集 2020年版」 医歯薬出版
	※ 2021年版が出版された場合はそちらを参考にしてください。
	他に。4年間の知識を整理する科目ですので、1年生からこれまでの授業で使用した教科書を参考にするように
	してください。
受講生への要望等	 歯科技工学として最低限知っておかなければならない内容の科目です。必ず、授業内容を漏れなく理解するよ
	うにしてください。
	I.

授業の質問対応、 質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 連絡先 在室時にも応対可能です。